

令和4年度 市民意識調査 報 告 書

令和5年3月

加 古 川 市

目 次

I 調査の概要	1
1. 調査目的	1
2. 調査設計	1
3. 回収状況	1
4. 報告書の見方	1
II 調査結果	2
1. 回答者の属性	2
（1）性別	2
（2）年齢	2
（3）家族構成	2
（4）居住地域	3
（5）居住年数	4
（6）職業	4
（7）通勤・通学先	5
（8）通勤・通学の交通手段	5
（9）結婚の経験	6
（10）子どもの有無	6
（11）子どもの年齢・人数	7
2. 定住意向とこのまち（加古川市）に対する誇りや愛着について	8
（1）定住意向	8
（2）転居したい理由	11
（3）市内で希望する居住場所	15
（4）市外で希望する居住場所	18
（5）このまち（加古川市）に対する誇りや愛着の程度	21
3. 「心ゆたかな暮らし」について	24
（1）地域生活のWellBeing	24
（2）協調的幸福Ⅰ	30
（3）協調的幸福Ⅱ	32
（4）協調的幸福Ⅲ	33
（5）協調的幸福Ⅳ	35
（6）協調的幸福Ⅴ	36
（7）協調的幸福Ⅵ	38
（8）センシュアス・シティ等	47
（9）寛容性等	54
4. 市の施策に対する満足度・重要度	61
5. 「防災」及び「防犯」対策への取組について	174
（1）「防災」対策として取り組んでいること	174
（2）「防犯」対策として取り組んでいること	176

6. 子育てと仕事に関することについて	178
(1) 加古川市が子育てしやすいまちだと感じるか	178
(2) 子育てと仕事の両立についての理解	181
7. 協働のまちづくりについて	184
(1) 市民活動の参加状況	184
(2) 市民活動への参加意向	187
8. 市政などに関する情報について	190
(1) 市政に関する情報の入手方法	190
(2) 加古川市の取組等の認知度	194
9. その他	198
(1) 自由意見	198
Ⅲ 総括	204
1. 全体考察	204
2. 経年比較	207

I 調査の概要

1. 調査目的

加古川市総合計画（計画期間：令和3年度から令和8年度まで）に掲げた施策に対する市民の満足度と重要度などの意識を調査することにより、総合計画の進行管理を行うとともに、今後の施策展開に活用することを目的に実施した。

2. 調査設計

調査対象：加古川市在住の満18歳以上の市民の中から6,000人
（住民基本台帳から無作為抽出）

調査方法：紙の調査票及びオンライン調査票による

50歳未満の市民3,600人へオンライン調査票へアクセス可能なQRコード等を記載した案内文を、50歳以上の市民2,400人へ紙の調査票を郵送配布（50歳未満の市民のうち、希望者には紙の調査票を別途送付）

なお、紙の調査票にはオンライン調査票へアクセス可能なQRコード等を記載

調査期間：令和4年(2022年)11月16日（水）から令和4年(2022年)12月7日（水）まで

調査項目：・回答者の属性

- ・定住意向とまちに対する誇りや愛着について
- ・「心ゆたかな暮らし」について
- ・加古川市が取り組んでいる施策（満足度・重要度）について
- ・「防災」及び「防犯」対策への取組について
- ・子育てと仕事に関することについて
- ・協働のまちづくりについて
- ・市政などに関する情報について
- ・その他について
- ・自由意見

3. 回収状況

配布数	回収数	有効回答率
6,000人	2,147人	35.8%

4. 報告書の見方

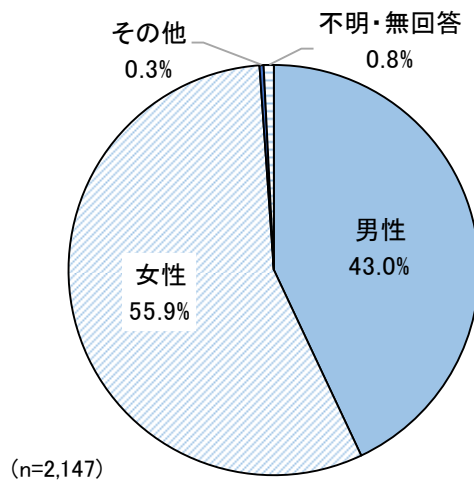
- ① 図表上の「n」は、設問に対する回答者数（number of case）のことである。
- ② 回答比率（％）は回答者数（n）を100％として算出している。小数点以下第2位を四捨五入しており、内訳の合計が計に一致しないことがある。
- ③ 図表上の「MA％」（Multiple Answerの略）や「3 L A％」（3 Limited Answerの略）という表示は、複数回答形式の設問（回答選択肢の中から「あてはまるものをすべて」や「あてはまるもの3つまで」を選択する形式の設問）であり、複数の回答を求める設問では、回答比率（％）の計は100.0%を超える。
- ④ 本文中にある前回調査とは「令和3年度 市民意識調査」を指している。
- ⑤ 回答者の属性及び加古川市の取組等の認知度を除き、「わからない」、「不明・無回答」を除いて集計している。

Ⅱ 調査結果

1. 回答者の属性

(1) 性別

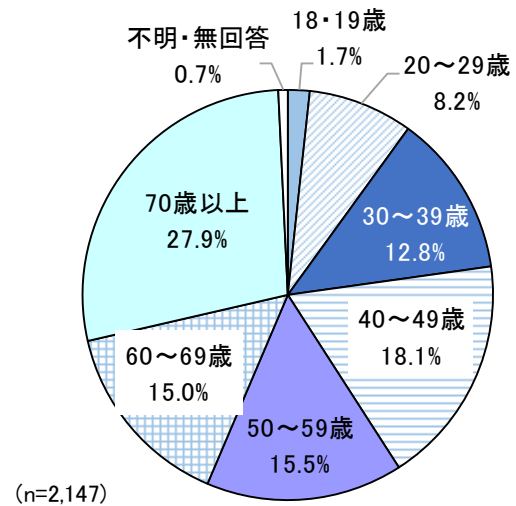
【図1-1 性別】



●回答者の性別は、「男性」が43.0%、「女性」が55.9%、「その他」が0.3%となっている。
(図1-1)

(2) 年齢

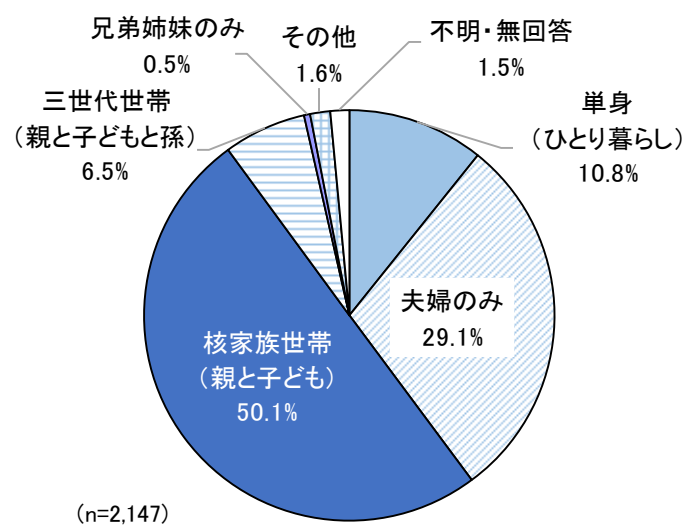
【図1-2 年齢】



●回答者の年齢は、「70歳以上」が27.9%と最も高く、次いで、「40～49歳」が18.1%、「50～59歳」が15.5%となっている。(図1-2)

(3) 家族構成

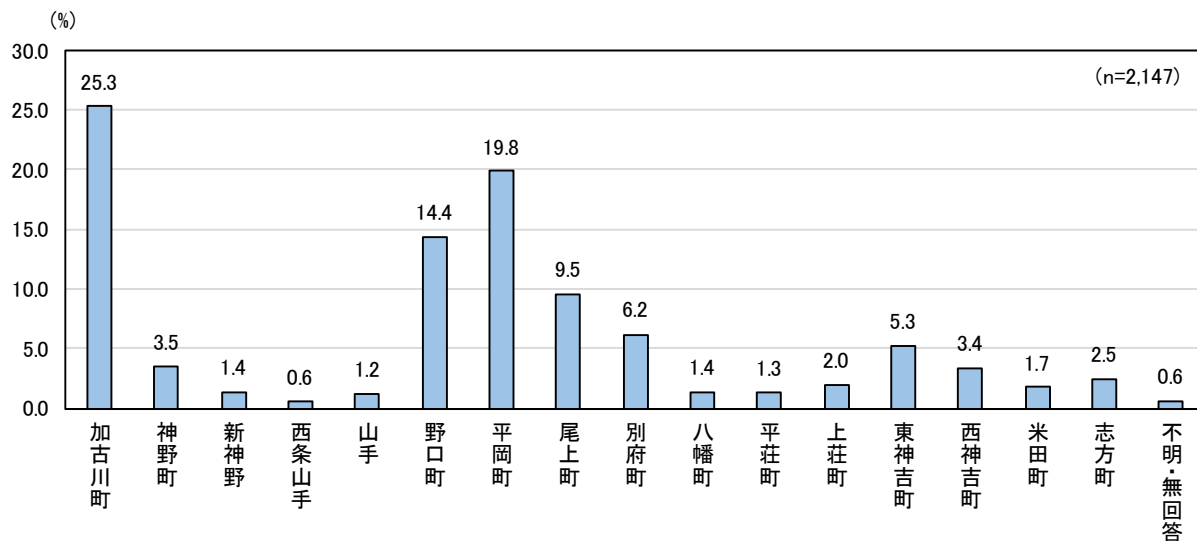
【図1-3 家族構成】



●回答者の家族構成は、「核家族世帯 (親と子ども)」が50.1%と最も高く、次いで、「夫婦のみ」が29.1%、「単身 (ひとり暮らし)」が10.8%となっている。(図1-3)

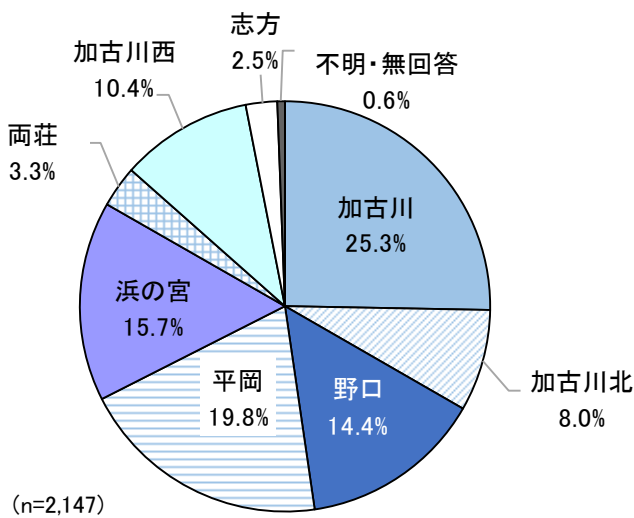
(4) 居住地域

【図1-4-1 居住地域】



【図1-4-2 居住地区】

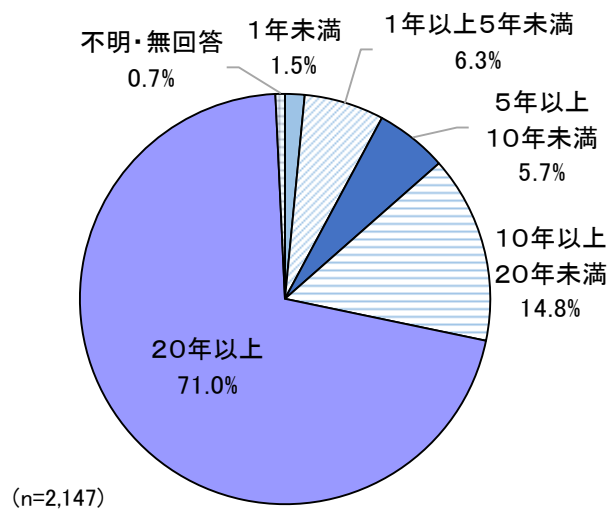
居住地区	町名等
加古川	加古川町
加古川北	神野町 新神野 西条山手 山手 八幡町
野口	野口町
平岡	平岡町
浜の宮	尾上町 別府町
両荘	平荘町 上荘町
加古川西	東神吉町 西神吉町 米田町
志方	志方町



●回答者の居住地区は、「加古川」が25.3%と最も高く、次いで、「平岡」が19.8%、「浜の宮」が15.7%となっている。(図1-4-2)

(5) 居住年数

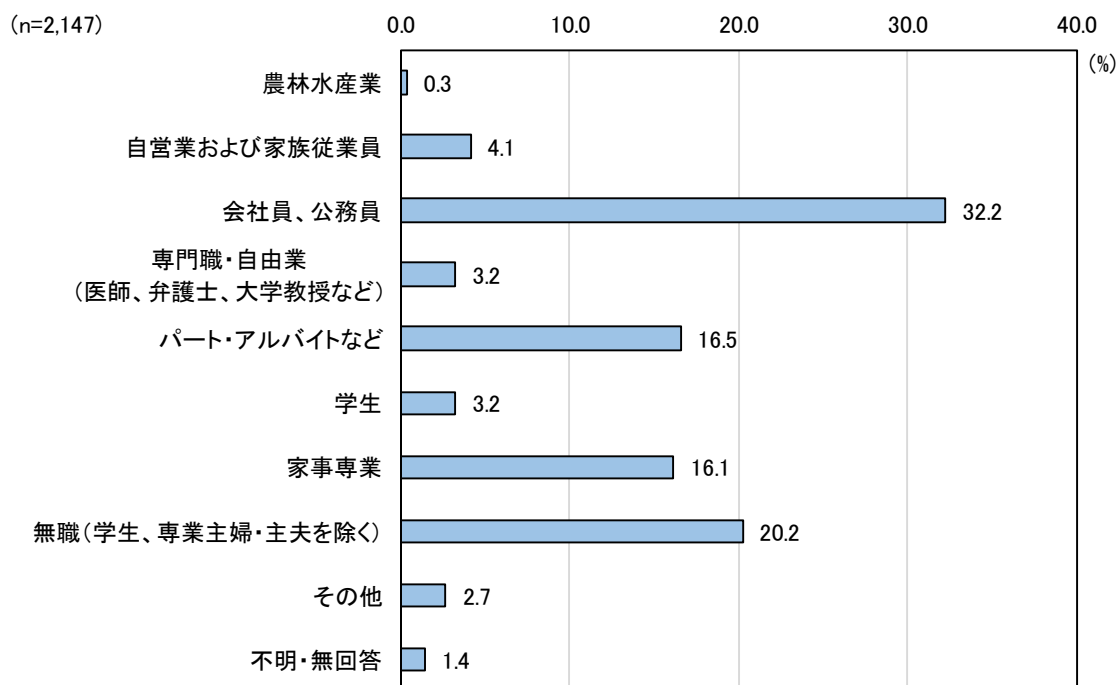
【図1-5 居住年数】



●回答者の加古川市での居住年数は、「20年以上」が71.0%と最も高く、次いで、「10年以上20年未満」が14.8%、「1年以上5年未満」が6.3%となっている。(図1-5)

(6) 職業

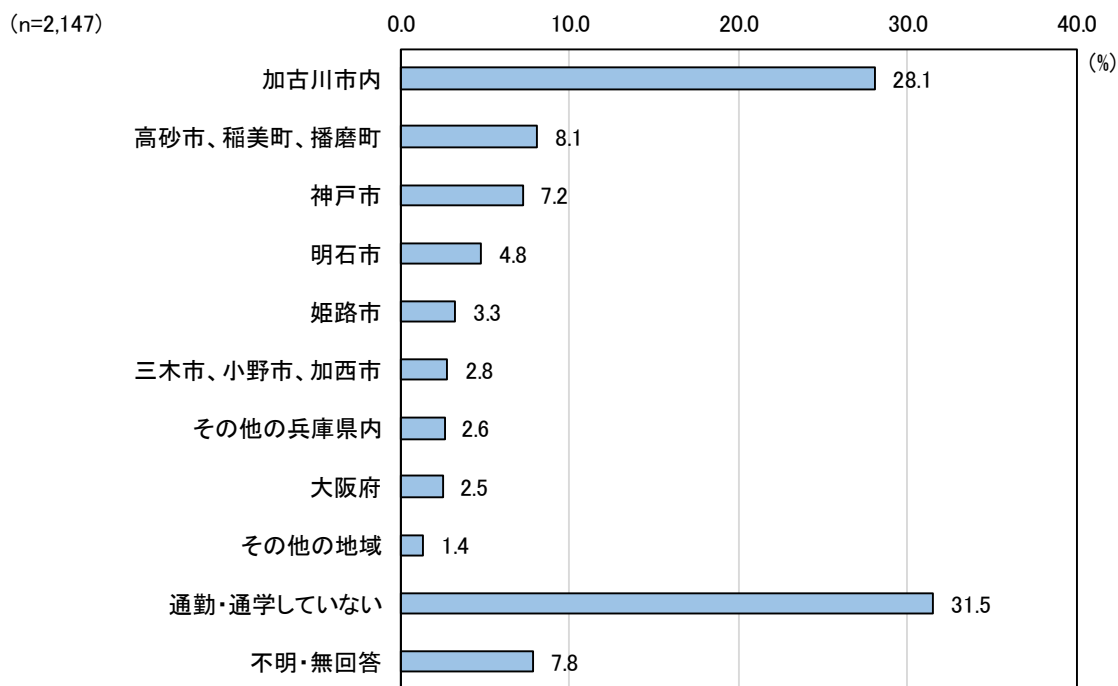
【図1-6 職業】



●回答者の職業は、「会社員、公務員」が32.2%と最も高く、次いで、「無職(学生、専業主婦・主夫を除く)」が20.2%、「パート・アルバイトなど」が16.5%となっている。(図1-6)

(7) 通勤・通学先

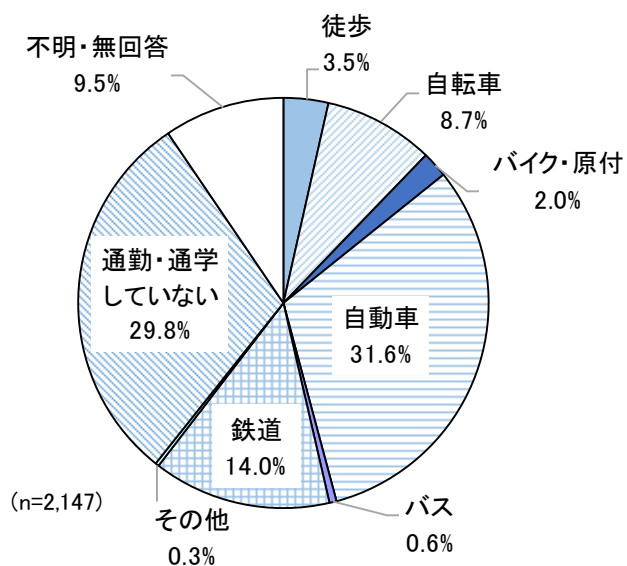
【図1-7 通勤・通学先】



●回答者の通勤・通学先は、「通勤・通学していない」が31.5%と最も高く、次いで、「加古川市内」が28.1%、「高砂市、稲美町、播磨町」が8.1%となっている。(図1-7)

(8) 通勤・通学の交通手段

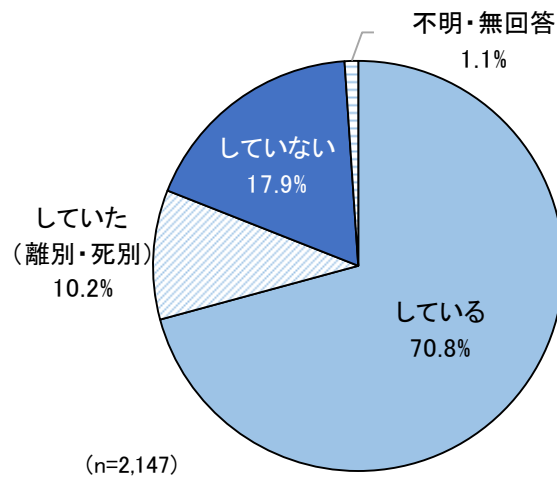
【図1-8 通勤・通学の交通手段】



●通勤・通学の交通手段は、「自動車」が31.6%と最も高く、次いで、「通勤・通学していない」が29.8%、「鉄道」が14.0%、「自転車」が8.7%となっている。(図1-8)

(9) 結婚の経験

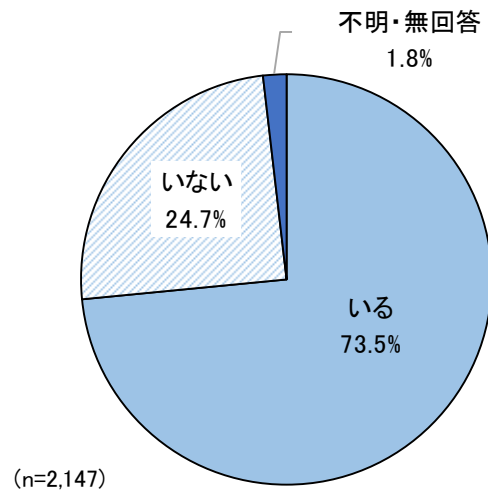
【図1-9 結婚の経験】



●結婚の経験については、「結婚している」が70.8%と最も高く、次いで、「結婚していない」が17.9%、「結婚していた（離別・死別）」が10.2%となっている。（図1-9）

(10) 子どもの有無

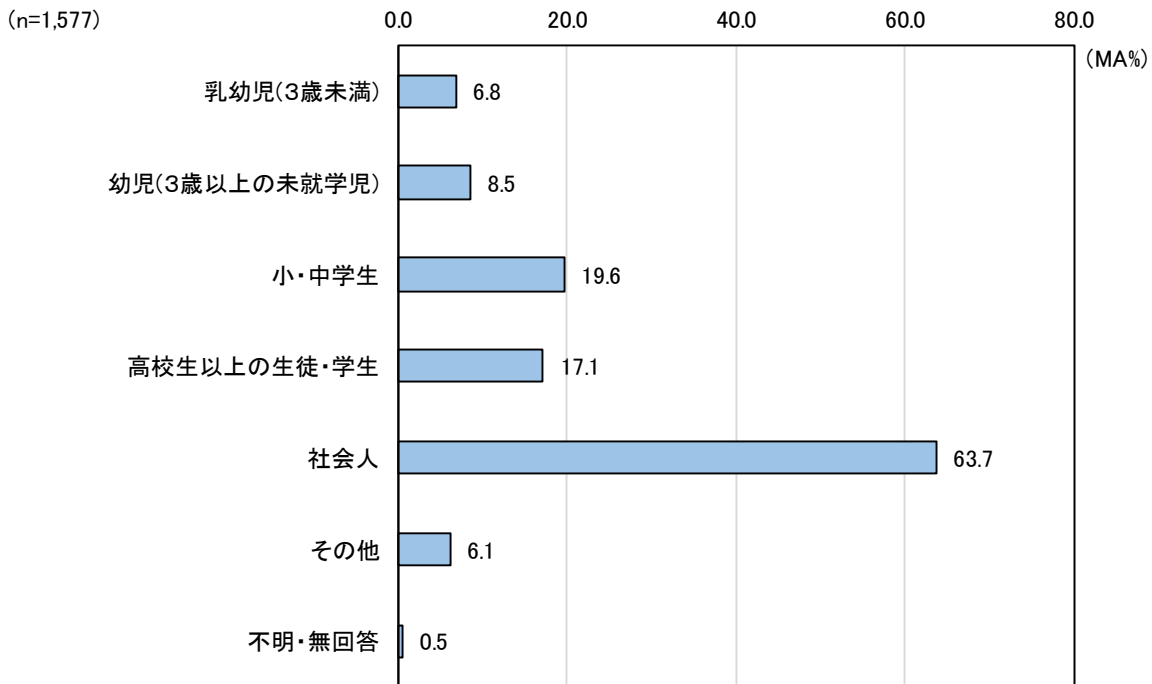
【図1-10 子どもの有無】



●子どもの有無については、「いる」が73.5%、「いない」が24.7%となっている。（図1-10）

(11) 子どもの年齢・人数

【図1-11 子どもの年齢・人数】



●子どもの年齢は、「社会人」が63.7%と最も高く、次いで、「小・中学生」が19.6%、「高校生以上の生徒・学生」が17.1%となっている。(図1-11)

●子どもの人数の内訳は、以下のとおりとなっている。(表1-11-1)

【表1-11-1 子どもの人数】

(件)

(n=1,577)	乳幼児 (3歳未満)	幼児 (3歳以上の 未就学児)	小・中学生	高校生以上の 生徒・学生	社会人	その他
合 計	107	134	309	270	1004	96
1 人	97	110	171	171	256	52
2 人	8	23	116	84	511	29
3 人以上	0	1	20	9	198	8
不明・無回答	2	0	2	6	39	7

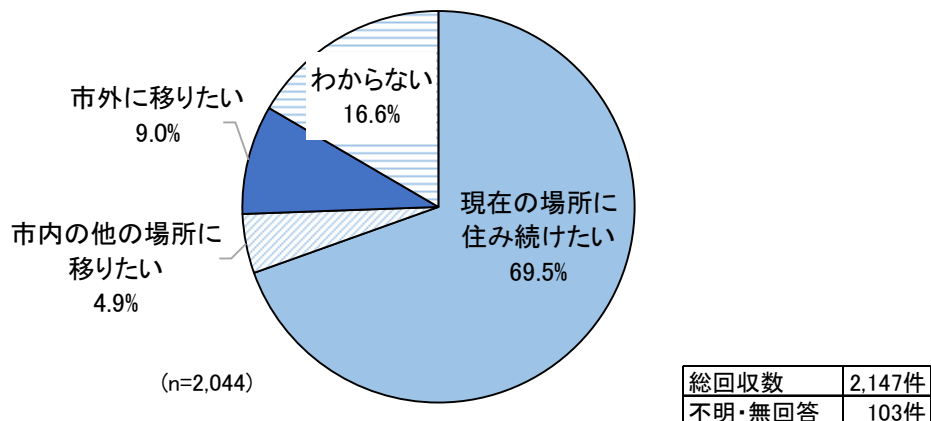
※複数回答のため、合計はサンプル数と一致しない

2. 定住意向とこのまち（加古川市）に対する誇りや愛着について

（1）定住意向

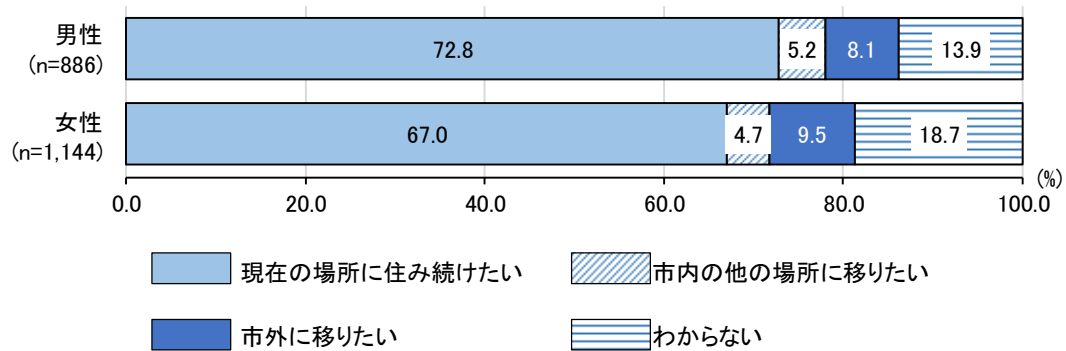
問2 あなたは、現在お住まいの場所にこれからも住みたいと思いますか（○は1つ）

【図2-1 定住意向】



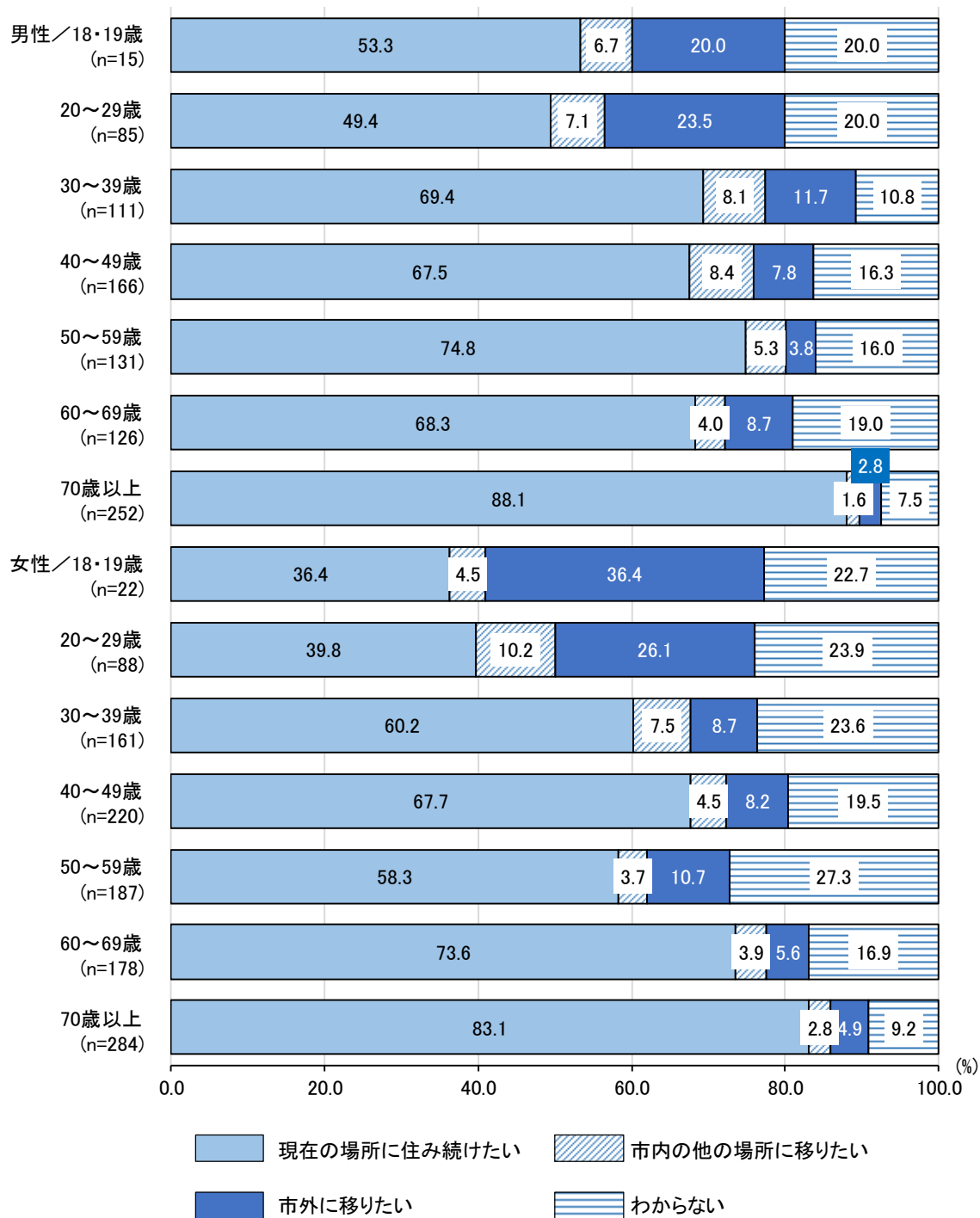
- 定住意向については、「現在の場所に住みたい」が69.5%と最も高く、次いで、「市外に移りたい」が9.0%、「市内の他の場所に移りたい」が4.9%となっている。（図2-1）
- 性別でみると、男女ともに「現在の場所に住みたい」が最も高く、男性では72.8%、女性では67.0%となっている。（図2-1-1）

【図2-1-1 性別 定住意向】



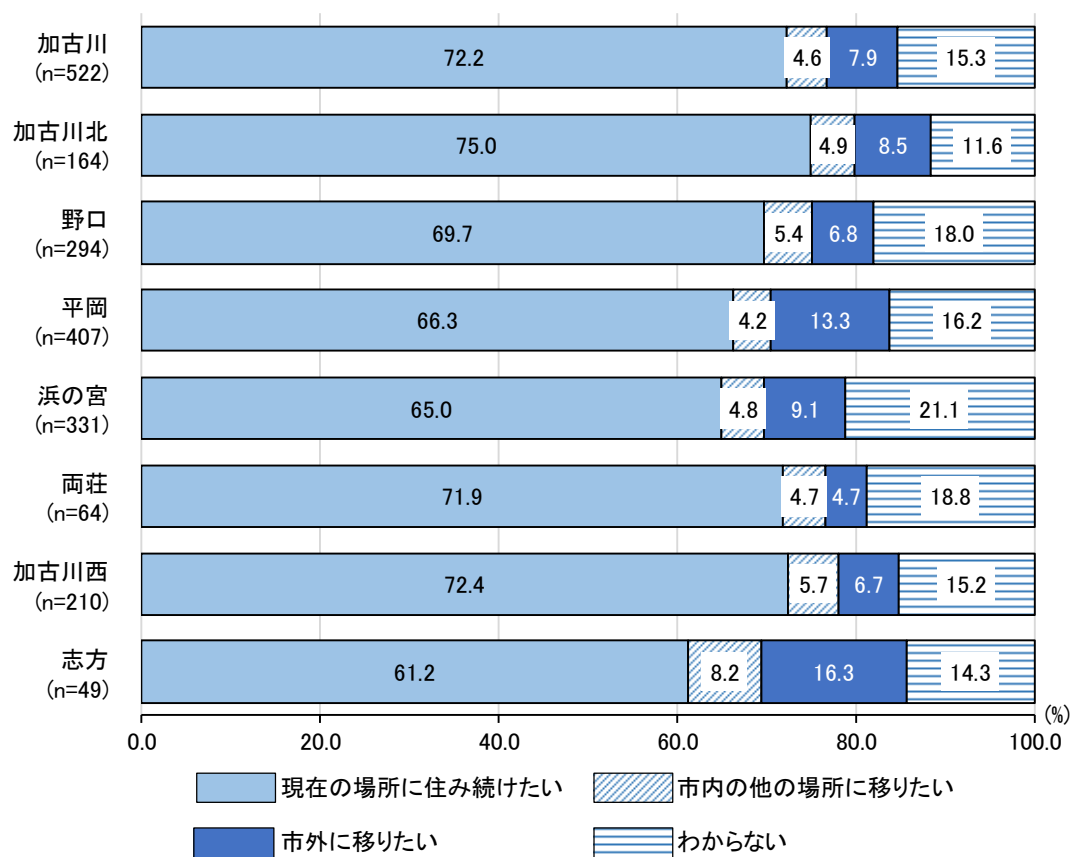
- 性年代別でみると、最も回答の多い「現在の場所に住み続けたい」は、「男性70歳以上」(88.1%)、「女性70歳以上」(83.1%)、「男性50～59歳」(74.8%) で高くなっている。(図2-1-2)

【図2-1-2 性年代別 定住意向】



- 居住地区別でみると、最も回答の多い「現在の場所に住み続けたい」は、「加古川北」(75.0%)、「加古川西」(72.4%)、「加古川」(72.2%) で高くなっている。(図2-1-3)

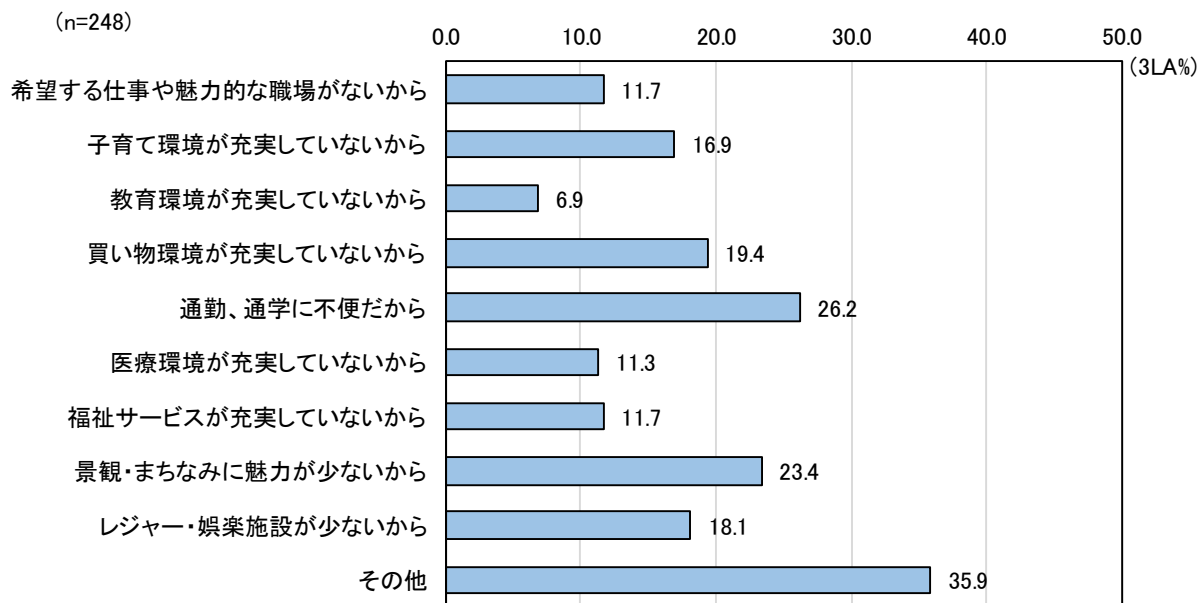
【図2-1-3 居住地区別 定住意向】



(2) 転居したい理由

問2-① 問2で「2. 市内の他の場所に移りたい」または「3. 市外に移りたい」を選ばれた方におたずねします。現在お住まいの場所から移りたいと思う理由は何ですか（〇は3つまで）

【図2-2 転居したい理由】

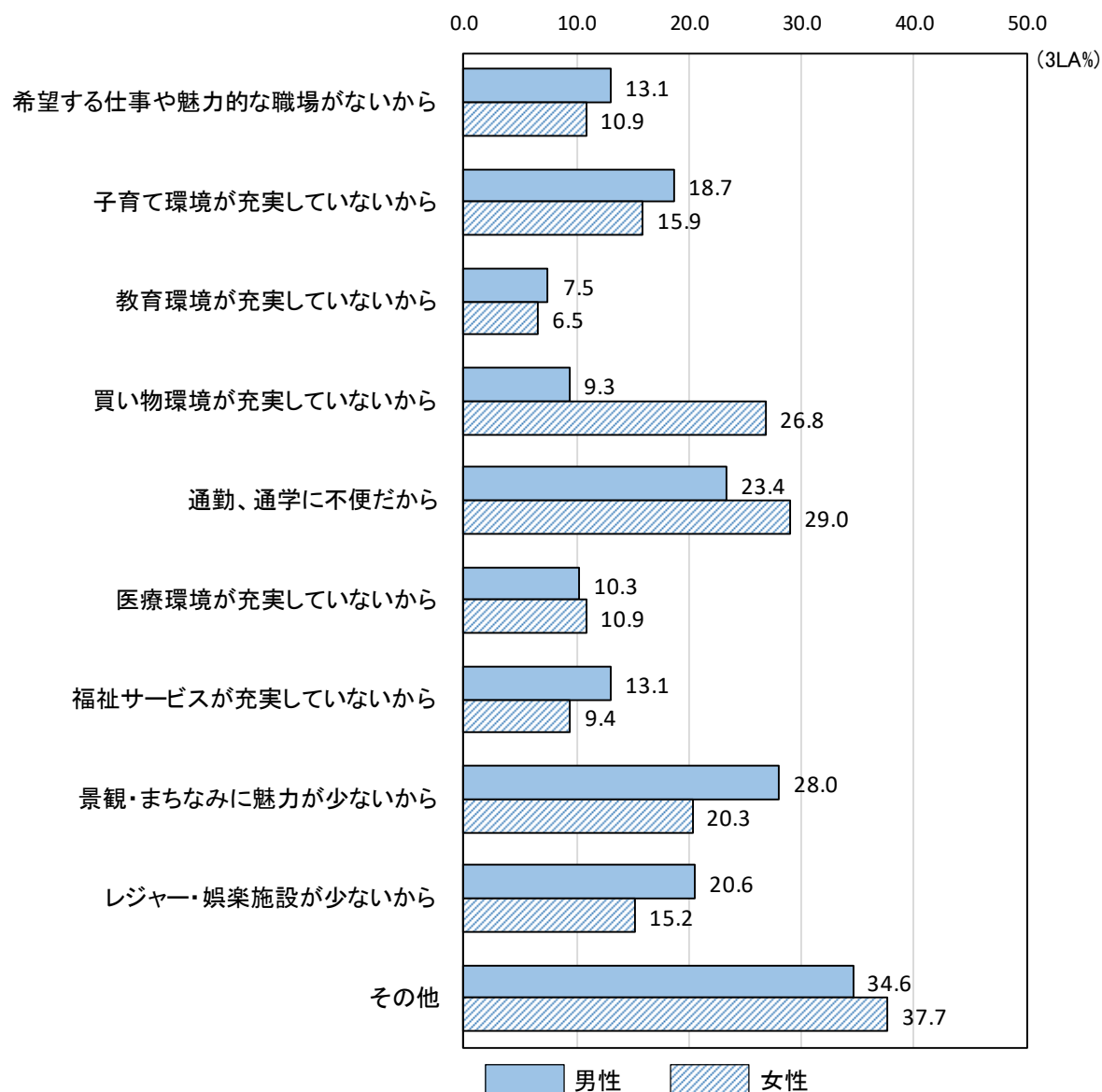


総回収数	284件
不明・無回答	36件

- 転居したいと回答した人の理由としては、「通勤、通学に不便だから」が26.2%と最も高く、次いで、「景観・まちなみに魅力が少ないから」が23.4%、「買い物環境が充実していないから」が19.4%となっている。（図2-2）

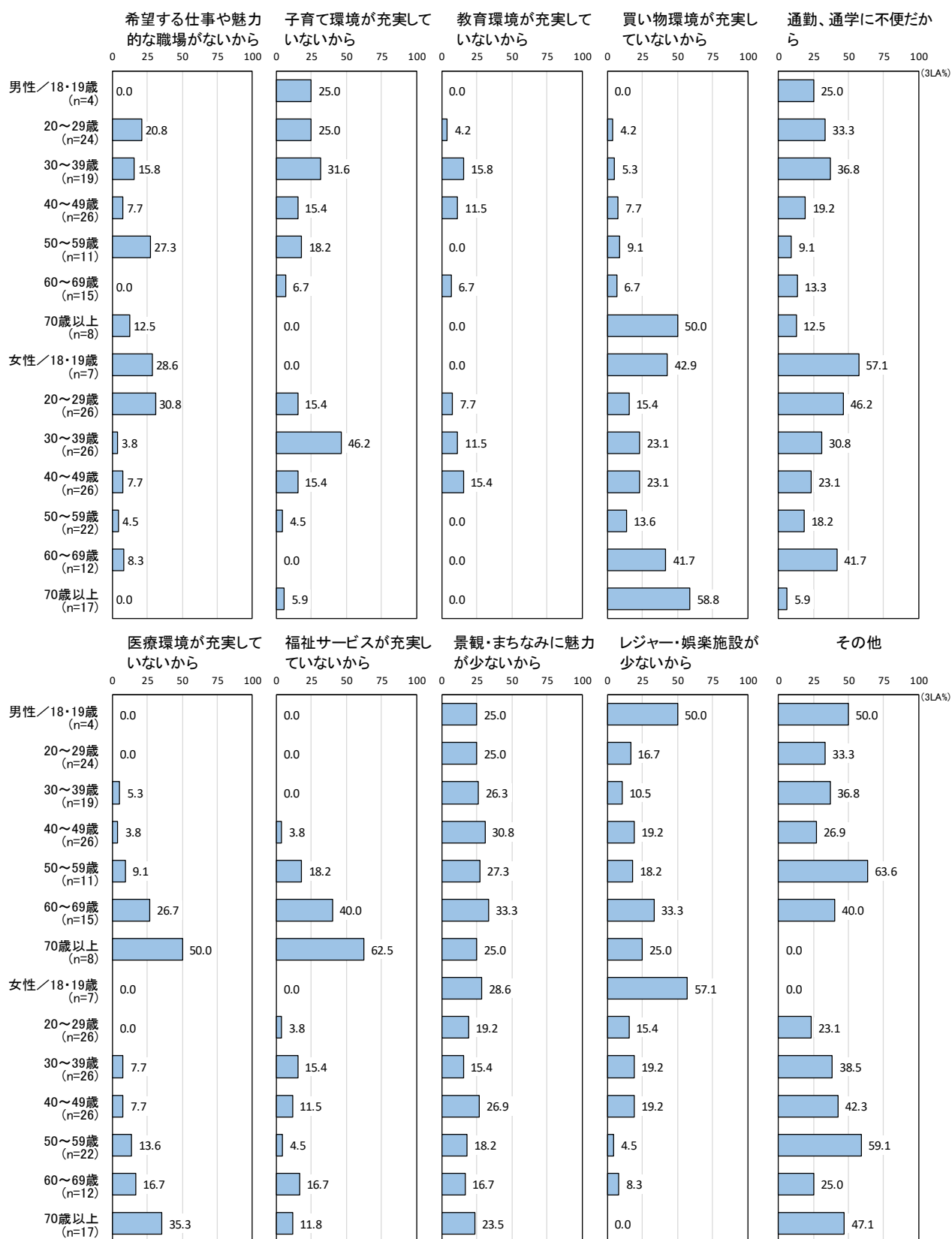
●性別でみると、男性では「景観・まちなみに魅力が少ないから」が28.0%、女性では「通勤、通学に不便だから」が29.0%でそれぞれ最も高くなっている。また、「買い物環境が充実していないから」は女性で26.8%と、男性より17.5ポイント高くなっている。(図2-2-1)

【図2-2-1 性別 転居したい理由】



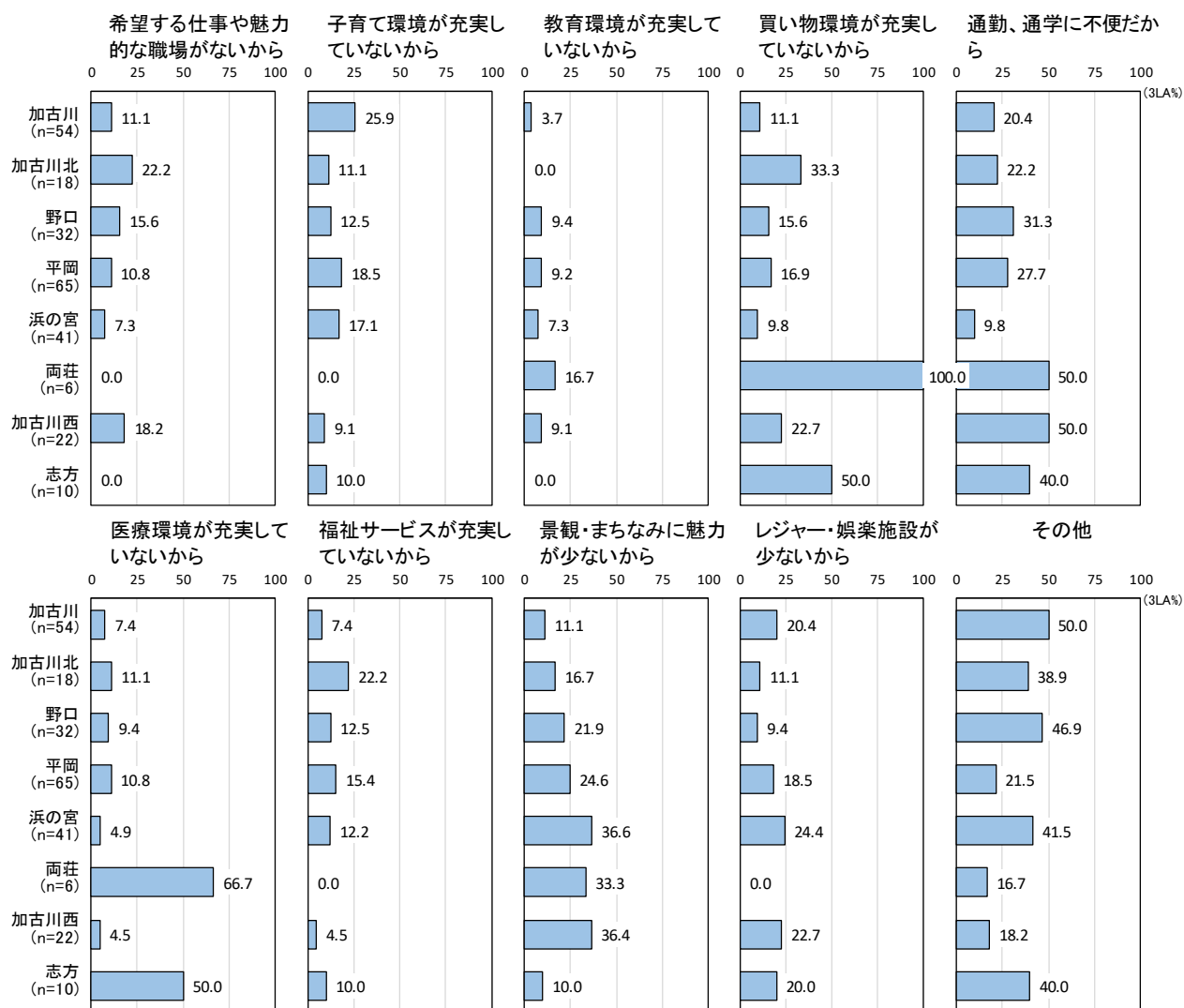
●性年代別でみると、最も回答の多い「通勤、通学に不便だから」は、「女性18・19歳」(57.1%)、「女性20～29歳」(46.2%)、「女性60～69歳」(41.7%) で高くなっている。(図2-2-2)

【図2-2-2 性年代別 転居したい理由】



●居住地区別でみると、最も回答の多い「通勤、通学に不便だから」は、「両荘」(50.0%)、「加古川西」(50.0%)、「志方」(40.0%) で高くなっている。(図2-2-3)

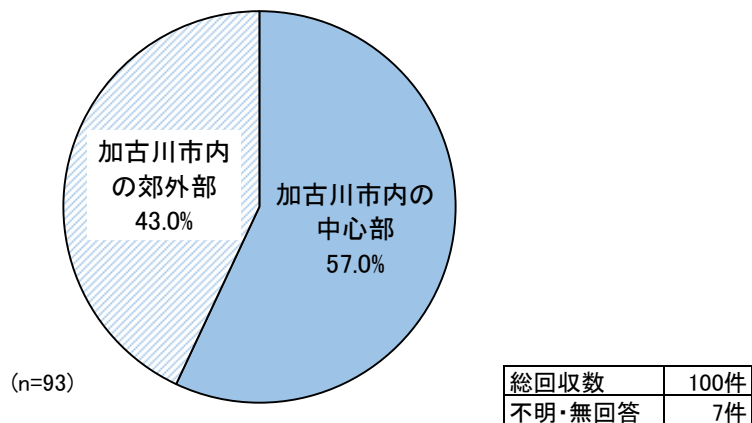
【図2-2-3 居住地区別 転居したい理由】



(3) 市内で希望する居住場所

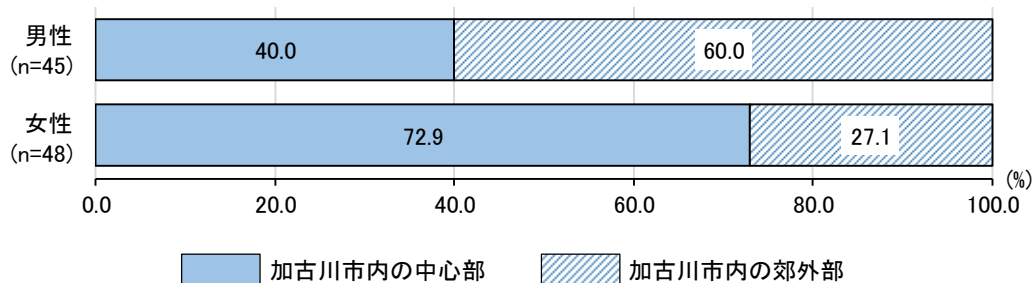
問2-② 問2で「2. 市内の他の場所に移りたい」を選ばれた方におたずねします。今後、どんな場所に住んでみたいと思いますか（○は1つ）

【図2-3 市内で希望する居住場所】



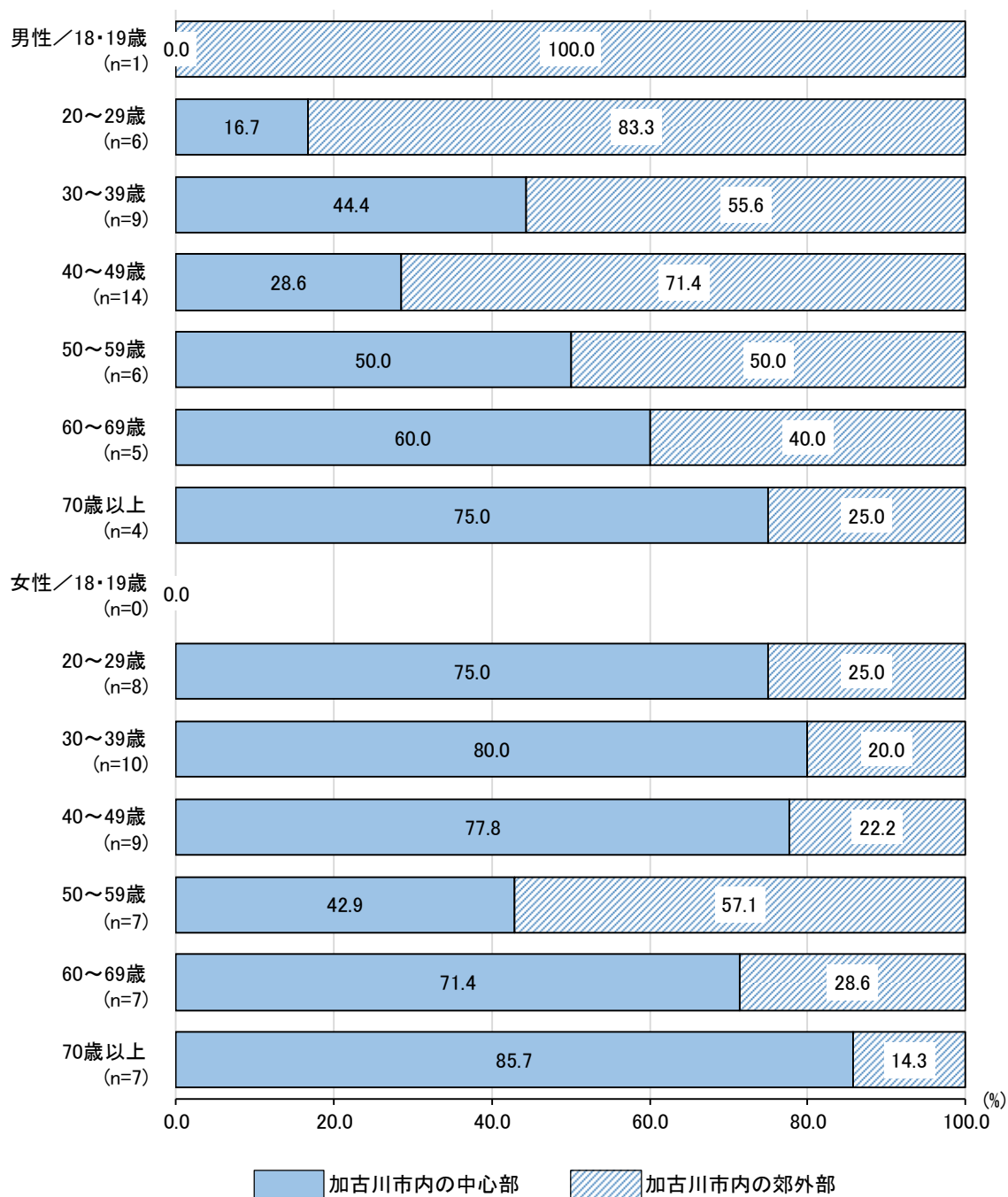
- 市内の他の場所に移りたいと回答した人の希望する居住場所としては、「加古川市内の中心部」が57.0%、「加古川市内の郊外部」が43.0%となっている。（図2-3）
- 性別でみると、男性では「加古川市内の郊外部」が60.0%、女性では「加古川市内の中心部」が72.9%で、それぞれ高くなっている。（図2-3-1）

【図2-3-1 性別 市内で希望する居住場所】



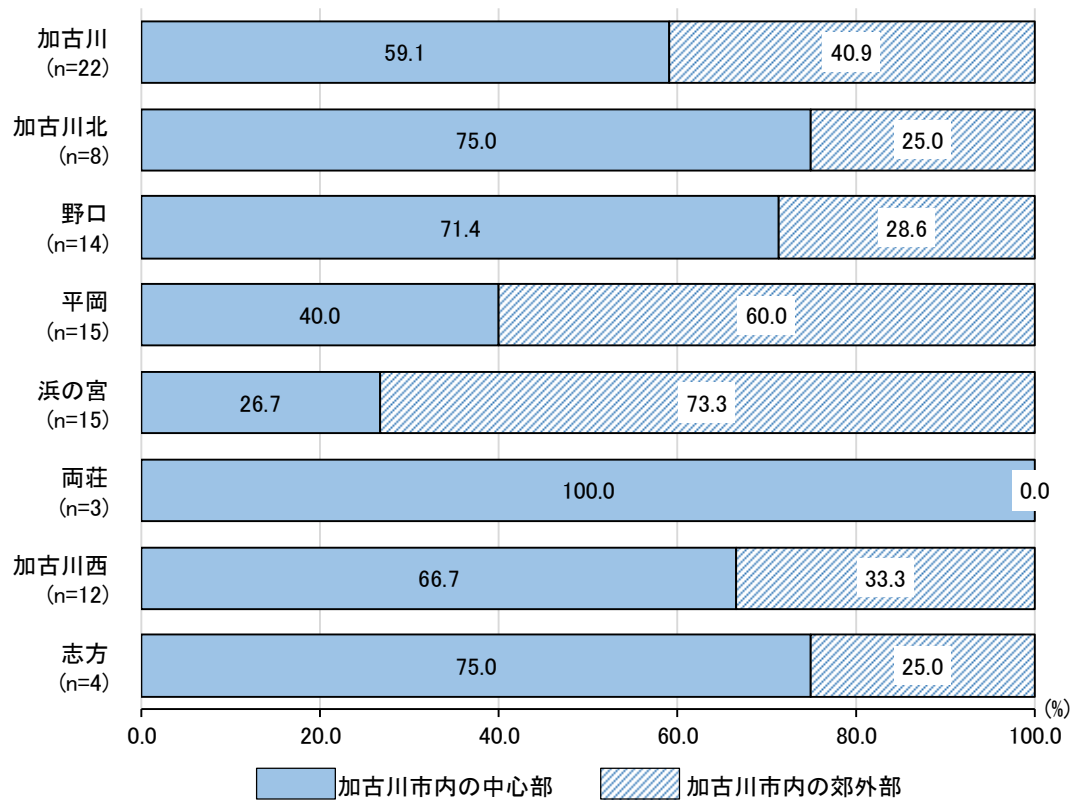
●性年代別でみると、「加古川市内の中心部」は、「女性70歳以上」(85.7%)、「女性30～39歳」(80.0%)、「女性40～49歳」(77.8%) で高くなっている。(図2-3-2)

【図2-3-2 性別 市内で希望する居住場所】



- 居住地区別でみると、「加古川市内の中心部」は、「両荘」(100.0%)、「加古川北」(75.0%)、「志方」(75.0%)で高くなっている。(図2-3-3)

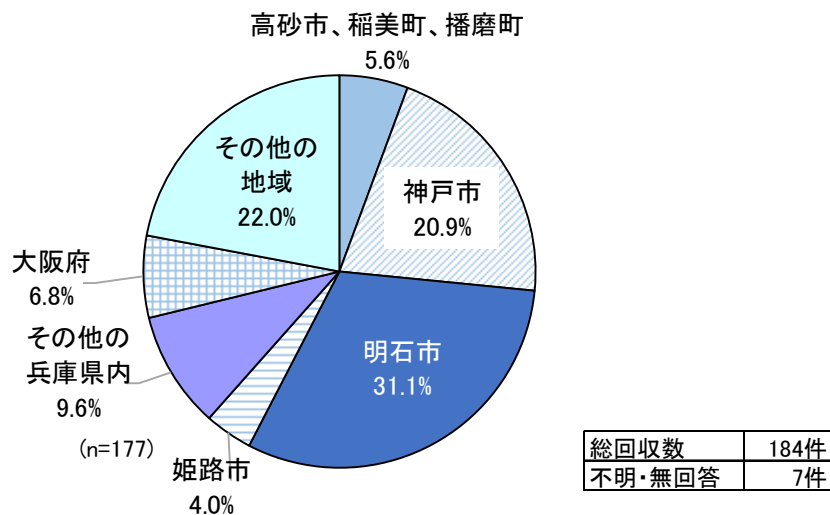
【図2-3-3 居住地区別 市内で希望する居住場所】



(4) 市外で希望する居住場所

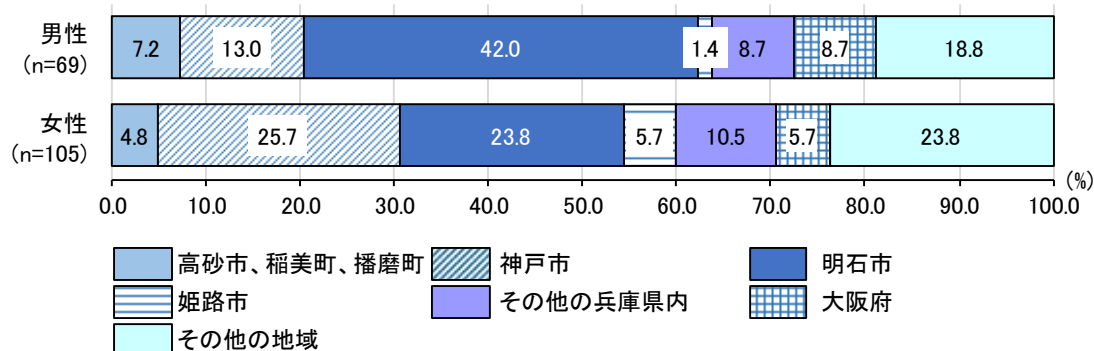
問2-③ 問2で「3. 市外に移りたい」を選ばれた方におたずねします。今後、どんな場所に住んでみたいと思いますか（○は1つ）

【図2-4 市外で希望する居住場所】



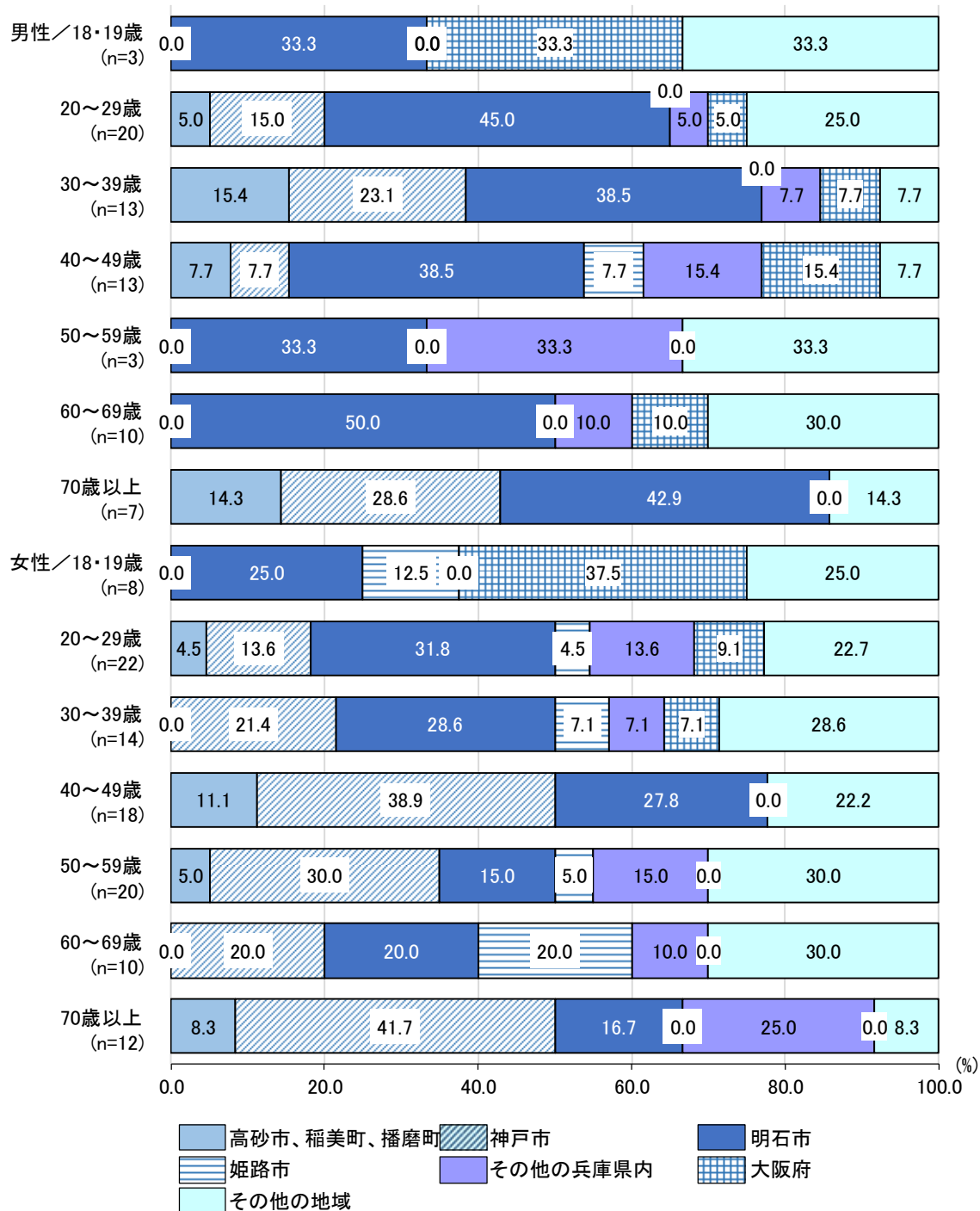
- 市外に移りたいと回答した人の市外で希望する居住場所としては、「明石市」が31.1%と最も高く、次いで、「神戸市」が20.9%、「その他の地域」が22.0%となっている。（図2-4）
- 性別でみると、男性では「明石市」が42.0%、女性では「神戸市」が25.7%で、それぞれ最も高くなっている。また、「神戸市」は男性より女性のほうが12.7ポイント高く、「明石市」は女性より男性のほうが18.2ポイント高くなっている。（図2-4-1）

【図2-4-1 性別 市外で希望する居住場所】



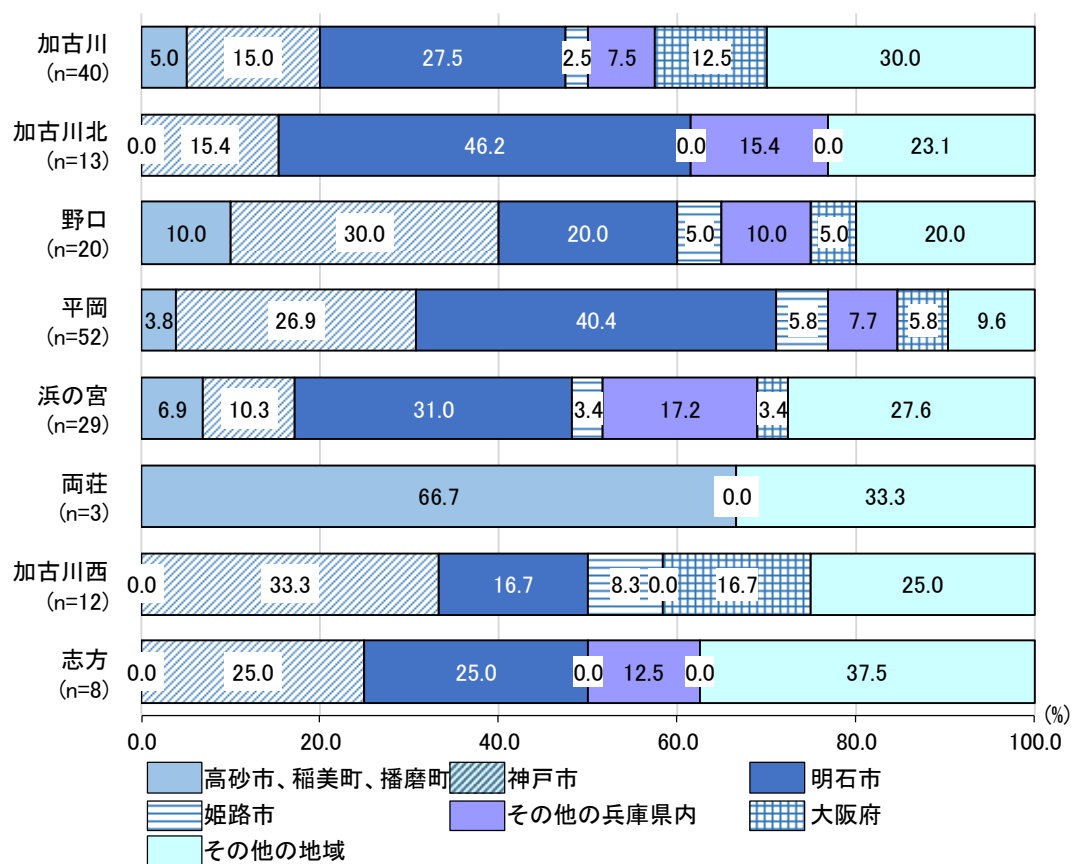
●性年代別でみると、最も回答の多い「明石市」は、「男性60～69歳」(50.0%)、「男性20～29歳」(45.0%)、「男性70歳以上」(42.9%) で高くなっている。(図2-4-2)

【図2-4-2 性年代別 市外で希望する居住場所】



- 居住地区別でみると、最も回答の多い「明石市」は、「加古川北」(46.2%)、「平岡」(40.4%)、「浜の宮」(31.0%) で高くなっている。(図2-4-3)

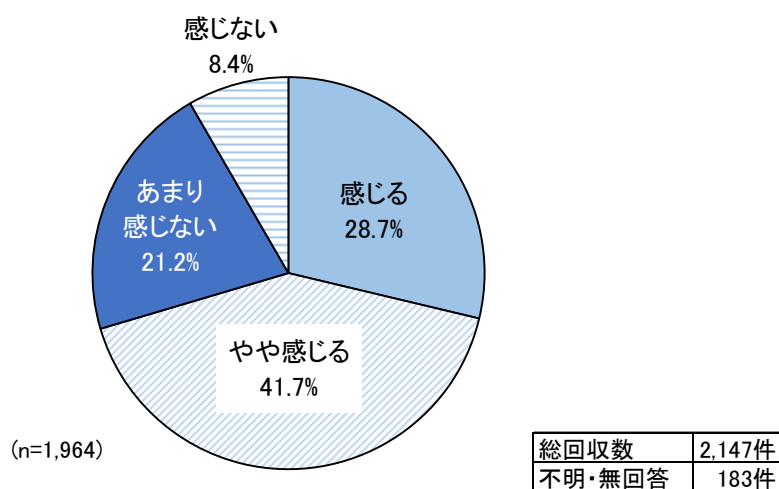
【図2-4-3 居住地区別 市外で希望する居住場所】



(5) このまち（加古川市）に対する誇りや愛着の程度

問3 あなたは、このまち（加古川市）に、誇りや愛着を感じていますか（○は1つ）

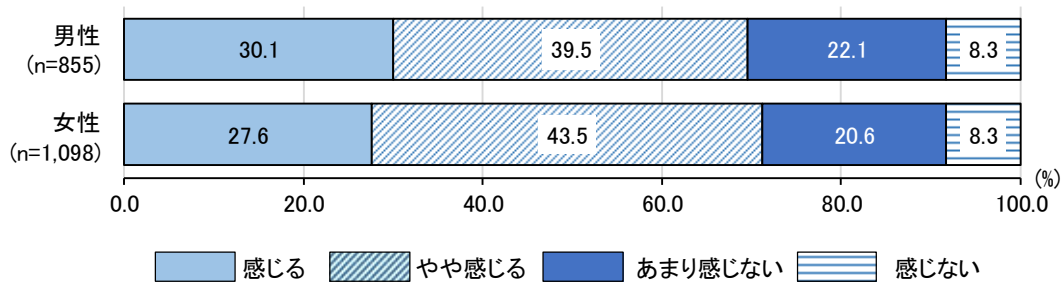
【図2-5 このまち（加古川市）に対する誇りや愛着の程度】



●市や居住地に、誇りや愛着を感じているかについては、「感じる」と「やや感じる」を合わせた『感じる』が70.4%、「感じない」と「あまり感じない」を合わせた『感じない』が29.6%となっている。（図2-5）

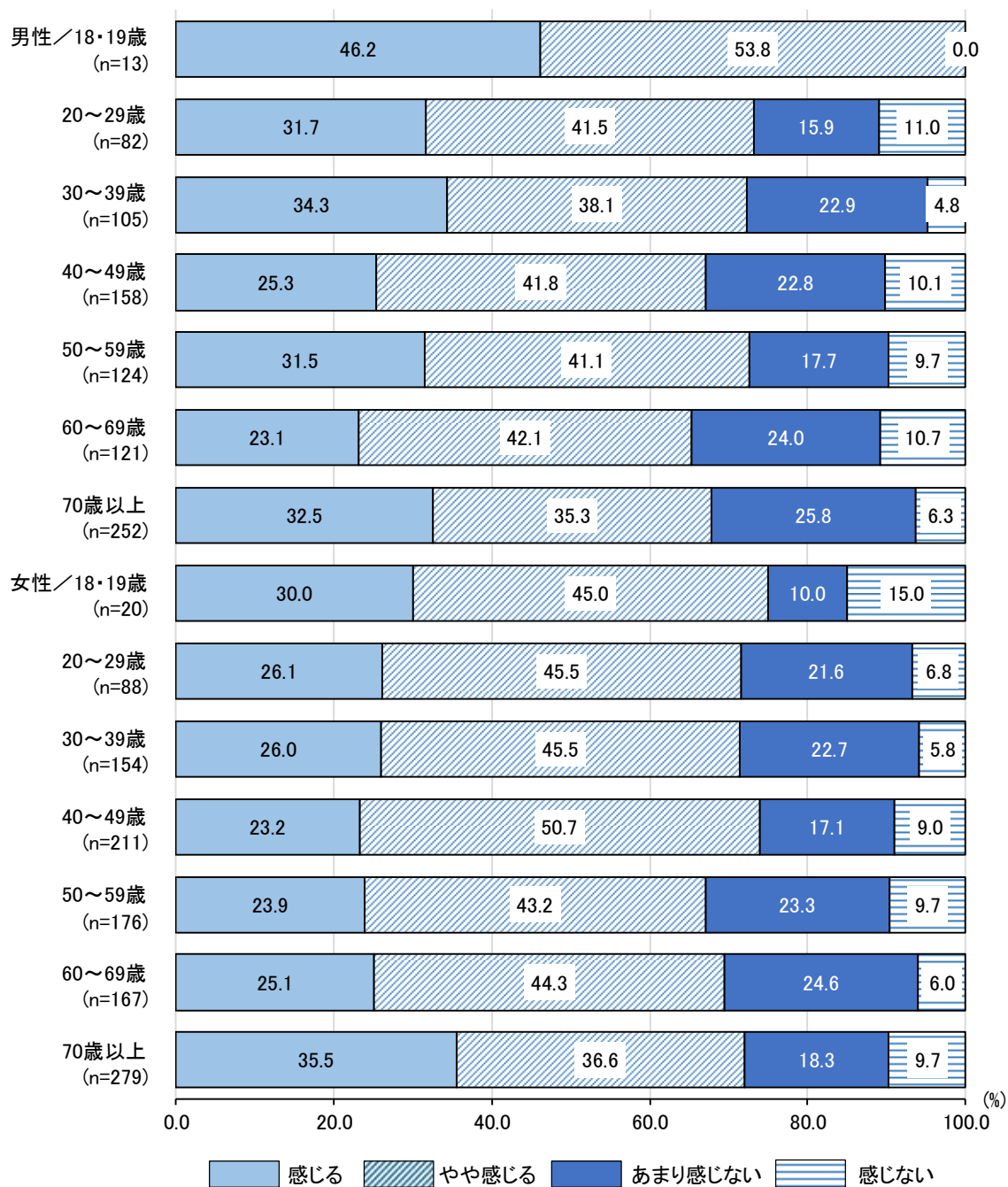
●性別でみると、男女ともに『感じる』が高く、男性では69.6%、女性では71.1%となっている。（図2-5-1）

【図2-5-1 性別 このまち（加古川市）に対する誇りや愛着の程度】



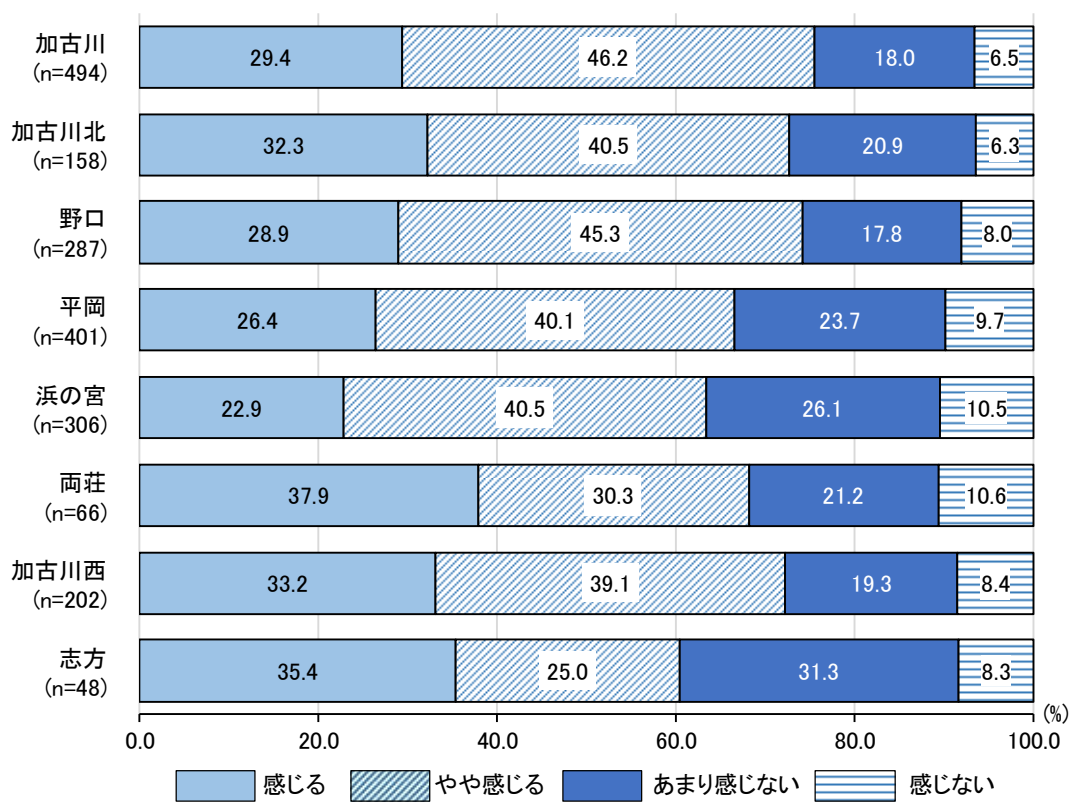
●性年代別でみると、『感じる』は、「男性18・19歳」（100.0%）、「女性18・19歳」（75.0%）、「女性40～49歳」（73.9%）で高くなっている。（図2-5-2）

【図2-5-2 性年代別 このまち（加古川市）に対する誇りや愛着の程度】



●居住地区別でみると、『感じる』は、「加古川」(75.6%)、「野口」(74.2%)、「加古川北」(72.8%)で高くなっている。(図2-5-3)

【図2-5-3 居住地区別 このまち（加古川市）に対する誇りや愛着の程度】



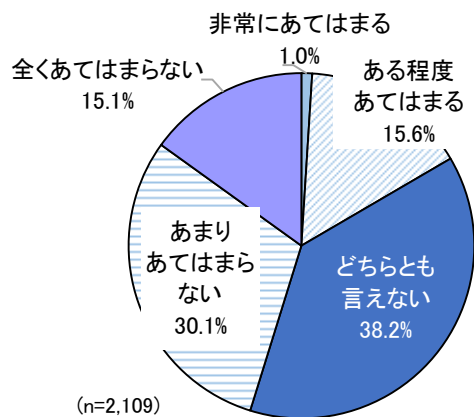
3. 「心ゆたかな暮らし」について

(1) 地域生活のWell-Being

問4 以下の①～④について、あなたの主観で、あてはまるものを1つずつ選んで番号に○をつけてください

①暮らしている地域は、文化・芸術・芸能が盛んで誇らしい

【図3-1-1】

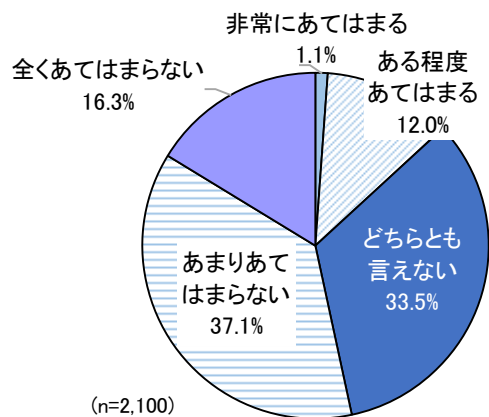


総回収数	2,147件
不明・無回答	38件

- 「非常にあてはまる」と「ある程度あてはまる」を合わせた『あてはまる』が16.6%、「あまりあてはまらない」と「全くあてはまらない」を合わせた『あてはまらない』が45.2%となっている。(図3-1-1)

②暮らしている地域では、新たな発見や刺激が得られる

【図3-1-2】

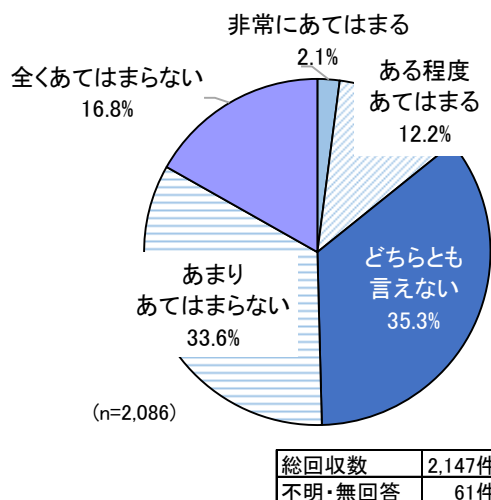


総回収数	2,147件
不明・無回答	47件

- 「非常にあてはまる」と「ある程度あてはまる」を合わせた『あてはまる』が13.1%、「あまりあてはまらない」と「全くあてはまらない」を合わせた『あてはまらない』が53.4%となっている。(図3-1-2)

③暮らしている地域には、新たな事に挑戦・成長するための機会がある

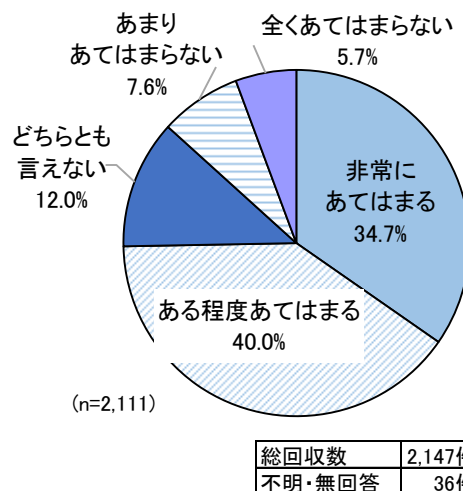
【図3-1-3】



- 「非常にあてはまる」と「ある程度あてはまる」を合わせた『あてはまる』が14.3%、「あまりあてはまらない」と「全くあてはまらない」を合わせた『あてはまらない』が50.4%となっている。(図3-1-3)

④暮らしている地域は、日常の買い物にまったく不便がない

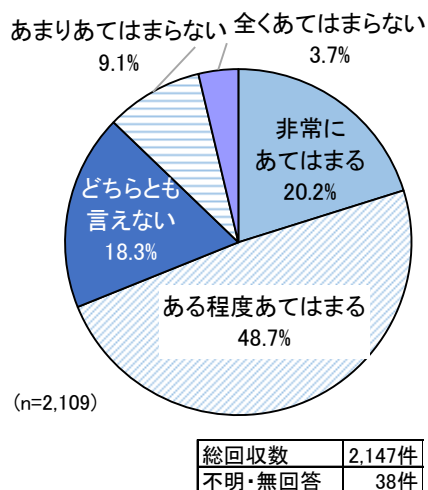
【図3-1-4】



- 「非常にあてはまる」と「ある程度あてはまる」を合わせた『あてはまる』が74.7%、「あまりあてはまらない」と「全くあてはまらない」を合わせた『あてはまらない』が13.3%となっている。(図3-1-4)

⑤暮らしている地域は、医療機関が充実している

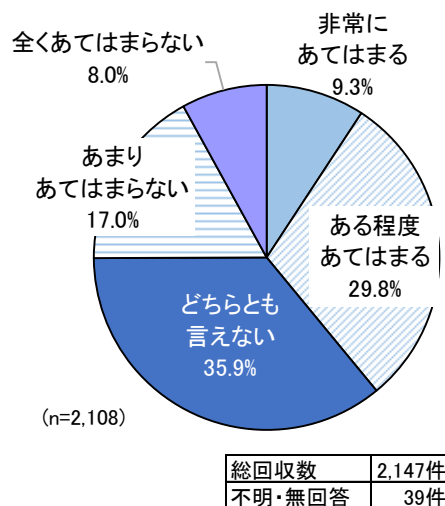
【図3-1-5】



- 「非常にあてはまる」と「ある程度あてはまる」を合わせた『あてはまる』が68.9%、「あまりあてはまらない」と「全くあてはまらない」を合わせた『あてはまらない』が12.8%となっている。(図3-1-5)

⑥暮らしている地域の公共施設は使い勝手がよく便利である

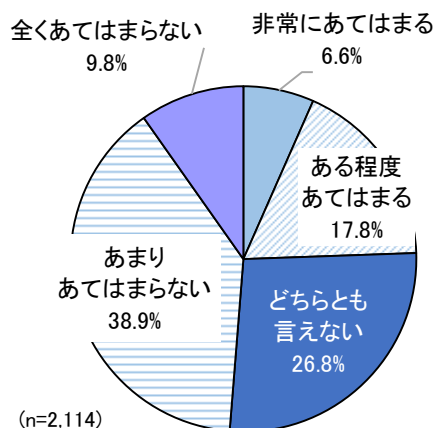
【図3-1-6】



- 「非常にあてはまる」と「ある程度あてはまる」を合わせた『あてはまる』が39.1%、「あまりあてはまらない」と「全くあてはまらない」を合わせた『あてはまらない』が25.0%となっている。(図3-1-6)

⑦暮らしている地域は、ゴミ出しや生活ルールを守らない人が多い

【図3-1-7】

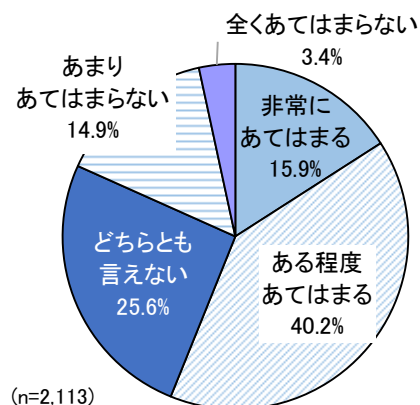


総回収数	2,147件
不明・無回答	33件

- 「非常にあてはまる」と「ある程度あてはまる」を合わせた『あてはまる』が24.4%、「あまりあてはまらない」と「全くあてはまらない」を合わせた『あてはまらない』が48.7%となっている。(図3-1-7)

⑧暮らしている地域では、身近に自然を感じることができる

【図3-1-8】

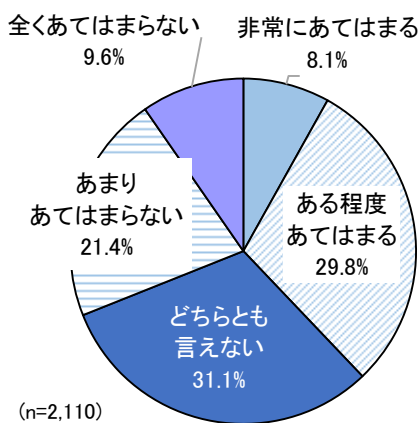


総回収数	2,147件
不明・無回答	34件

- 「非常にあてはまる」と「ある程度あてはまる」を合わせた『あてはまる』が56.1%、「あまりあてはまらない」と「全くあてはまらない」を合わせた『あてはまらない』が18.3%となっている。(図3-1-8)

⑨暮らしている地域の空気や水は澄んでいてきれいだと感じる

【図3-1-9】

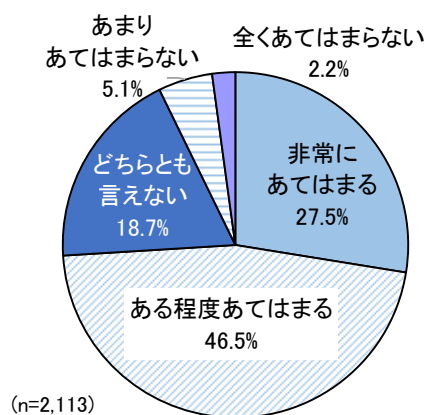


総回収数	2,147件
不明・無回答	37件

- 「非常にあてはまる」と「ある程度あてはまる」を合わせた『あてはまる』が37.9%、「あまりあてはまらない」と「全くあてはまらない」を合わせた『あてはまらない』が31.0%となっている。(図3-1-9)

⑩自宅には、心地のいい居場所がある

【図3-1-10】

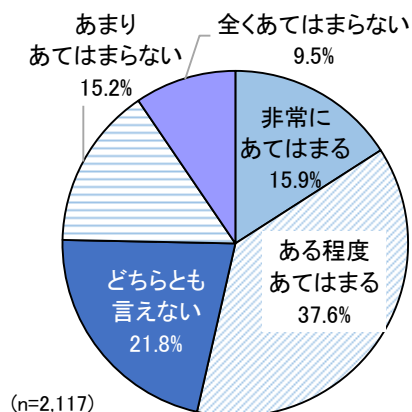


総回収数	2,147件
不明・無回答	34件

- 「非常にあてはまる」と「ある程度あてはまる」を合わせた『あてはまる』が74.0%、「あまりあてはまらない」と「全くあてはまらない」を合わせた『あてはまらない』が7.3%となっている。(図3-1-10)

⑪暮らしている地域には、気の合う仲間や知り合いがいる

【図3-1-11】

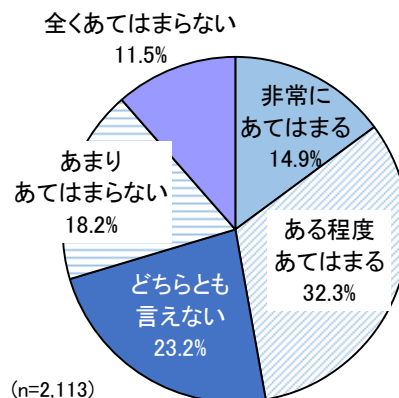


総回収数	2,147件
不明・無回答	30件

- 「非常にあてはまる」と「ある程度あてはまる」を合わせた『あてはまる』が53.5%、「あまりあてはまらない」と「全くあてはまらない」を合わせた『あてはまらない』が24.7%となっている。(図3-1-11)

⑫暮らしている地域には、困ったときに相談できる人が身近にいる

【図3-1-12】

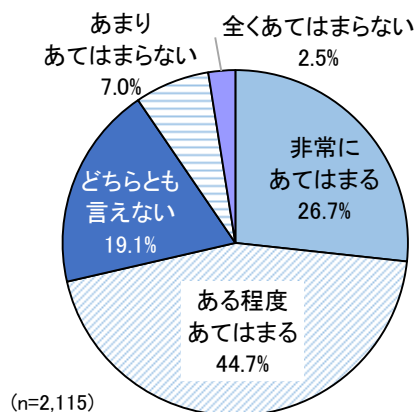


総回収数	2,147件
不明・無回答	34件

- 「非常にあてはまる」と「ある程度あてはまる」を合わせた『あてはまる』が47.2%、「あまりあてはまらない」と「全くあてはまらない」を合わせた『あてはまらない』が29.7%となっている。(図3-1-12)

⑬私は、精神的に健康な状態である

【図3-1-13】

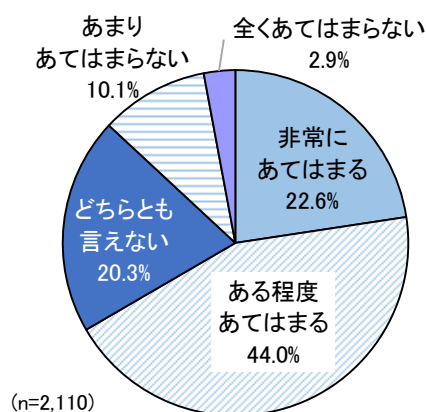


総回収数	2,147件
不明・無回答	32件

- 「非常にあてはまる」と「ある程度あてはまる」を合わせた『あてはまる』が71.4%、「あまりあてはまらない」と「全くあてはまらない」を合わせた『あてはまらない』が9.5%となっている。(図3-1-13)

⑭私は、身体的に健康な状態である

【図3-1-14】

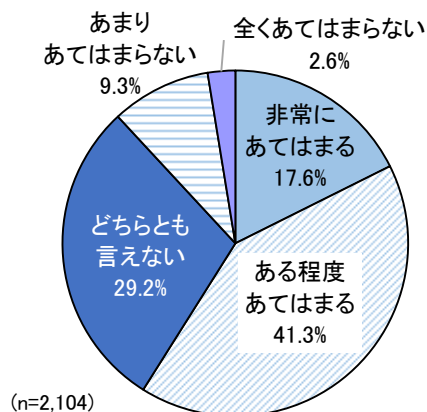


総回収数	2,147件
不明・無回答	37件

- 「非常にあてはまる」と「ある程度あてはまる」を合わせた『あてはまる』が66.6%、「あまりあてはまらない」と「全くあてはまらない」を合わせた『あてはまらない』が13.0%となっている。(図3-1-14)

⑮私は、日々の生活において、笑うことが多い

【図3-1-15】

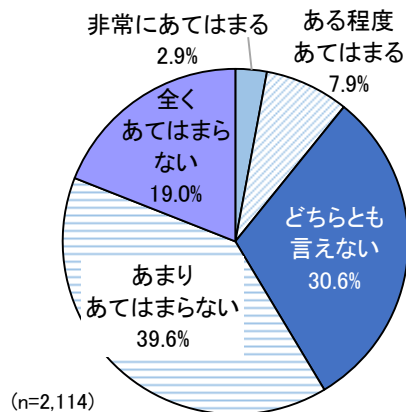


総回収数	2,147件
不明・無回答	43件

- 「非常にあてはまる」と「ある程度あてはまる」を合わせた『あてはまる』が58.9%、「あまりあてはまらない」と「全くあてはまらない」を合わせた『あてはまらない』が11.9%となっている。(図3-1-15)

⑯暮らしている地域では、住民同士が過干渉でしがらみが多い

【図3-1-16】

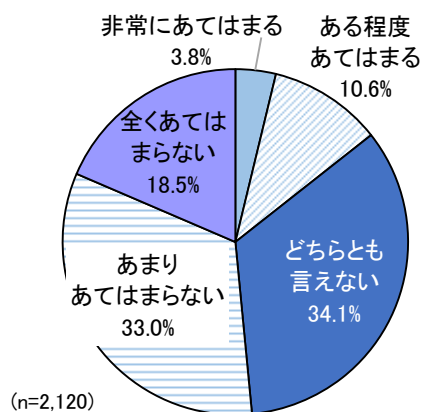


総回収数	2,147件
不明・無回答	33件

- 「非常にあてはまる」と「ある程度あてはまる」を合わせた『あてはまる』が10.8%、「あまりあてはまらない」と「全くあてはまらない」を合わせた『あてはまらない』が58.6%となっている。(図3-1-16)

⑰暮らしている地域では、少しでも変わった事をするのとやかく言われる

【図3-1-17】

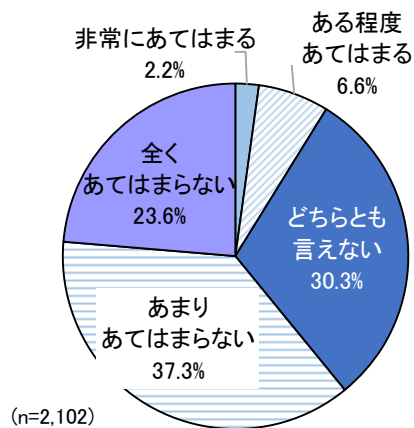


総回収数	2,147件
不明・無回答	27件

- 「非常にあてはまる」と「ある程度あてはまる」を合わせた『あてはまる』が14.4%、「あまりあてはまらない」と「全くあてはまらない」を合わせた『あてはまらない』が51.5%となっている。(図3-1-17)

⑱暮らしている地域の住民は、地域外から来た人には疑いの目を向ける

【図3-1-18】

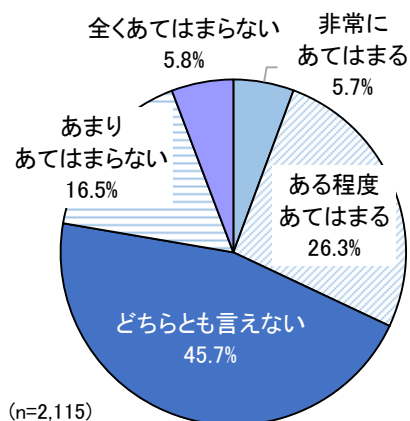


総回収数	2,147件
不明・無回答	45件

- 「非常にあてはまる」と「ある程度あてはまる」を合わせた『あてはまる』が8.8%、「あまりあてはまらない」と「全くあてはまらない」を合わせた『あてはまらない』が60.9%となっている。(図3-1-18)

⑱ 自宅近辺の街並みは、私の好みに合っている

【図3-1-19】

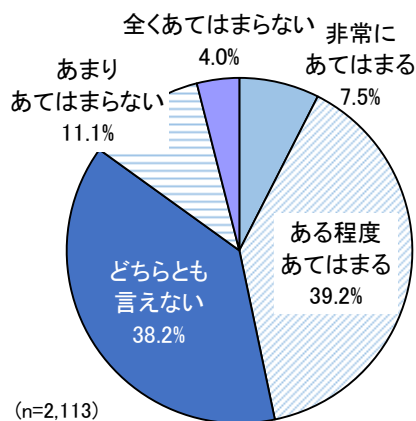


総回収数	2,147件
不明・無回答	32件

- 「非常にあてはまる」と「ある程度あてはまる」を合わせた『あてはまる』が32.0%、「あまりあてはまらない」と「全くあてはまらない」を合わせた『あてはまらない』が22.3%となっている。(図3-1-19)

⑳ 暮らしている地域の雰囲気は、自分にとって心地よい

【図3-1-20】

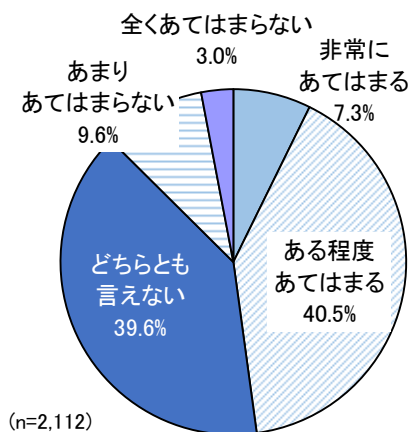


総回収数	2,147件
不明・無回答	34件

- 「非常にあてはまる」と「ある程度あてはまる」を合わせた『あてはまる』が46.7%、「あまりあてはまらない」と「全くあてはまらない」を合わせた『あてはまらない』が15.1%となっている。(図3-1-20)

㉑ 暮らしている地域の時間の流れ方は、自分に合っている気がする

【図3-1-21】



総回収数	2,147件
不明・無回答	35件

- 「非常にあてはまる」と「ある程度あてはまる」を合わせた『あてはまる』が47.8%、「あまりあてはまらない」と「全くあてはまらない」を合わせた『あてはまらない』が12.6%となっている。(図3-1-21)

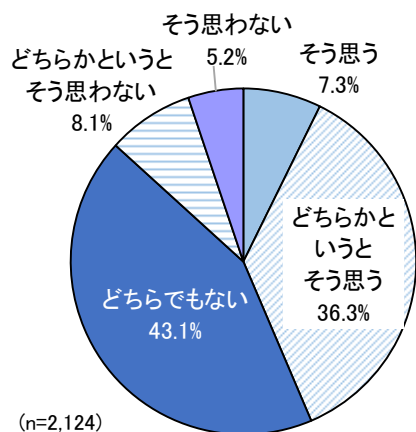
(2) 協調的幸福 I

問5 以下の①～⑥について、あなたの主観で、あてはまるものを1つずつ選んで番号に○をつけてください

①私は同じ町内（集落）に住む人たちを信頼している

②町内（集落）に住む人たちは、基本的に誠実に振る舞う

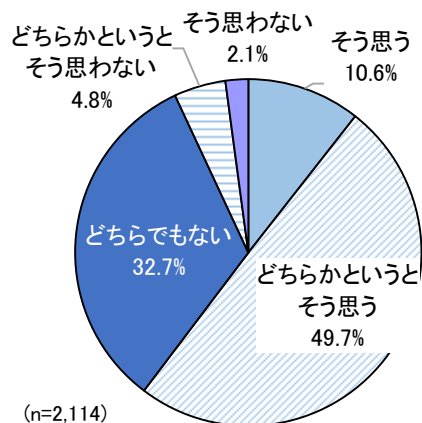
【図3-2-1】



総回収数	2,147件
不明・無回答	23件

- 「そう思う」と「どちらかというと思う」を合わせた『そう思う』が43.6%、「どちらかというと思わない」と「そう思わない」を合わせた『そう思わない』が13.3%となっている。（図3-2-1）

【図3-2-2】

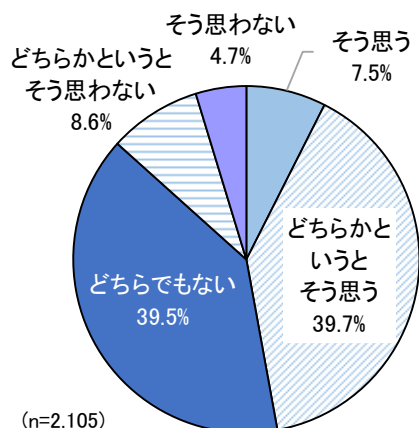


総回収数	2,147件
不明・無回答	33件

- 「そう思う」と「どちらかというと思う」を合わせた『そう思う』が60.3%、「どちらかというと思わない」と「そう思わない」を合わせた『そう思わない』が6.9%となっている。（図3-2-2）

③私は自分の地域の役所が行う仕事を信頼している

【図3-2-3】

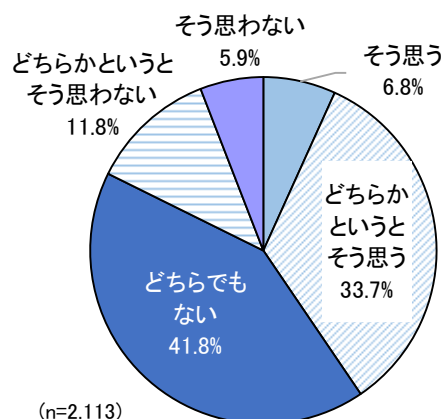


総回収数	2,147件
不明・無回答	42件

- 「そう思う」と「どちらかというと思う」を合わせた『そう思う』が47.2%、「どちらかというと思う」と「そう思わない」を合わせた『そう思わない』が13.3%となっている。(図3-2-3)

④お世話になった町内（集落）の人の頼みを断ってはいけないと思う

【図3-2-4】

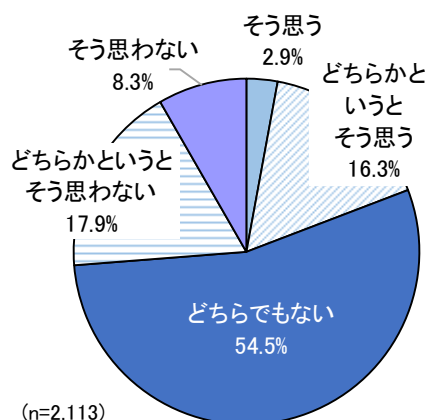


総回収数	2,147件
不明・無回答	34件

- 「そう思う」と「どちらかというと思う」を合わせた『そう思う』が40.5%、「どちらかというと思う」と「そう思わない」を合わせた『そう思わない』が17.7%となっている。(図3-2-4)

⑤この町内（集落）には互いの役に立つことを求める雰囲気がある

【図3-2-5】

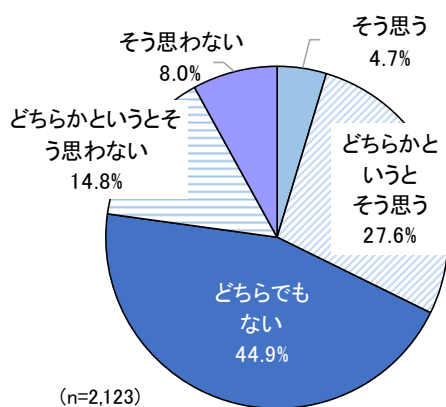


総回収数	2,147件
不明・無回答	34件

- 「そう思う」と「どちらかというと思う」を合わせた『そう思う』が19.2%、「どちらかというと思う」と「そう思わない」を合わせた『そう思わない』が26.2%となっている。(図3-2-5)

⑥この町内（集落）には、いざという時に助け合う雰囲気がある

【図3-2-6】



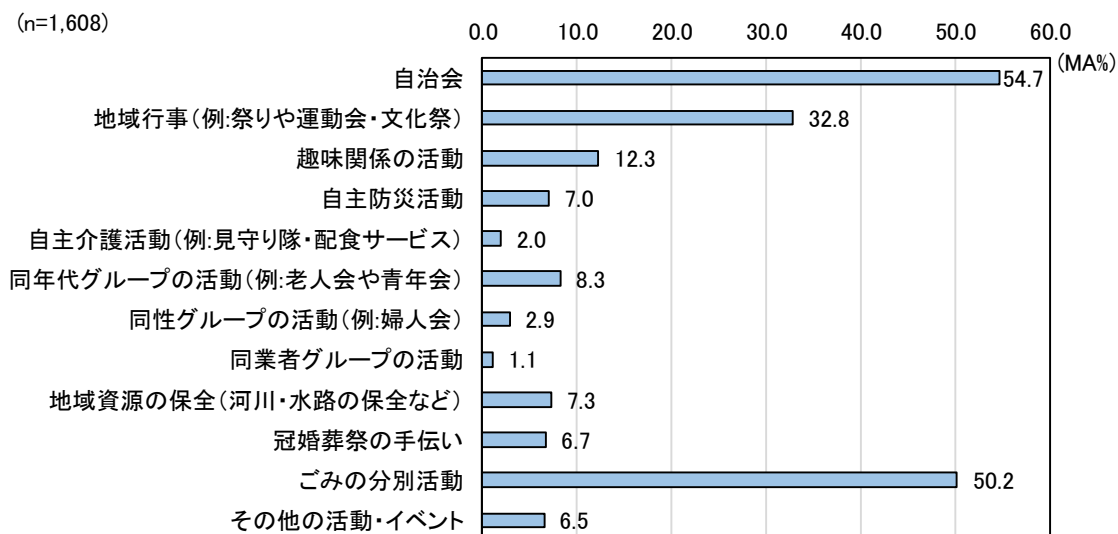
総回収数	2,147件
不明・無回答	24件

- 「そう思う」と「どちらかというと思う」を合わせた『そう思う』が32.3%、「どちらかというと思う」と「そう思わない」を合わせた『そう思わない』が22.8%となっている。(図3-2-6)

(3) 協調的幸福Ⅱ

問6 あなたの住んでいる町内（集落）における活動のうち、あなたが通常参加しているものすべてに○をつけてください

【図3-3 町内（集落）の活動への参加状況】



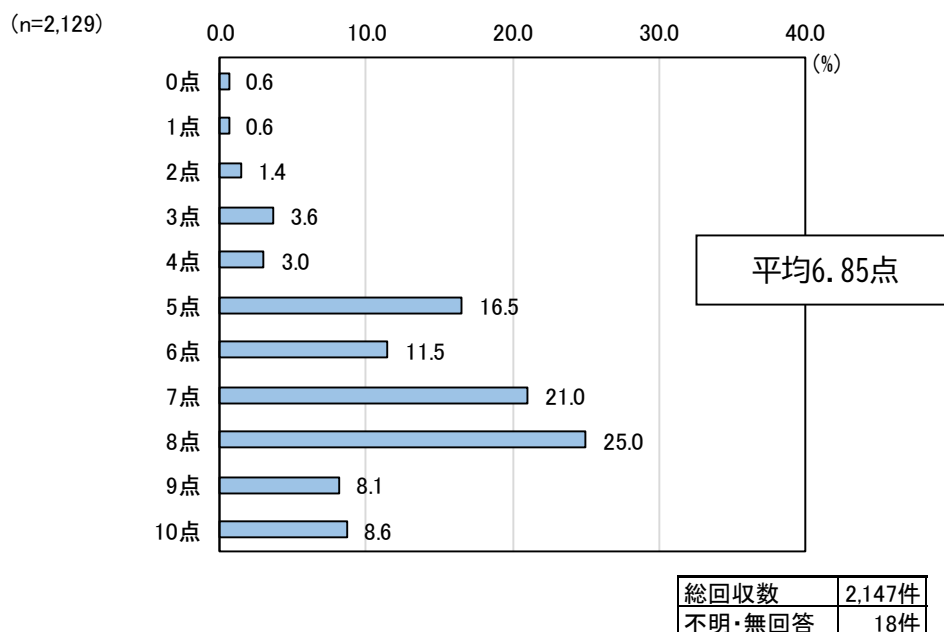
総回収数	2,147件
不明・無回答	539件

- 住んでいる町内（集落）における活動のうち、通常参加しているものについては、「自治会」が54.7%と最も高く、次いで、「ごみの分別活動」が50.2%、「地域行事」が32.8%となっている。
(図3-3)

(4) 協調的幸福Ⅲ

問7 現在、あなたはどの程度幸せですか。「とても幸せ」を10点、「とても不幸」を0点とすると、何点くらいになると思いますか。あてはまる点数を1つ選んで○をつけてください

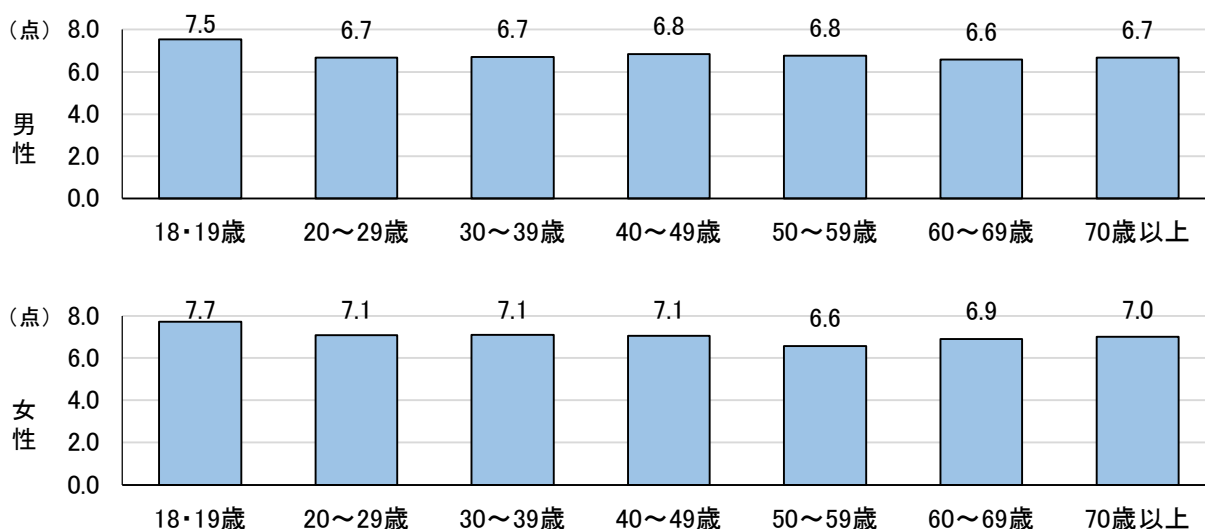
【図3-4 幸福感の程度】



●現在、どの程度幸せかについては、「8点」が25.0%と最も高く、次いで、「7点」が21.0%、「5点」が16.5%となっている。平均は6.85点となっている。(図3-4)

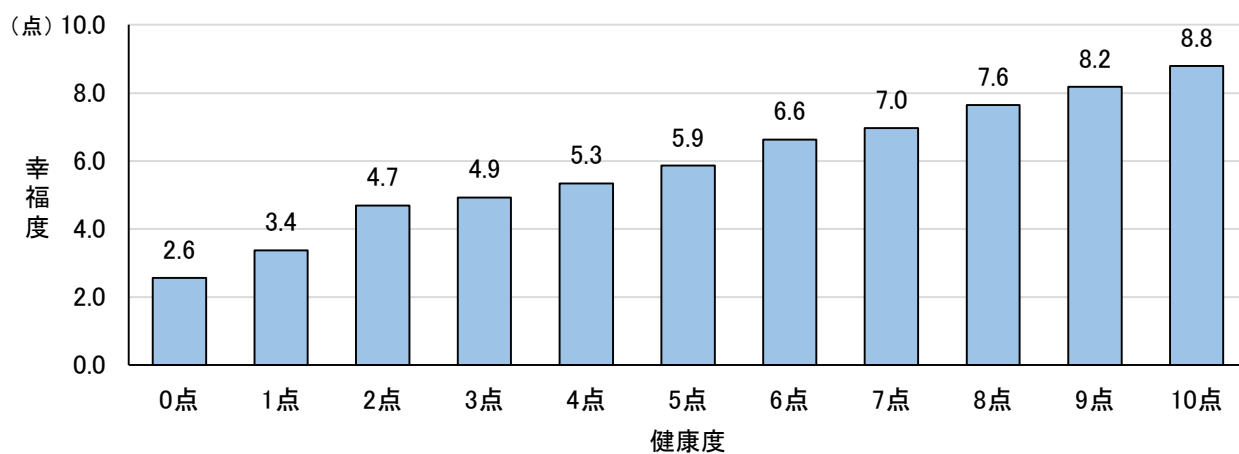
●性年代別でみると、「女性18・19歳」(7.7点)、「男性18・19歳」(7.5点)で高くなっている。(図3-4-1)

【図3-4-1 性年代別 幸福感の程度】



- 現在、どの程度幸せかについて、健康度別にみると、健康度の点数が高くなるにつれて、幸福度の点数が高くなっている。健康度0点の人の幸福度は「2.6点」となっており、健康度10点の人の幸福度は「8.8点」となっている。（図3-4-2）

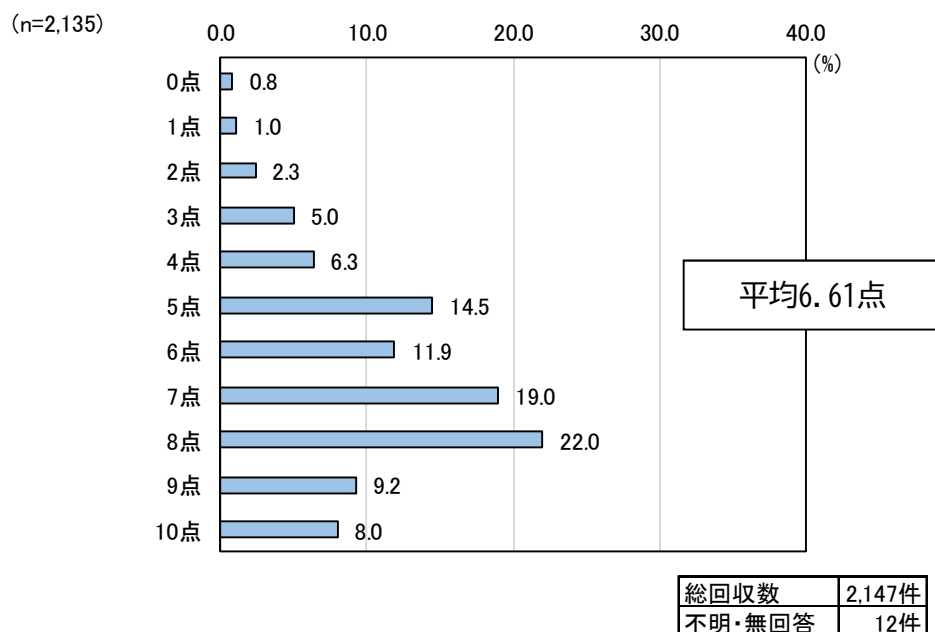
【図3-4-2 健康度別 幸福感の程度】



(5) 協調的幸福Ⅳ

問8 現在のあなたの健康状態はいかがですか。「とても良い」を10点、「とても悪い」を0点とすると、何点くらいになると思いますか。あてはまる点数を1つ選んで○をつけてください。

【図3-5 現在の健康状態】

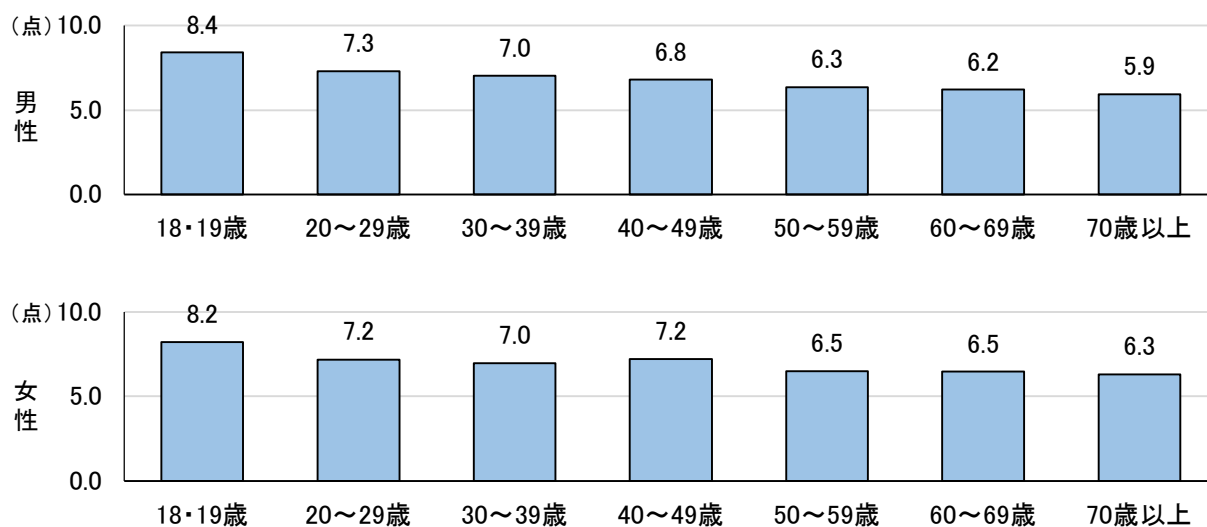


- 現在の健康状態については、「8点」が22.0%と最も高く、次いで、「7点」が19.0%、「5点」が14.5%となっている。平均は6.61点となっている。

(図3-5)

- 性年代別でみると、「男性18・19歳」(8.4点)、「女性18・19歳」(8.2点)、「男性20～29歳」(7.3点)で高くなっている。(図3-5-1)

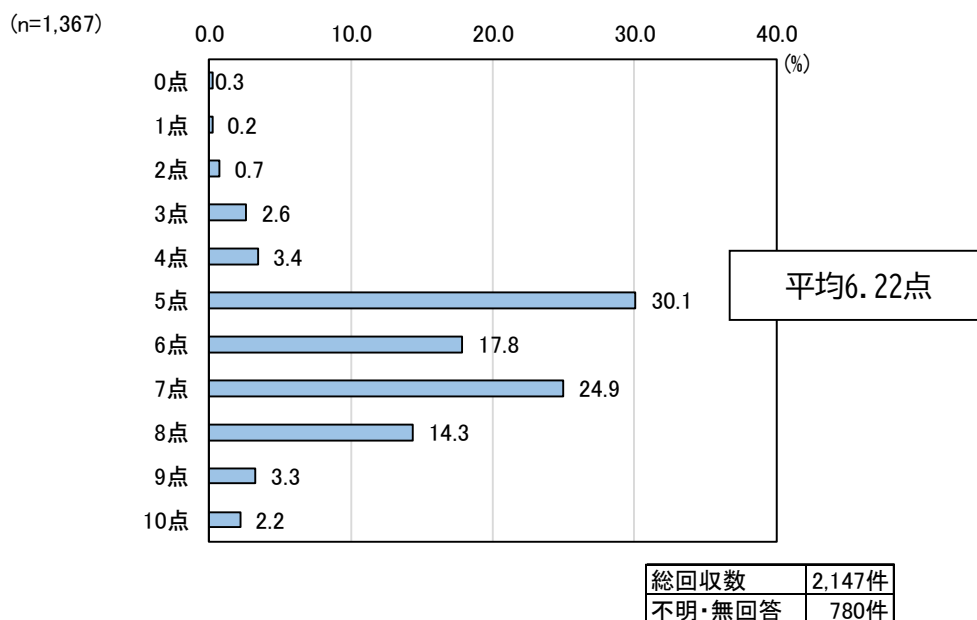
【図3-5-1 性年代別 現在の健康状態】



(6) 協調的幸福 V

問9 あなたの町内（集落）の人々は、大体において、どれくらい幸せだと思いますか。「とても幸せ」を10点、「とても不幸」を0点として、あてはまる点数を1つ選んで○をつけてください。全く分からない場合には「×」に○をつけてください。ここでは自分の同居家族は除いて考えてください。

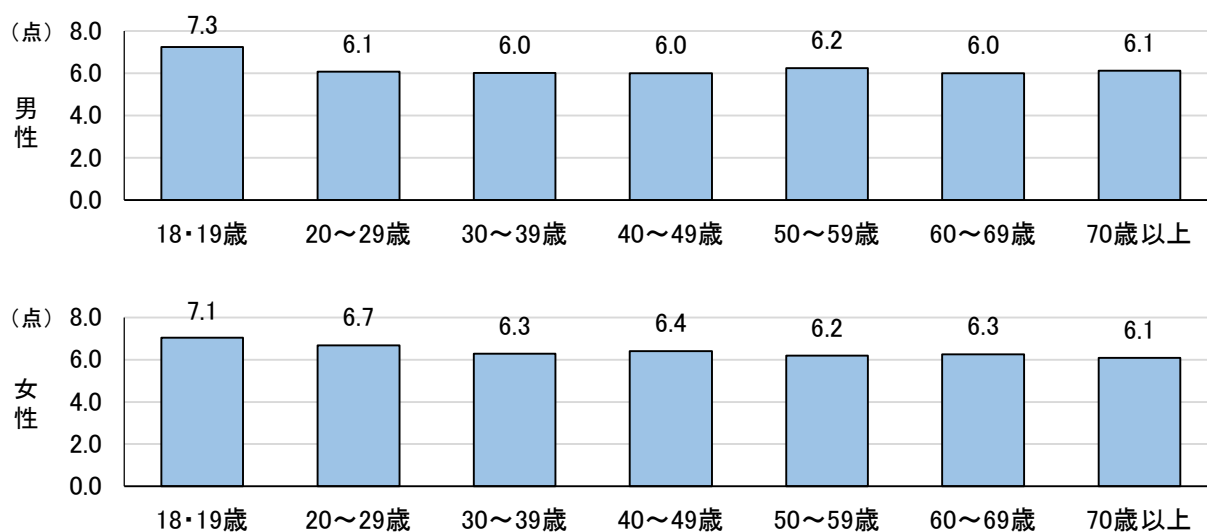
【図3-6 町内（集落）の人々の幸福度の程度】



●町内（集落）の人々は、どれくらい幸せだと思うかについては、「5点」が30.1%と最も高く、次いで、「7点」が24.9%、「6点」が17.8%となっている。（図3-6）

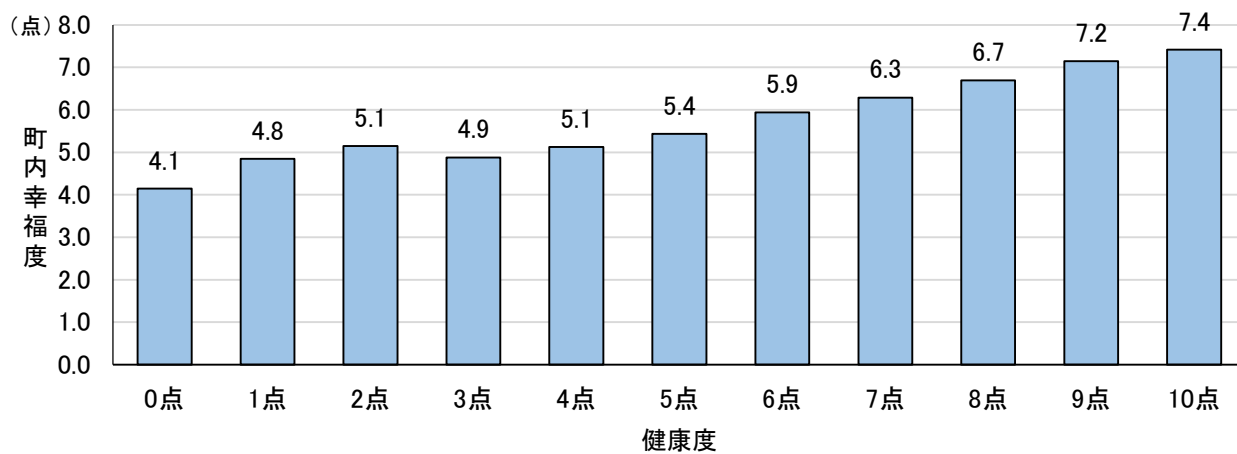
●性年代別でみると、「男性18・19歳」（7.3点）、「女性18・19歳」（7.1点）、「女性20～29歳」（6.7点）で高くなっている。（図3-6-1）

【図3-6-1 性年代別 町内（集落）の人々の幸福度の程度】



- 現在、町内（集落）の人々は、どれぐらい幸せだと思えるかについて、健康度別にみると、健康度0点の人の幸福度は「4.1点」となっており、健康度10点の人の幸福度は「7.4点」となっている。（図3-6-2）

【図3-6-2 健康度別 町内（集落）の人々の幸福感の程度】



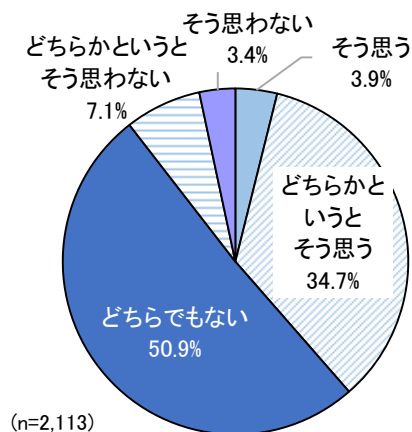
(7) 協調的幸福VI

問10 以下の①～⑫について、あなたの主観で、あてはまるものを1つずつ選んで番号に○をつけてください

①自分だけでなく、身近な周りの人も楽しい気持ちでいると思う

②大切な人を幸せにしていると思う

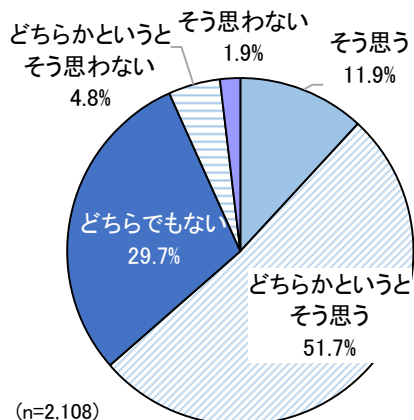
【図3-7-1】



総回収数	2,147件
不明・無回答	34件

- 「そう思う」と「どちらかというと思う」を合わせた『そう思う』が38.6%、「どちらかというと思う」と「そう思わない」を合わせた『そう思わない』が10.5%となっている。(図3-7-1)

【図3-7-2】

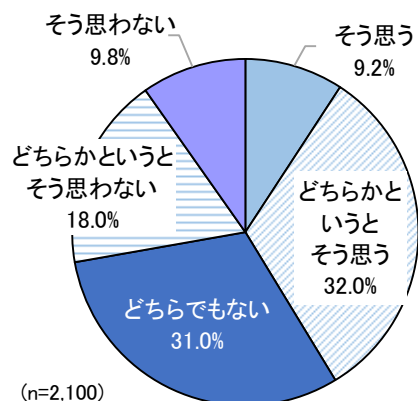


総回収数	2,147件
不明・無回答	39件

- 「そう思う」と「どちらかというと思う」を合わせた『そう思う』が63.6%、「どちらかというと思う」と「そう思わない」を合わせた『そう思わない』が6.7%となっている。(図3-7-2)

③大きな悩み事はない

【図3-7-3】

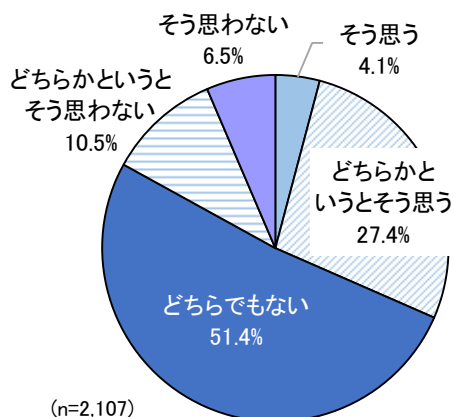


総回収数	2,147件
不明・無回答	47件

- 「そう思う」と「どちらかというと思う」を合わせた『そう思う』が41.2%、「どちらかというと思わない」と「そう思わない」を合わせた『そう思わない』が27.8%となっている。(図3-7-3)

④周りの人に認められていると感じる

【図3-7-4】

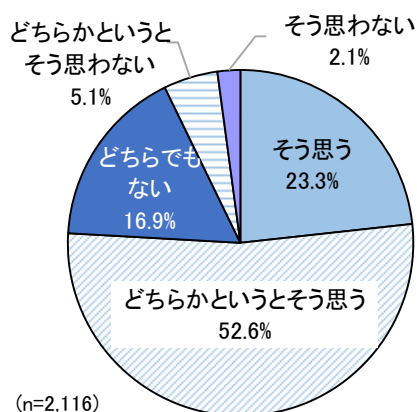


総回収数	2,147件
不明・無回答	40件

- 「そう思う」と「どちらかというと思う」を合わせた『そう思う』が31.5%、「どちらかというと思わない」と「そう思わない」を合わせた『そう思わない』が17.0%となっている。(図3-7-4)

⑤平凡だが安定した日々を過ごしている

【図3-7-5】

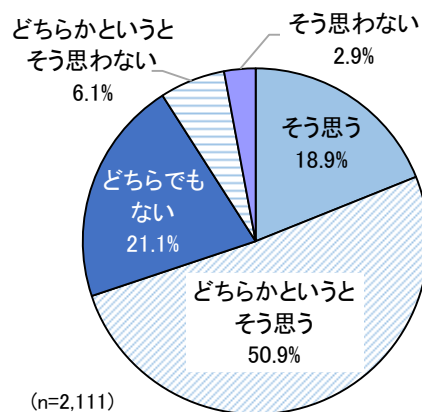


総回収数	2,147件
不明・無回答	31件

- 「そう思う」と「どちらかというと思う」を合わせた『そう思う』が75.9%、「どちらかというと思わない」と「そう思わない」を合わせた『そう思わない』が7.2%となっている。(図3-7-5)

⑥人に迷惑をかけずに自分のやりたいことができています

【図3-7-6】

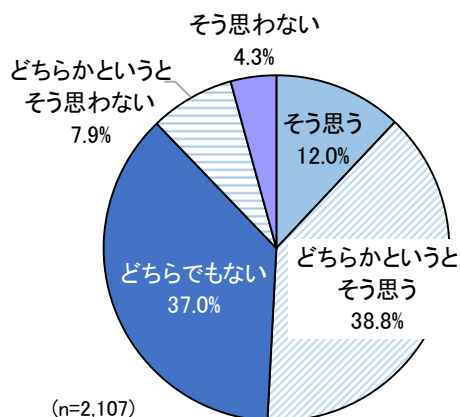


総回収数	2,147件
不明・無回答	36件

- 「そう思う」と「どちらかというと思う」を合わせた『そう思う』が69.8%、「どちらかというと思わない」と「そう思わない」を合わせた『そう思わない』が9.0%となっている。(図3-7-6)

⑦まわりの人たちと同じくらい幸せだと思う

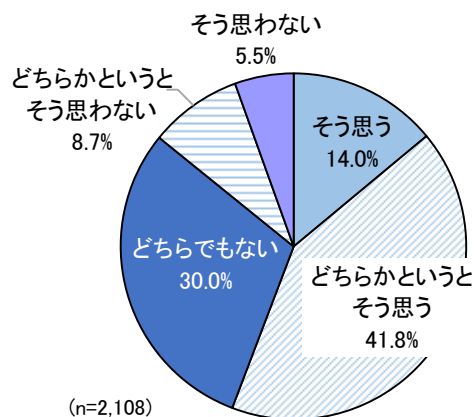
【図3-7-7】



- 「そう思う」と「どちらかというと思う」を合わせた『そう思う』が50.8%、「どちらかというと思わない」と「そう思わない」を合わせた『そう思わない』が12.2%となっている。(図3-7-7)

⑧まわりの人並みの生活は手に入れている自信がある

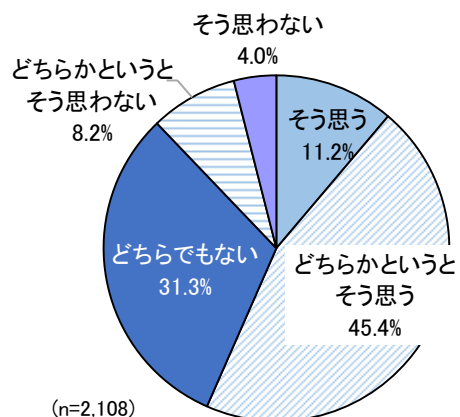
【図3-7-8】



- 「そう思う」と「どちらかというと思う」を合わせた『そう思う』が55.8%、「どちらかというと思わない」と「そう思わない」を合わせた『そう思わない』が14.2%となっている。(図3-7-8)

⑨まわりの人たちと同じくらい、それなりにうまくいっている

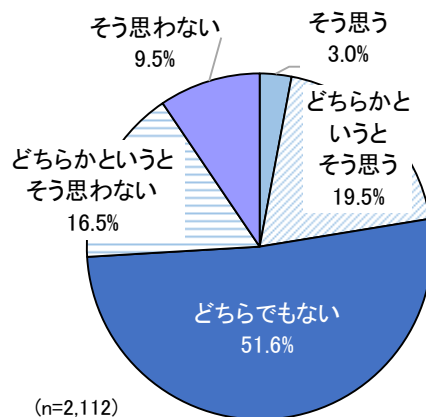
【図3-7-9】



- 「そう思う」と「どちらかというと思う」を合わせた『そう思う』が56.6%、「どちらかというと思わない」と「そう思わない」を合わせた『そう思わない』が12.2%となっている。(図3-7-9)

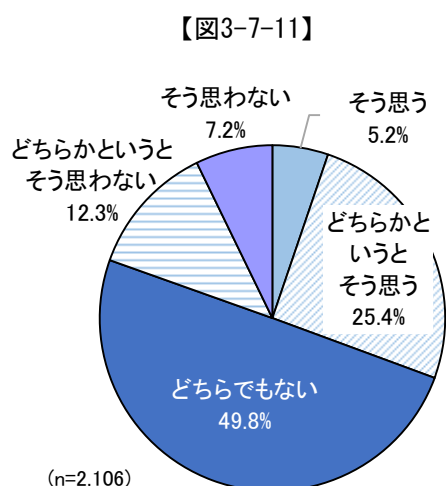
⑩この町内（集落）は、結束力のある集まりだと思う

【図3-7-10】



- 「そう思う」と「どちらかというと思う」を合わせた『そう思う』が22.5%、「どちらかというと思わない」と「そう思わない」を合わせた『そう思わない』が26.0%となっている。(図3-7-10)

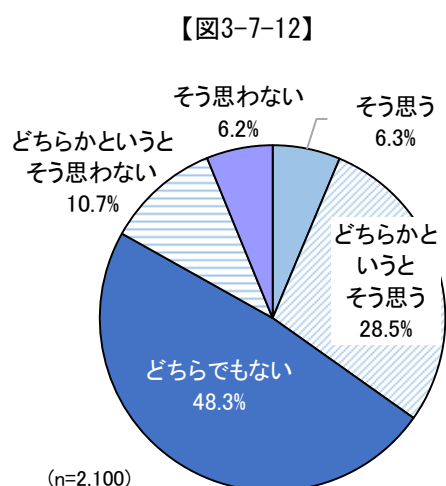
⑪自分にはいろいろな良い素質があると思う



総回収数	2,147件
不明・無回答	41件

- 「そう思う」と「どちらかというと思う」を合わせた『そう思う』が30.6%、「どちらかというと思う」と「そう思わない」を合わせた『そう思わない』が19.5%となっている。(図3-7-11)

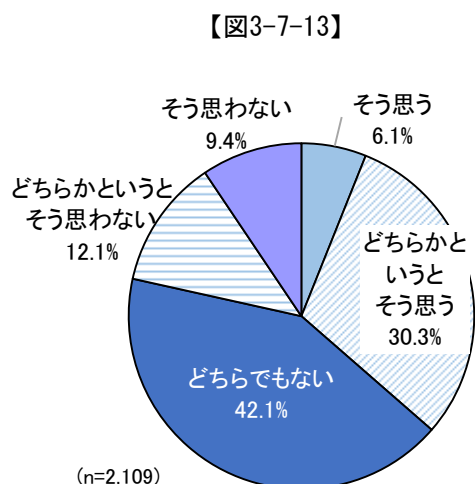
⑫自分のことを好ましく感じる



総回収数	2,147件
不明・無回答	47件

- 「そう思う」と「どちらかというと思う」を合わせた『そう思う』が34.8%、「どちらかというと思う」と「そう思わない」を合わせた『そう思わない』が16.9%となっている。(図3-7-12)

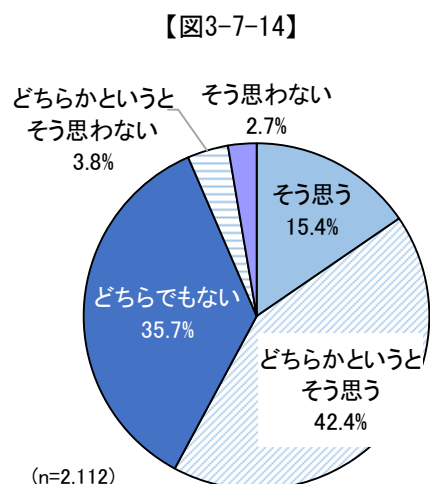
⑬私は、この町内（集落）に対して愛着を持っている



総回収数	2,147件
不明・無回答	38件

- 「そう思う」と「どちらかというと思う」を合わせた『そう思う』が36.4%、「どちらかというと思う」と「そう思わない」を合わせた『そう思わない』が21.5%となっている。(図3-7-13)

⑭私は、町内（集落）の人と意見が対立することを避ける

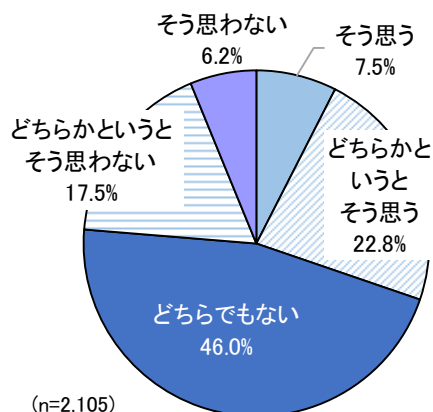


総回収数	2,147件
不明・無回答	35件

- 「そう思う」と「どちらかというと思う」を合わせた『そう思う』が57.8%、「どちらかというと思う」と「そう思わない」を合わせた『そう思わない』が6.5%となっている。(図3-7-14)

⑮私は、自分の考えや行動が町内（集落）の他者と違っていても気にならない

【図3-7-15】

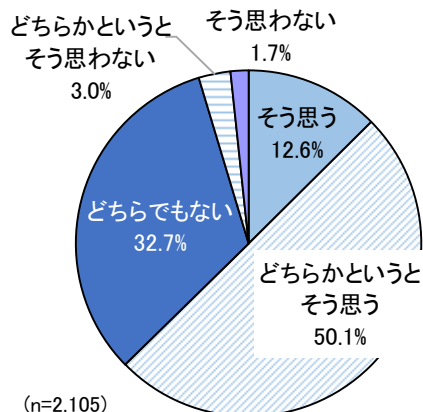


総回収数	2,147件
不明・無回答	42件

- 「そう思う」と「どちらかというと思う」を合わせた『そう思う』が30.3%、「どちらかというと思わない」と「そう思わない」を合わせた『そう思わない』が23.7%となっている。（図3-7-15）

⑯私は近隣の町（集落）に住む人たちは、基本的に誠実に振る舞うと思う

【図3-7-16】

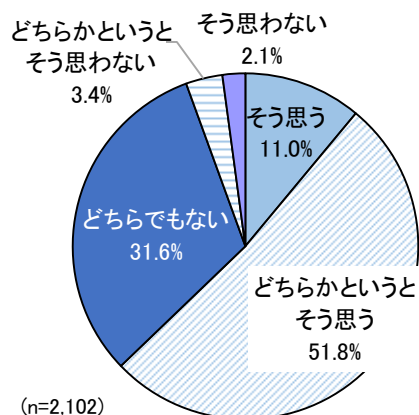


総回収数	2,147件
不明・無回答	42件

- 「そう思う」と「どちらかというと思う」を合わせた『そう思う』が62.7%、「どちらかというと思わない」と「そう思わない」を合わせた『そう思わない』が4.7%となっている。（図3-7-16）

⑰ほとんどの人は、基本的に誠実に振る舞う

【図3-7-17】

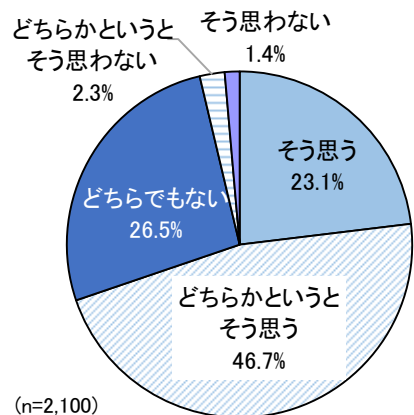


総回収数	2,147件
不明・無回答	45件

- 「そう思う」と「どちらかというと思う」を合わせた『そう思う』が62.8%、「どちらかというと思わない」と「そう思わない」を合わせた『そう思わない』が5.5%となっている。（図3-7-17）

⑱私は、町外（集落外）からきた人が町内（集落）に定住することは喜ばしいと思う

【図3-7-18】

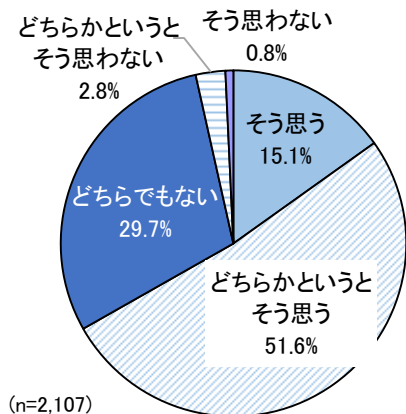


総回収数	2,147件
不明・無回答	47件

- 「そう思う」と「どちらかというと思う」を合わせた『そう思う』が69.8%、「どちらかというと思わない」と「そう思わない」を合わせた『そう思わない』が3.7%となっている。（図3-7-18）

⑱私は、町内（集落）の人が困っていたら手助けをする

【図3-7-19】

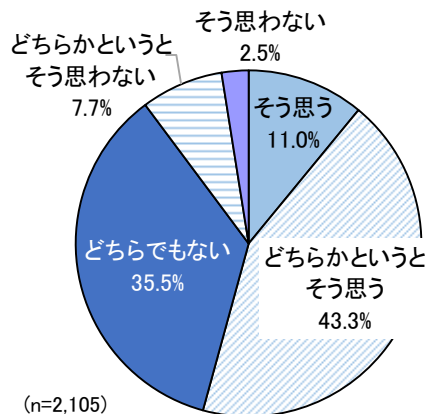


総回収数	2,147件
不明・無回答	40件

- 「そう思う」と「どちらかというと思う」を合わせた『そう思う』が66.7%、「どちらかというと思う」と「そう思う」を合わせた『そう思う』が3.6%となっている。(図3-7-19)

⑳私は、必要とされれば、町内（集落）の人の相談に乗る

【図3-7-20】

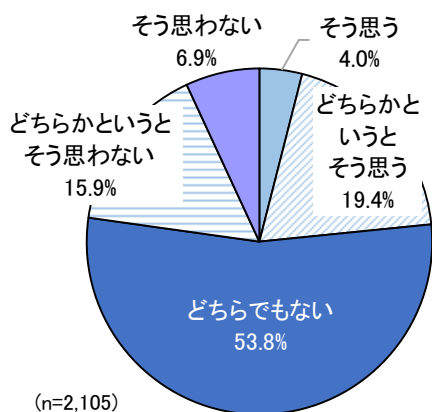


総回収数	2,147件
不明・無回答	42件

- 「そう思う」と「どちらかというと思う」を合わせた『そう思う』が54.3%、「どちらかというと思う」と「そう思う」を合わせた『そう思う』が10.2%となっている。(図3-7-20)

㉑私は、ささいなことで、町内（集落）の役に立つことを提案する

【図3-7-21】

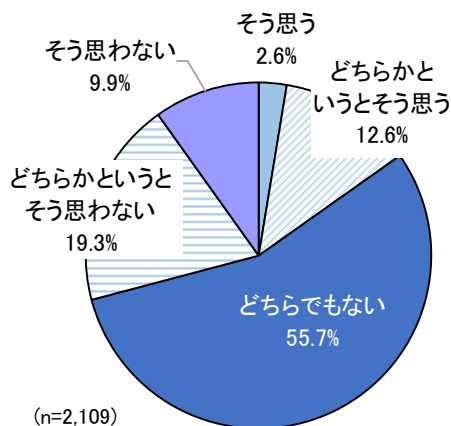


総回収数	2,147件
不明・無回答	42件

- 「そう思う」と「どちらかというと思う」を合わせた『そう思う』が23.4%、「どちらかというと思う」と「そう思う」を合わせた『そう思う』が22.8%となっている。(図3-7-21)

㉒私は、町内（集落）を良くするために、今より良いやり方を思いつく

【図3-7-22】

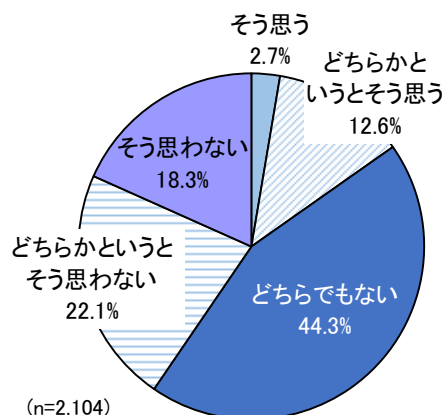


総回収数	2,147件
不明・無回答	38件

- 「そう思う」と「どちらかというと思う」を合わせた『そう思う』が15.2%、「どちらかというと思う」と「そう思う」を合わせた『そう思う』が29.2%となっている。(図3-7-22)

②③私は、町内（集落）において、役割を果たしたり貢献できたりする、活動的な一員だ

【図3-7-23】

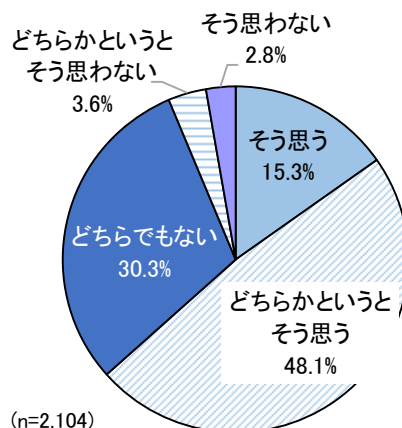


総回収数	2,147件
不明・無回答	43件

- 「そう思う」と「どちらかというと思う」を合わせた『そう思う』が15.3%、「どちらかというと思う」と「そう思う」を合わせた『そう思う』が40.4%となっている。（図3-7-23）

②④私は、町内（集落）において、迷惑をかけたり和を乱したりしない、協調的な一員だ

【図3-7-24】

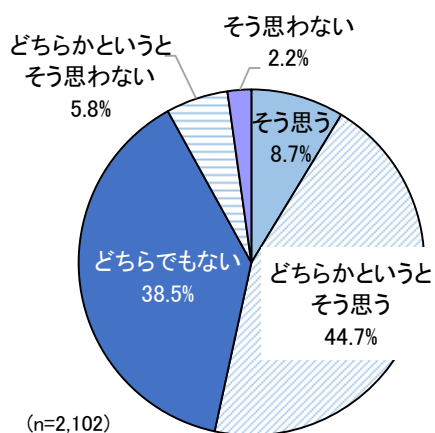


総回収数	2,147件
不明・無回答	43件

- 「そう思う」と「どちらかというと思う」を合わせた『そう思う』が63.4%、「どちらかというと思う」と「そう思う」を合わせた『そう思う』が6.4%となっている。（図3-7-24）

②⑤私は、近隣の町（集落）に住む人が困っていたら手助けをする

【図3-7-25】

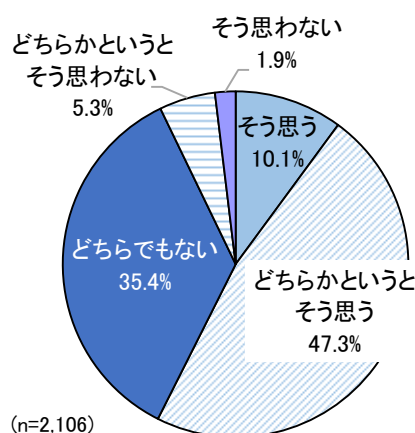


総回収数	2,147件
不明・無回答	45件

- 「そう思う」と「どちらかというと思う」を合わせた『そう思う』が53.4%、「どちらかというと思う」と「そう思う」を合わせた『そう思う』が8.0%となっている。（図3-7-25）

②⑥私は、見知らぬ人が困っていたら手助けをする

【図3-7-26】

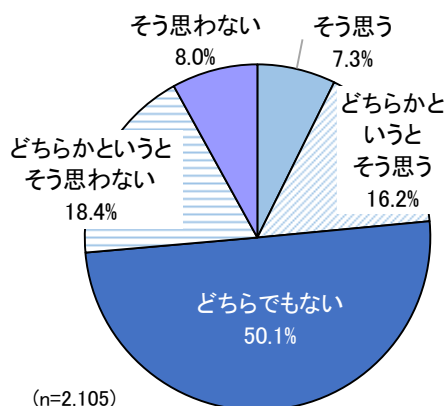


総回収数	2,147件
不明・無回答	41件

- 「そう思う」と「どちらかというと思う」を合わせた『そう思う』が57.4%、「どちらかというと思う」と「そう思う」を合わせた『そう思う』が7.2%となっている。（図3-7-26）

⑳このままでは、この町内（集落）が将来、現状より悪くなってしまうと思う

【図3-7-27】

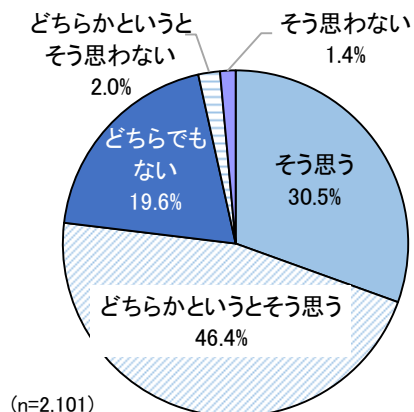


総回収数	2,147件
不明・無回答	42件

- 「そう思う」と「どちらかというと思う」を合わせた『そう思う』が23.5%、「どちらかというと思わない」と「そう思わない」を合わせた『そう思わない』が26.4%となっている。（図3-7-27）

㉑将来生まれてくる世代のために、良い環境や文化を残したい

【図3-7-28】

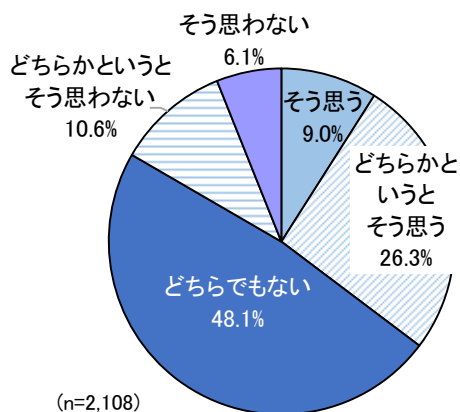


総回収数	2,147件
不明・無回答	46件

- 「そう思う」と「どちらかというと思う」を合わせた『そう思う』が76.9%、「どちらかというと思わない」と「そう思わない」を合わせた『そう思わない』が3.4%となっている。（図3-7-28）

㉒町内（集落）が過去から受け継いできた伝統を受け継いでいくべきだ

【図3-7-29】

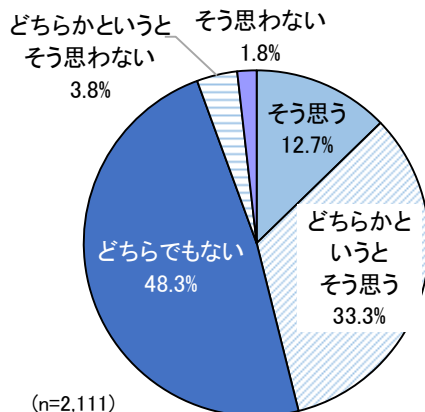


総回収数	2,147件
不明・無回答	39件

- 「そう思う」と「どちらかというと思う」を合わせた『そう思う』が35.3%、「どちらかというと思わない」と「そう思わない」を合わせた『そう思わない』が16.7%となっている。（図3-7-29）

㉓伝統に縛られずに、新しい文化をつくるべきだ

【図3-7-30】

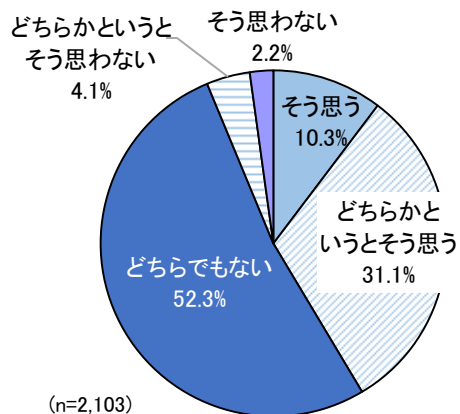


総回収数	2,147件
不明・無回答	36件

- 「そう思う」と「どちらかというと思う」を合わせた『そう思う』が46.0%、「どちらかというと思わない」と「そう思わない」を合わせた『そう思わない』が5.6%となっている。（図3-7-30）

③①町外（集落外）から、違った考え方や価値観を取り入れるべきだ

【図3-7-31】

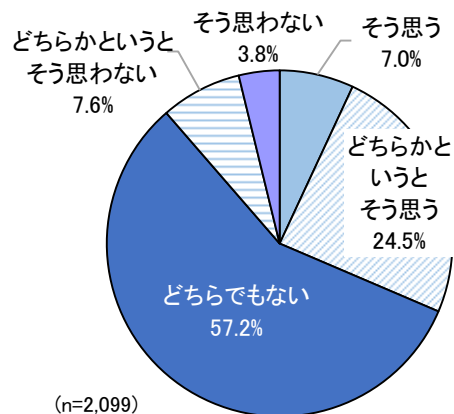


総回収数	2,147件
不明・無回答	44件

- 「そう思う」と「どちらかというと思う」を合わせた『そう思う』が41.4%、「どちらかというと思わない」と「そう思わない」を合わせた『そう思わない』が6.3%となっている。（図3-7-31）

③②私は、成功することや新しい事を実施することを重視している

【図3-7-32】



総回収数	2,147件
不明・無回答	48件

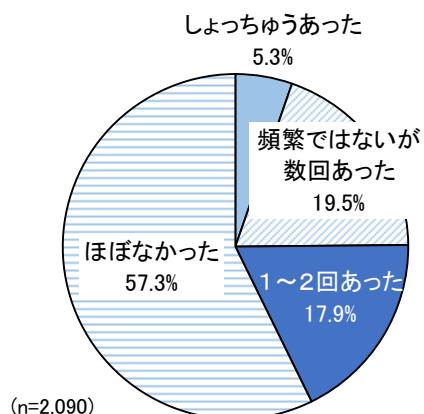
- 「そう思う」と「どちらかというと思う」を合わせた『そう思う』が31.5%、「どちらかというと思わない」と「そう思わない」を合わせた『そう思わない』が11.4%となっている。（図3-7-32）

(8) センシユアス・シティ等

問11 以下の①～⑯について、あなたの主観で、あてはまるものを1つずつ選んで番号に○をつけてください

①地域のボランティアやチャリティに参加した

【図3-8-1】

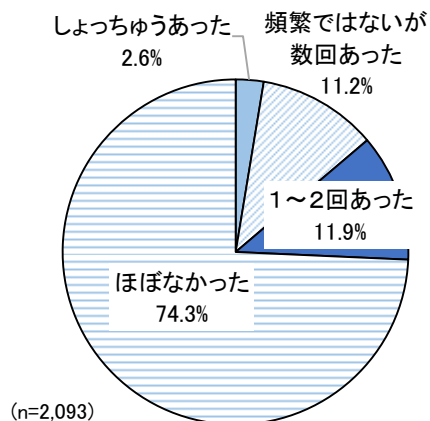


総回収数	2,147件
不明・無回答	57件

- 「ほぼなかった」が57.3%と最も高く、次いで、「頻繁ではないが数回あった」が19.5%となっている。(図3-8-1)

②馴染みの飲食店で店主や常連客と盛り上がった

【図3-8-2】

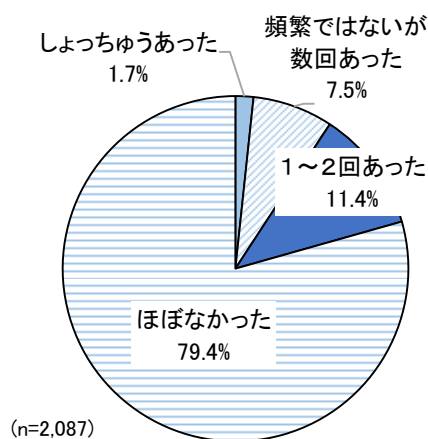


総回収数	2,147件
不明・無回答	54件

- 「ほぼなかった」が74.3%と最も高く、次いで、「1～2回あった」が11.9%となっている。(図3-8-2)

③刺激的で面白い人達が集まるイベント、パーティに参加した

【図3-8-3】

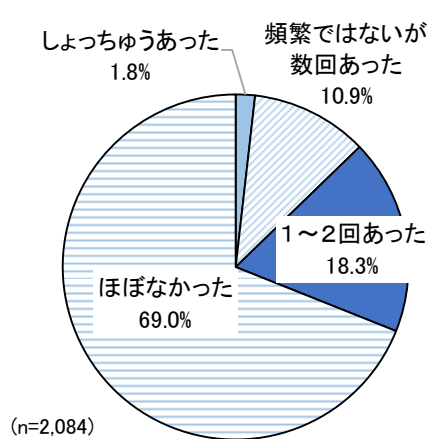


総回収数	2,147件
不明・無回答	60件

- 「ほぼなかった」が79.4%と最も高く、次いで、「1～2回あった」が11.4%となっている。(図3-8-3)

④ためになるイベント・セミナー・市民講座に参加した

【図3-8-4】

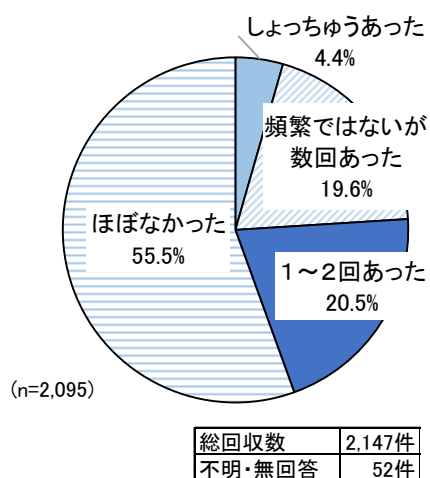


総回収数	2,147件
不明・無回答	63件

- 「ほぼなかった」が69.0%と最も高く、次いで、「1～2回あった」が18.3%となっている。(図3-8-4)

⑤コンサート、クラブ、演劇、美術館などのイベントで興奮・感動した

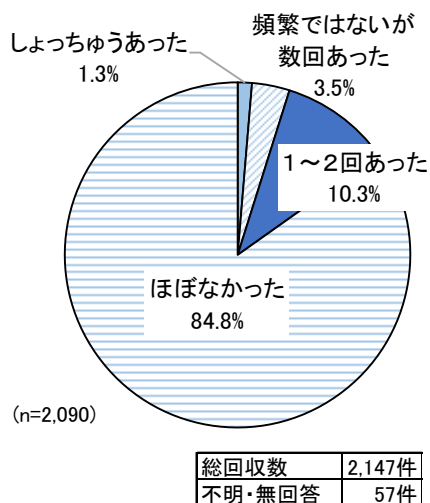
【図3-8-5】



- 「ほぼなかった」が55.5%と最も高く、次いで、「1～2回あった」が20.5%となっている。(図3-8-5)

⑥友人・知人のネットワークで仕事を紹介された・紹介した

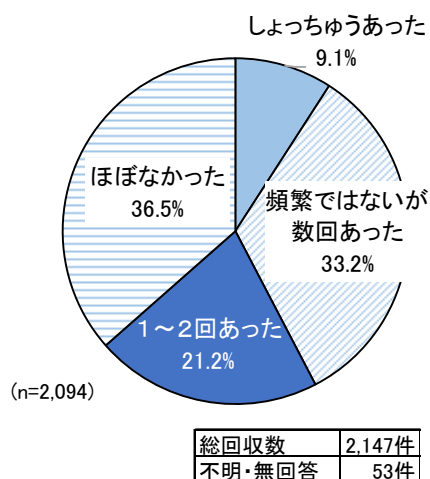
【図3-8-6】



- 「ほぼなかった」が84.8%と最も高く、次いで、「1～2回あった」が10.3%となっている。(図3-8-6)

⑦庶民的な飲食店で美味しい料理や酒を楽しんだ

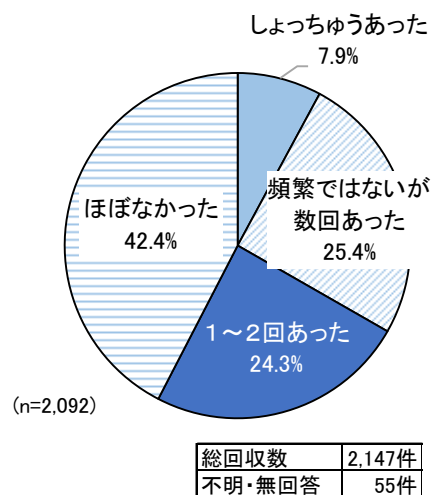
【図3-8-7】



- 「ほぼなかった」が36.5%と最も高く、次いで、「頻繁ではないが数回あった」が33.2%となっている。(図3-8-7)

⑧地元でとれる食材を使った料理を食べた

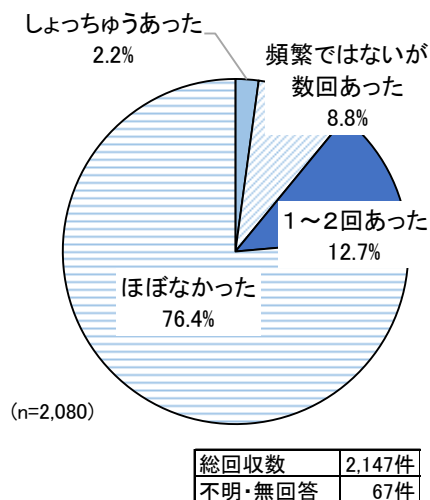
【図3-8-8】



- 「ほぼなかった」が42.4%と最も高く、次いで、「頻繁ではないが数回あった」が25.4%となっている。(図3-8-8)

⑨地酒・地ビールなど地元で作られる酒を飲んだ

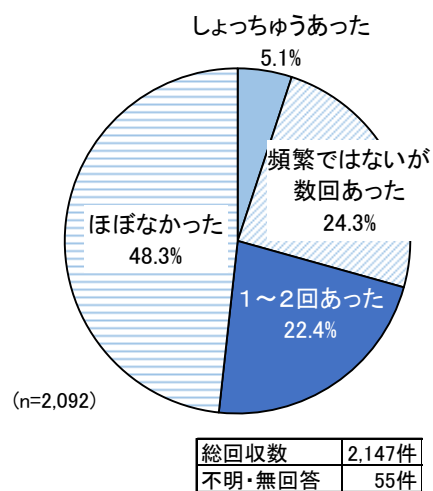
【図3-8-9】



- 「ほぼなかった」が76.4%と最も高く、次いで、「1～2回あった」が12.7%となっている。(図3-8-9)

⑩ガイドブックや口コミサイトの評価の高い飲食店で食事した

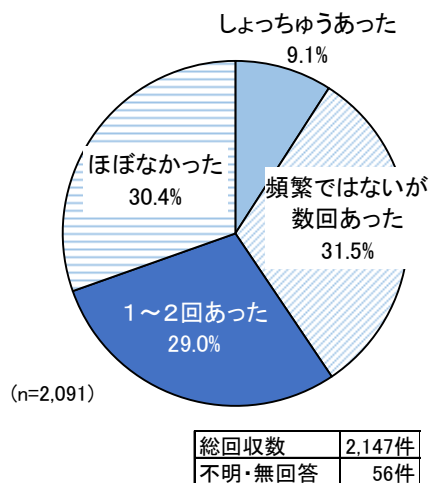
【図3-8-10】



- 「ほぼなかった」が48.3%と最も高く、次いで、「頻繁ではないが数回あった」が24.3%となっている。(図3-8-10)

⑪街の風景をゆっくり眺めた

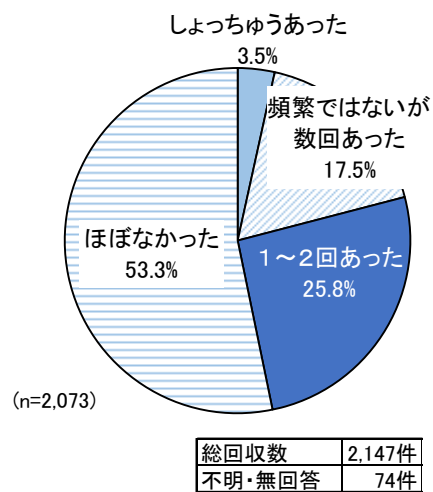
【図3-8-11】



- 「頻繁ではないが数回あった」が31.5%と最も高く、次いで、「ほぼなかった」が30.4%となっている。(図3-8-11)

⑫活気ある街の喧騒を心地よく感じた

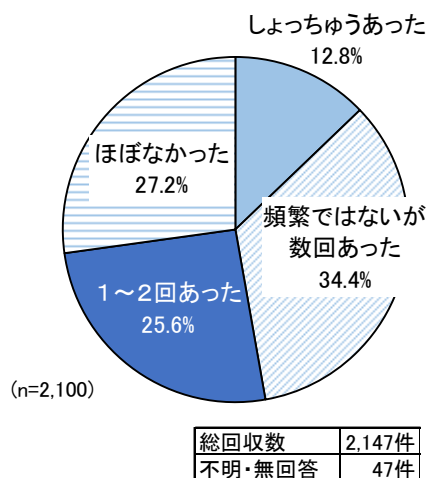
【図3-8-12】



- 「ほぼなかった」が53.3%と最も高く、次いで、「1～2回あった」が25.8%となっている。(図3-8-12)

⑬木陰で心地よい風を感じた

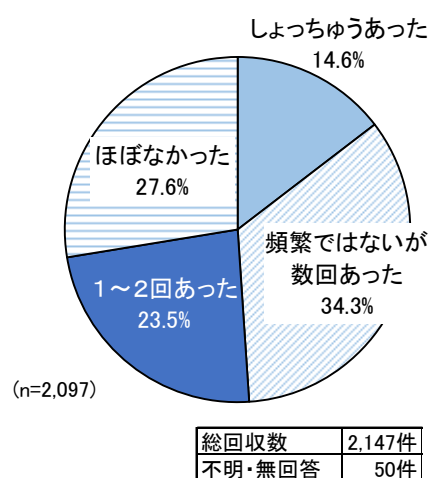
【図3-8-13】



- 「頻繁ではないが数回あった」が34.4%と最も高く、次いで、「ほぼなかった」が27.2%となっている。(図3-8-13)

⑭公園や水辺で緑や水に直接ふれた

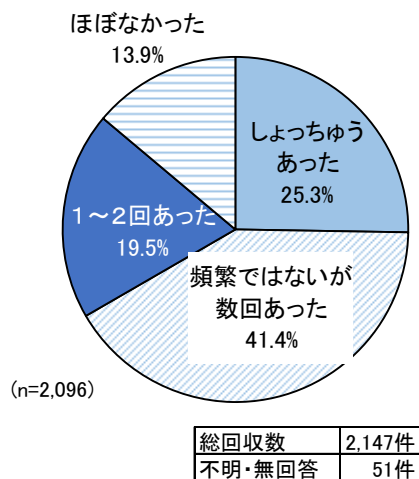
【図3-8-14】



- 「頻繁ではないが数回あった」が34.3%と最も高く、次いで、「ほぼなかった」が27.6%となっている。(図3-8-14)

⑮美しい青空や朝焼け・夕焼けを見た

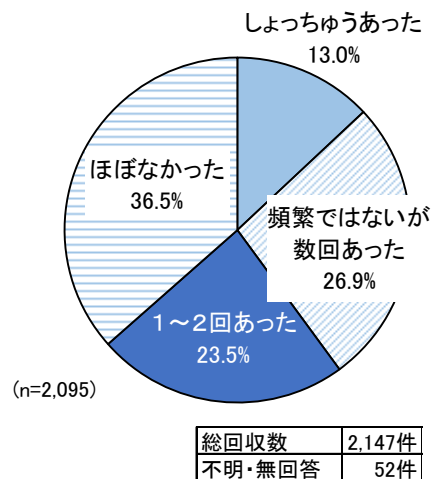
【図3-8-15】



- 「頻繁ではないが数回あった」が41.4%と最も高く、次いで、「しょっちゅうあった」が25.3%となっている。(図3-8-15)

⑯空気が美味しくて深呼吸した

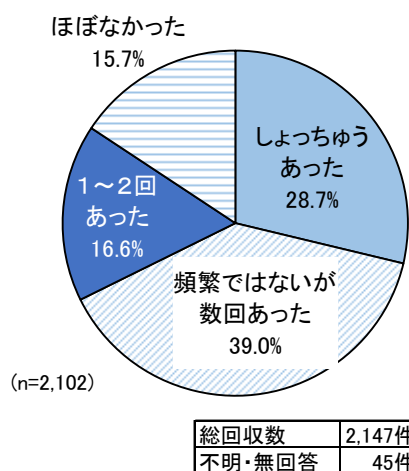
【図3-8-16】



- 「ほぼなかった」が36.5%と最も高く、次いで、「頻繁ではないが数回あった」が26.9%となっている。(図3-8-16)

⑰通りで遊ぶ子供たちの声を聞いた

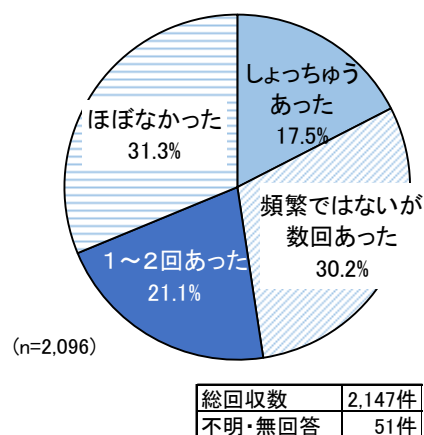
【図3-8-17】



- 「頻繁ではないが数回あった」が39.0%と最も高く、次いで、「しよっちゅうあった」が28.7%となっている。(図3-8-17)

⑱外で思い切り身体を動かして汗をかいた

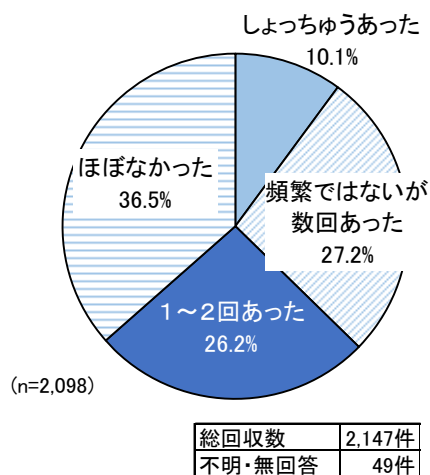
【図3-8-18】



- 「ほぼなかった」が31.3%と最も高く、次いで、「頻繁ではないが数回あった」が30.2%となっている。(図3-8-18)

⑲遠回り、寄り道していつもは歩かない道を歩いた

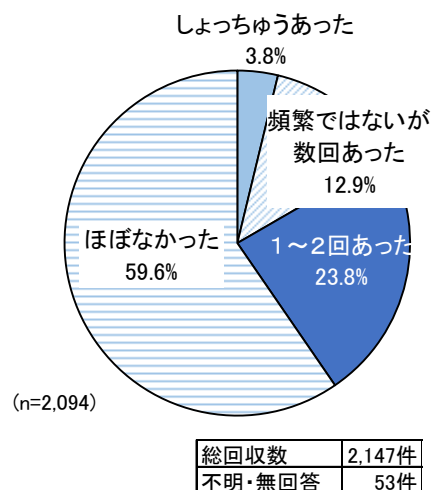
【図3-8-19】



- 「ほぼなかった」が36.5%と最も高く、次いで、「頻繁ではないが数回あった」が27.2%となっている。(図3-8-19)

⑳社会貢献のために寄付をした

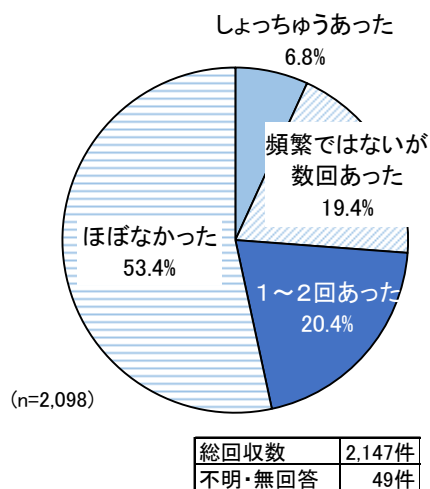
【図3-8-20】



- 「ほぼなかった」が59.6%と最も高く、次いで、「1～2回あった」が23.8%となっている。(図3-8-20)

②①世代が異なる人と交流した

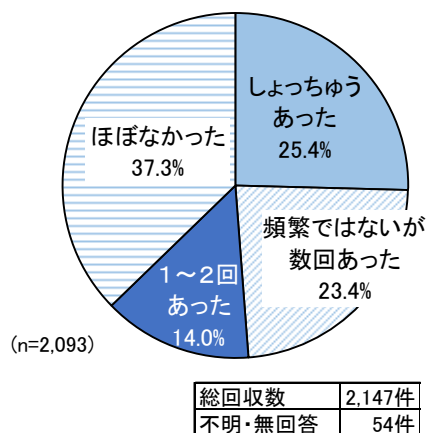
【図3-8-21】



- 「ほぼなかった」が53.4%と最も高く、次いで、「1～2回あった」が20.4%となっている。(図3-8-21)

②②オンラインで日用品（食料品、薬、洋服、靴等）の買い物を行った

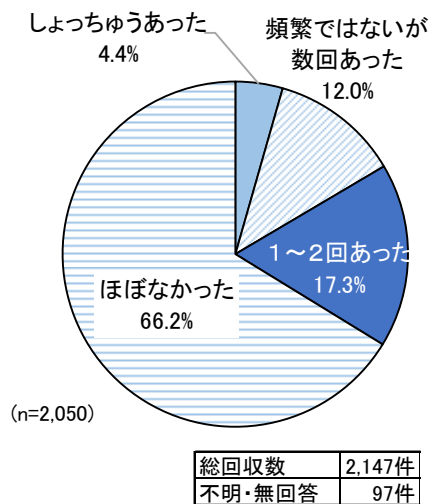
【図3-8-22】



- 「ほぼなかった」が37.3%と最も高く、次いで、「しょっちゅうあった」が25.4%となっている。(図3-8-22)

②③私の住んでいる地域では、介護・福祉施設のサービスが受けやすい

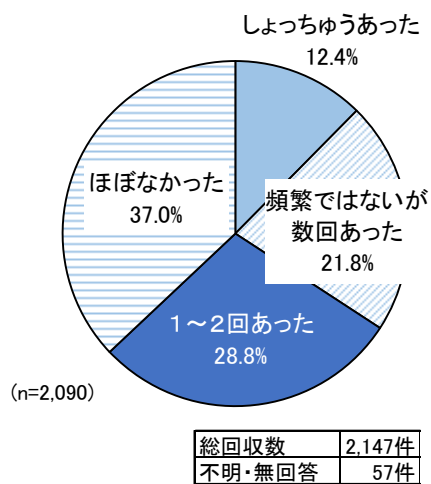
【図3-8-23】



- 「ほぼなかった」が66.2%と最も高く、次いで、「1～2回あった」が17.3%となっている。(図3-8-23)

②④あおり運転、割り込み運転、幅寄せ等、危険な運転を見かけた

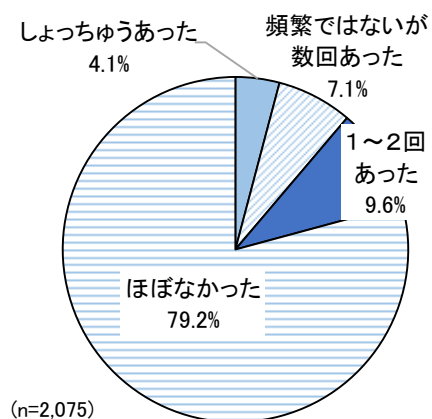
【図3-8-24】



- 「ほぼなかった」が37.0%と最も高く、次いで、「1～2回あった」が28.8%となっている。(図3-8-24)

②⑤ ボランティア活動をしている

【図3-8-25】

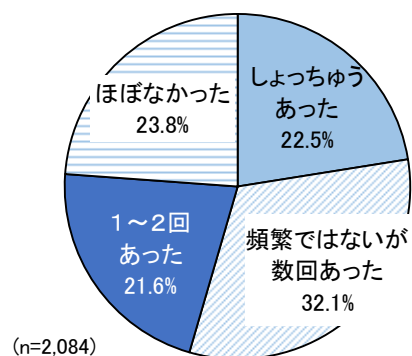


総回収数	2,147件
不明・無回答	72件

- 「ほぼなかった」が79.2%と最も高く、次いで、「1～2回あった」が9.6%となっている。(図3-8-25)

②⑥ 自分や家族の健康のために取り組んだ

【図3-8-26】



総回収数	2,147件
不明・無回答	63件

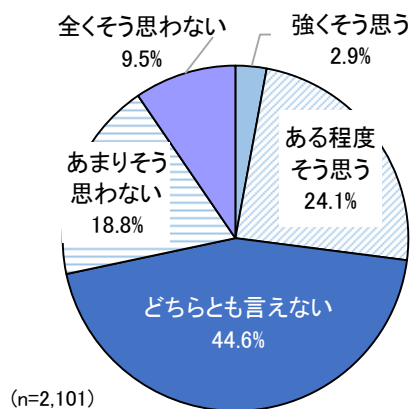
- 「頻繁ではないが数回あった」が32.1%と最も高く、次いで、「ほぼなかった」が23.8%となっている。(図3-8-26)

(9) 寛容性等

問12 以下の①～⑯について、あなたの主観で、あてはまるものを1つずつ選んで番号に○をつけてください

①私の暮らしている地域では、結婚して子どもを持つことこそが女性の幸福だと考える人が多い

【図3-9-1】

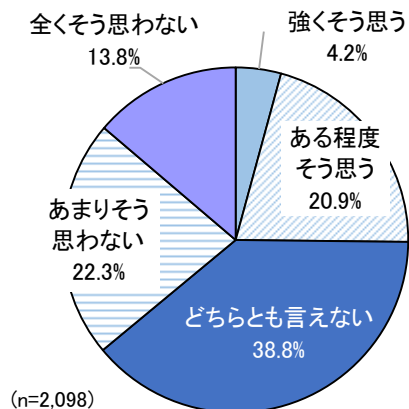


総回収数	2,147件
不明・無回答	46件

- 「強くそう思う」と「ある程度そう思う」を合わせた『そう思う』が27.0%、「あまりそう思わない」と「全くそう思わない」を合わせた『そう思わない』が28.3%となっている。(図3-9-1)

②私の暮らしている地域では、血縁者、親戚関係には何かと気を使わなければいけない

【図3-9-2】

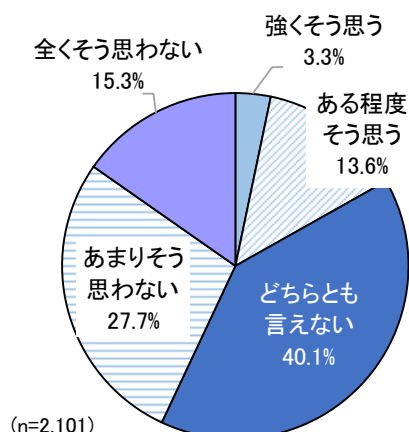


総回収数	2,147件
不明・無回答	49件

- 「強くそう思う」と「ある程度そう思う」を合わせた『そう思う』が25.1%、「あまりそう思わない」と「全くそう思わない」を合わせた『そう思わない』が36.1%となっている。(図3-9-2)

③私の暮らしている地域では、若者は年長者の言うことに逆らえない空気がある

【図3-9-3】

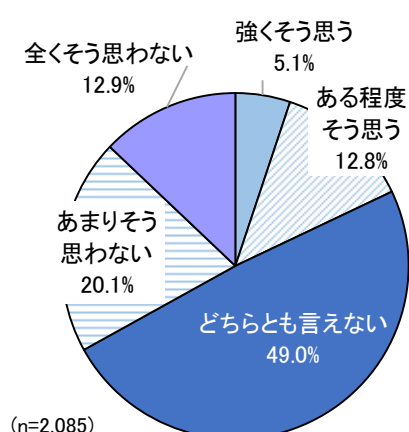


総回収数	2,147件
不明・無回答	46件

- 「強くそう思う」と「ある程度そう思う」を合わせた『そう思う』が16.9%、「あまりそう思わない」と「全くそう思わない」を合わせた『そう思わない』が43.0%となっている。(図3-9-3)

④私の暮らしている地域は、LGBTQ（性的マイノリティ）には生きづらい地域だ

【図3-9-4】

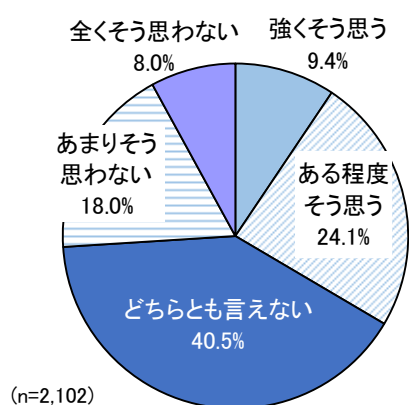


総回収数	2,147件
不明・無回答	62件

- 「強くそう思う」と「ある程度そう思う」を合わせた『そう思う』が17.9%、「あまりそう思わない」と「全くそう思わない」を合わせた『そう思わない』が33.0%となっている。(図3-9-4)

⑤私の暮らしている地域では、他人の噂話が好きな人が多い

【図3-9-5】

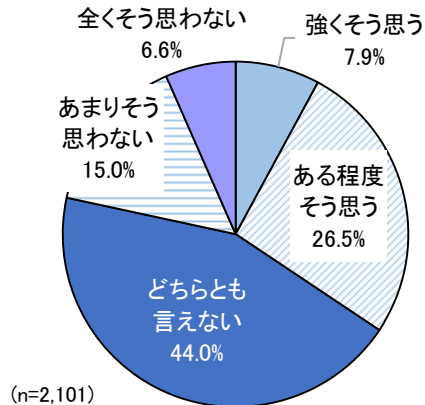


総回収数	2,147件
不明・無回答	45件

- 「強くそう思う」と「ある程度そう思う」を合わせた『そう思う』が33.5%、「あまりそう思わない」と「全くそう思わない」を合わせた『そう思わない』が26.0%となっている。(図3-9-5)

⑥私の暮らしている地域では、長く積み上げてきたやり方やルールを変えるのに抵抗を感じる人が多い

【図3-9-6】



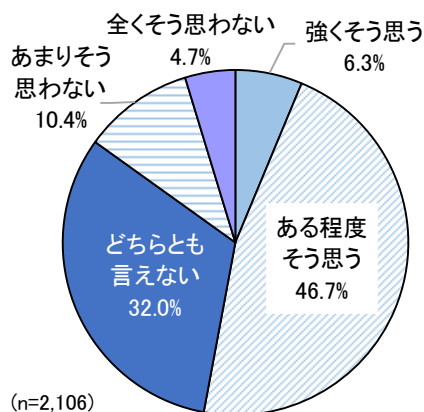
総回収数	2,147件
不明・無回答	46件

- 「強くそう思う」と「ある程度そう思う」を合わせた『そう思う』が34.4%、「あまりそう思わない」と「全くそう思わない」を合わせた『そう思わない』が21.6%となっている。(図3-9-6)

⑦私は、住んでいる地域の暮らしに満足している

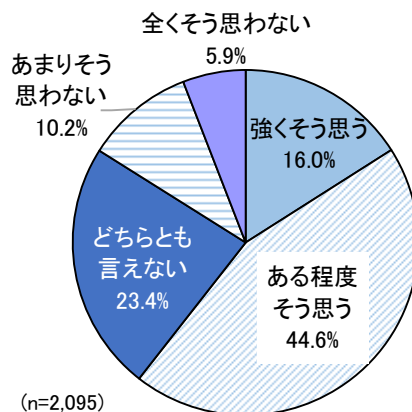
⑧私は、好きな時に好きな場所に移動できる

【図3-9-7】



- 「強くそう思う」と「ある程度そう思う」を合わせた『そう思う』が53.0%、「あまりそう思わない」と「全くそう思わない」を合わせた『そう思わない』が15.1%となっている。(図3-9-7)

【図3-9-8】

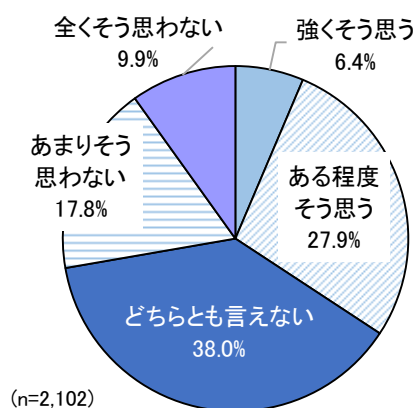


- 「強くそう思う」と「ある程度そう思う」を合わせた『そう思う』が60.6%、「あまりそう思わない」と「全くそう思わない」を合わせた『そう思わない』が16.1%となっている。(図3-9-8)

⑨私の暮らしている地域には、自慢できる自然景観がある

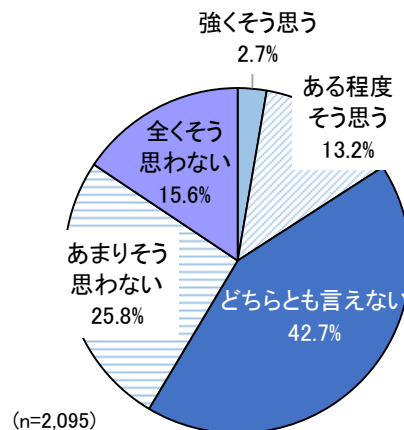
⑩私の暮らしている地域には、自慢できる都市景観がある

【図3-9-9】



- 「強くそう思う」と「ある程度そう思う」を合わせた『そう思う』が34.3%、「あまりそう思わない」と「全くそう思わない」を合わせた『そう思わない』が27.7%となっている。(図3-9-9)

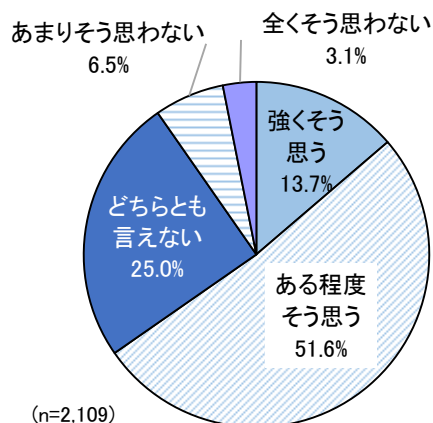
【図3-9-10】



- 「強くそう思う」と「ある程度そう思う」を合わせた『そう思う』が15.9%、「あまりそう思わない」と「全くそう思わない」を合わせた『そう思わない』が41.4%となっている。(図3-9-10)

⑪安心した食生活に満足している

【図3-9-11】

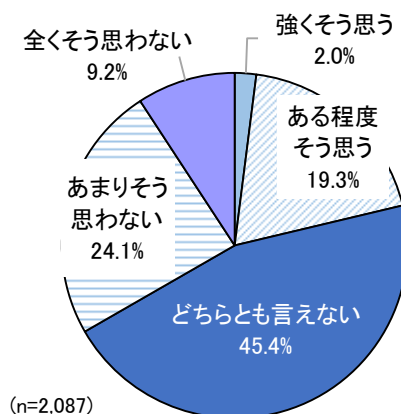


総回収数	2,147件
不明・無回答	38件

- 「強くそう思う」と「ある程度そう思う」を合わせた『そう思う』が65.3%、「あまりそう思わない」と「全くそう思わない」を合わせた『そう思わない』が9.6%となっている。(図3-9-11)

⑫街に活気がある

【図3-9-12】

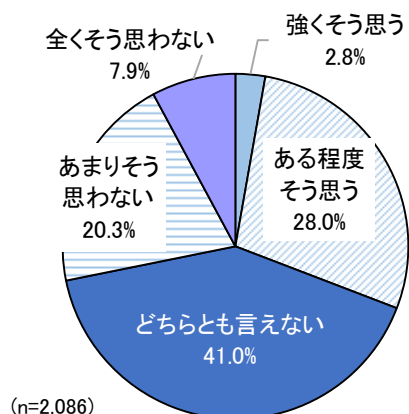


総回収数	2,147件
不明・無回答	60件

- 「強くそう思う」と「ある程度そう思う」を合わせた『そう思う』が21.3%、「あまりそう思わない」と「全くそう思わない」を合わせた『そう思わない』が33.3%となっている。(図3-9-12)

⑬行政からの情報発信が充実している

【図3-9-13】

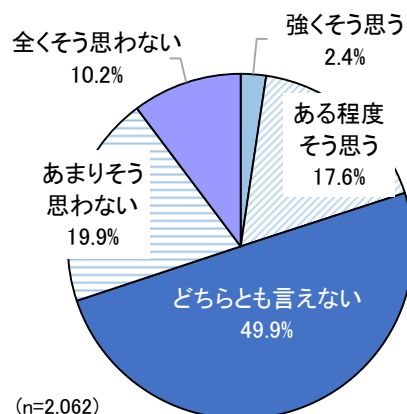


総回収数	2,147件
不明・無回答	61件

- 「強くそう思う」と「ある程度そう思う」を合わせた『そう思う』が30.8%、「あまりそう思わない」と「全くそう思わない」を合わせた『そう思わない』が28.2%となっている。(図3-9-13)

⑭自治体による出産・子育て支援が充実している

【図3-9-14】

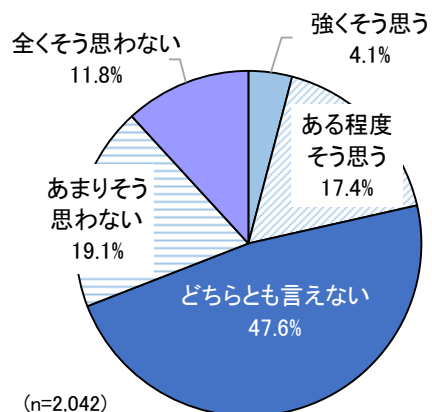


総回収数	2,147件
不明・無回答	85件

- 「強くそう思う」と「ある程度そう思う」を合わせた『そう思う』が20.0%、「あまりそう思わない」と「全くそう思わない」を合わせた『そう思わない』が30.1%となっている。(図3-9-14)

⑮子育てについて相談できる相手が地域にいる

【図3-9-15】

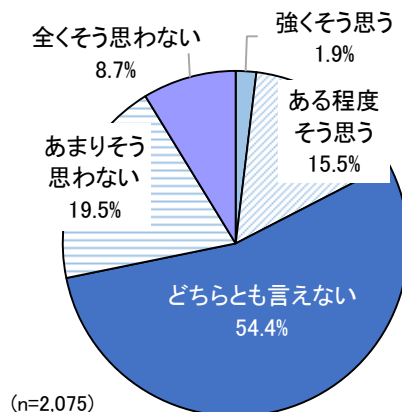


総回収数	2,147件
不明・無回答	105件

- 「強くそう思う」と「ある程度そう思う」を合わせた『そう思う』が21.5%、「あまりそう思わない」と「全くそう思わない」を合わせた『そう思わない』が30.9%となっている。(図3-9-15)

⑯環境に配慮した取組が実践できている

【図3-9-16】

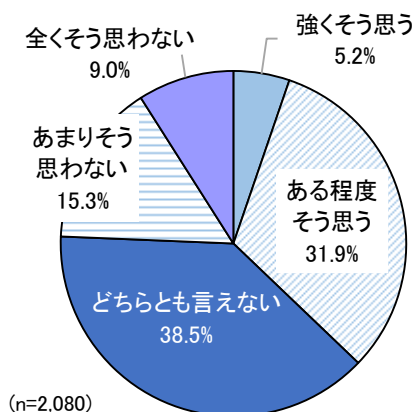


総回収数	2,147件
不明・無回答	72件

- 「強くそう思う」と「ある程度そう思う」を合わせた『そう思う』が17.4%、「あまりそう思わない」と「全くそう思わない」を合わせた『そう思わない』が28.2%となっている。(図3-9-16)

⑰市に関する情報をテレビや新聞紙などで見て嬉しく思った

【図3-9-17】

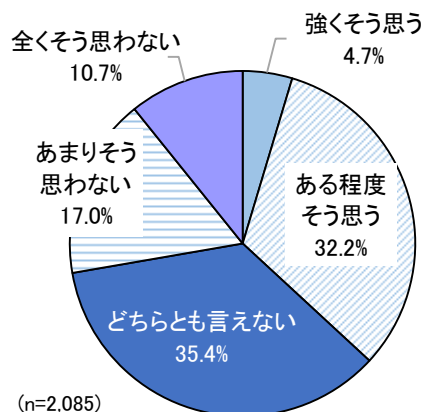


総回収数	2,147件
不明・無回答	67件

- 「強くそう思う」と「ある程度そう思う」を合わせた『そう思う』が37.1%、「あまりそう思わない」と「全くそう思わない」を合わせた『そう思わない』が24.3%となっている。(図3-9-17)

⑱高齢になっても不安なくこの地域に住み続けることができると思う

【図3-9-18】

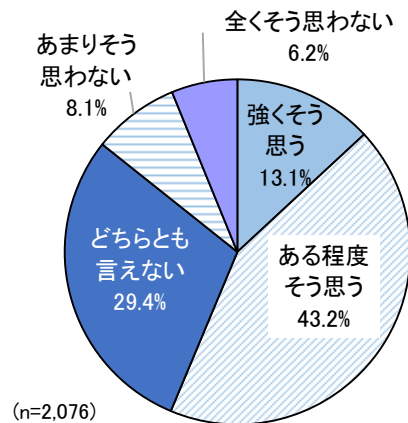


総回収数	2,147件
不明・無回答	62件

- 「強くそう思う」と「ある程度そう思う」を合わせた『そう思う』が36.9%、「あまりそう思わない」と「全くそう思わない」を合わせた『そう思わない』が27.7%となっている。(図3-9-18)

⑭私が住んでいる地域にこれからも住み続けたいと思う

【図3-9-19】



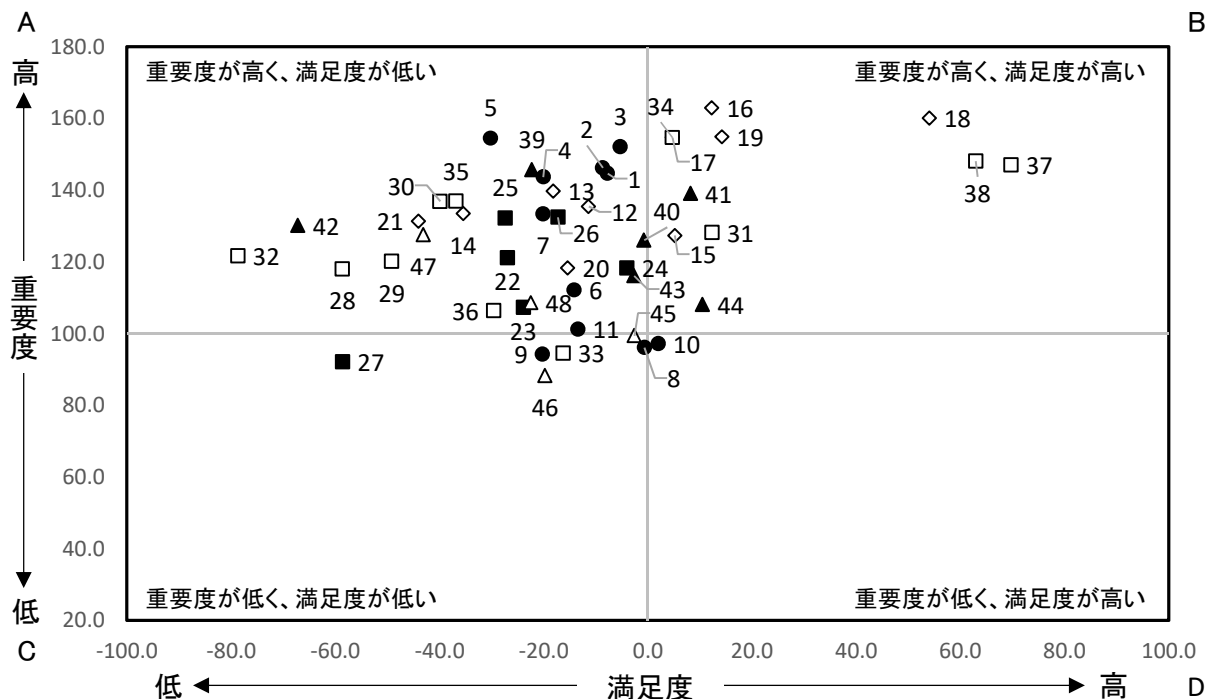
総回収数	2,147件
不明・無回答	71件

- 「強くそう思う」と「ある程度そう思う」を合わせた『そう思う』が56.3%、「あまりそう思わない」と「全くそう思わない」を合わせた『そう思わない』が14.3%となっている。(図3-9-19)

4. 市の施策に対する満足度・重要度

問13 次にあげる「施策を代表する項目」について、あなたは、どの程度満足していると感じていますか。また、今後の取組としてはどの程度重要だと思いますか。〔1〕から〔6〕の各項目の満足度、今後の重要度それぞれについて、あてはまるものを1つずつ選んで番号に○をつけてください。答えることが難しい場合は、「わからない」を選んで番号に○をつけてください

〔満足度と重要度の関係〕



● 心豊かに暮らせるまち	1	(1)結婚・出産・子育てに関する支援	□ 快適なまち	28	(1)地域特性を生かした効果的な土地利用
	2	(2)就学前教育・保育の内容		29	(2)加古川駅周辺の都心としての魅力
	3	(3)義務教育の内容		30	(3)幹線道路の整備
	4	(4)特別支援教育の内容		31	(4)鉄道の便利さ
	5	(5)教育を支える体制や学習環境		32	(5)バスの便利さ
	6	(6)生涯学習の機会や環境		33	(6)景観や、まちなみの美しさ
	7	(7)青少年の健全な育成		34	(7)地域の防災体制(再掲)
	8	(8)スポーツ・レクリエーション活動の機会や環境		35	(8)生活に身近な道路の安全性や便利さ
	9	(9)文化・芸術に接する機会		36	(9)良質な住宅供給の促進
	10	(10)人権に関する教育や啓発		37	(10)水道水の供給
	11	(11)男女共同参画の推進		38	(11)下水道の整備
◇ 安心して暮らせるまち	12	(1)地域福祉の推進	▲ うるおいのあるまち	39	(1)大気や水質などの環境対策
	13	(2)障がい者に対する支援		40	(2)地域の自然環境の保全
	14	(3)高齢者に対する支援		41	(3)ごみの減量・不用品のリサイクルの推進
	15	(4)健康の保持・増進		42	(4)ポイ捨てやペットのふん害防止
	16	(5)安心できる医療体制		43	(5)公園・緑地の整備・管理
	17	(6)地域の防災体制		44	(6)まちなみの緑化や河川敷等の活用
	18	(7)消防や救急・救命体制	△ まちづくりの取組を進めるにあたっての方法	45	(4)近隣都市との広域的な連携
	19	(8)防犯・交通安全対策の推進		46	(2)シティプロモーションの推進
	20	(9)消費生活に関する教育や消費者保護対策		47	(3)行政の効率化
	21	(10)就業機会の確保や働き方改革の推進		48	(4)近隣都市との広域的な連携
■ 活力とにぎわいのあるまち	22	(1)農業の振興			
	23	(2)水産業の振興			
	24	(3)工業の振興			
	25	(4)地場産業の振興			
	26	(5)商業・サービス業の振興			
	27	(6)観光の振興			

「4. 市の施策に対する満足度・重要度」のグラフの見方

政策名

「加古川市総合計画」の「政策」です。

施策名

「加古川市総合計画」の「施策」です。

施策を代表する項目

満足度折れ線グラフ

○ —◆— 市全体のスコアを軸に各折れ線グラフが上下に広がるほど、性年代別や居住地区別などのスコアが高い（もしくは低い）ことを示しています。

重要度折れ線グラフ

○ —◆— 市全体のスコアを軸に各折れ線グラフが上下に広がるほど、性年代別や居住地区別などのスコアが高い（もしくは低い）ことを示しています。

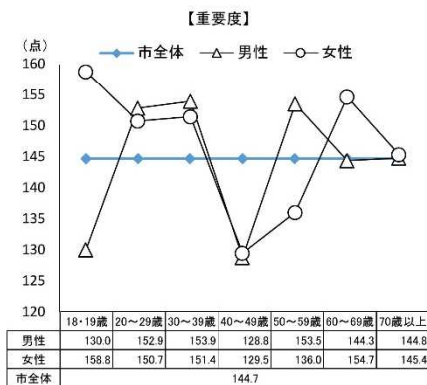
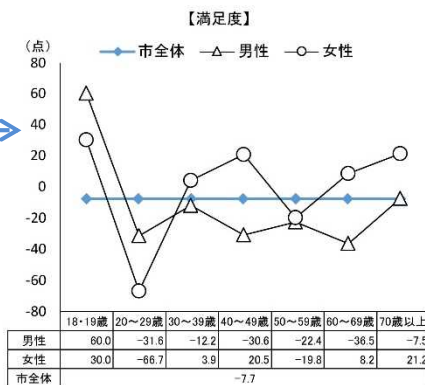
子どもの健やかな成長を支援する

【結婚・出産・子育ての支援】

（１）結婚・出産・子育てに関する支援

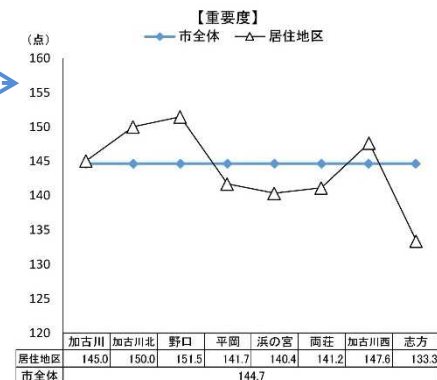
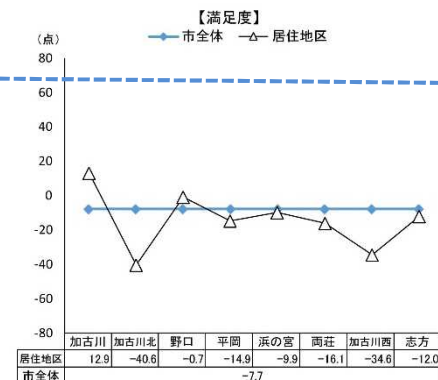
《性年代別》

- 満足度を性年代別でみると、18・19歳の男女と、30歳代、40歳代、60歳代、70歳以上の女性で市全体平均より高くなっている。
- 重要度を性年代別でみると、20歳代、30歳代、70歳以上の男女と、50歳代の男性、18・19歳、60歳代の女性で市全体平均より高くなっている。



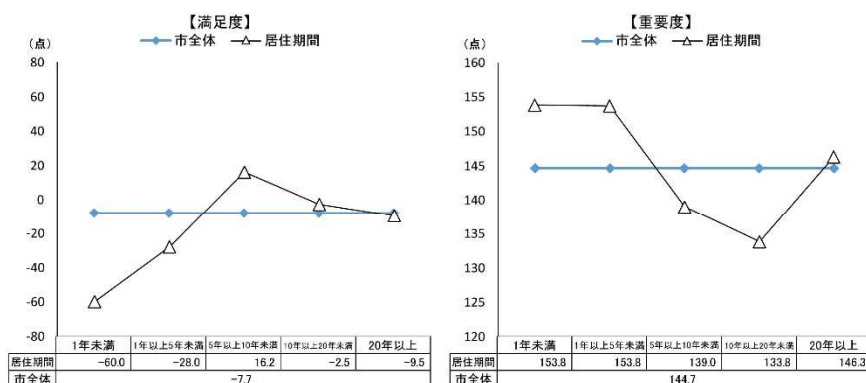
《居住地区別》

- 満足度を居住地区別でみると、加古川、野口で市全体平均より高くなっている。
- 重要度を居住地区別でみると、加古川、加古川北、野口、加古川西で市全体平均より高くなっている。



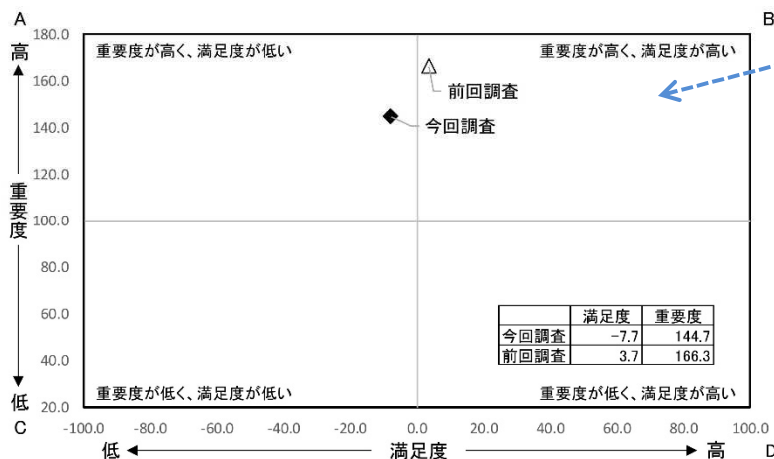
《居住期間別》

- 満足度を居住期間別でみると、「5年以上10年未満」、「10年以上20年未満」で市全体平均より高くなっている。
- 重要度を居住期間別でみると、「1年未満」、「1年以上5年未満」、「20年以上」で市全体平均より高くなっている。



《満足度と重要度の関係（前回調査との比較）》

- 満足度と重要度の関係でみると、前回調査より満足度と重要度はともに低くなっている。



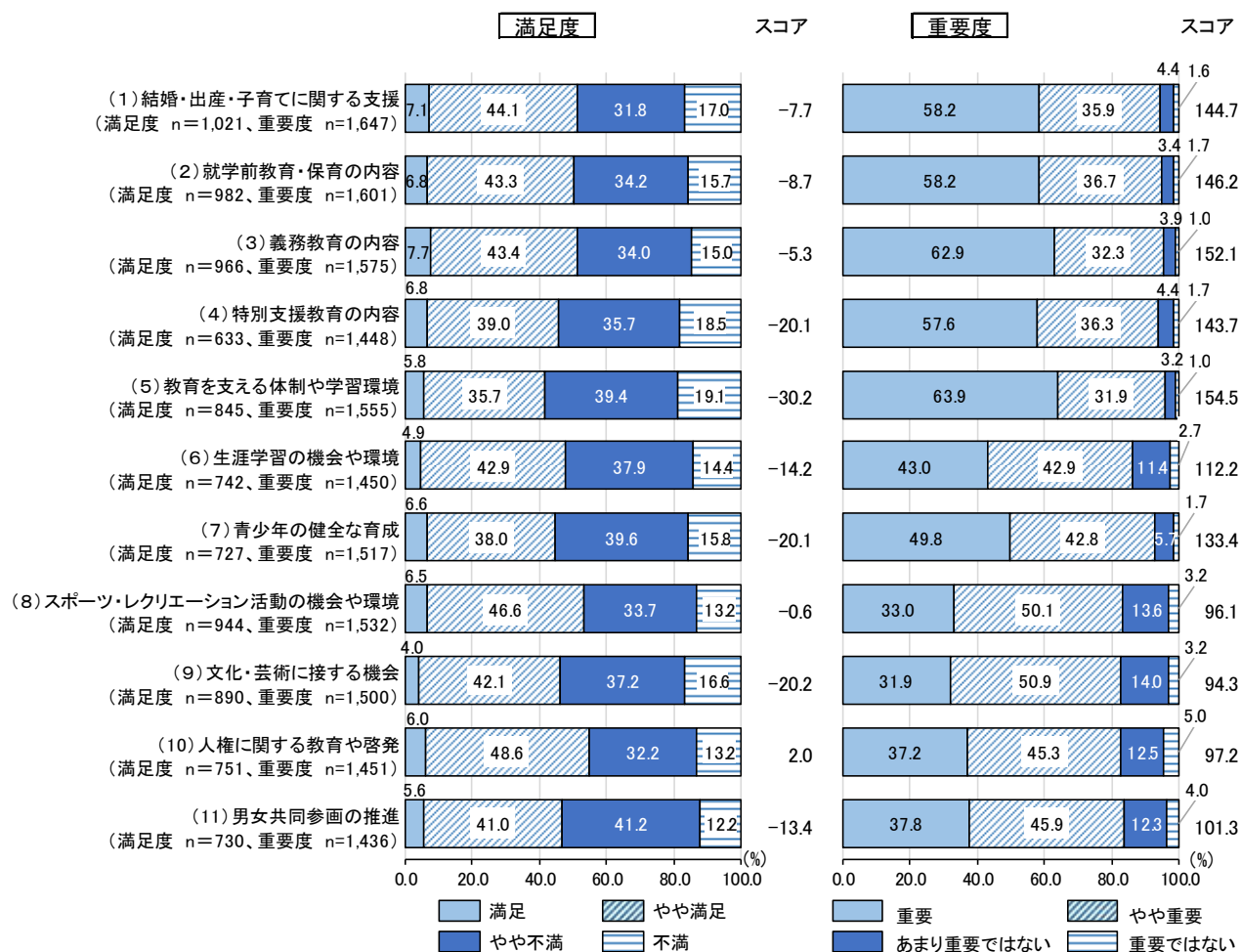
満足度・重要度関係グラフ

- ある施策の満足度スコアと重要度スコアとの関係を点としてプロット（データを図表上に示すこと）したグラフで、施策の優先度を判断するのに利用します。
- 例えば象限Aに点がある場合、満足度が低く重要度は高いので、今後最優先に取り組むべき施策と判断できます。また、象限Bは、満足度も重要度も高いので、Aに比べると優先度は低く、満足度が低下しないよう取り組む必要のある施策を示しています。
- 過年度のデータをプロットすることで、施策の優先度の推移（満足度・重要度の関係性の変化）をみることができます。

3-1 心豊かに暮らせるまち

- 施策の満足度スコアが最も高い項目は「(10) 人権に関する教育や啓発」、次いで「(8) スポーツ・レクリエーション活動の機会や環境」となっている。一方、最も低い項目は「(5) 教育を支える体制や学習環境」、次いで「(4) 特別支援教育の内容」「(9) 文化・芸術に接する機会」となっている。
- 施策の重要度スコアが最も高い項目は「(5) 教育を支える体制や学習環境」、次いで「(3) 義務教育の内容」となっている。一方、最も低い項目は「(9) 文化・芸術に接する機会」、次いで「(8) スポーツ・レクリエーション活動の機会や環境」となっている。

《全体》 ※グラフは「わからない」、「不明・無回答」を除いて集計



※スコアは以下の手順で得点化し、算出している

【満足度】	満足	やや満足	やや不満	不満
	2点	1点	-1点	-2点

2点×「満足」の割合+1点×「やや満足」の割合+(-1点)×「やや不満」の割合+(-2点)×「不満」の割合=満足度スコア

※ただし、「わからない」、不明・無回答は除いて集計

【重要度】	重要	やや重要	あまり重要ではない	重要ではない
	2点	1点	-1点	-2点

2点×「重要」の割合+1点×「やや重要」の割合+(-1点)×「あまり重要ではない」の割合+(-2点)×「重要ではない」の割合=重要度スコア

※ただし、「わからない」、不明・無回答は除いて集計

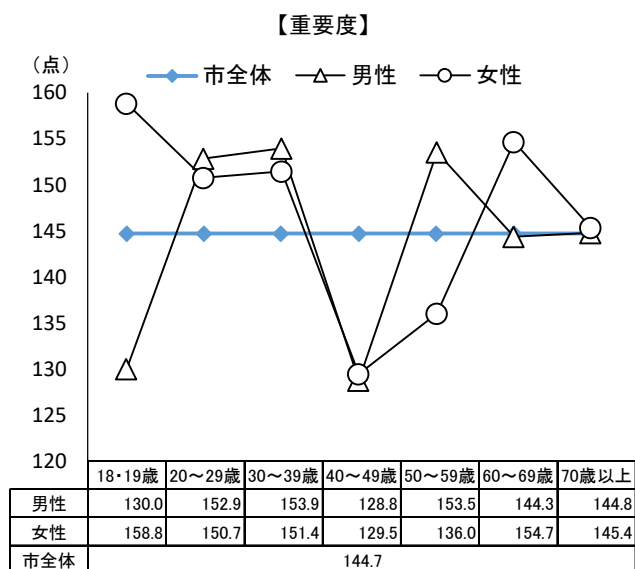
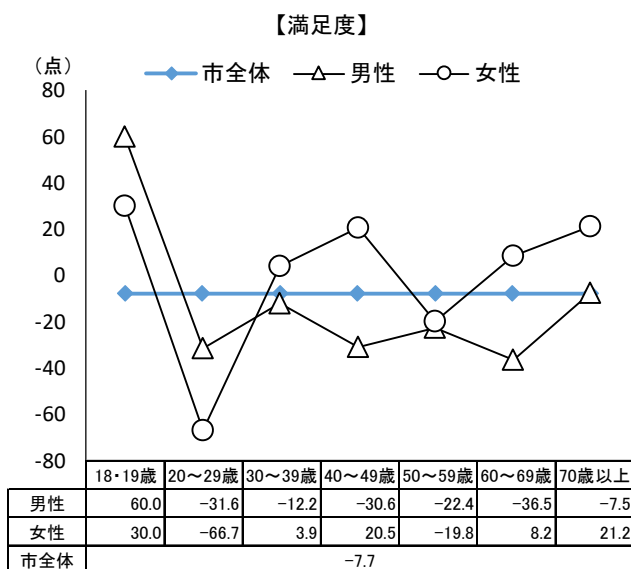
子どもの健やかな成長を支援する

〔結婚・出産・子育ての支援〕

(1) 結婚・出産・子育てに関する支援

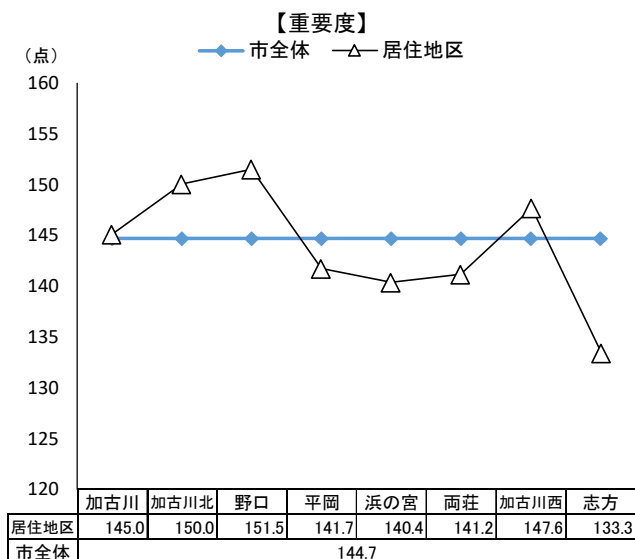
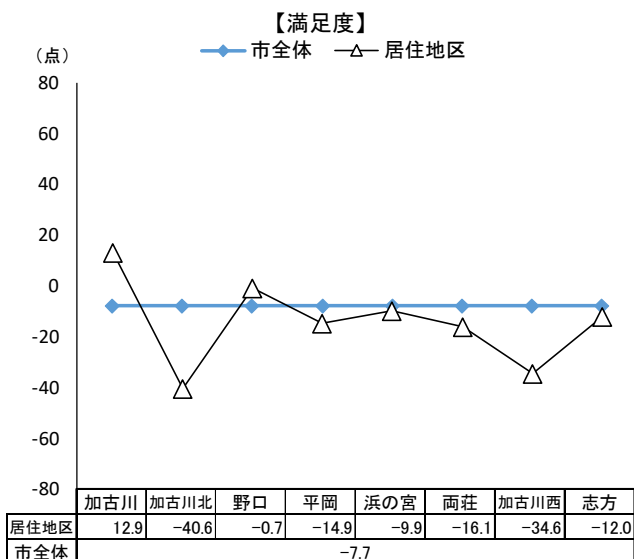
《性年代別》

- 満足度を性年代別でみると、18・19歳、70歳以上の男女と、30歳代、40歳代、60歳代の女性で市全体平均より高くなっている。
- 重要度を性年代別でみると、20歳代、30歳代、70歳以上の男女と、50歳代の男性、18・19歳、60歳代の女性で市全体平均より高くなっている。



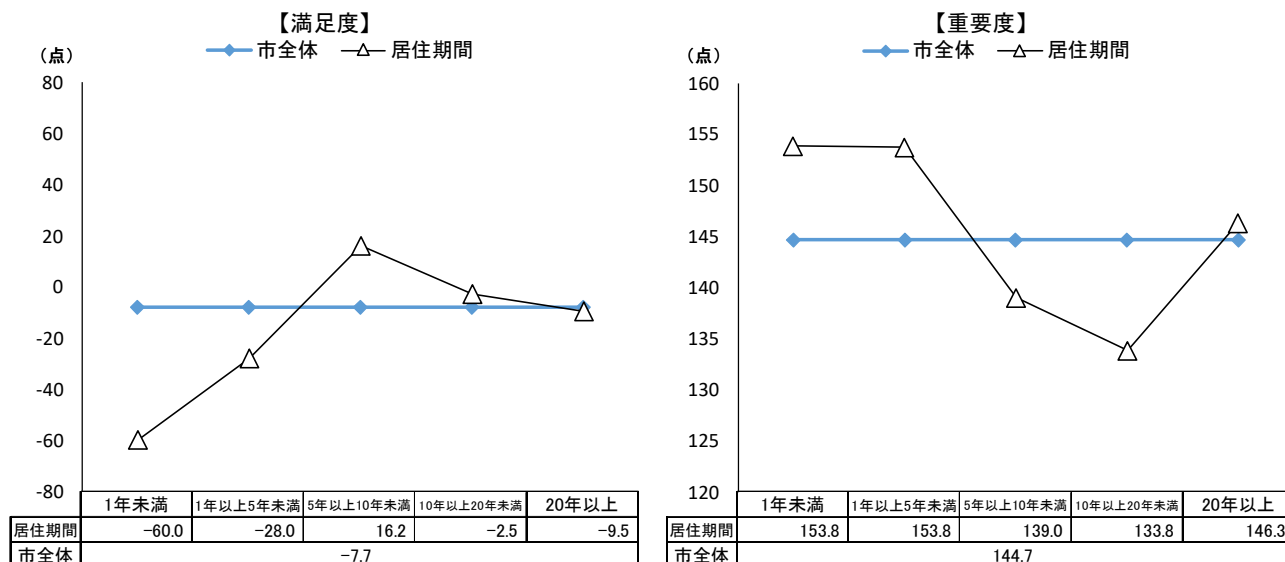
《居住地区別》

- 満足度を居住地区別でみると、加古川、野口で市全体平均より高くなっている。
- 重要度を居住地区別でみると、加古川、加古川北、野口、加古川西で市全体平均より高くなっている。



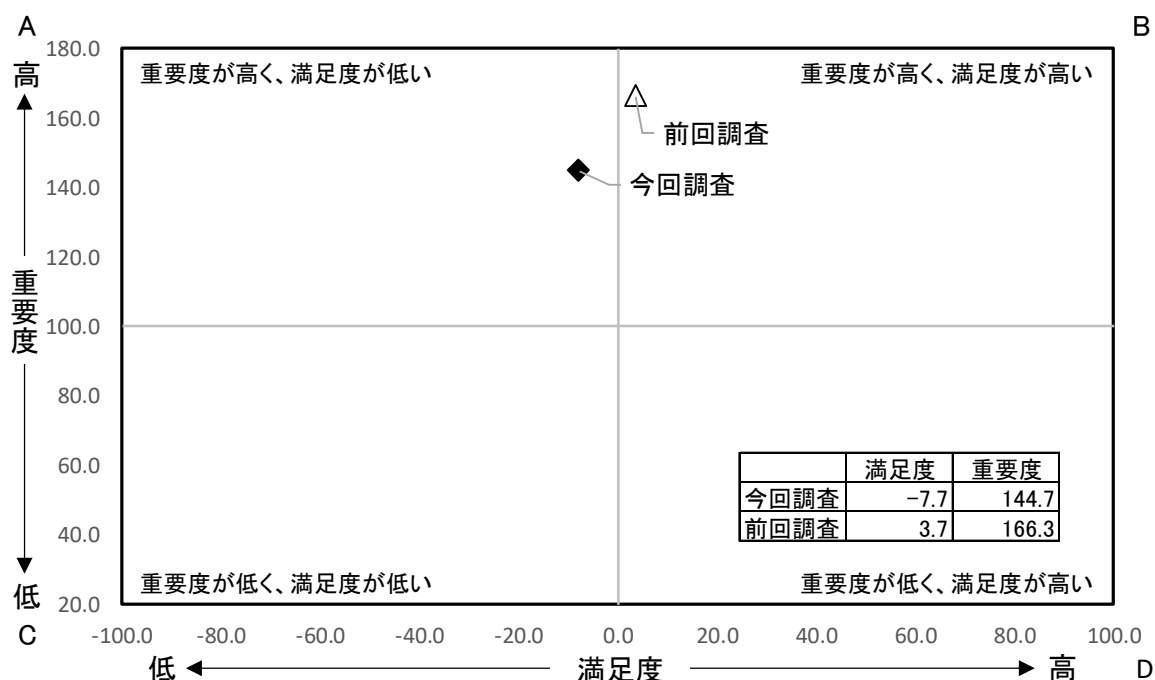
《居住期間別》

- 満足度を居住期間別でみると、「5年以上10年未満」、「10年以上20年未満」で市全体平均より高くなっている。
- 重要度を居住期間別でみると、「1年未満」、「1年以上5年未満」、「20年以上」で市全体平均より高くなっている。



《満足度と重要度の関係（前回調査との比較）》

- 満足度と重要度の関係でみると、前回調査より満足度と重要度はともに低くなっている。

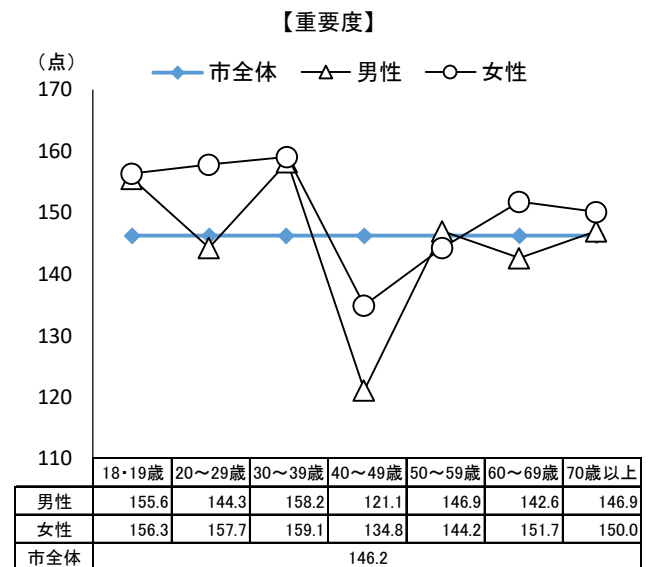
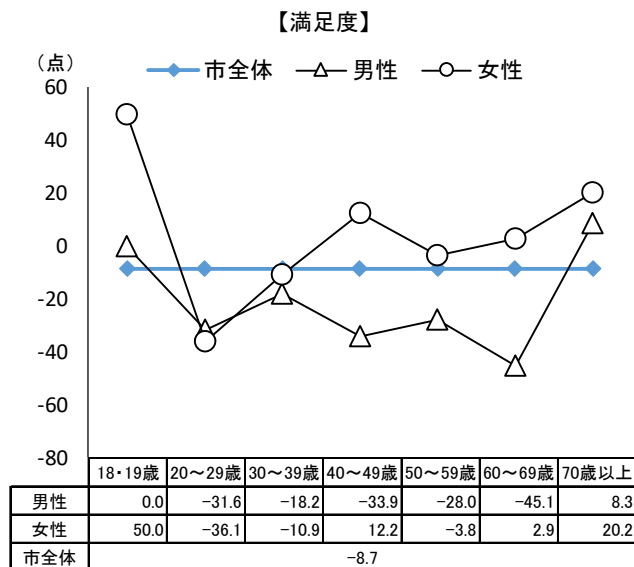


〔就学前教育・保育の充実〕

（２）就学前教育・保育の内容

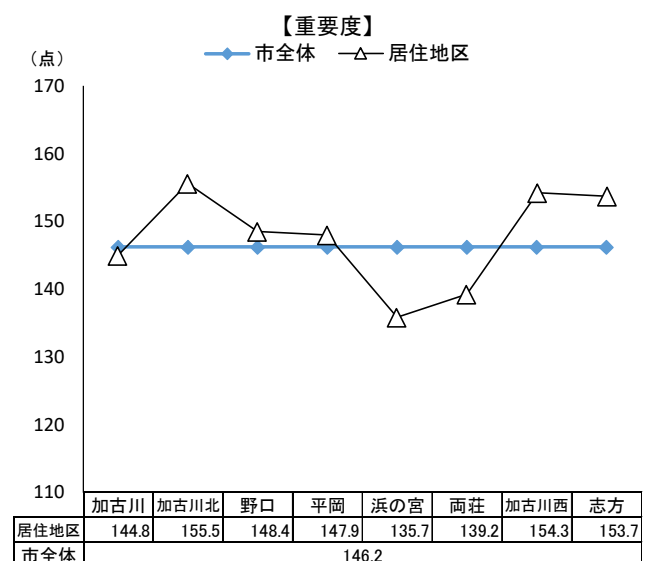
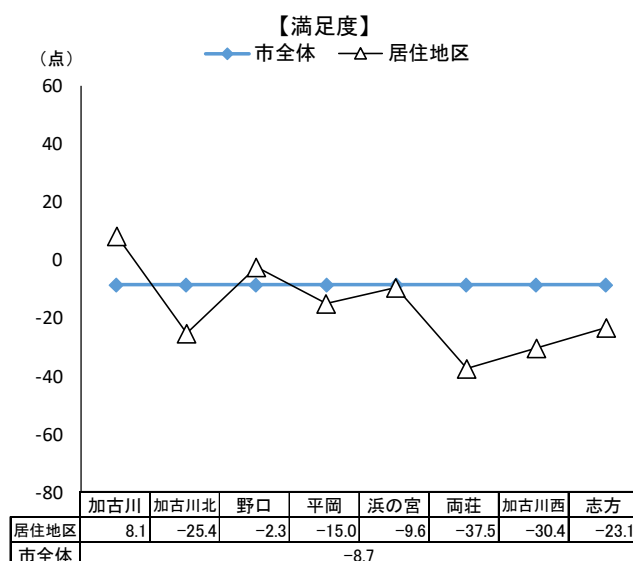
《性年代別》

- 満足度を性年代別でみると、18・19歳、70歳以上の男女と、40歳代、50歳代、60歳代の女性で市全体平均より高くなっている。
- 重要度を性年代別でみると、18・19歳、30歳代、70歳以上の男女と、50歳代の男性、20歳代、60歳代の女性で市全体平均より高くなっている。



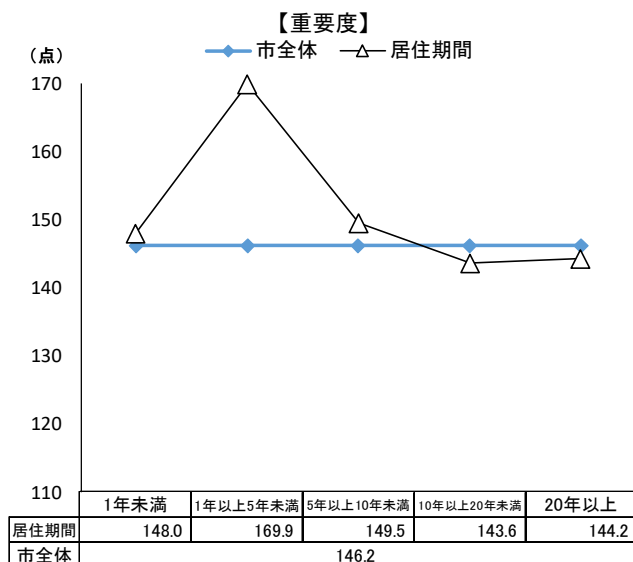
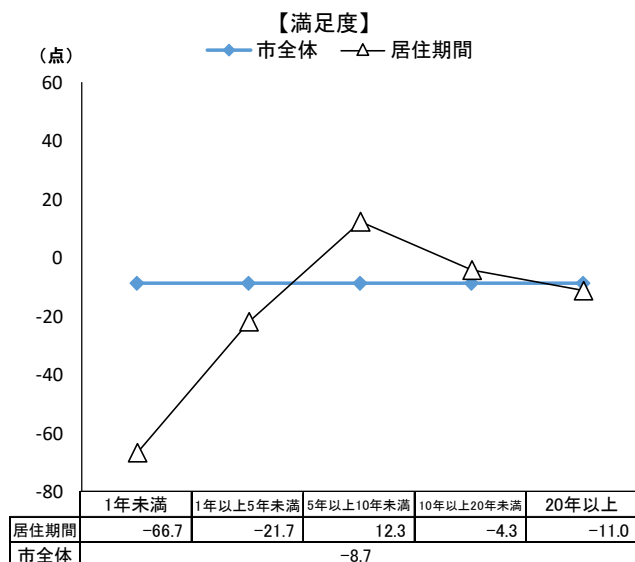
《居住地区別》

- 満足度を居住地区別でみると、加古川、野口で市全体平均より高くなっている。
- 重要度を居住地区別でみると、加古川北、野口、平岡、加古川西、志方で市全体平均より高くなっている。



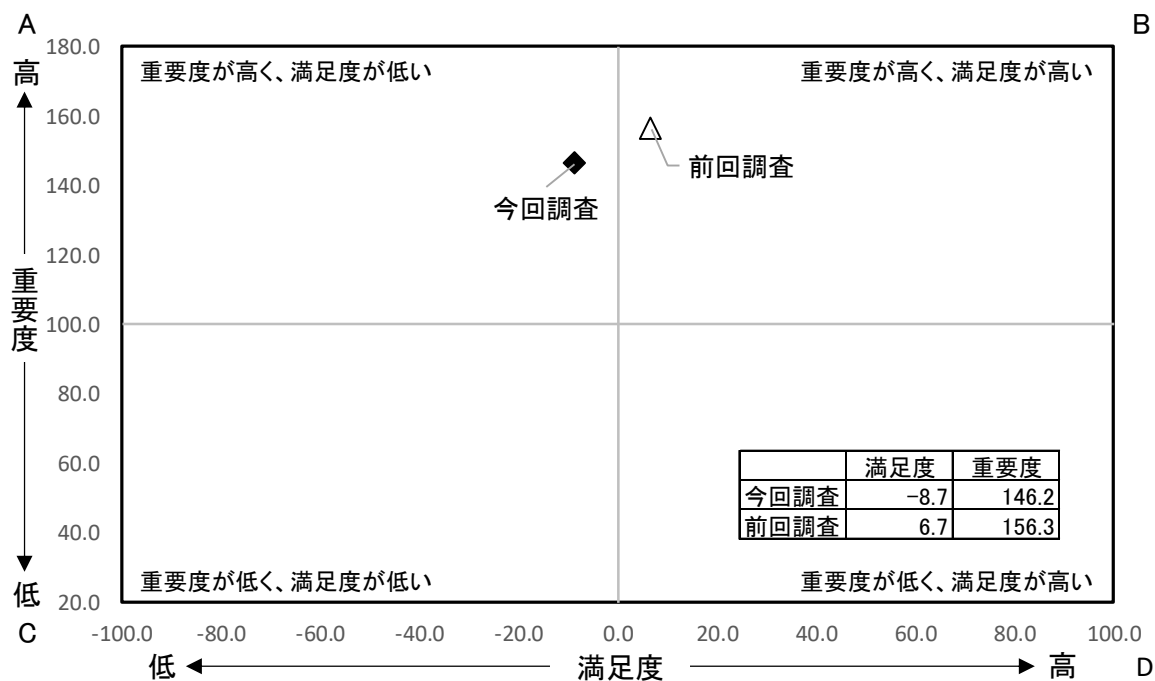
《居住期間別》

- 満足度を居住期間別でみると、「5年以上10年未満」、「10年以上20年未満」で市全体平均より高くなっている。
- 重要度を居住期間別でみると、「1年未満」、「1年以上5年未満」、「5年以上10年未満」で市全体平均より高くなっている。



《満足度と重要度の関係（前回調査との比較）》

- 満足度と重要度の関係でみると、前回調査より満足度と重要度はともに低くなっている。

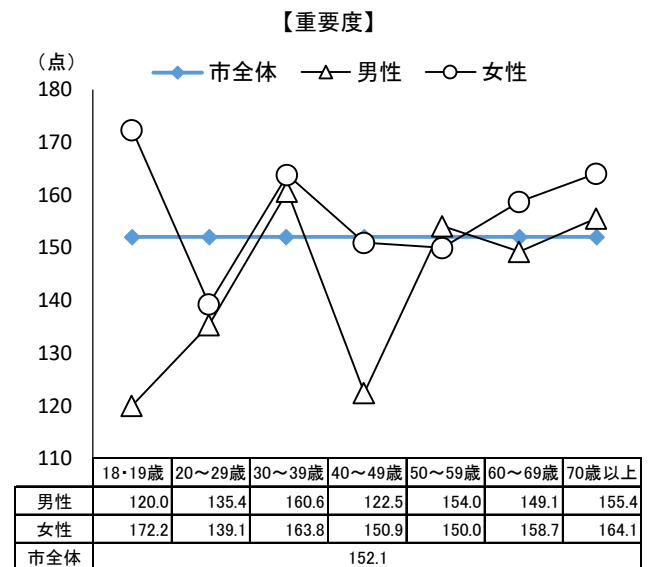
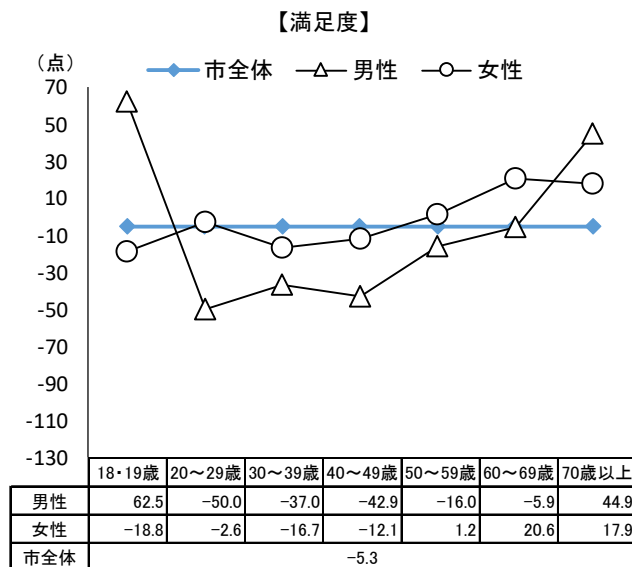


〔義務教育の充実〕

（３）義務教育の内容

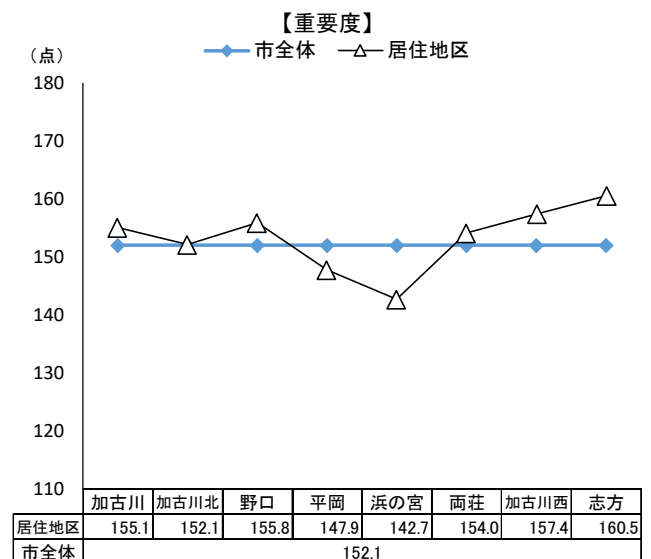
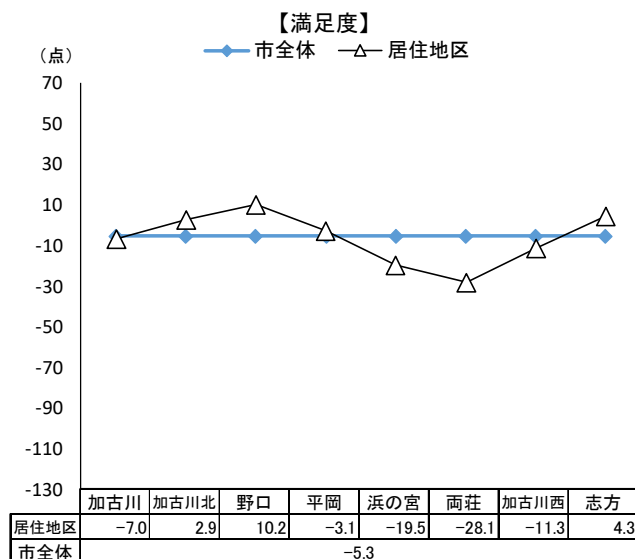
《性年代別》

- 満足度を性年代別でみると、70歳以上の男女と、18・19歳の男性、20歳代、50歳代、60歳代の女性で市全体平均より高くなっている。
- 重要度を性年代別でみると、30歳代、70歳以上の男女と、50歳代の男性、18・19歳、60歳代の女性で市全体平均より高くなっている。



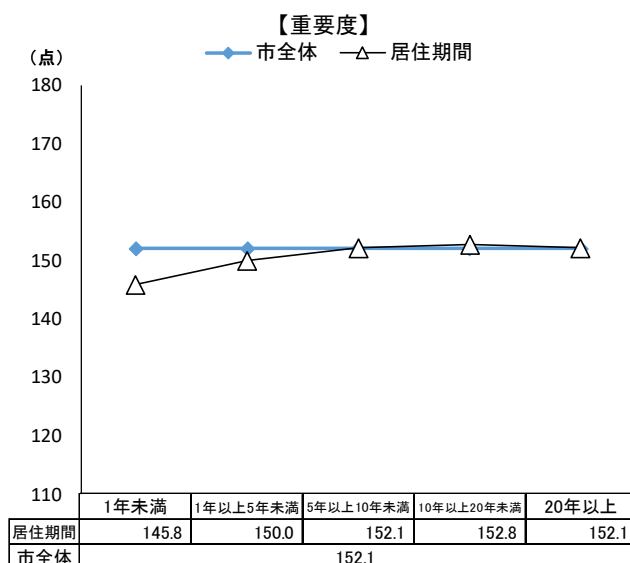
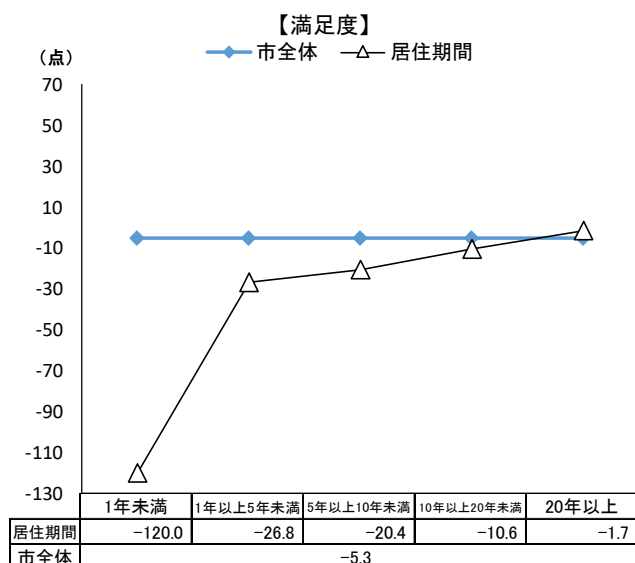
《居住地区別》

- 満足度を居住地区別でみると、加古川北、野口、平岡、志方で市全体平均より高くなっている。
- 重要度を居住地区別でみると、加古川、野口、両荘、加古川西、志方で市全体平均より高くなっている。



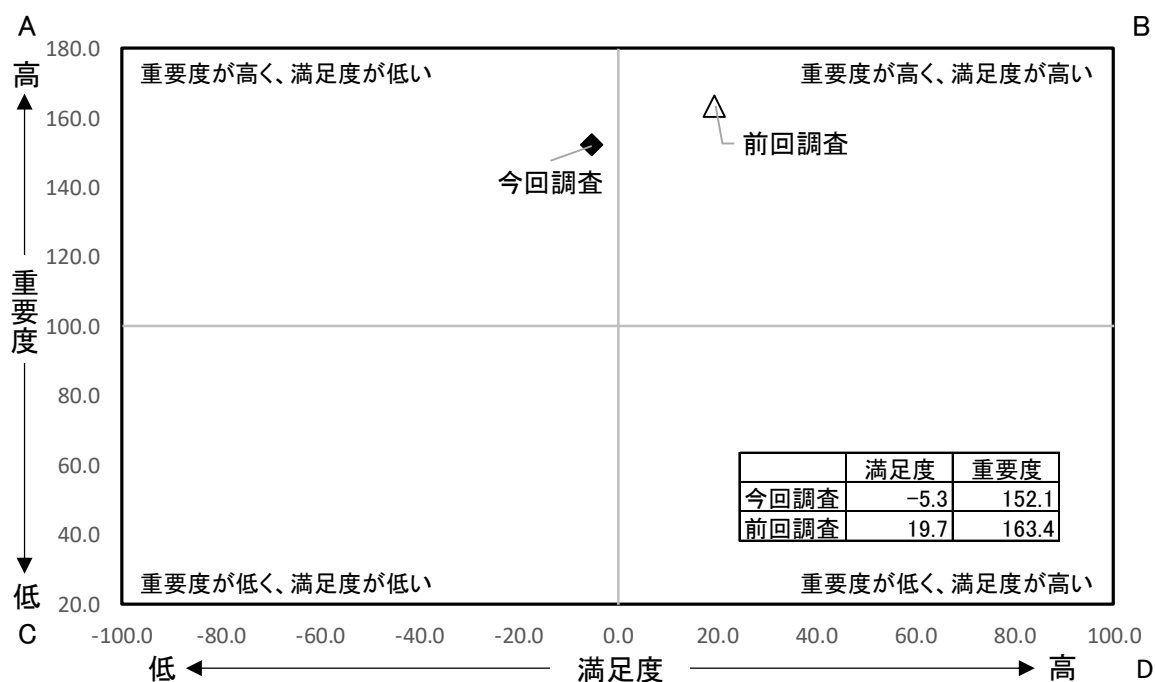
《居住期間別》

- 満足度を居住期間別でみると、「20年以上」で市全体平均より高くなっている。
- 重要度を居住期間別でみると、「10年以上20年未満」で市全体平均より高くなっている。



《満足度と重要度の関係（前回調査との比較）》

- 満足度と重要度の関係でみると、前回調査より満足度と重要度はともに低くなっている。



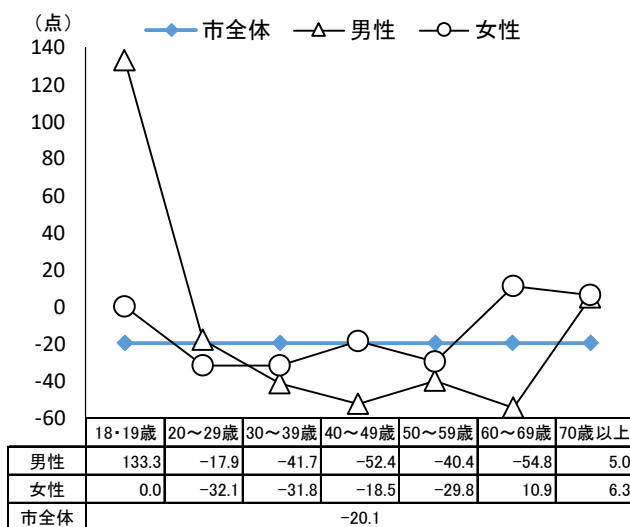
〔特別支援教育の充実〕

（４）特別支援教育の内容

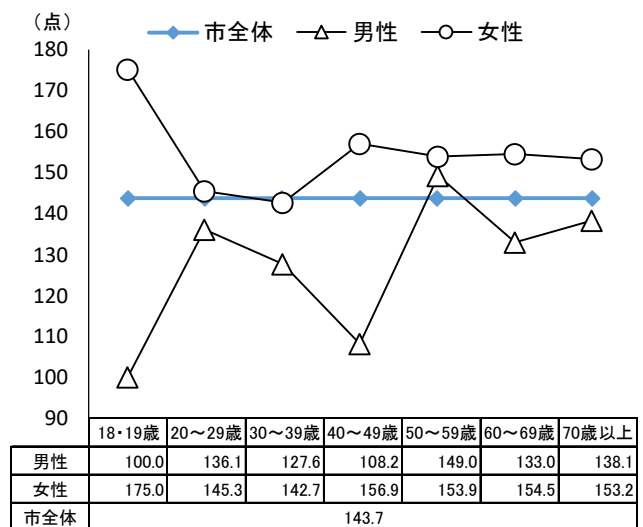
《性年代別》

- 満足度を性年代別でみると、18・19歳、70歳以上の男女と、20歳代の男性、40歳代、60歳代の女性で市全体平均より高くなっている。
- 重要度を性年代別でみると、50歳代の男女と、18・19歳、20歳代、40歳代、60歳代、70歳以上の女性で市全体平均より高くなっている。

【満足度】



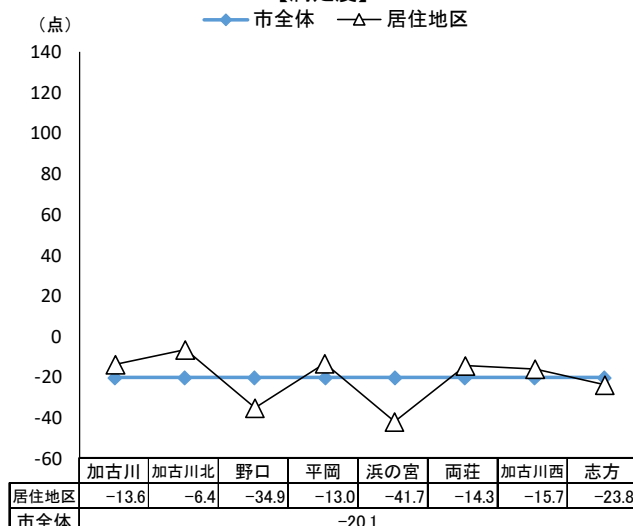
【重要度】



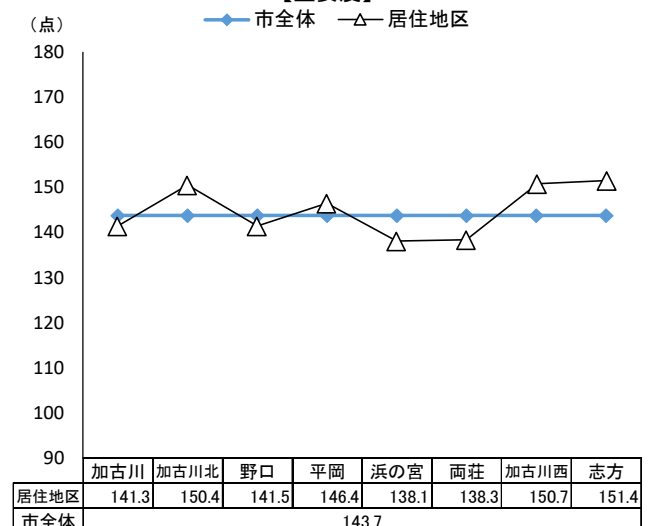
《居住地区別》

- 満足度を居住地区別でみると、加古川、加古川北、平岡、両荘、加古川西で市全体平均より高くなっている。
- 重要度を居住地区別でみると、加古川北、平岡、加古川西、志方で市全体平均より高くなっている。

【満足度】

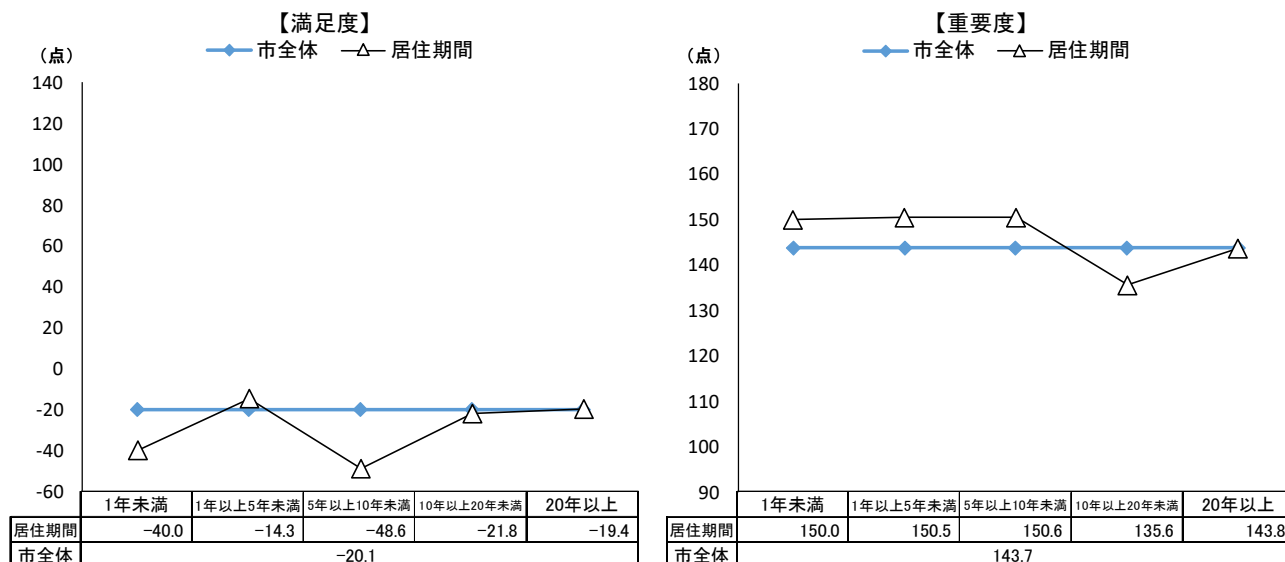


【重要度】



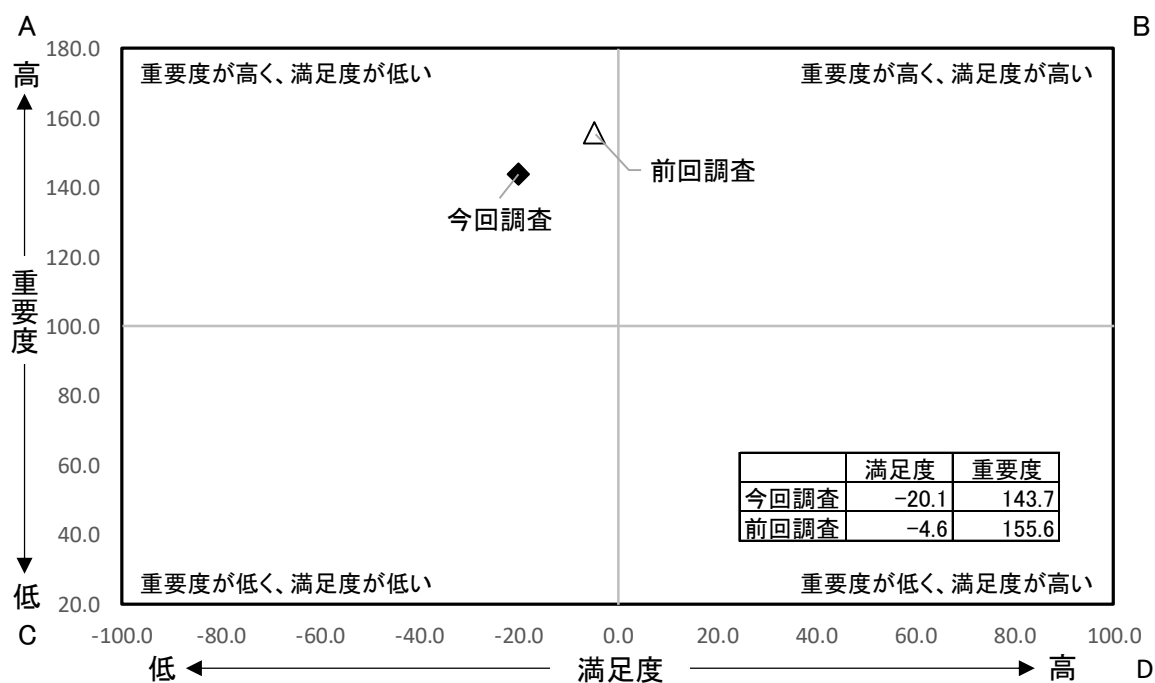
《居住期間別》

- 満足度を居住期間別でみると、「1年以上5年未満」、「20年以上」で市全体平均より高くなっている。
- 重要度を居住期間別でみると、「1年未満」、「1年以上5年未満」、「5年以上10年未満」、「20年以上」で市全体平均より高くなっている。



《満足度と重要度の関係（前回調査との比較）》

- 満足度と重要度の関係でみると、前回調査より満足度と重要度はともに低くなっている。

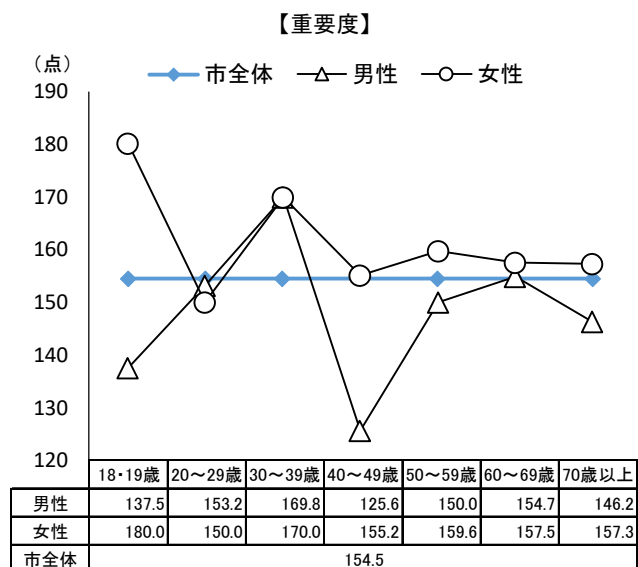
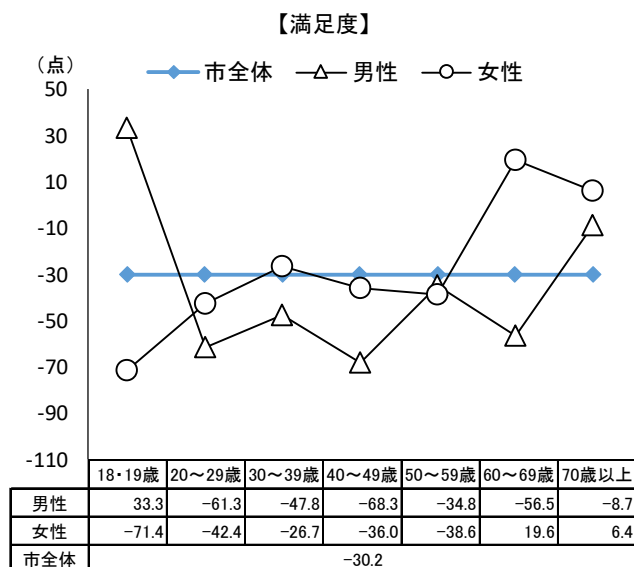


〔教育環境の充実〕

（５）教育を支える体制や学習環境

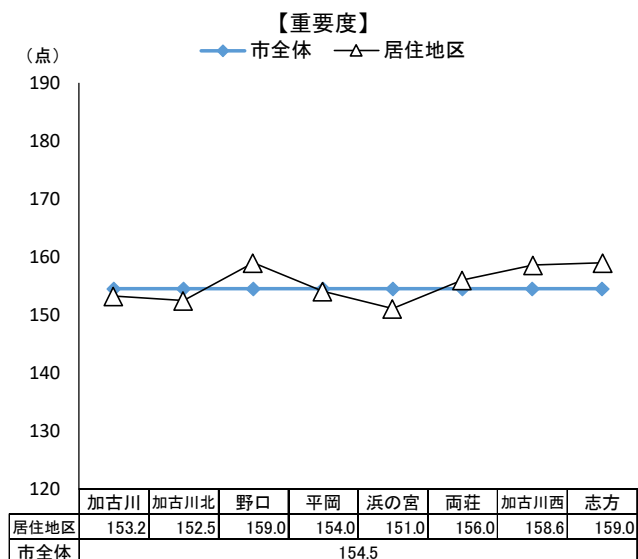
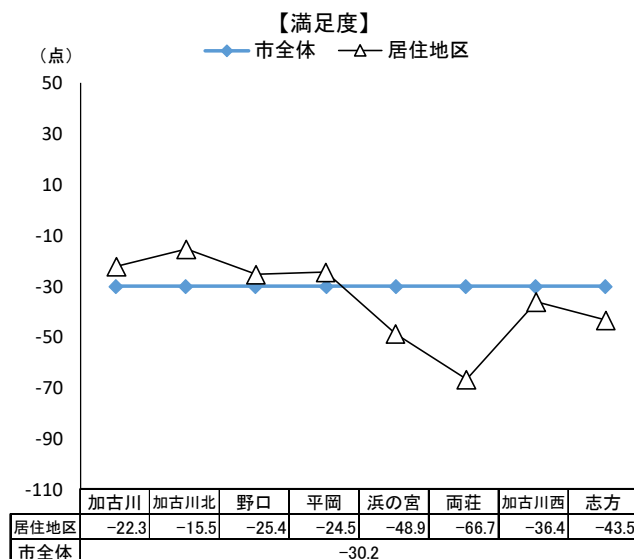
《性年代別》

- 満足度を性年代別でみると、70歳以上の男女と、18・19歳の男性、30歳代、60歳代の女性で市全体平均より高くなっている。
- 重要度を性年代別でみると、30歳代、60歳代の男女と、18・19歳、40歳代、50歳代、70歳以上の女性で市全体平均より高くなっている。



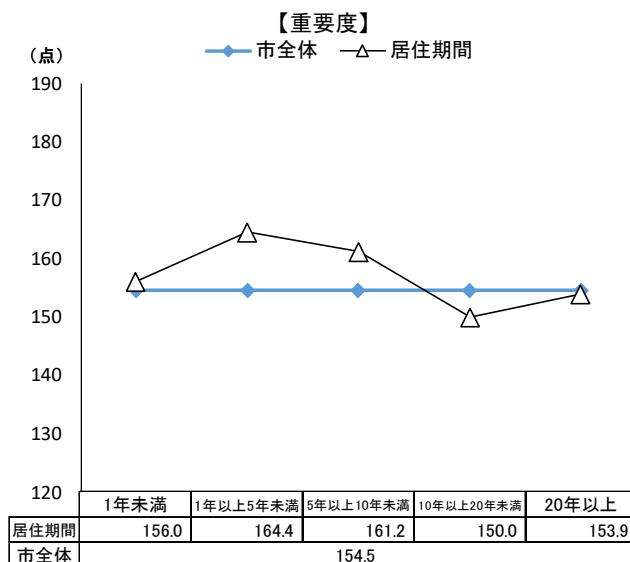
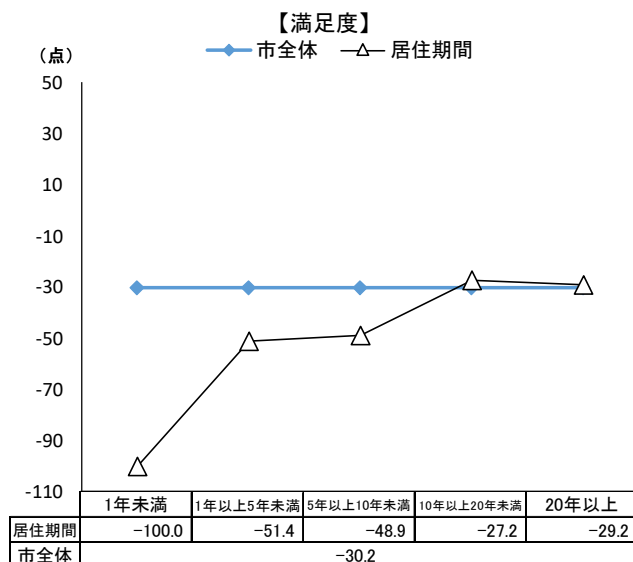
《居住地区別》

- 満足度を居住地区別でみると、加古川、加古川北、野口、平岡で市全体平均より高くなっている。
- 重要度を居住地区別でみると、野口、両荘、加古川西、志方で市全体平均より高くなっている。



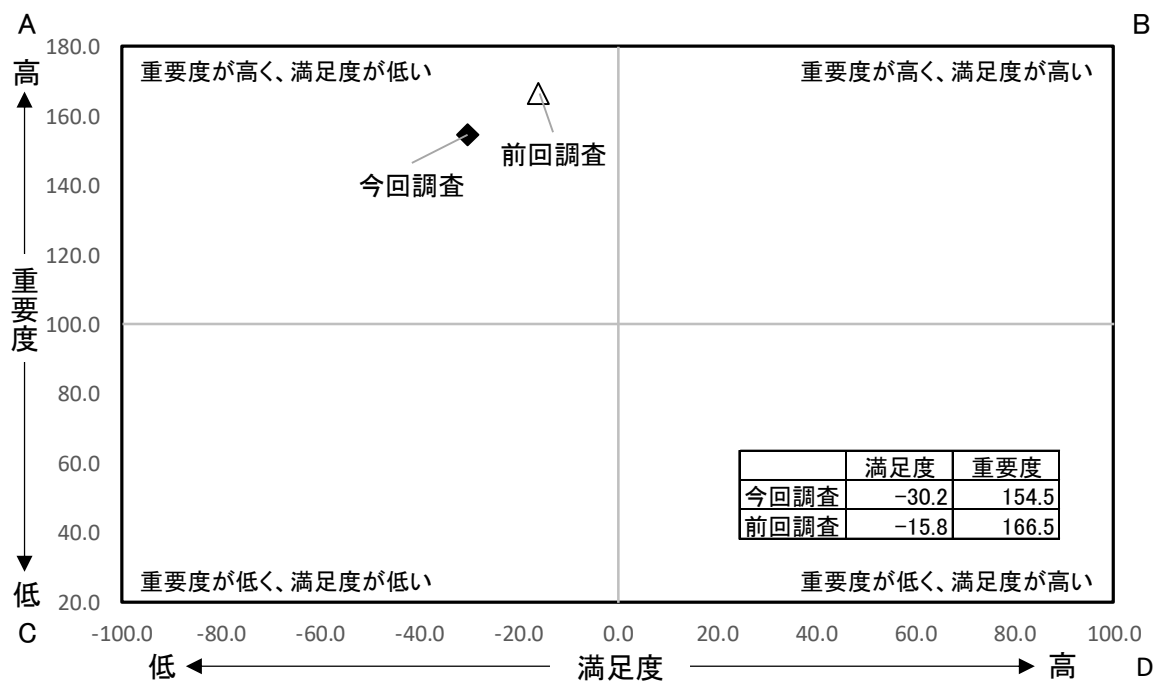
《居住期間別》

- 満足度を居住期間別でみると、「10年以上20年未満」「20年以上」で市全体平均より高くなっている。
- 重要度を居住期間別でみると、「1年未満」、「1年以上5年未満」、「5年以上10年未満」で市全体平均より高くなっている。



《満足度と重要度の関係（前回調査との比較）》

- 満足度と重要度の関係でみると、前回調査より満足度と重要度はともに低くなっている。



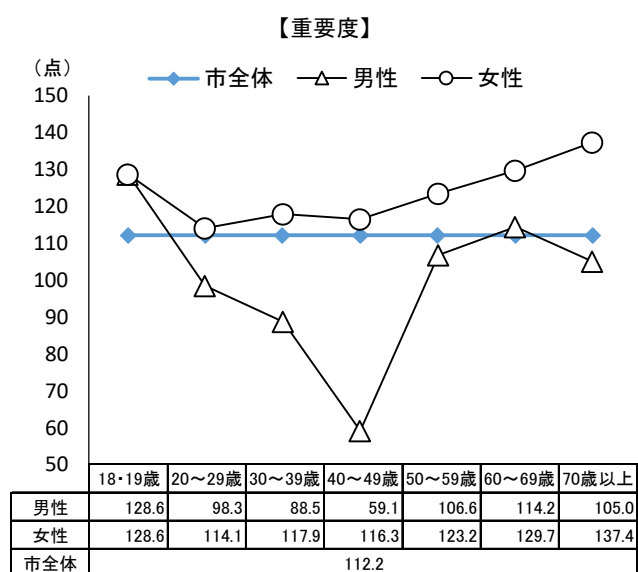
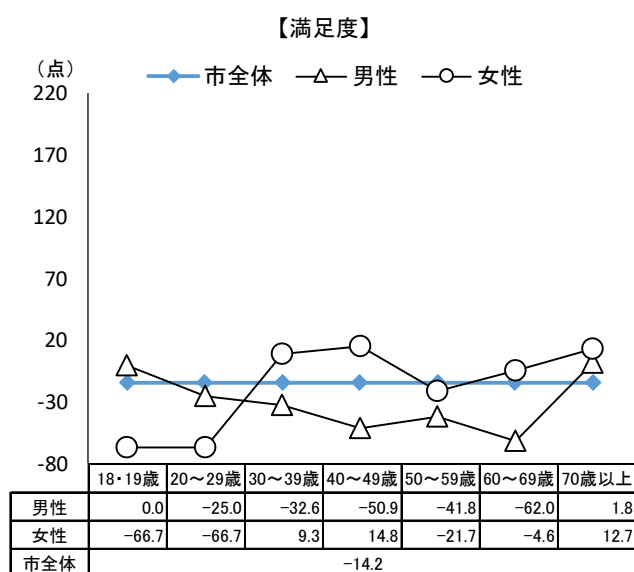
地域における教育・学習環境を整備する

〔生涯学習の推進〕

（６）生涯学習の機会や環境

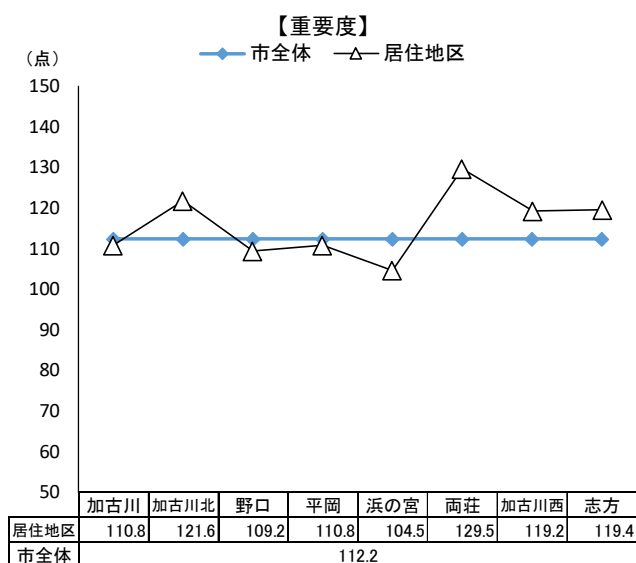
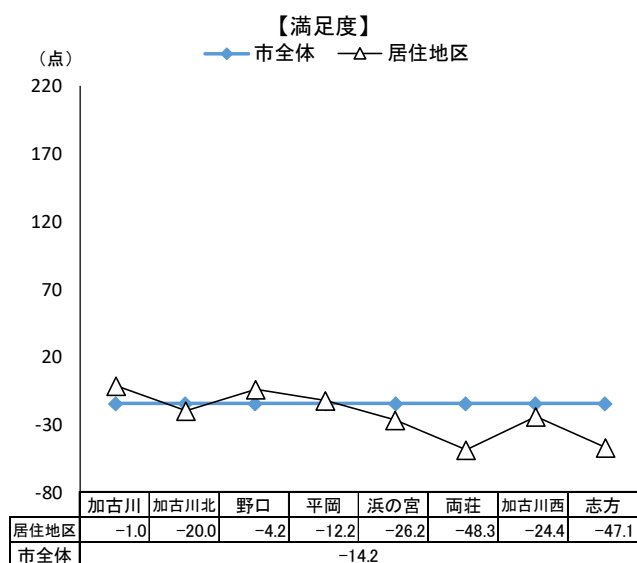
《性年代別》

- 満足度を性年代別でみると、70歳以上の男女と、18・19歳の男性、30歳代、40歳代、60歳代の女性で市全体平均より高くなっている。
- 重要度を性年代別でみると、18・19歳、60歳代の男女と、20歳代、30歳代、40歳代、50歳代70歳以上の女性で市全体平均より高くなっている。



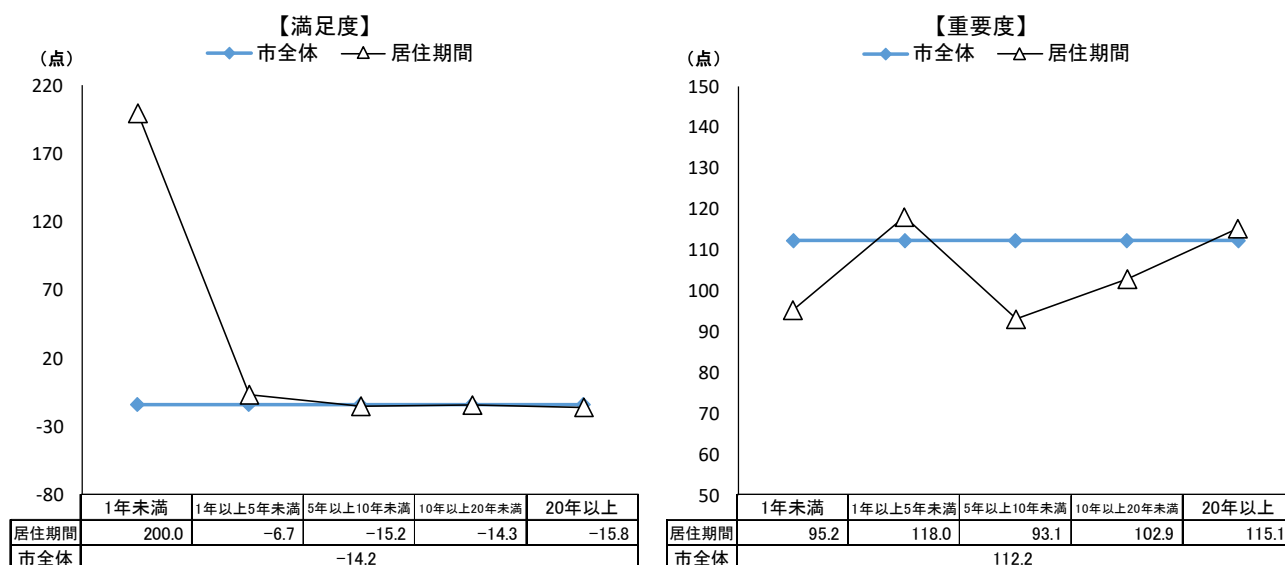
《居住地区別》

- 満足度を居住地区別でみると、加古川、野口、平岡で市全体平均より高くなっている。
- 重要度を居住地区別でみると、加古川北、両荘、加古川西、志方で市全体平均より高くなっている。



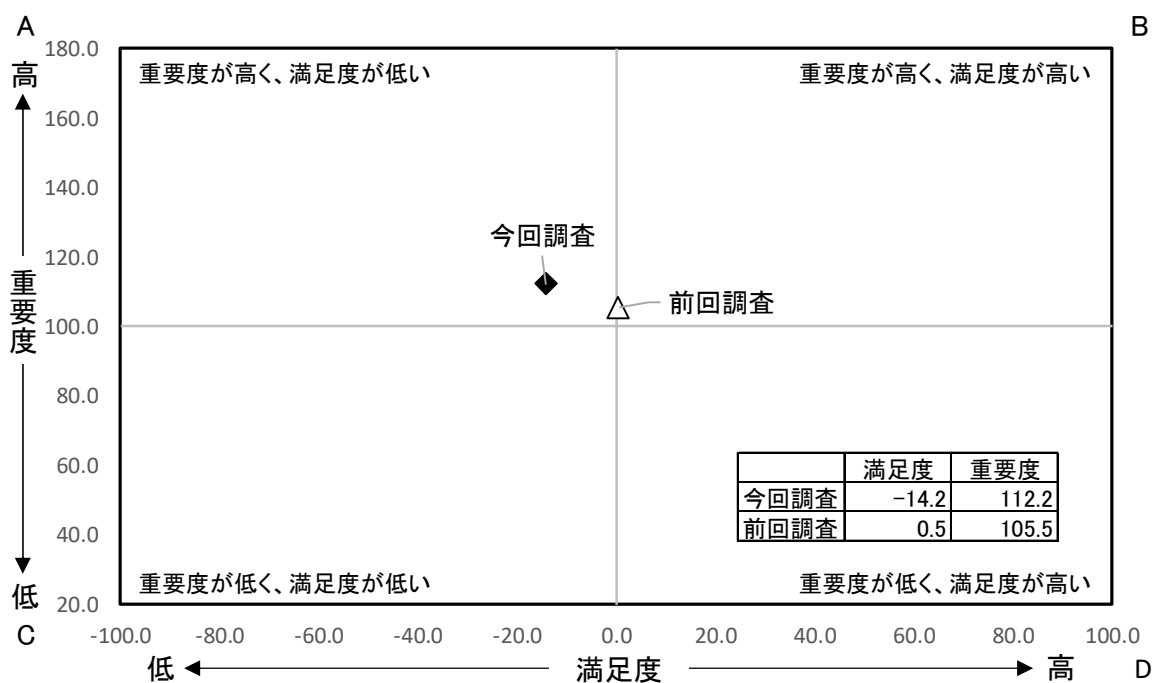
《居住期間別》

- 満足度を居住期間別でみると、「1年未満」、「1年以上5年未満」で市全体平均より高くなっている。
- 重要度を居住期間別でみると、「1年以上5年未満」、「20年以上」で市全体平均より高くなっている。



《満足度と重要度の関係（前回調査との比較）》

- 満足度と重要度の関係でみると、前回調査より満足度は低くなり、重要度は高くなっている。



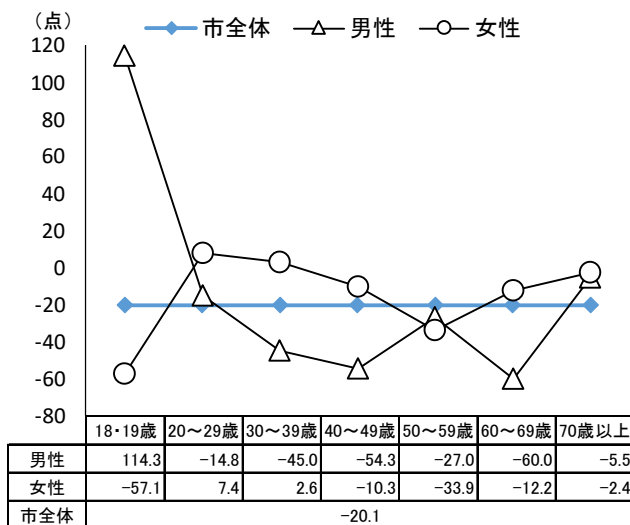
〔青少年の健全育成〕

（７）青少年の健全な育成

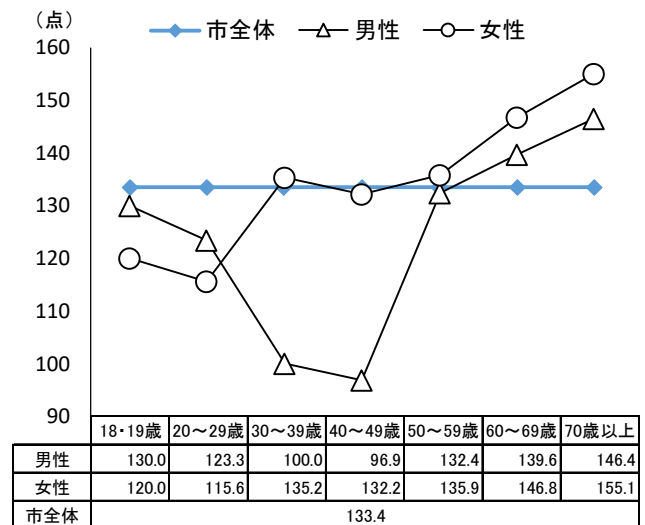
《性年代別》

- 満足度を性年代別でみると、20歳代、70歳以上の男女と、18・19歳の男性、30歳代、40歳代、60歳代の女性で市全体平均より高くなっている。
- 重要度を性年代別でみると、60歳代、70歳代の男女と、30歳代、50歳代の女性で市全体平均より高くなっている。

【満足度】



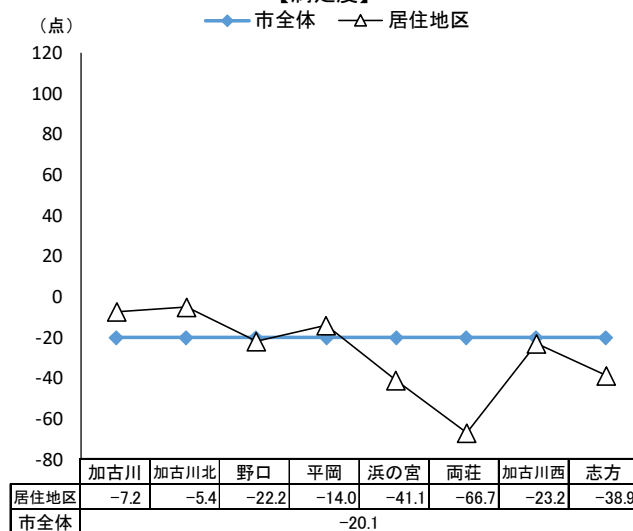
【重要度】



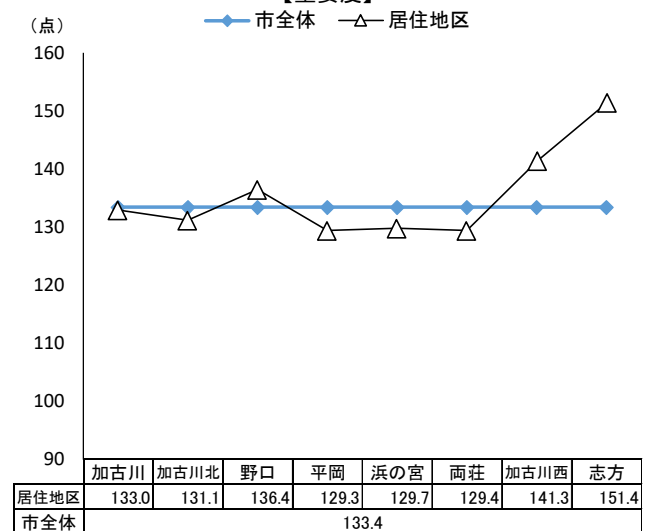
《居住地区別》

- 満足度を居住地区別でみると、加古川、加古川北、平岡で市全体平均より高くなっている。
- 重要度を居住地区別でみると、野口、加古川西、志方で市全体平均より高くなっている。

【満足度】

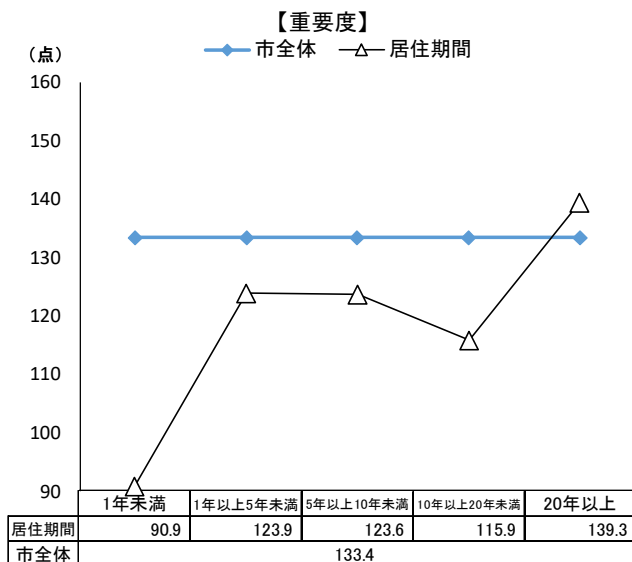
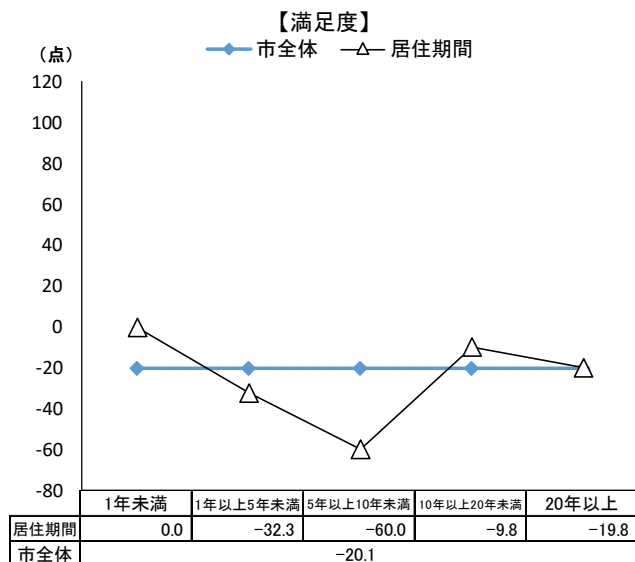


【重要度】



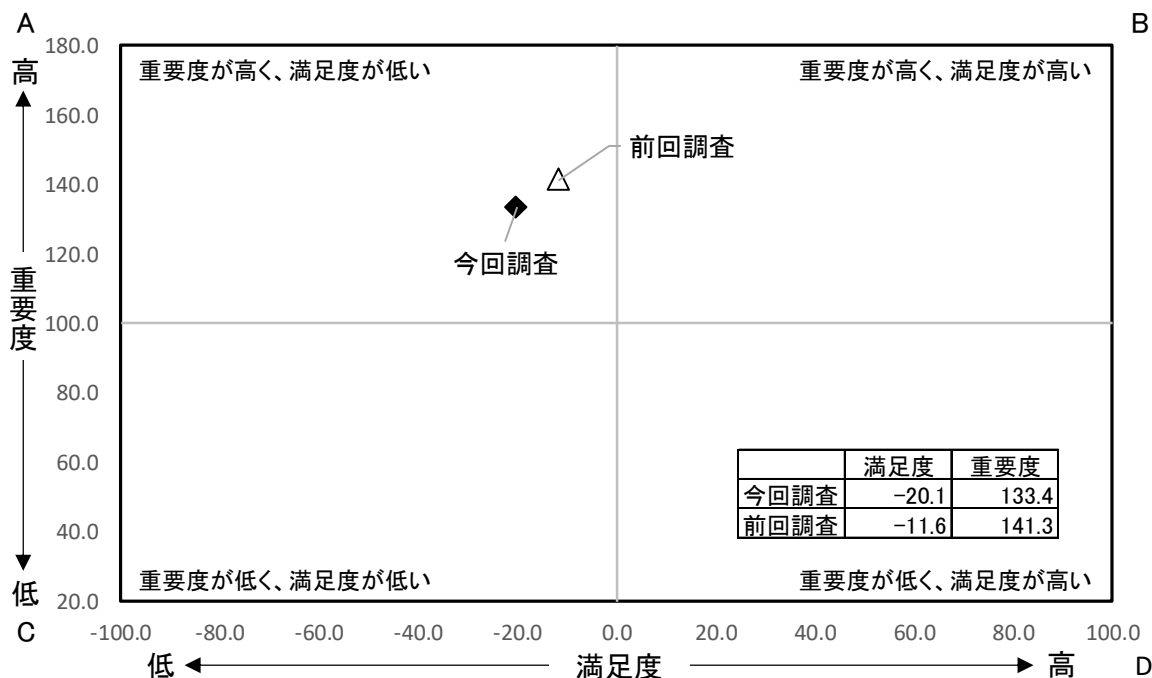
《居住期間別》

- 満足度を居住期間別でみると、「1年未満」、「10年以上20年未満」、「20年以上」で市全体平均より高くなっている。
- 重要度を居住期間別でみると、「20年以上」で市全体平均より高くなっている。



《満足度と重要度の関係（前回調査との比較）》

- 満足度と重要度の関係でみると、前回調査より満足度と重要度はともに低くなっている。



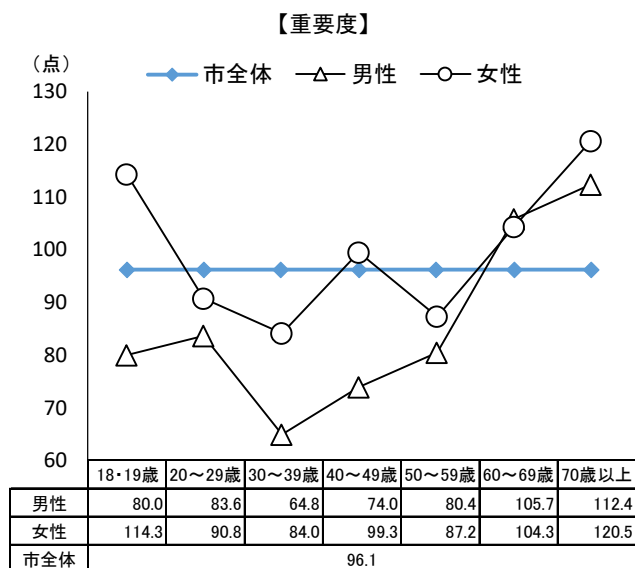
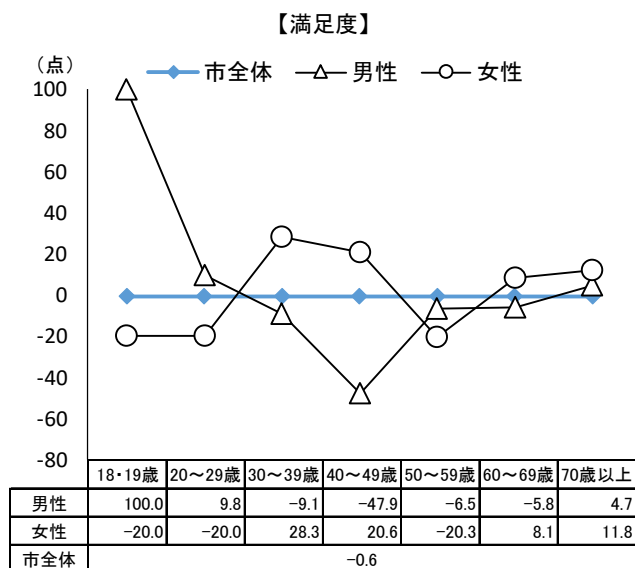
スポーツや文化・芸術を振興する

〔スポーツ・レクリエーション活動の推進〕

(8) スポーツ・レクリエーション活動の機会や環境

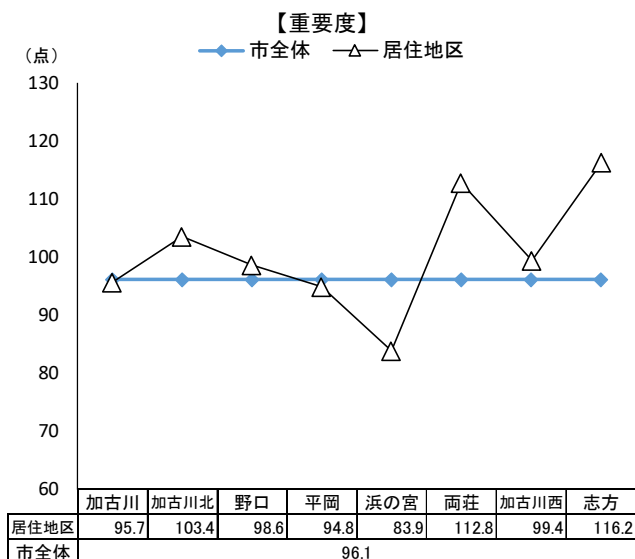
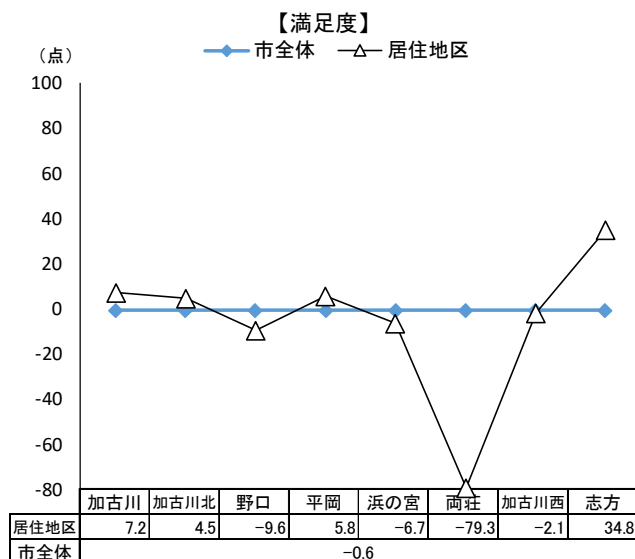
《性年代別》

- 満足度を性年代別でみると、70歳以上の男女と、18・19歳、20歳代の男性、30歳代、40歳代、60歳代の女性で市全体平均より高くなっている。
- 重要度を性年代別でみると、60歳代、70歳以上の男女と、18・19歳、40歳代の女性で市全体平均より高くなっている。



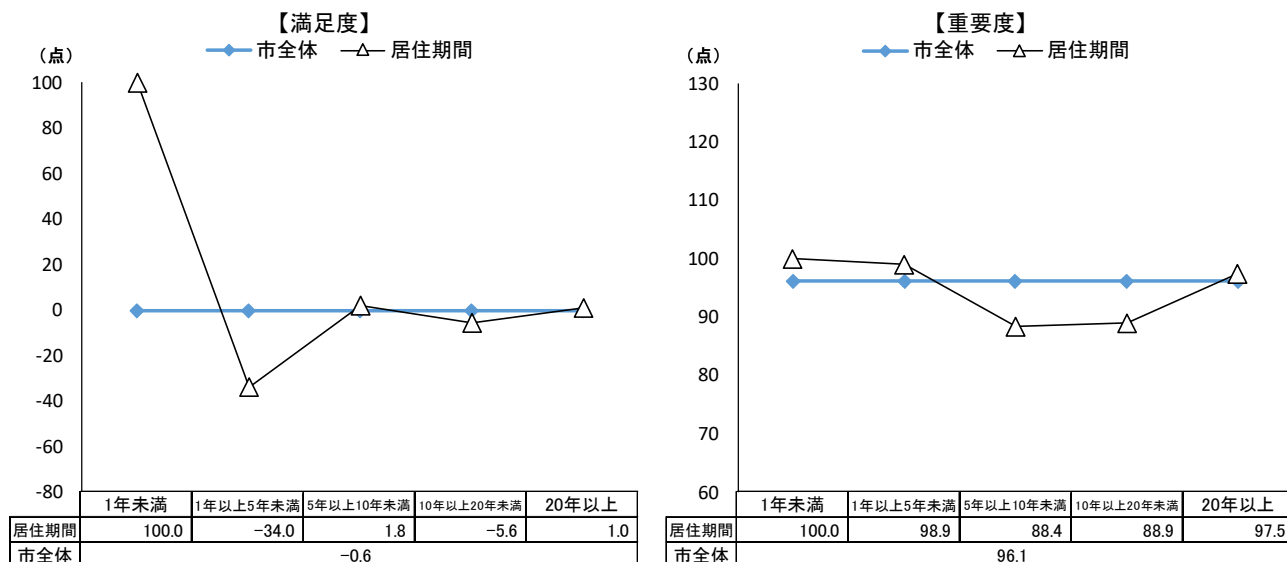
《居住地区別》

- 満足度を居住地区別でみると、加古川、加古川北、平岡、志方で市全体平均より高くなっている。
- 重要度を居住地区別でみると、加古川北、野口、両荘、加古川西、志方で市全体平均より高くなっている。



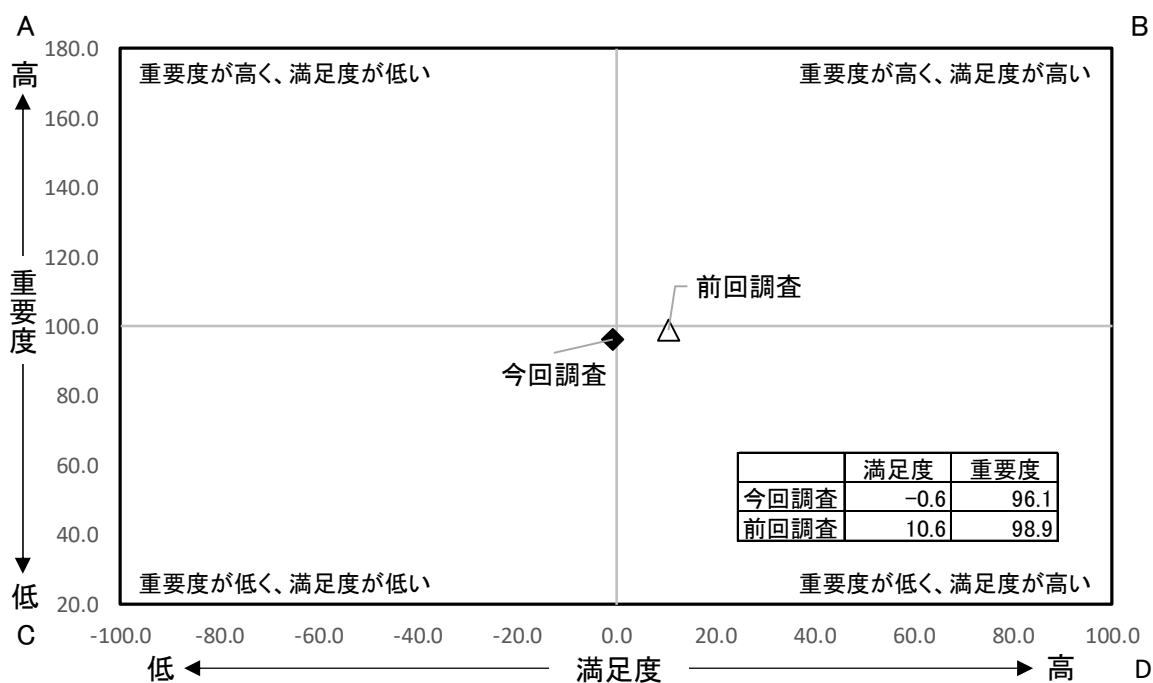
《居住期間別》

- 満足度を居住期間別でみると、「1年未満」、「5年以上10年未満」、「20年以上」で市全体平均より高くなっている。
- 重要度を居住期間別でみると、「1年未満」、「1年以上5年未満」、「20年以上」で市全体平均より高くなっている。



《満足度と重要度の関係（前回調査との比較）》

- 満足度と重要度の関係でみると、前回調査より満足度と重要度はともに低くなっている。

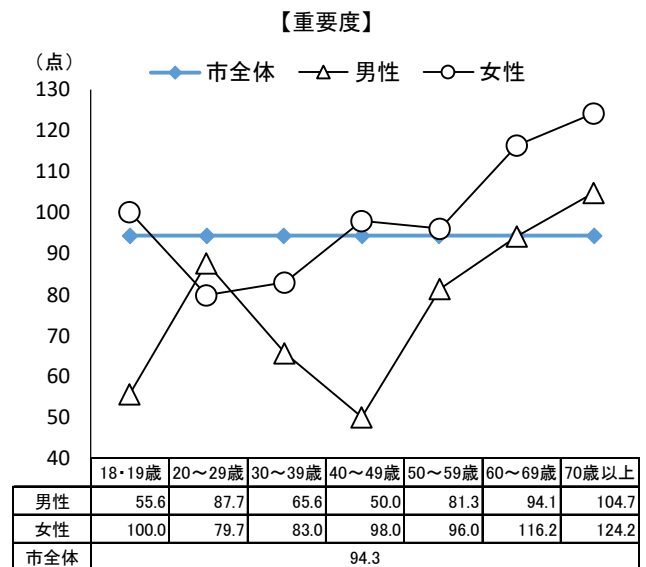
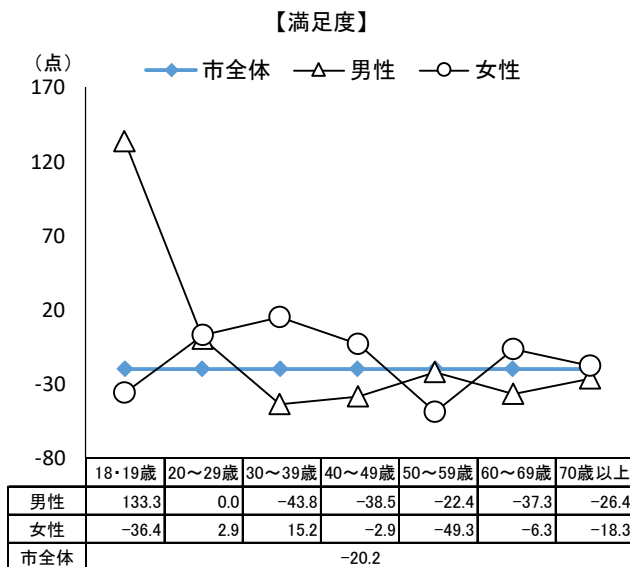


〔文化・芸術の振興〕

（９）文化・芸術に接する機会

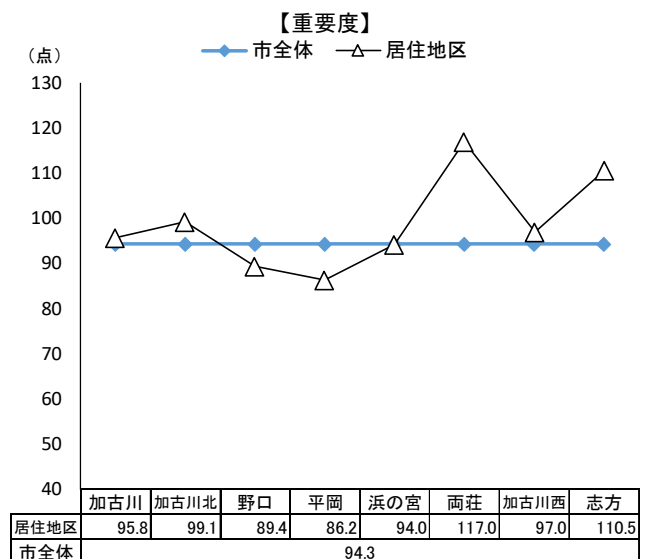
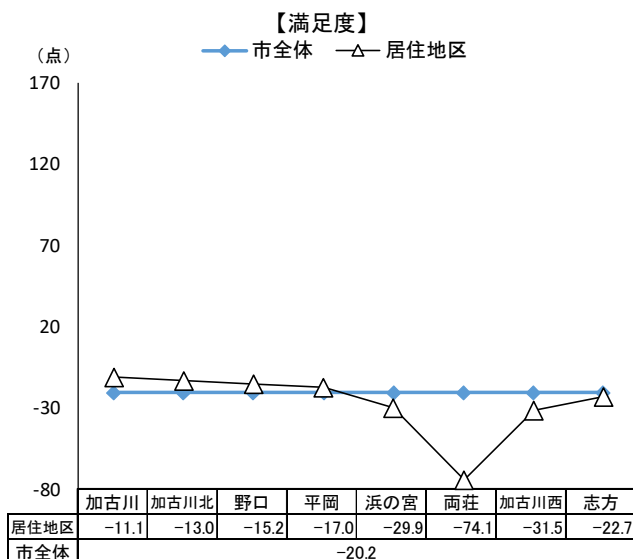
《性年代別》

- 満足度を性年代別でみると、20歳代の男女と、18・19歳の男性、30歳代、40歳代、60歳代、70歳以上の女性で市全体平均より高くなっている。
- 重要度を性年代別でみると、70歳以上の男女と、18・19歳、40歳代、50歳代、60歳代の女性で市全体平均より高くなっている。



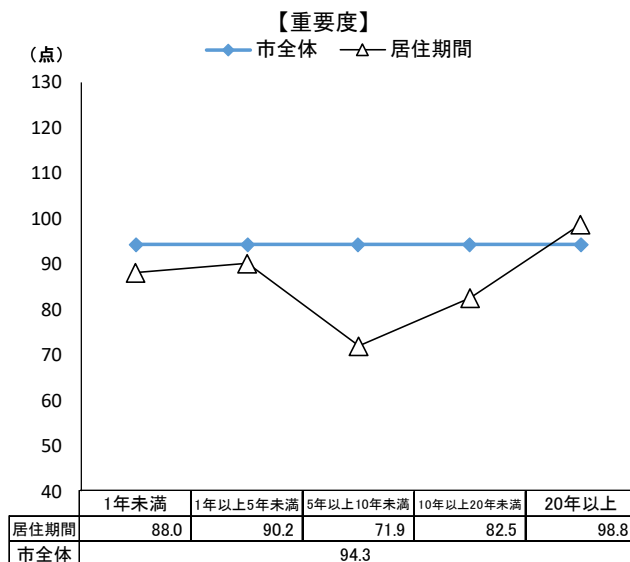
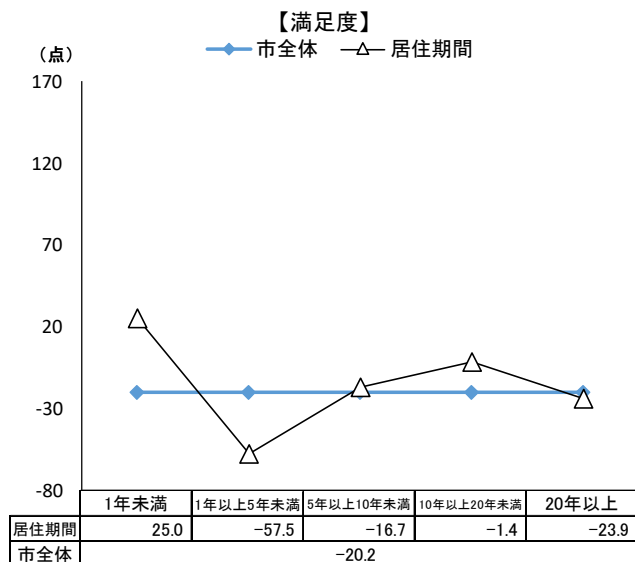
《居住地区別》

- 満足度を居住地区別でみると、加古川、加古川北、野口、平岡で市全体平均より高くなっている。
- 重要度を居住地区別でみると、加古川、加古川北、両荘、加古川西、志方で市全体平均より高くなっている。



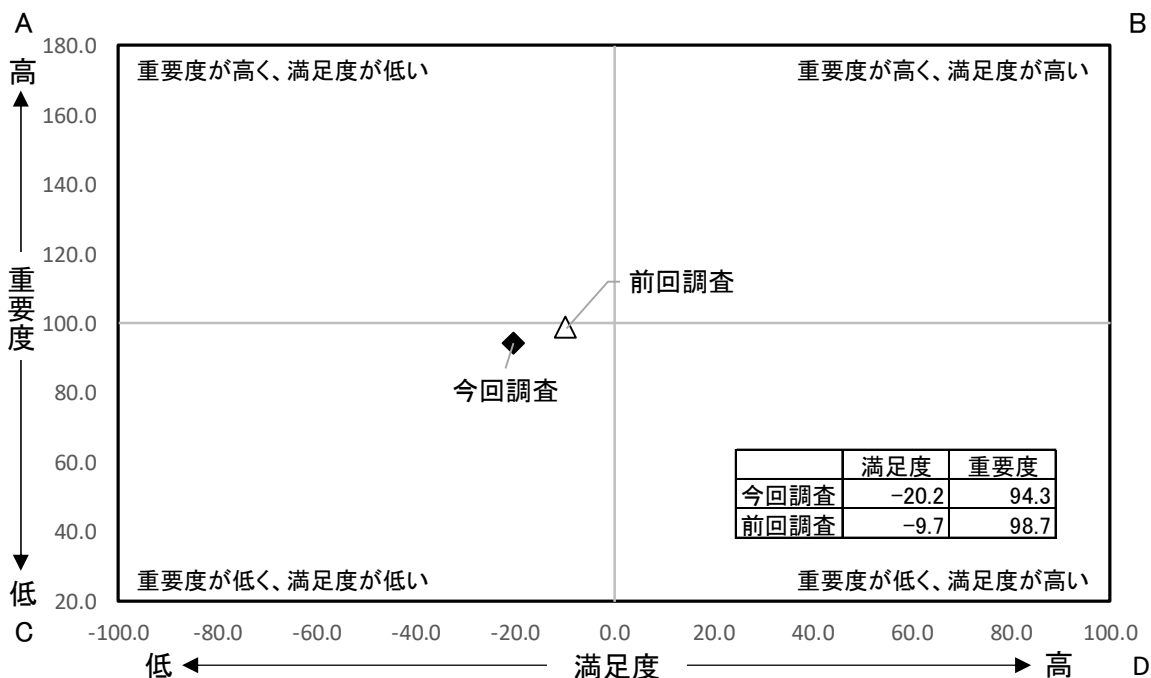
《居住期間別》

- 満足度を居住期間別でみると、「1年未満」、「5年以上10年未満」、「10年以上20年未満」で市全体平均より高くなっている。
- 重要度を居住期間別でみると、「20年以上」で市全体平均より高くなっている。



《満足度と重要度の関係（前回調査との比較）》

- 満足度と重要度の関係でみると、前回調査より満足度と重要度はともに低くなっている。



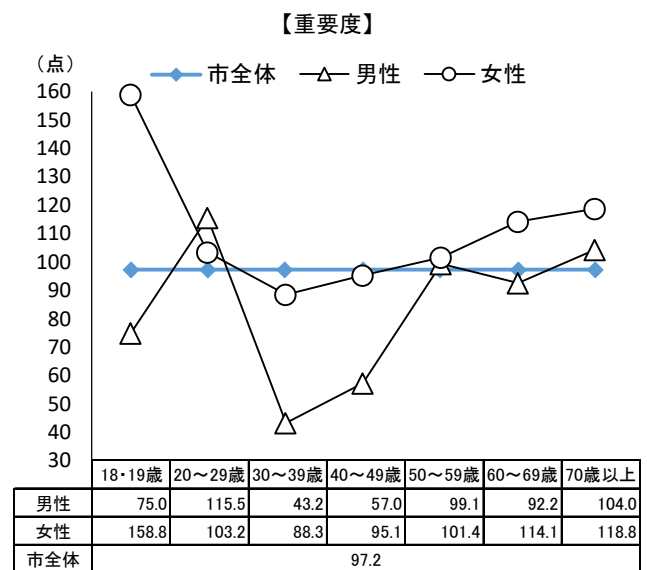
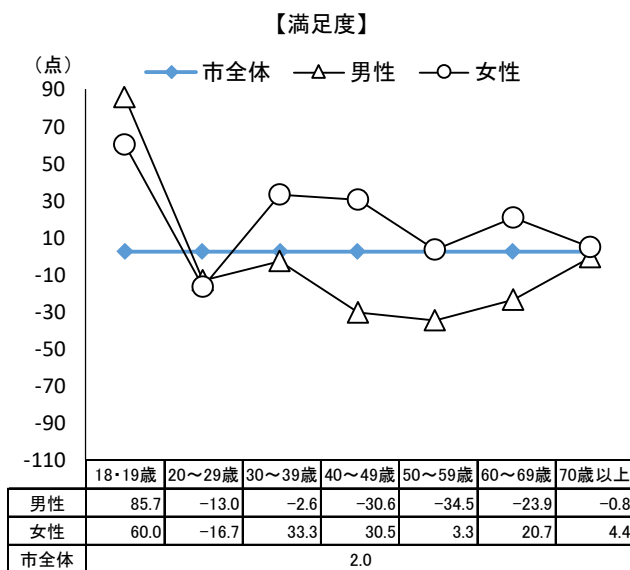
互いに尊重しあって暮らせる社会を実現する

〔人権文化の確立〕

(10) 人権に関する教育や啓発

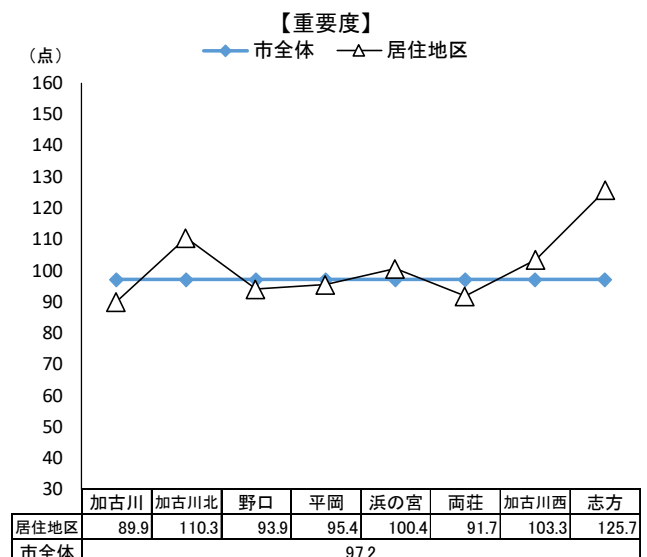
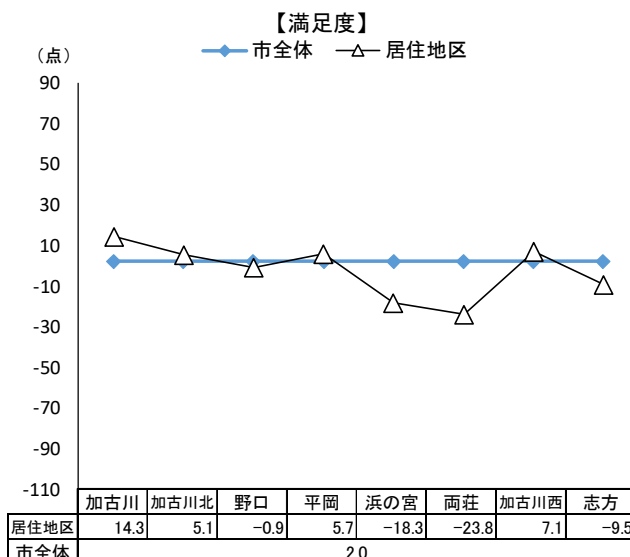
《性年代別》

- 満足度を性年代別でみると、18・19歳の男女と、30歳代、40歳代、50歳代、60歳代、70歳以上の女性で市全体平均より高くなっている。
- 重要度を性年代別でみると、20歳代、50歳代、70歳以上の男女と、18・19歳、60歳代の女性で市全体平均より高くなっている。



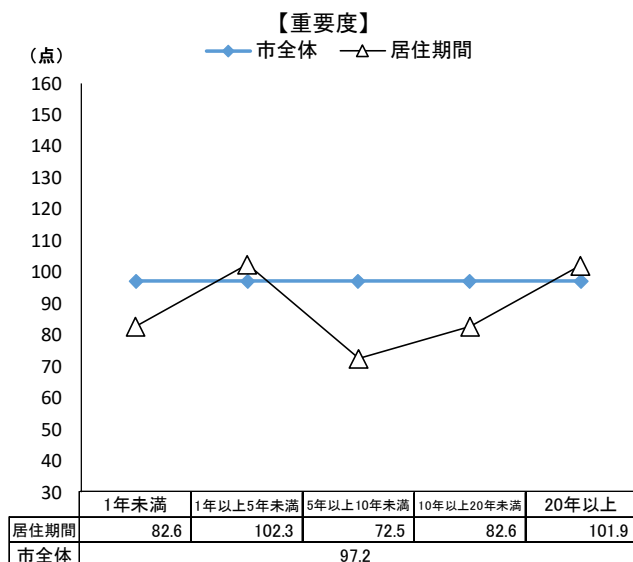
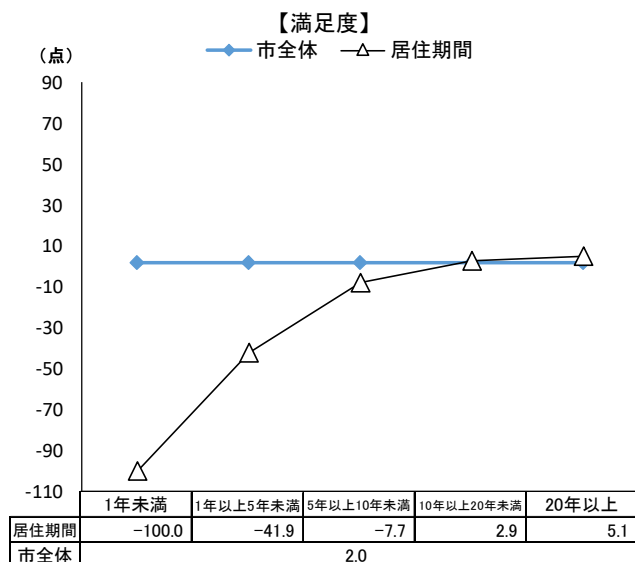
《居住地区別》

- 満足度を居住地区別でみると、加古川、加古川北、平岡、加古川西で市全体平均より高くなっている。
- 重要度を居住地区別でみると、加古川北、浜の宮、加古川西、志方で市全体平均より高くなっている。



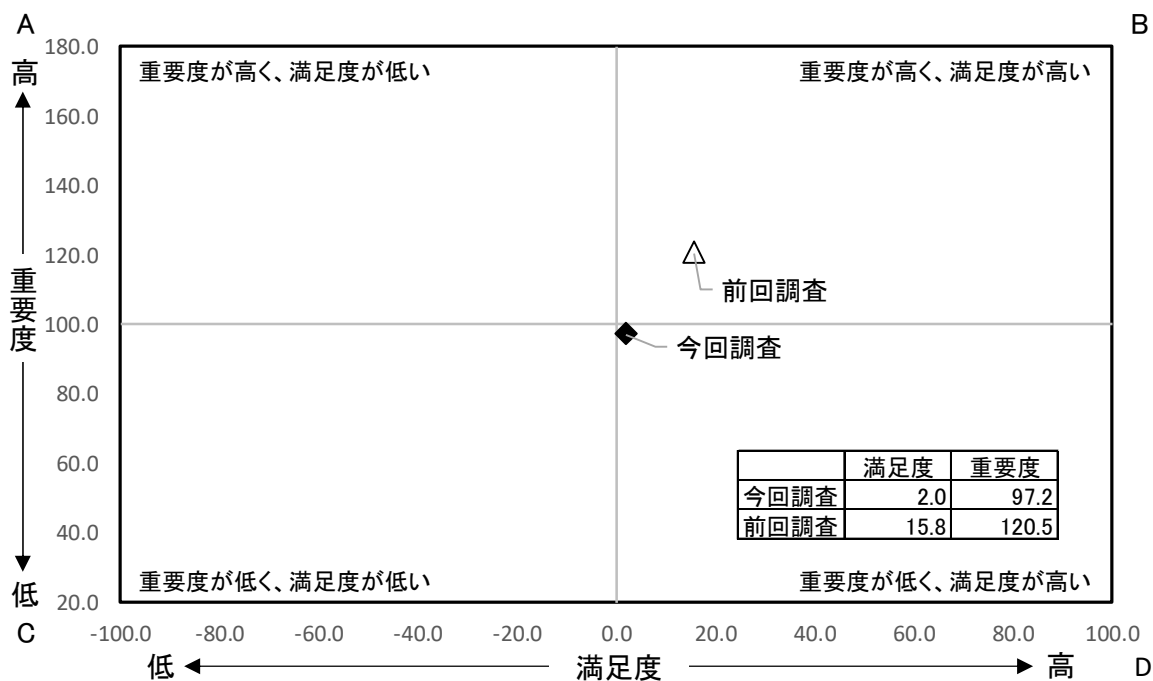
《居住期間別》

- 満足度を居住期間別でみると、「10年以上20年未満」、「20年以上」で市全体平均より高くなっている。
- 重要度を居住期間別でみると、「1年以上5年未満」、「20年以上」で市全体平均より高くなっている。



《満足度と重要度の関係（前回調査との比較）》

- 満足度と重要度の関係でみると、前回調査より満足度と重要度はともに低くなっている。



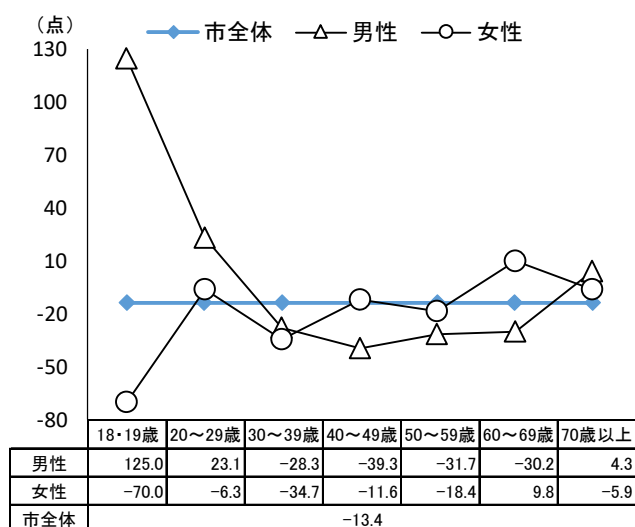
〔男女共同参画社会の形成〕

(11) 男女共同参画の推進

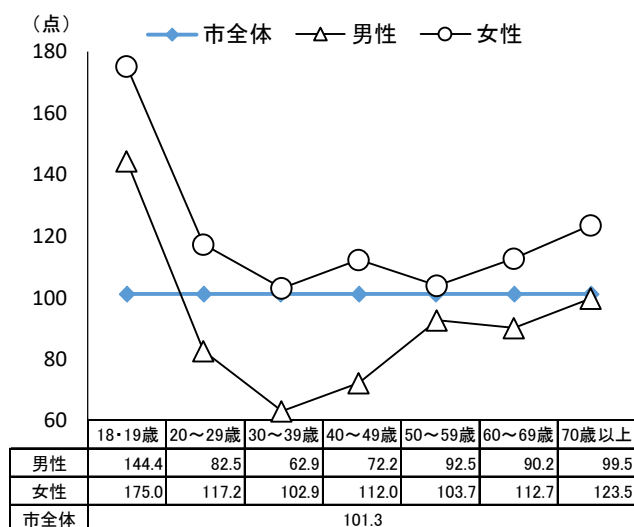
《性年代別》

- 満足度を性年代別でみると、20歳代、70歳以上の男女と、18・19歳の男性、40歳代、60歳代の女性で市全体平均より高くなっている。
- 重要度を性年代別でみると、18・19歳の男女と、20歳代、30歳代、40歳代、50歳代、60歳代、70歳以上の女性で市全体平均より高くなっている。

【満足度】



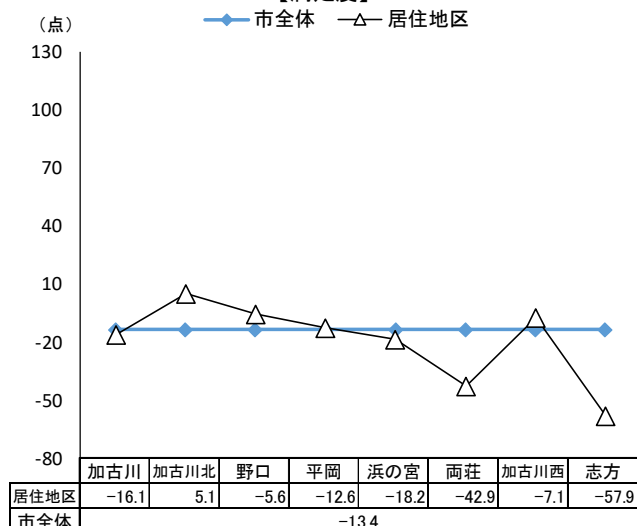
【重要度】



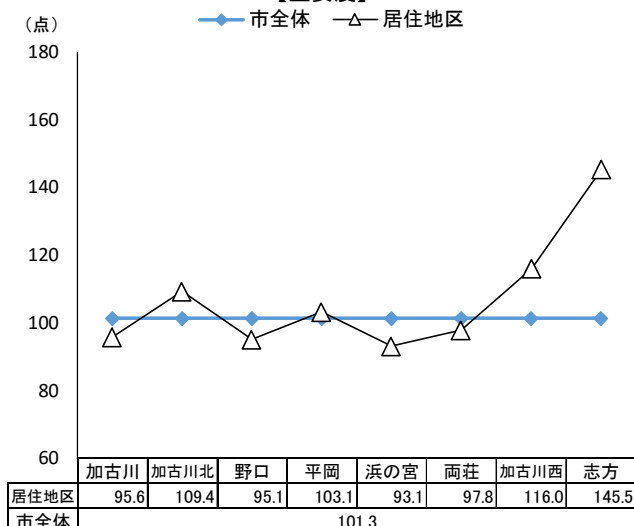
《居住地区別》

- 満足度を居住地区別でみると、加古川北、野口、平岡、加古川西で市全体平均より高くなっている。
- 重要度を居住地区別でみると、加古川北、平岡、加古川西、志方で市全体平均より高くなっている。

【満足度】

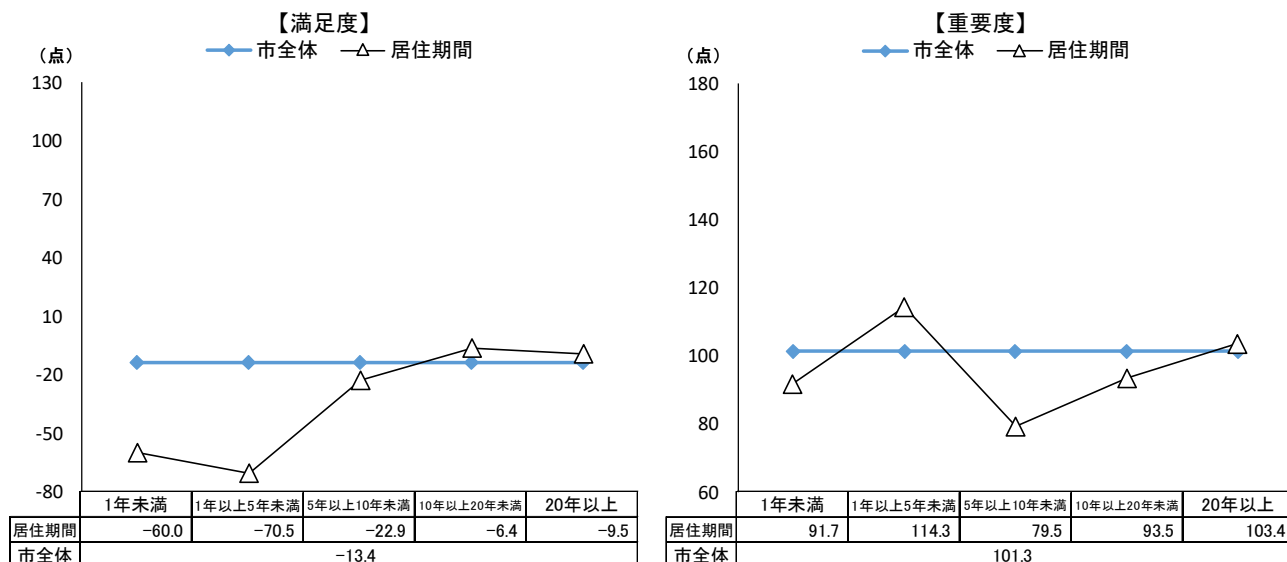


【重要度】



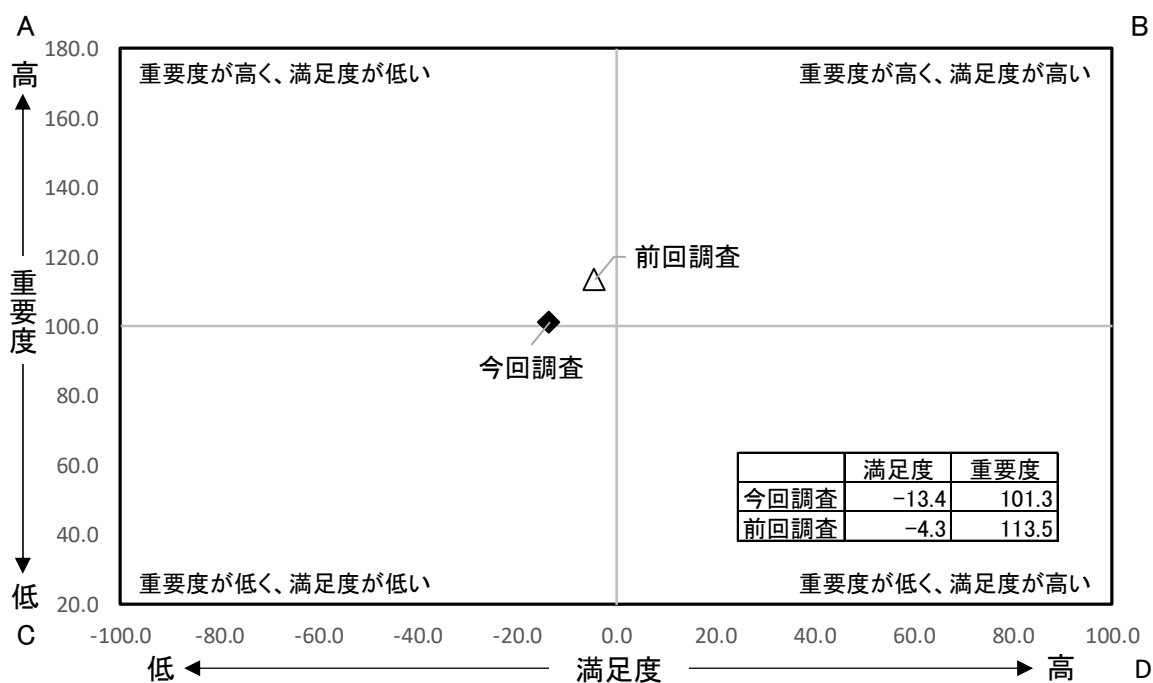
《居住期間別》

- 満足度を居住期間別でみると、「10年以上20年未満」、「20年以上」で市全体平均より高くなっている。
- 重要度を居住期間別でみると、「1年以上5年未満」、「20年以上」で市全体平均より高くなっている。



《満足度と重要度の関係（前回調査との比較）》

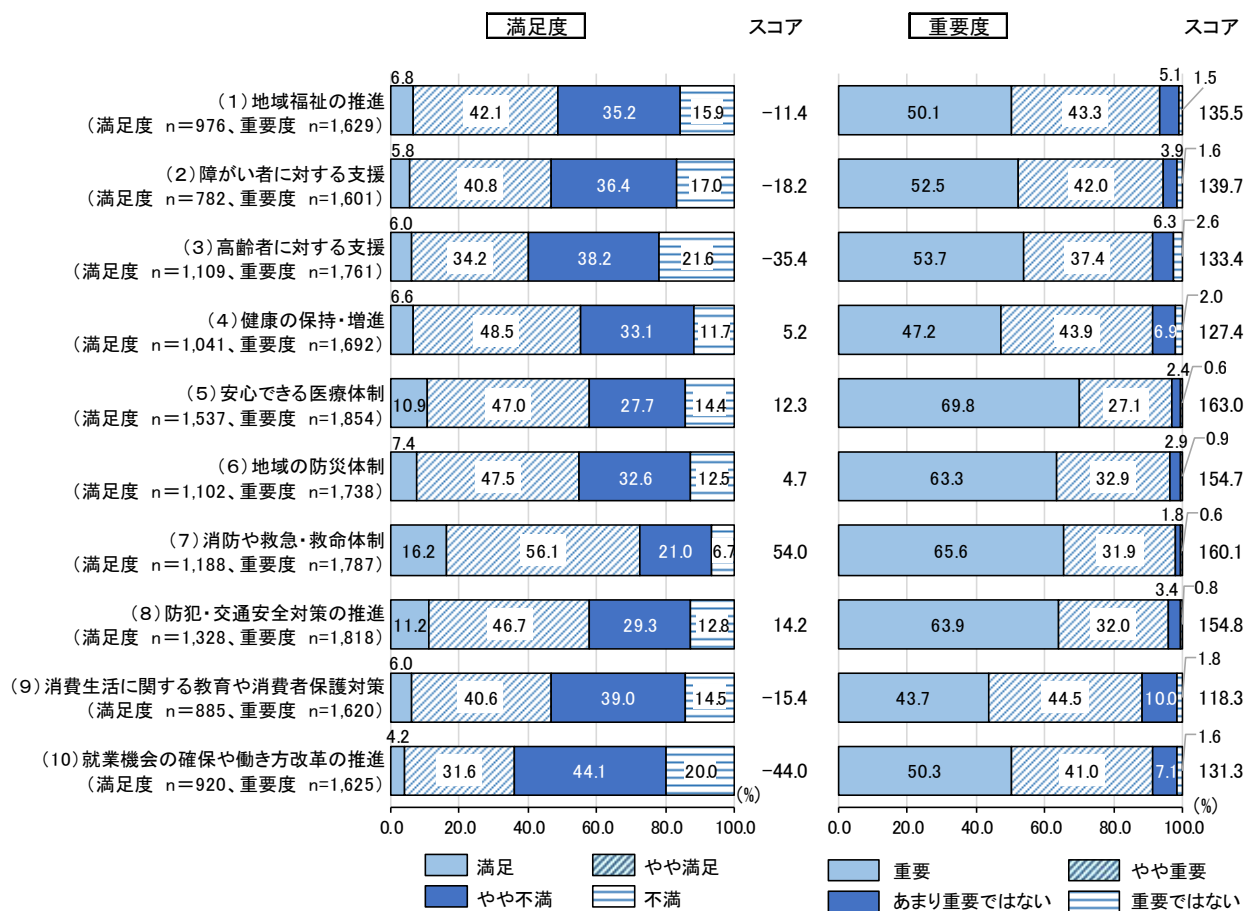
- 満足度と重要度の関係でみると、前回調査より満足度と重要度はともに低くなっている。



3-2 安心して暮らせるまち

- 施策の満足度スコアが最も高い項目は「(7) 消防や救急・救命体制」、次いで「(8) 防犯・交通安全対策の推進」となっている。一方、最も低い項目は「(10) 就業機会の確保や働き方改革の推進」、次いで「(3) 高齢者に対する支援」となっている。
- 施策の重要度スコアが最も高い項目は「(5) 安心できる医療体制」、次いで「(7) 消防や救急・救命体制」となっている。一方、最も低い項目は「(9) 消費生活に関する教育や消費者保護対策」、次いで「(4) 健康の保持・増進」となっている。

《全体》※グラフは「わからない」、「不明・無回答」を除いて集計



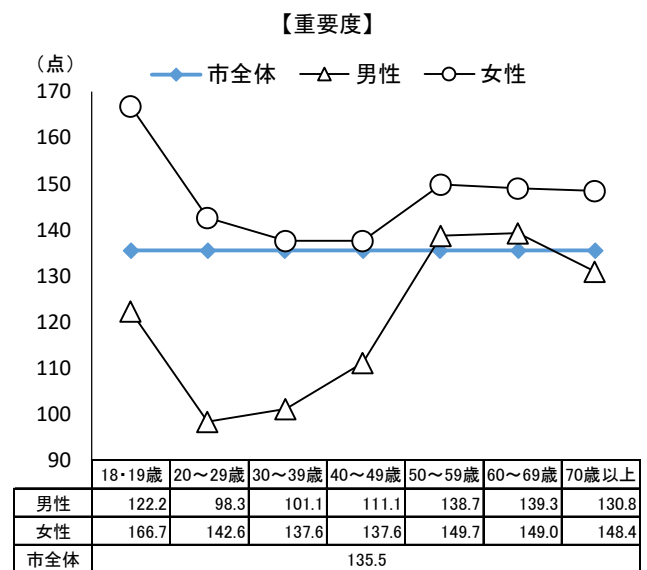
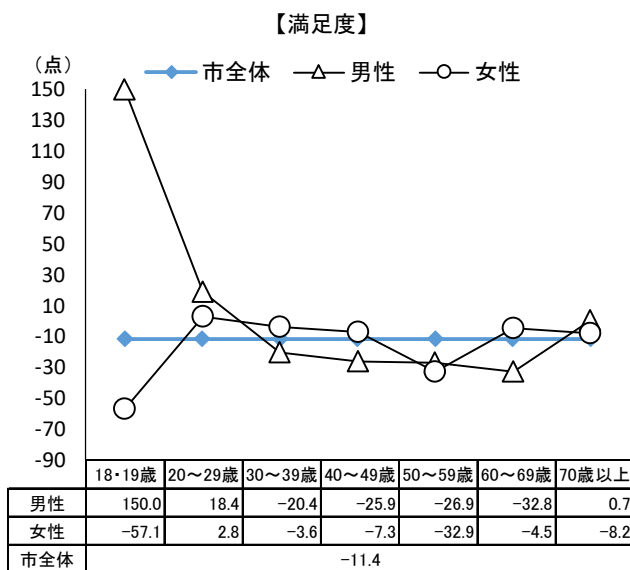
ともに支えあう福祉社会を実現する

〔地域福祉の充実〕

(1) 地域福祉の推進

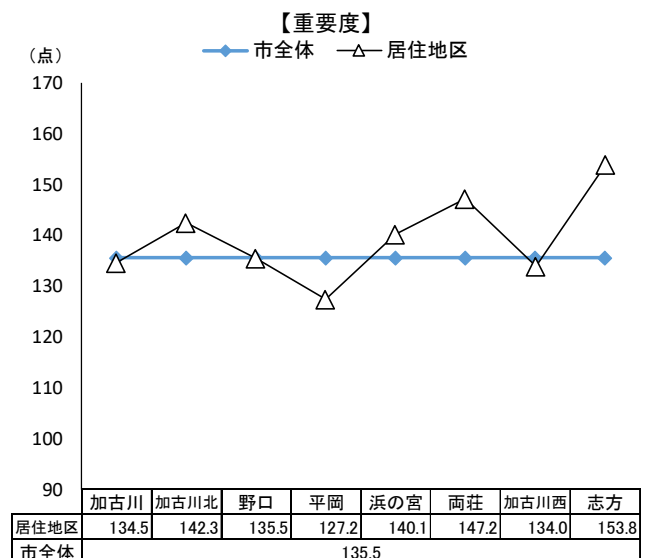
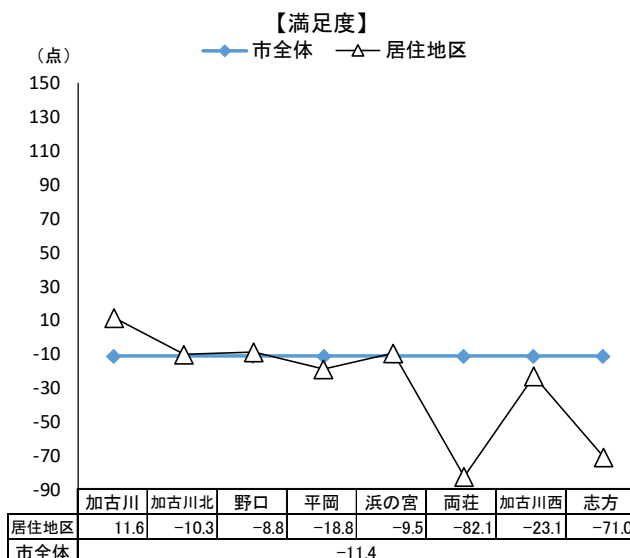
《性年代別》

- 満足度を性年代別でみると、20歳代、70歳以上の男女と、18・19歳の男性、30歳代、40歳代、60歳代の女性で市全体平均より高くなっている。
- 重要度を性年代別でみると、50歳代、60歳代の男女と、18・19歳、20歳代、30歳代、40歳代、70歳以上の女性で市全体平均より高くなっている。



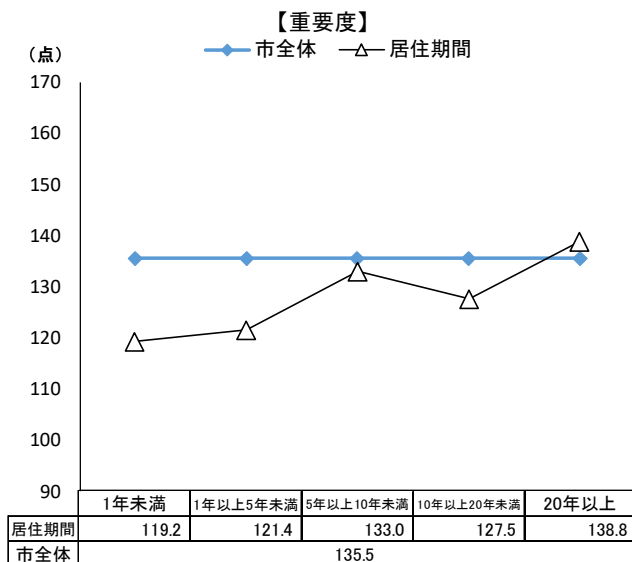
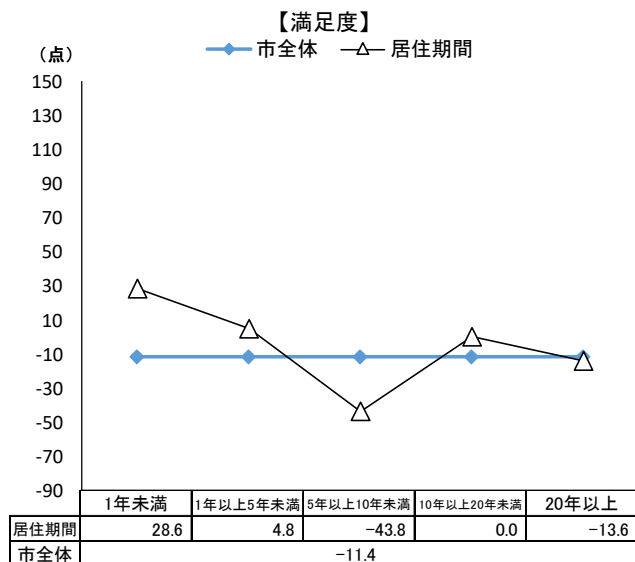
《居住地区別》

- 満足度を居住地区別でみると、加古川、加古川北、野口、浜の宮で市全体平均より高くなっている。
- 重要度を居住地区別でみると、加古川北、浜の宮、両荘、志方で市全体平均より高くなっている。



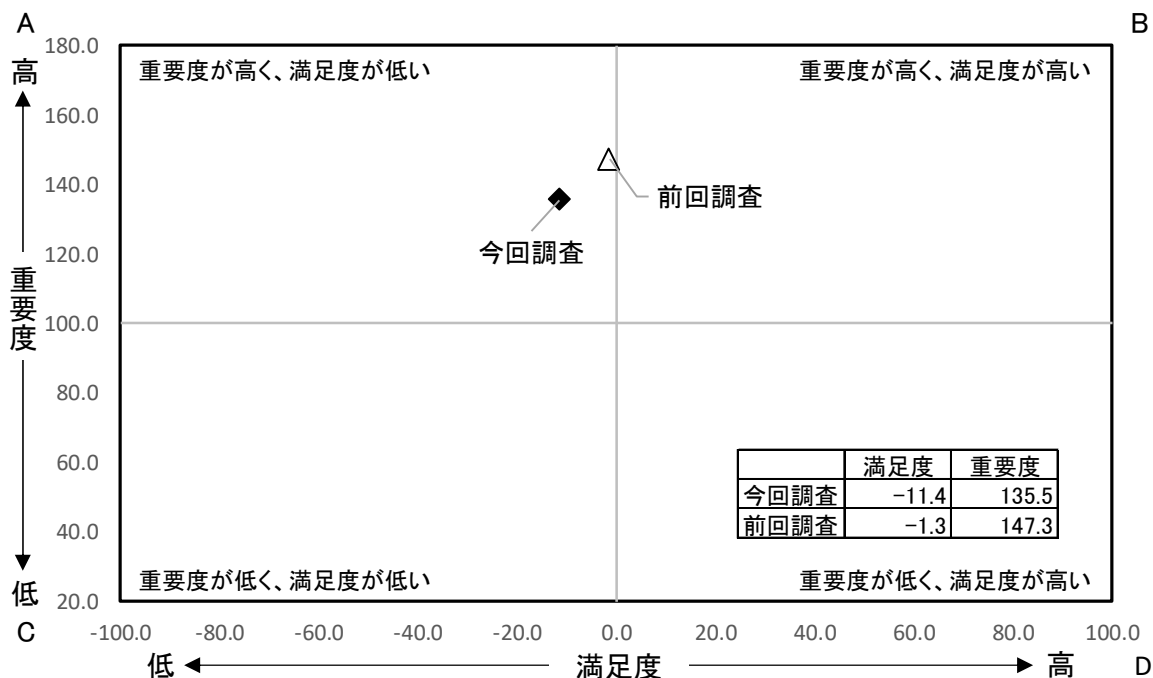
《居住期間別》

- 満足度を居住期間別でみると、「1年未満」、「1年以上5年未満」、「10年以上20年未満」で市全体平均より高くなっている。
- 重要度を居住期間別でみると、「20年以上」で市全体平均より高くなっている。



《満足度と重要度の関係（前回調査との比較）》

- 満足度と重要度の関係でみると、前回調査より満足度と重要度はともに低くなっている。



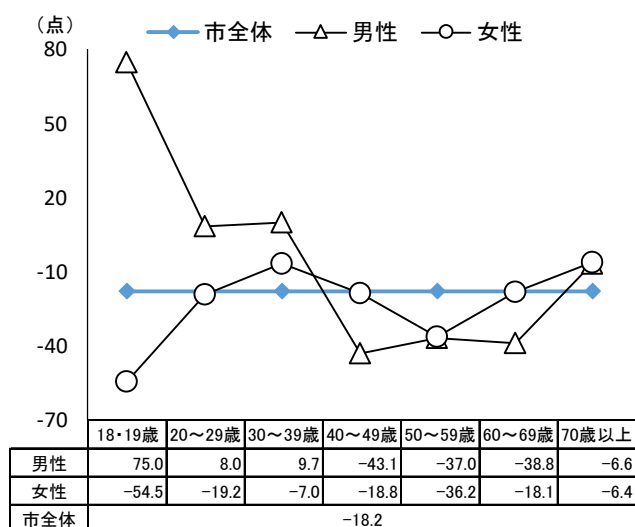
〔障がい者福祉の充実〕

(2) 障がい者に対する支援

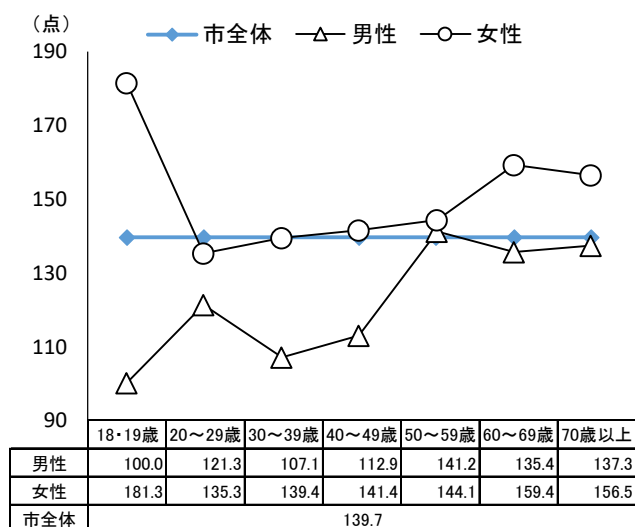
《性年代別》

- 満足度を性年代別でみると、30歳代、70歳以上の男女と、18・19歳、20歳代の男性、60歳代の女性で市全体平均より高くなっている。
- 重要度を性年代別でみると、50歳代の男女と、18・19歳、40歳代、60歳代、70歳以上の女性で市全体平均より高くなっている。

【満足度】



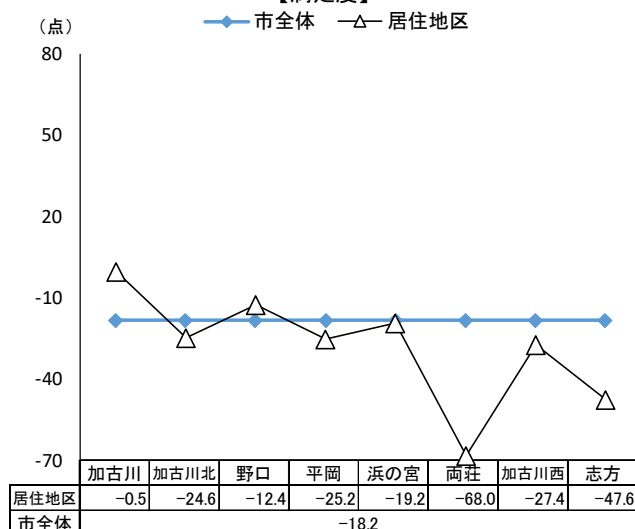
【重要度】



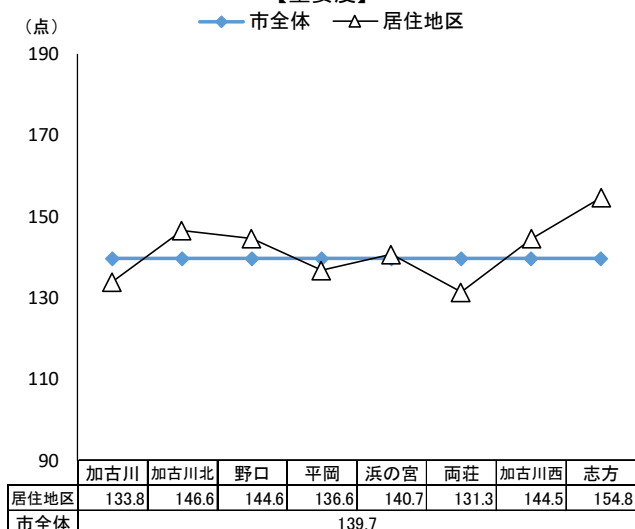
《居住地区別》

- 満足度を居住地区別でみると、加古川、野口で市全体平均より高くなっている。
- 重要度を居住地区別でみると、加古川北、野口、浜の宮、加古川西、志方で市全体平均より高くなっている。

【満足度】

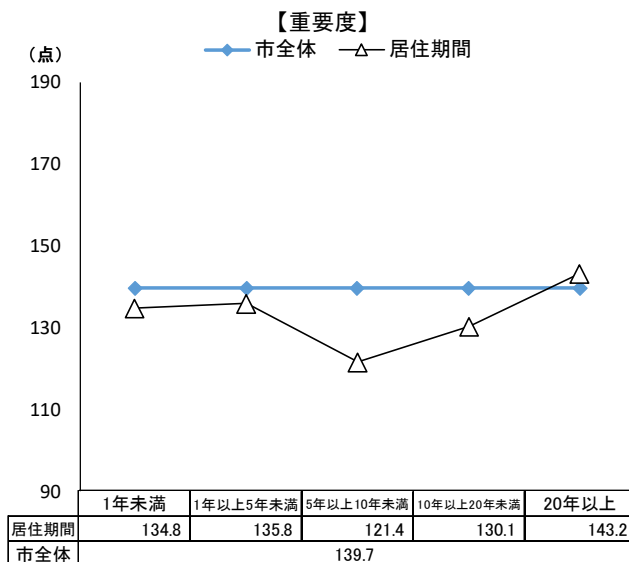
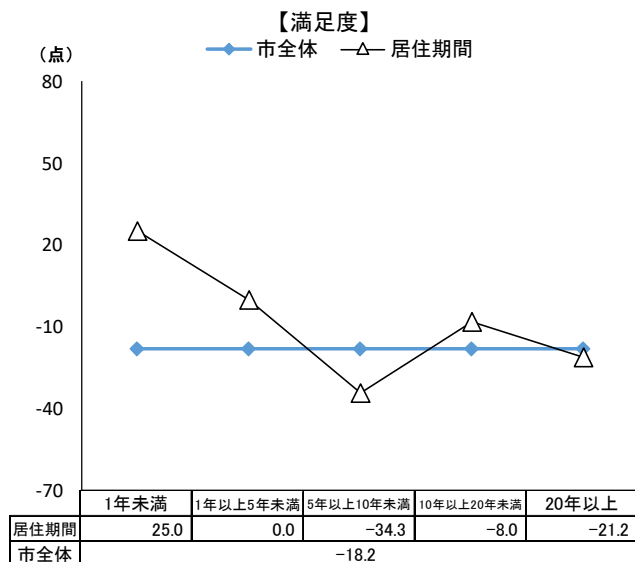


【重要度】



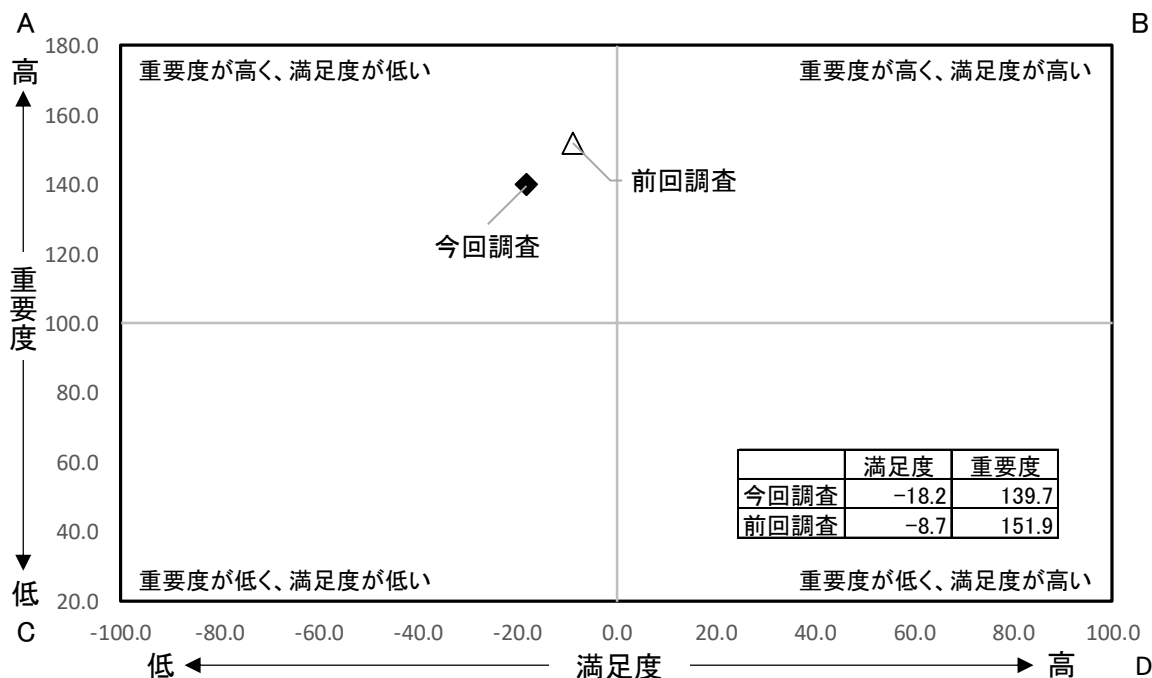
《居住期間別》

- 満足度を居住期間別でみると、「1年未満」、「1年以上5年未満」、「10年以上20年未満」で市全体平均より高くなっている。
- 重要度を居住期間別でみると、「20年以上」で市全体平均より高くなっている。



《満足度と重要度の関係（前回調査との比較）》

- 満足度と重要度の関係でみると、前回調査より満足度と重要度はともに低くなっている。



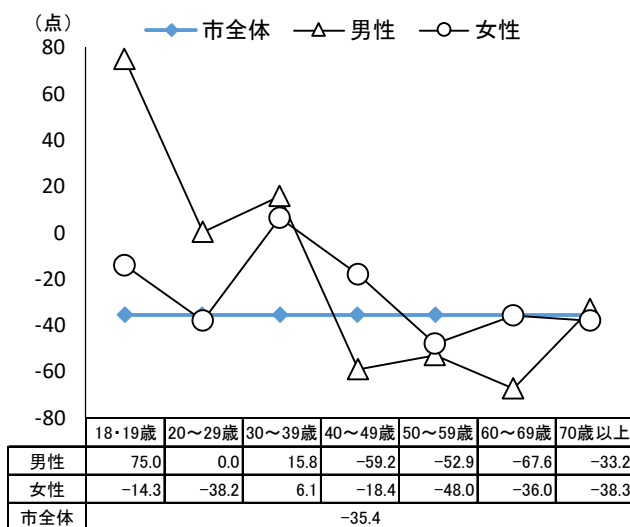
〔高齢者福祉の充実〕

(3) 高齢者に対する支援

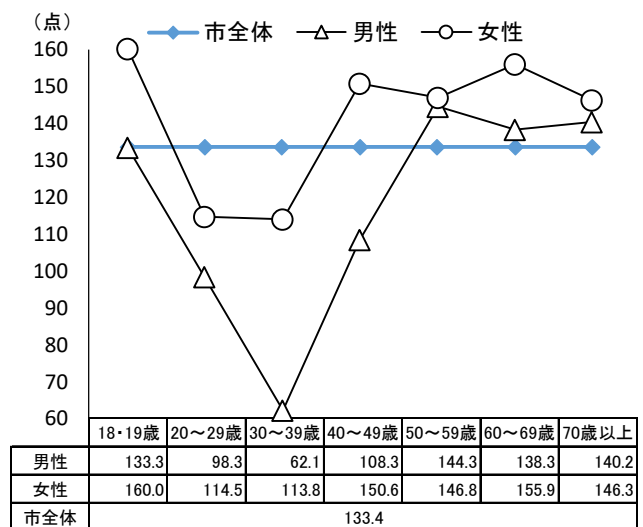
《性年代別》

- 満足度を性年代別でみると、18・19歳、30歳代の男女と、20歳代、70歳以上の男性、40歳代の女性で市全体平均より高くなっている。
- 重要度を性年代別でみると、50歳代、60歳代、70歳以上の男女と、18・19歳、40歳代の女性で市全体平均より高くなっている。

【満足度】



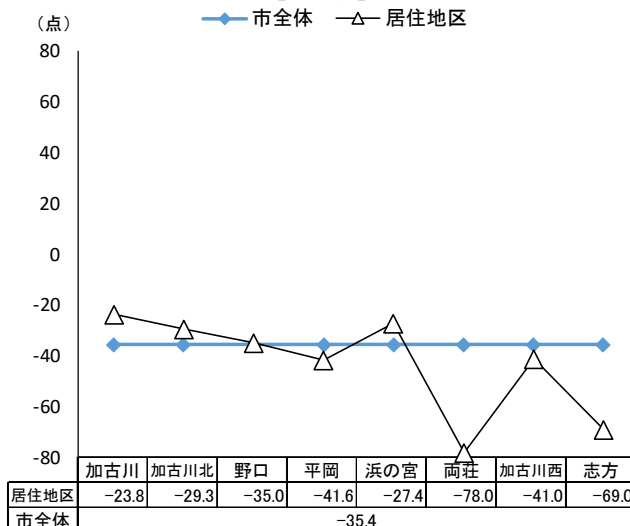
【重要度】



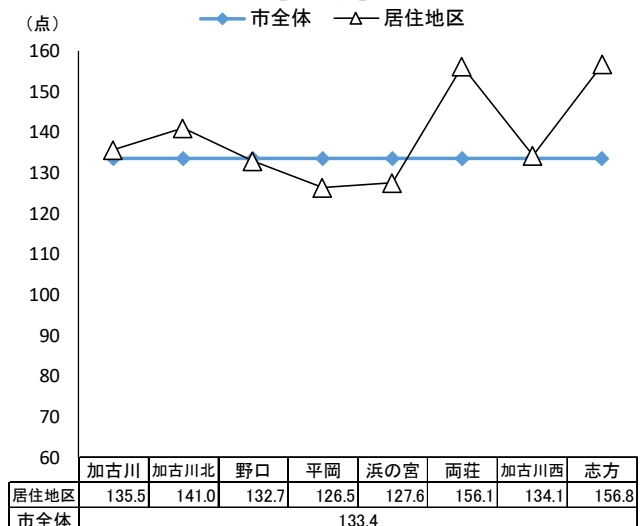
《居住地区別》

- 満足度を居住地区別でみると、加古川、加古川北、野口、浜の宮で市全体平均より高くなっている。
- 重要度を居住地区別でみると、加古川、加古川北、両荘、加古川西、志方で市全体平均より高くなっている。

【満足度】

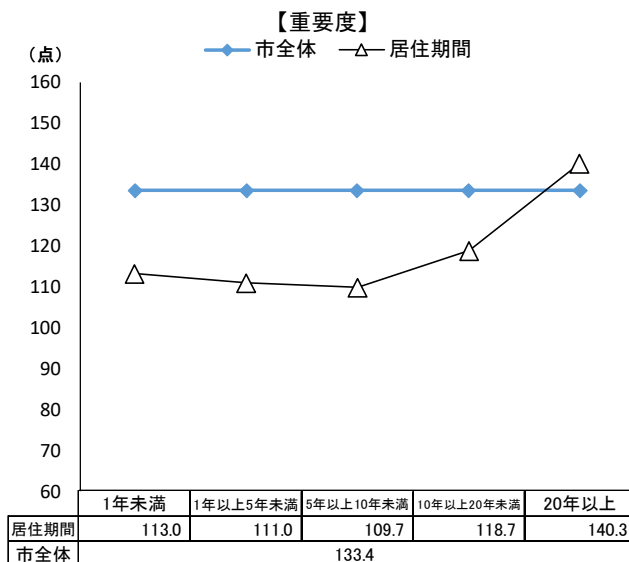
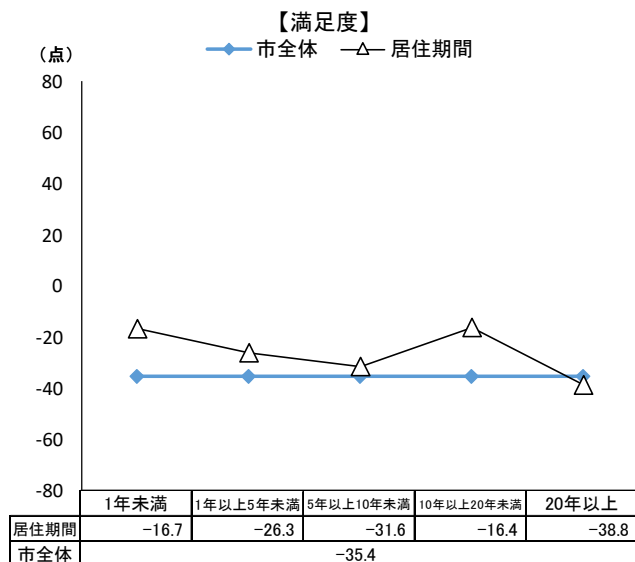


【重要度】



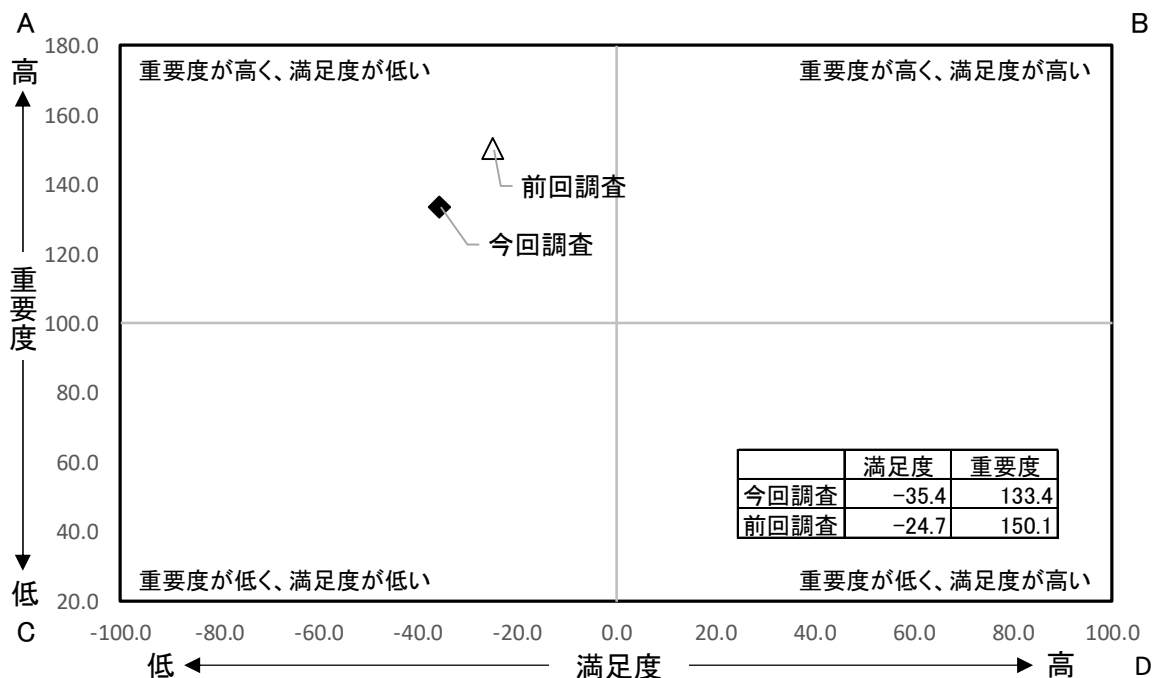
《居住期間別》

- 満足度を居住期間別でみると、「1年未満」、「1年以上5年未満」、「5年以上10年未満」、「10年以上20年未満」で市全体平均より高くなっている。
- 重要度を居住期間別でみると、「20年以上」で市全体平均より高くなっている。



《満足度と重要度の関係（前回調査との比較）》

- 満足度と重要度の関係でみると、前回調査より満足度と重要度はともに低くなっている。



健康づくりや地域医療を充実する

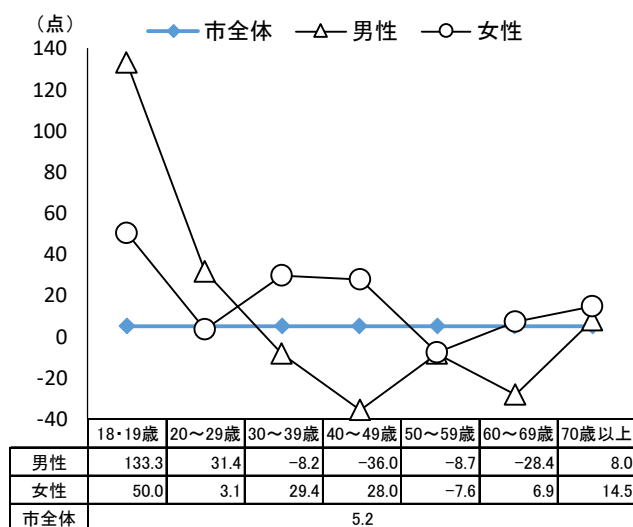
〔健康の保持・増進〕

（４）健康の保持・増進

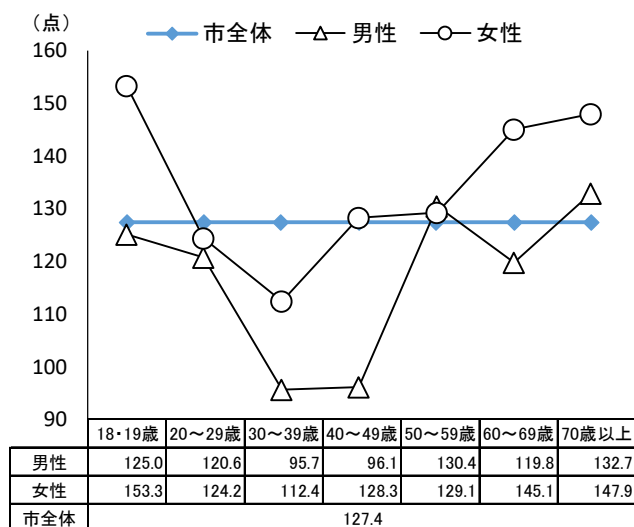
《性年代別》

- 満足度を性年代別でみると、18・19歳、70歳以上の男女と、20歳代の男性、30歳代、40歳代、60歳代の女性で市全体平均より高くなっている。
- 重要度を性年代別でみると、50歳代、70歳以上の男女と、18・19歳、40歳代、60歳代の女性で市全体平均より高くなっている。

【満足度】



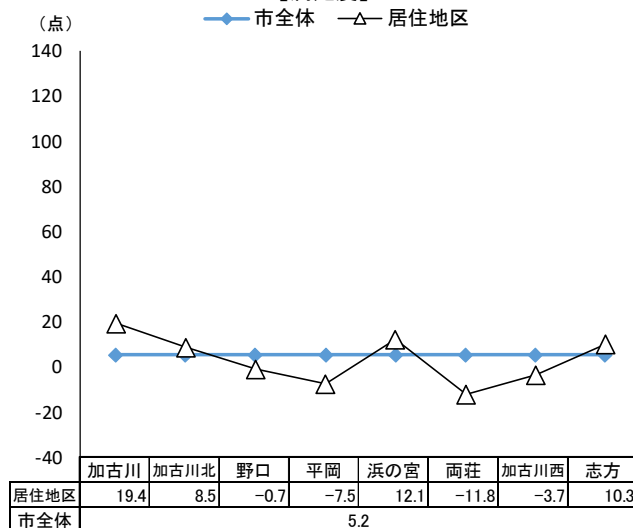
【重要度】



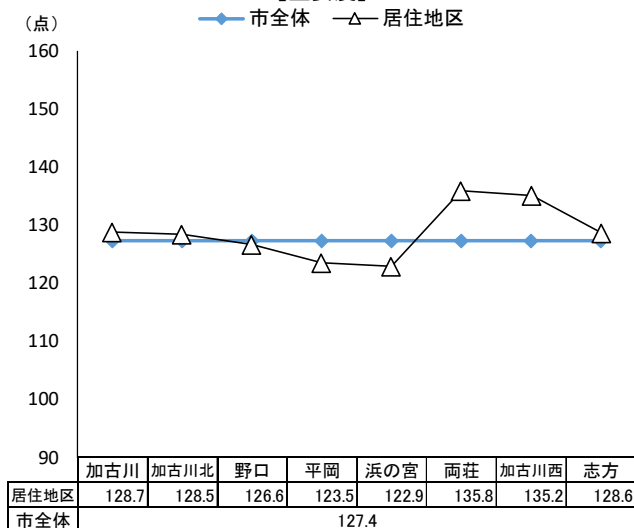
《居住地区別》

- 満足度を居住地区別でみると、加古川、加古川北、浜の宮、志方で市全体平均より高くなっている。
- 重要度を居住地区別でみると、加古川、加古川北、両荘、加古川西、志方で市全体平均より高くなっている。

【満足度】

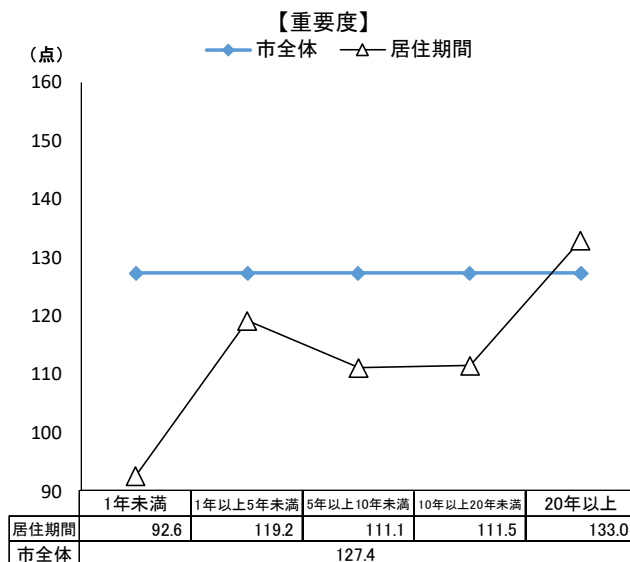
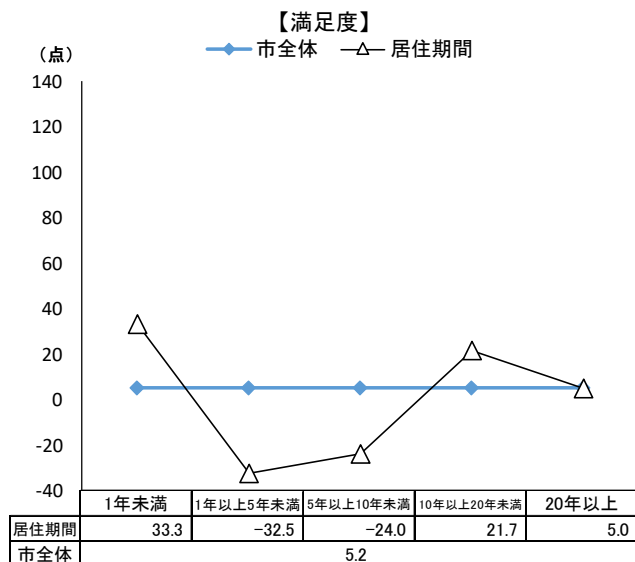


【重要度】



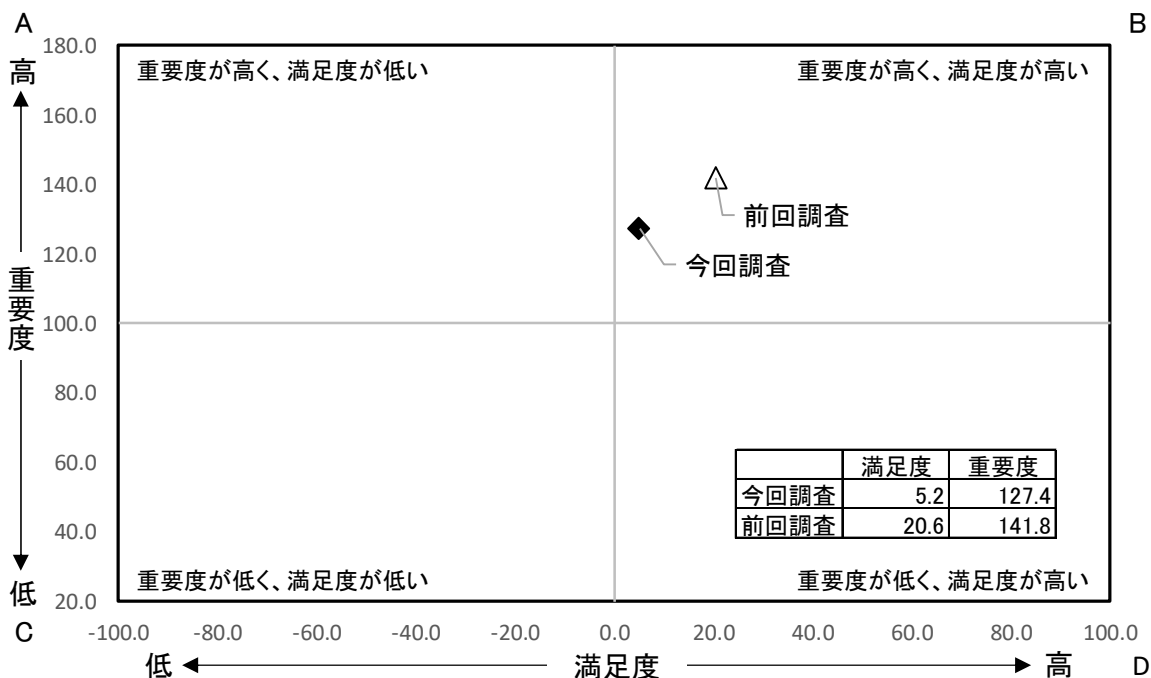
《居住期間別》

- 満足度を居住期間別でみると、「1年未満」、「10年以上20年未満」で市全体平均より高くなっている。
- 重要度を居住期間別でみると、「20年以上」で市全体平均より高くなっている。



《満足度と重要度の関係（前回調査との比較）》

- 満足度と重要度の関係でみると、前回調査より満足度と重要度はともに低くなっている。



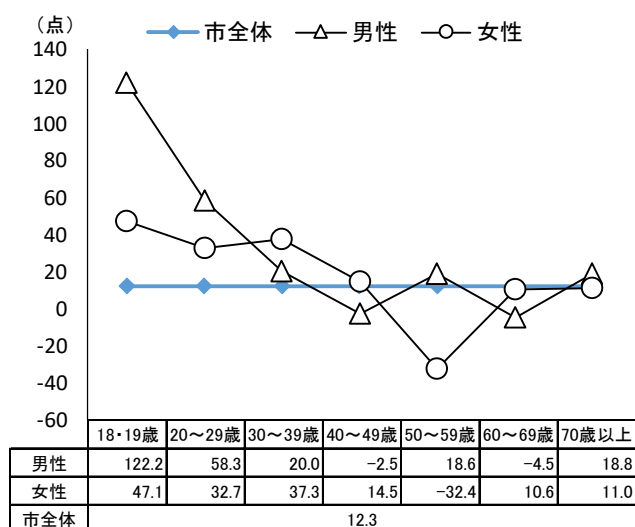
〔地域医療の充実〕

(5) 安心できる医療体制

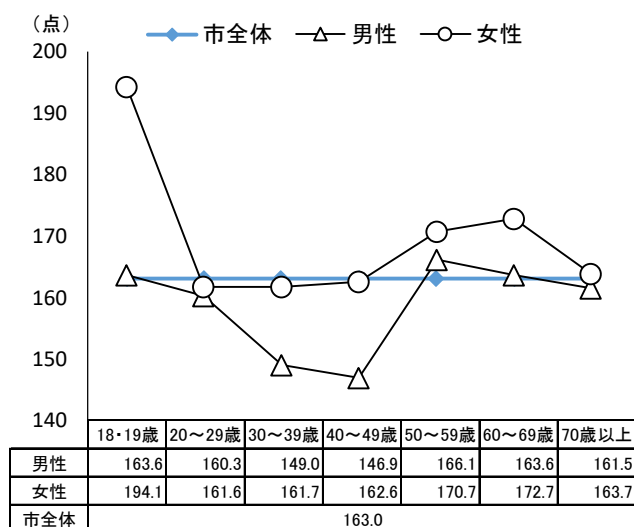
《性年代別》

- 満足度を性年代別でみると、18・19歳、20歳代、30歳代の男女と、50歳代、70歳以上の男性、40歳代の女性で市全体平均より高くなっている。
- 重要度を性年代別でみると、18・19歳、50歳代、60歳代の男女と、70歳以上の女性で市全体平均より高くなっている。

【満足度】



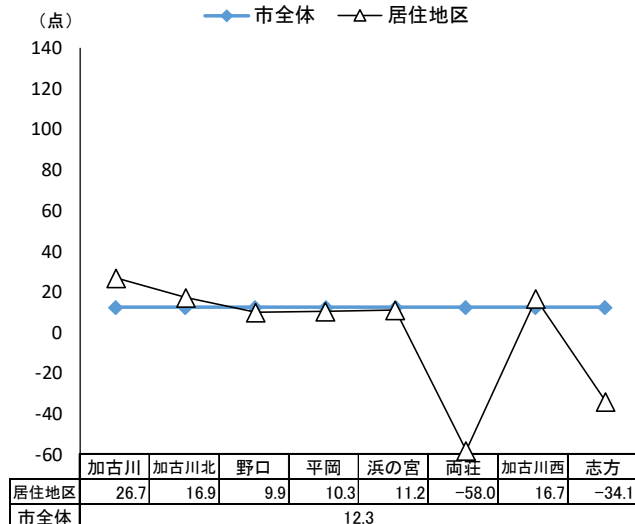
【重要度】



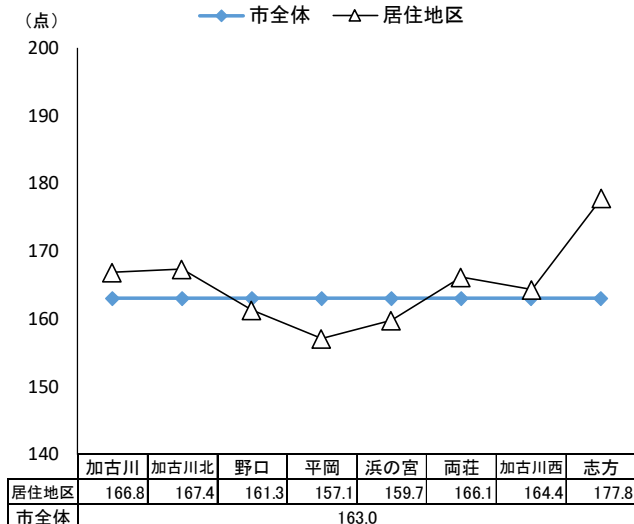
《居住地区別》

- 満足度を居住地区別でみると、加古川、加古川北、加古川西で市全体平均より高くなっている。
- 重要度を居住地区別でみると、加古川、加古川北、両荘、加古川西、志方で市全体平均より高くなっている。

【満足度】

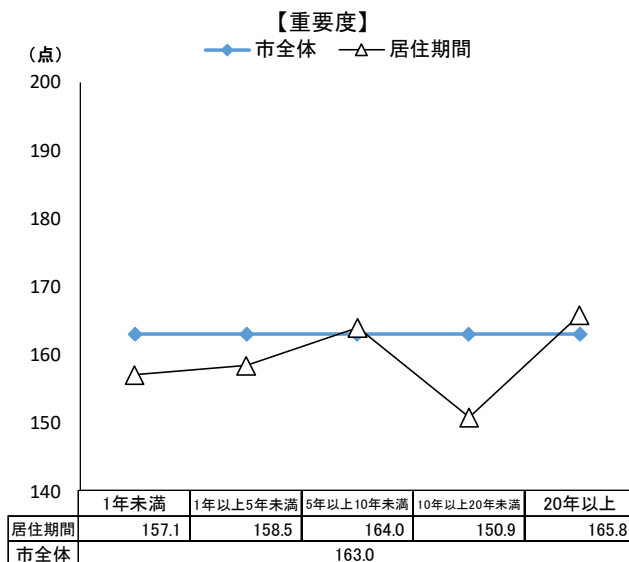
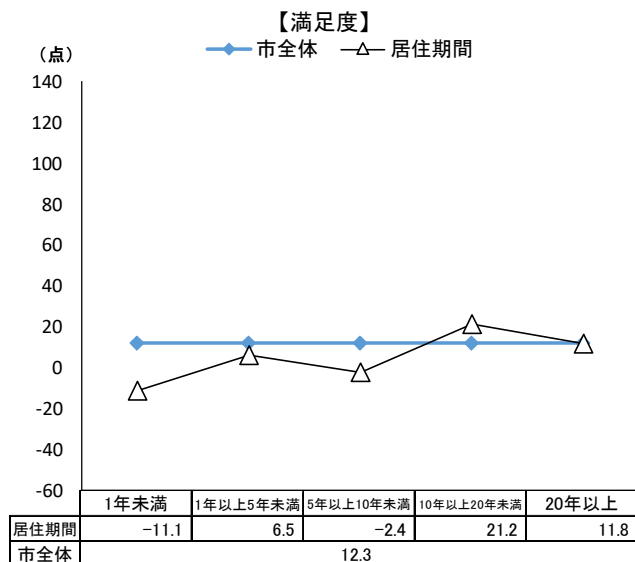


【重要度】



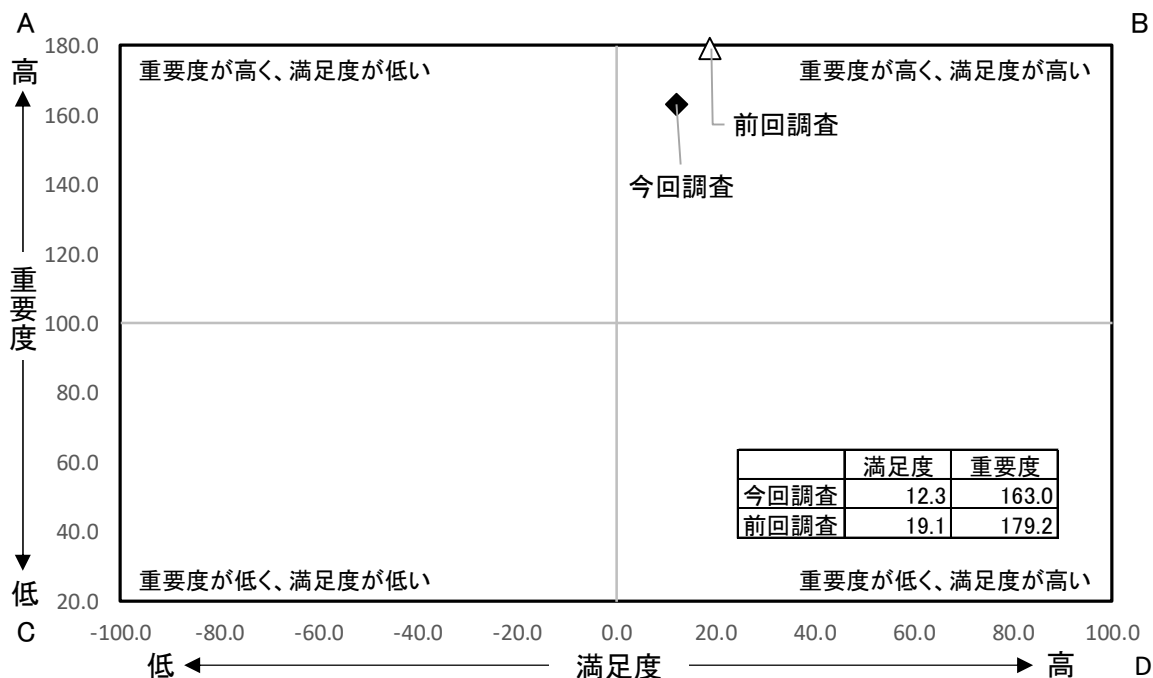
《居住期間別》

- 満足度を居住期間別でみると、「10年以上20年未満」で市全体平均より高くなっている。
- 重要度を居住期間別でみると、「5年以上10年未満」、「20年以上」で市全体平均より高くなっている。



《満足度と重要度の関係（前回調査との比較）》

- 満足度と重要度の関係でみると、前回調査より満足度と重要度はともに低くなっている。



市民生活の安全・安定を確保する

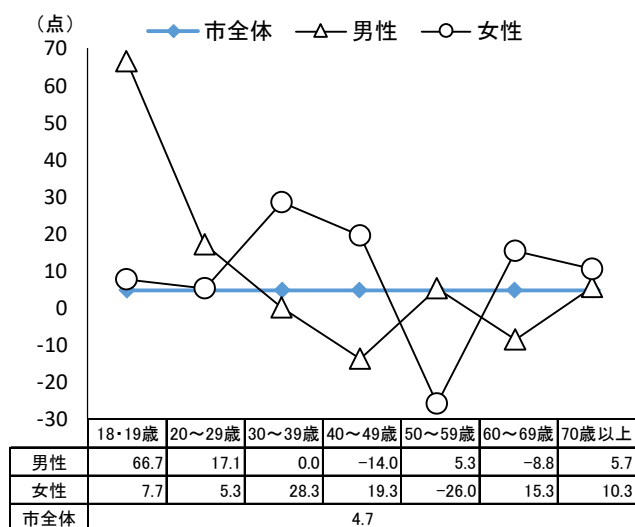
〔危機管理体制の充実〕

(6) 地域の防災体制

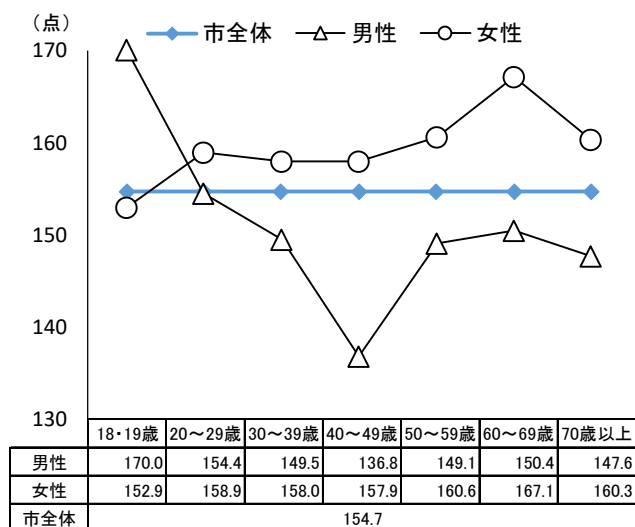
《性年代別》

- 満足度を性年代別でみると、18・19歳、20歳代、70歳以上の男女と、50歳代の男性、30歳代、40歳代、60歳代の女性で市全体平均より高くなっている。
- 重要度を性年代別でみると、18・19歳の男性、20歳代、30歳代、40歳代、50歳代、60歳代、70歳以上の女性で市全体平均より高くなっている。

【満足度】



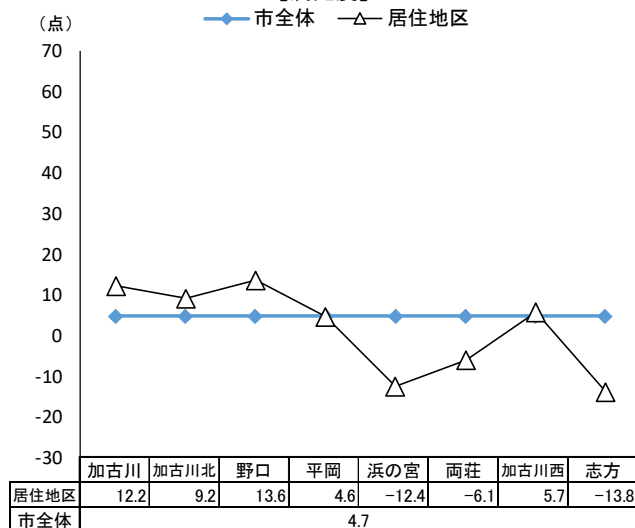
【重要度】



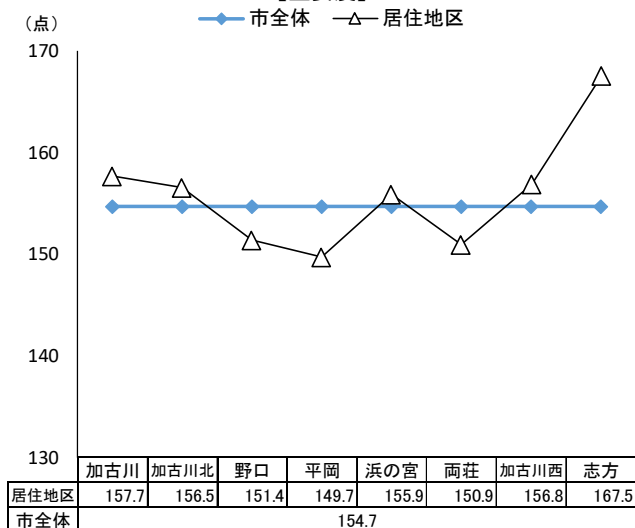
《居住地区別》

- 満足度を居住地区別でみると、加古川、加古川北、野口、加古川西で市全体平均より高くなっている。
- 重要度を居住地区別でみると、加古川、加古川北、浜の宮、加古川西、志方で市全体平均より高くなっている。

【満足度】

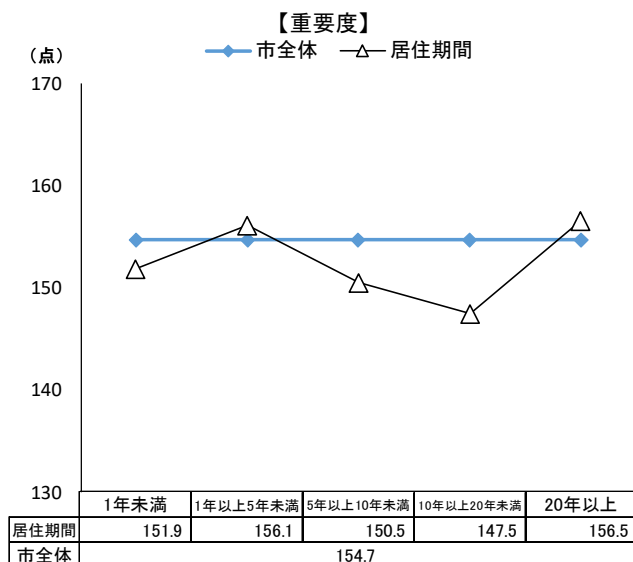
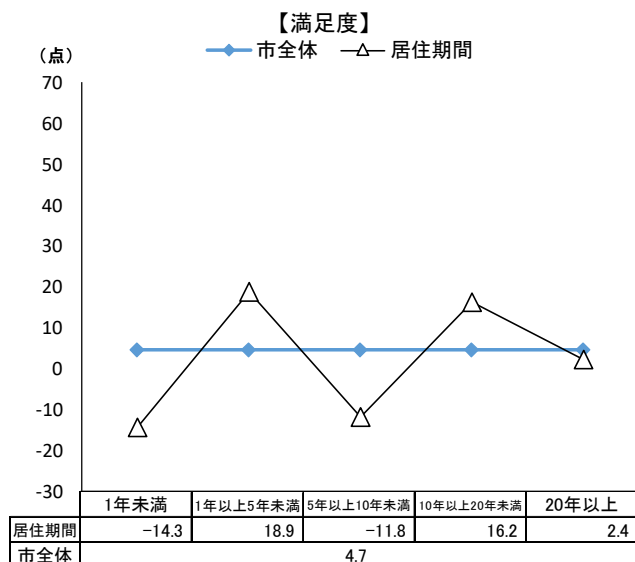


【重要度】



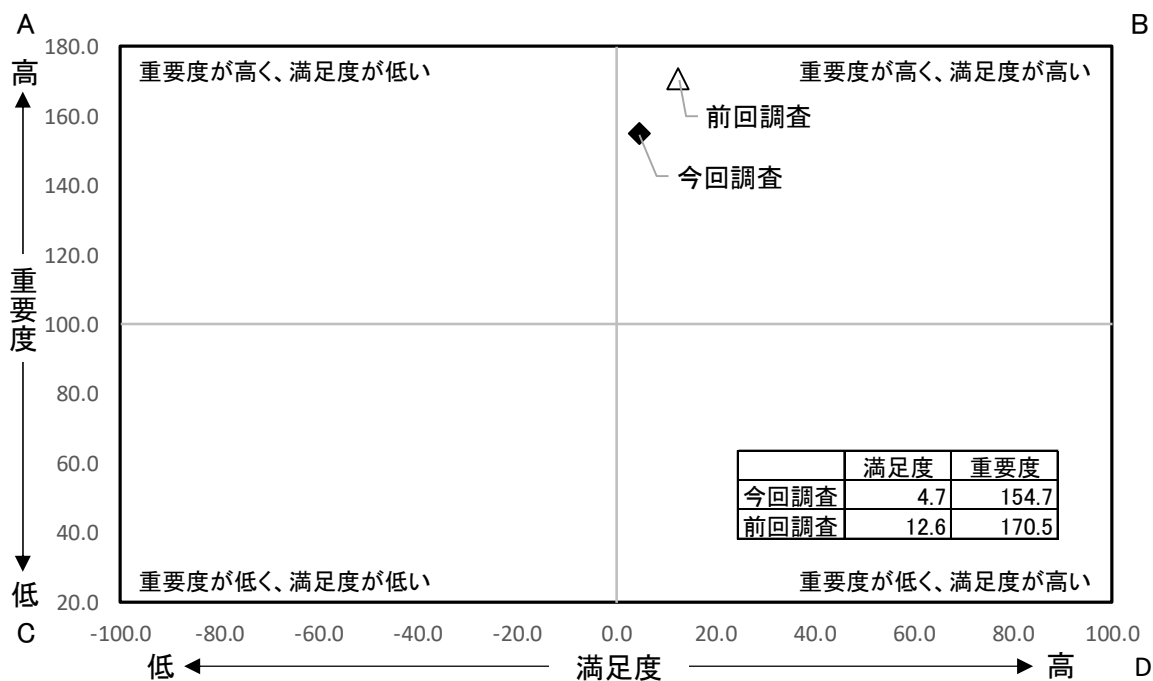
《居住期間別》

- 満足度を居住期間別でみると、「1年以上5年未満」、「10年以上20年未満」で市全体平均より高くなっている。
- 重要度を居住期間別でみると、「1年以上5年未満」、「20年以上」で市全体平均より高くなっている。



《満足度と重要度の関係（前回調査との比較）》

- 満足度と重要度の関係でみると、前回調査より満足度と重要度はともに低くなっている。



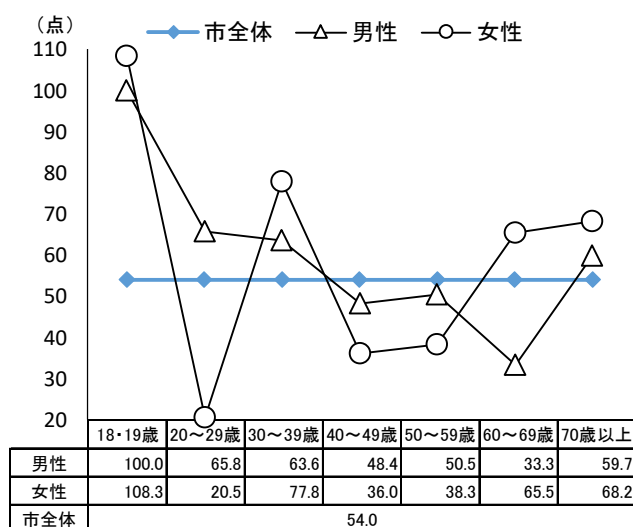
〔消防・救急体制の充実〕

（７）消防や救急・救命体制

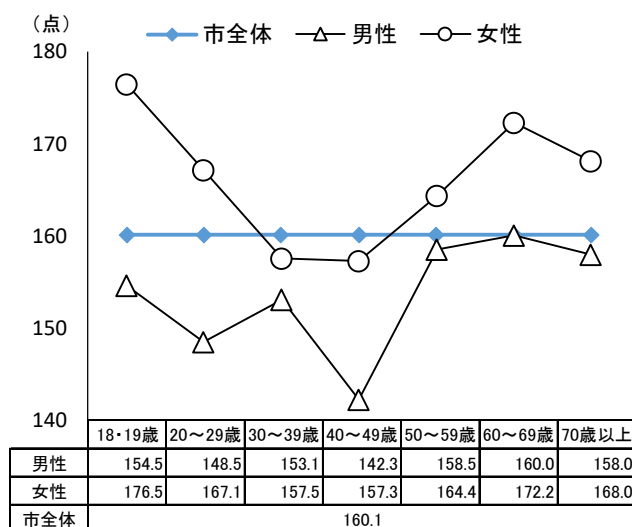
《性年代別》

- 満足度を性年代別でみると、18・19歳、30歳代、70歳以上の男女と、20歳代の男性、60歳代の女性で市全体平均より高くなっている。
- 重要度を性年代別でみると、18・19歳、20歳代、50歳代、60歳代、70歳以上の女性で市全体平均より高くなっている。

【満足度】



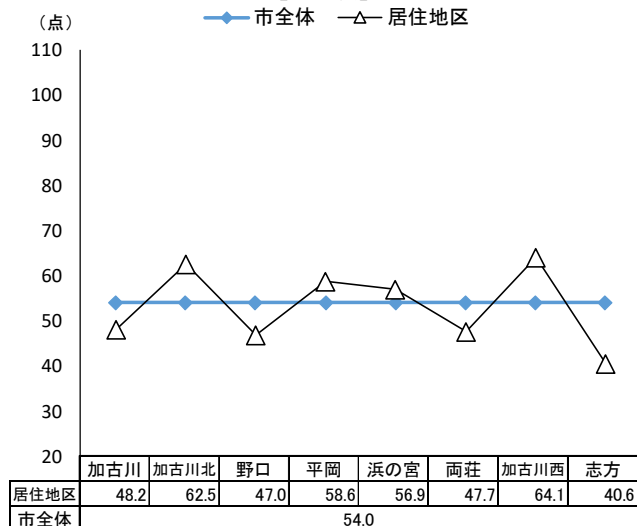
【重要度】



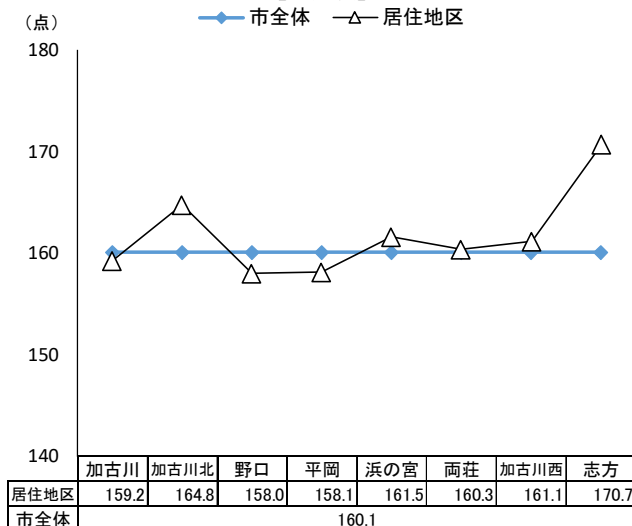
《居住地区別》

- 満足度を居住地区別でみると、加古川北、平岡、浜の宮、加古川西で市全体平均より高くなっている。
- 重要度を居住地区別でみると、加古川北、浜の宮、両荘、加古川西、志方で市全体平均より高くなっている。

【満足度】

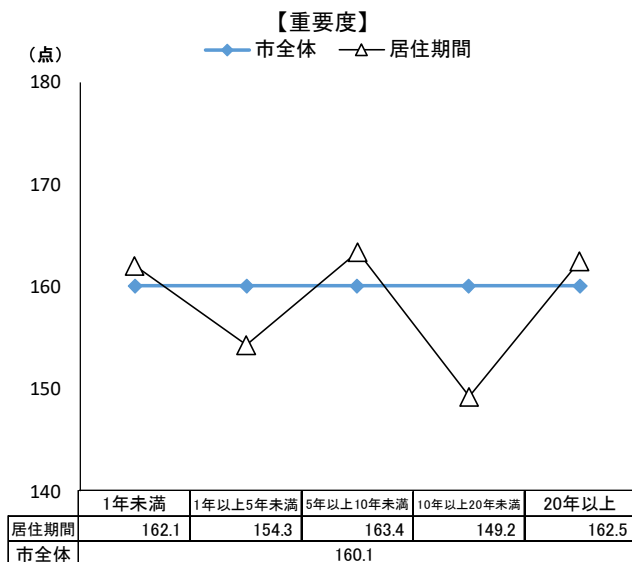
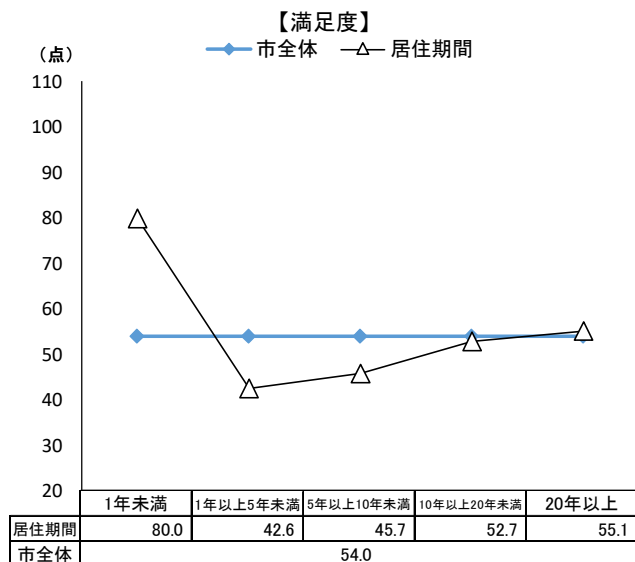


【重要度】



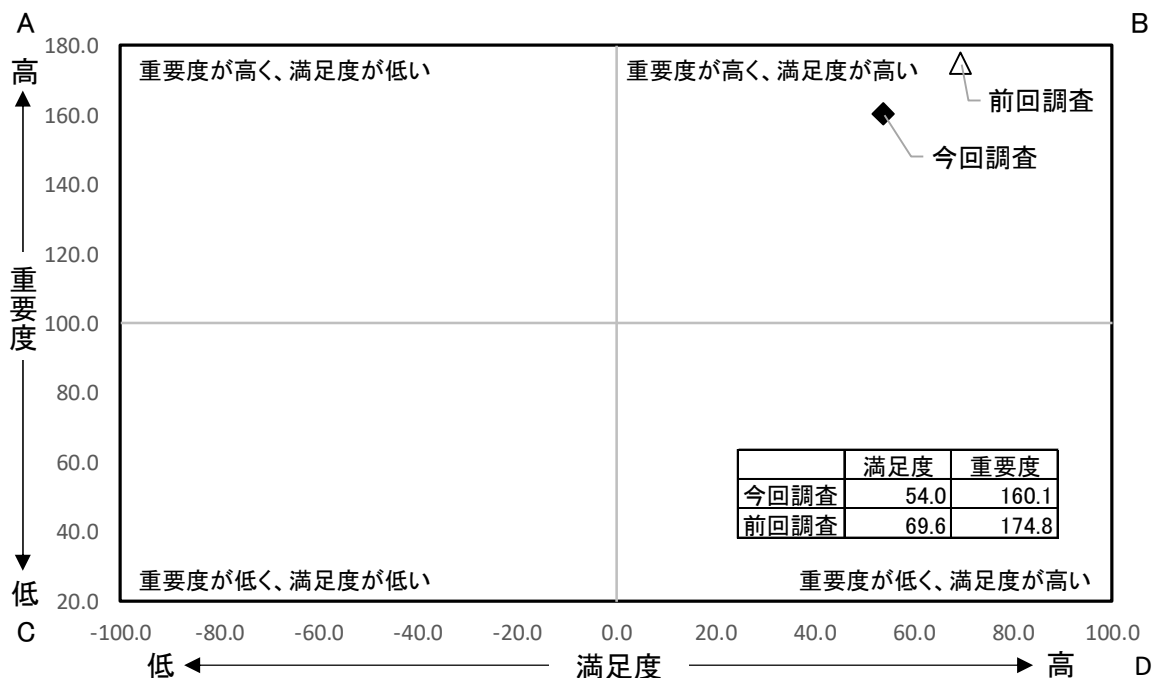
《居住期間別》

- 満足度を居住期間別でみると、「1年未満」、「20年以上」で市全体平均より高くなっている。
- 重要度を居住期間別でみると、「1年未満」、「5年以上10年未満」、「20年以上」で市全体平均より高くなっている。



《満足度と重要度の関係（前回調査との比較）》

- 満足度と重要度の関係でみると、前回調査より満足度と重要度はともに低くなっている。



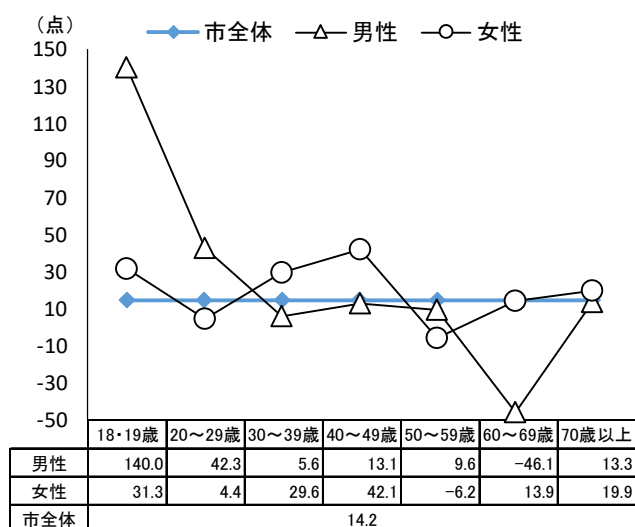
〔防犯・交通安全対策の推進〕

（８）防犯・交通安全対策の推進

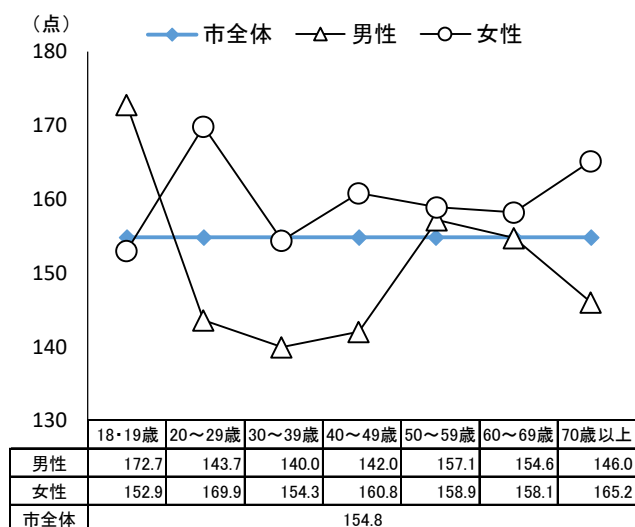
《性年代別》

- 満足度を性年代別でみると、18・19歳の男女と、20歳代の男性、30歳代、40歳代、70歳以上の女性で市全体平均より高くなっている。
- 重要度を性年代別でみると、50歳代の男女と、18・19歳の男性、20歳代、40歳代、60歳代、70歳以上の女性で市全体平均より高くなっている。

【満足度】



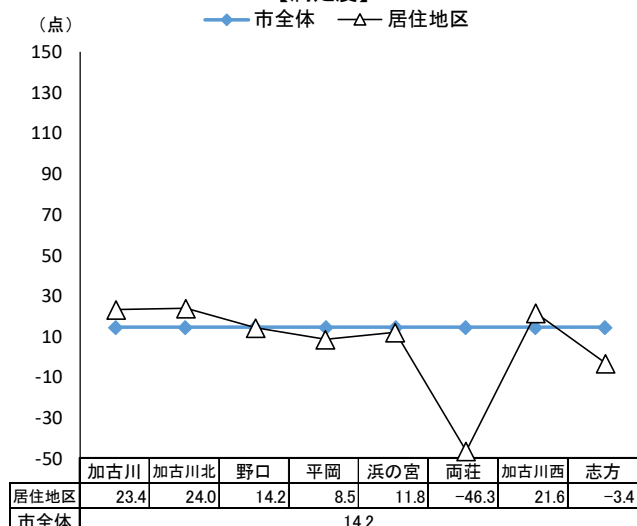
【重要度】



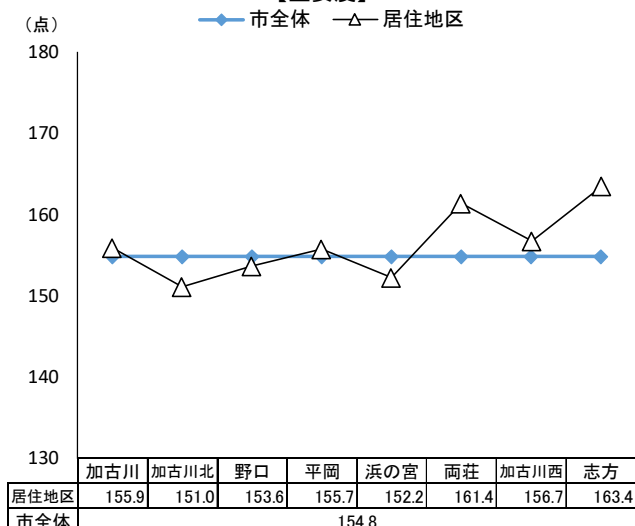
《居住地区別》

- 満足度を居住地区別でみると、加古川、加古川北、加古川西で市全体平均より高くなっている。
- 重要度を居住地区別でみると、加古川、平岡、両荘、加古川西、志方で市全体平均より高くなっている。

【満足度】

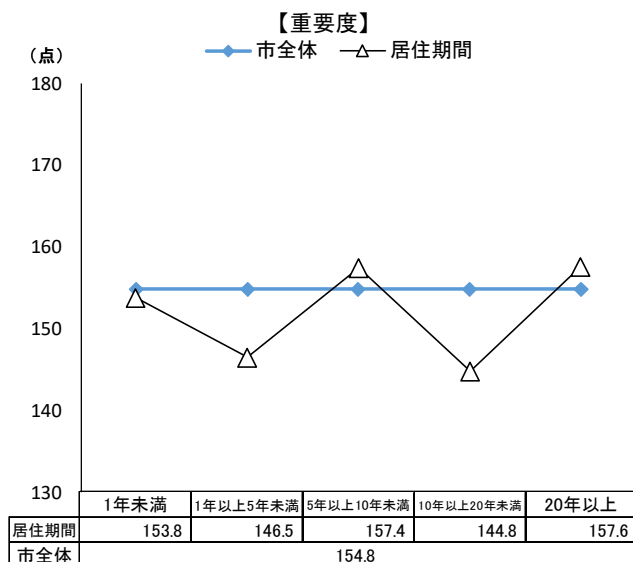
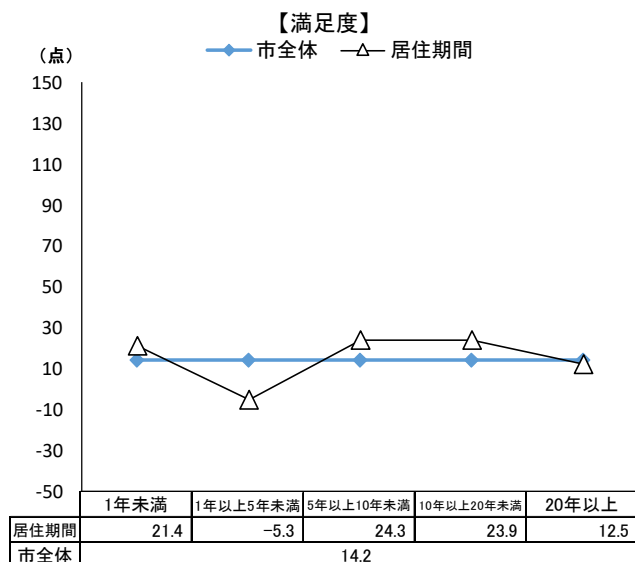


【重要度】



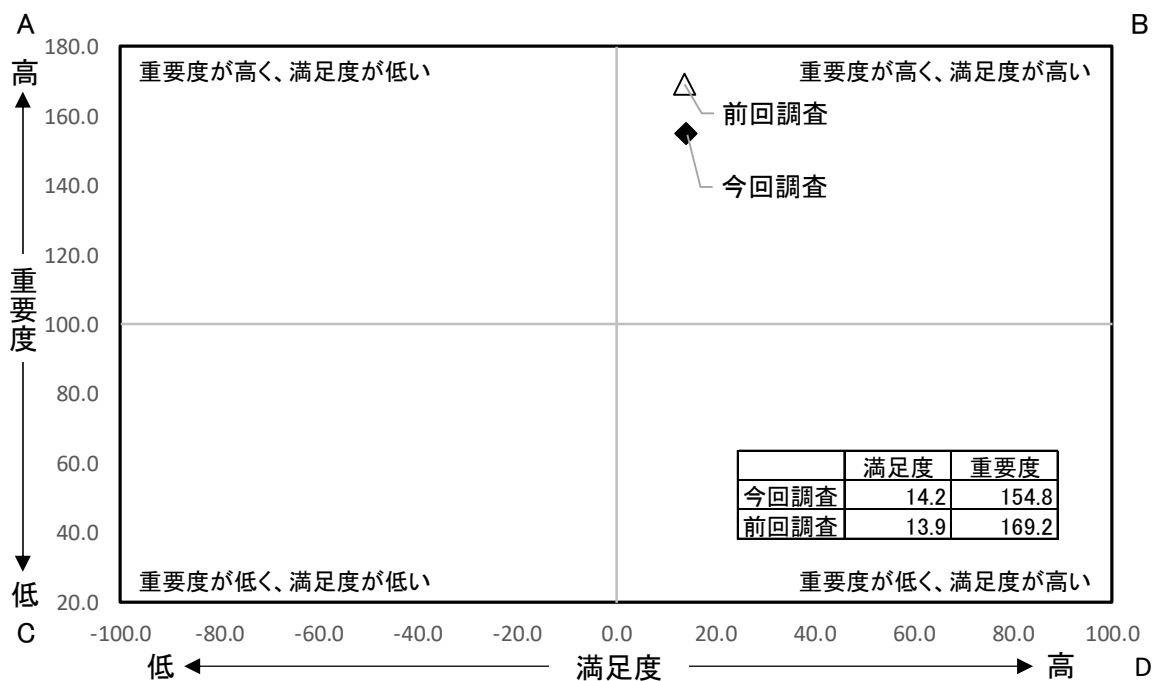
《居住期間別》

- 満足度を居住期間別でみると、「1年未満」、「5年以上10年未満」、「10年以上20年未満」で市全体平均より高くなっている。
- 重要度を居住期間別でみると、「5年以上10年未満」、「20年以上」で市全体平均より高くなっている。



《満足度と重要度の関係（前回調査との比較）》

- 満足度と重要度の関係でみると、前回調査より満足度は高くなり、重要度は低くなっている。

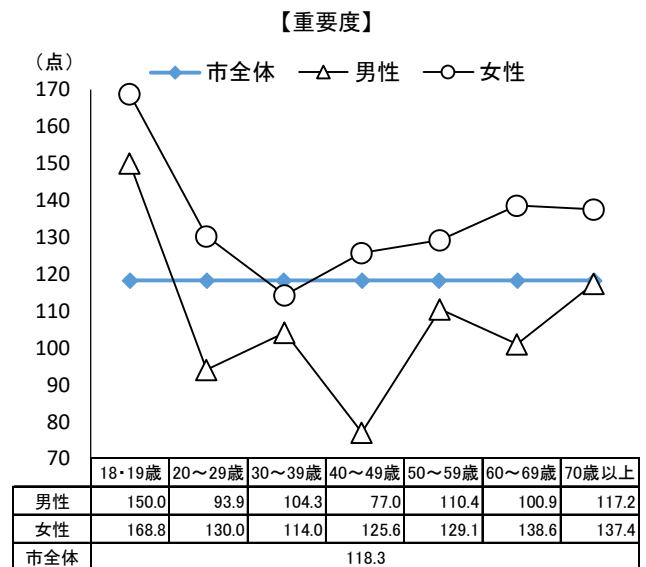
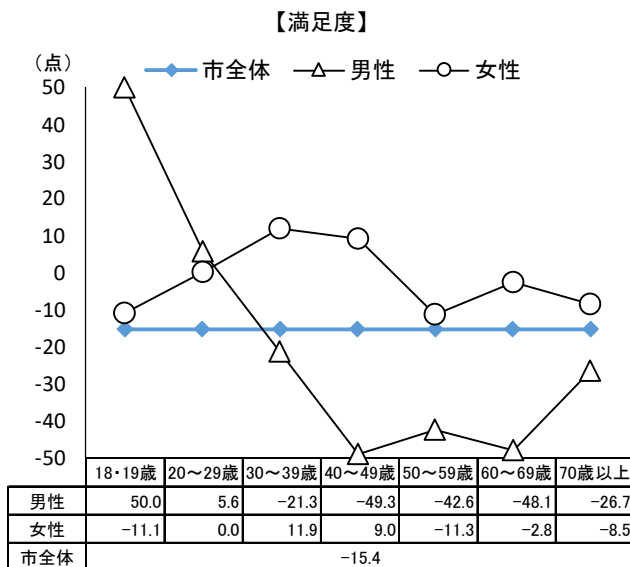


〔安全・安心な消費生活の推進〕

（９）消費生活に関する教育や消費者保護対策

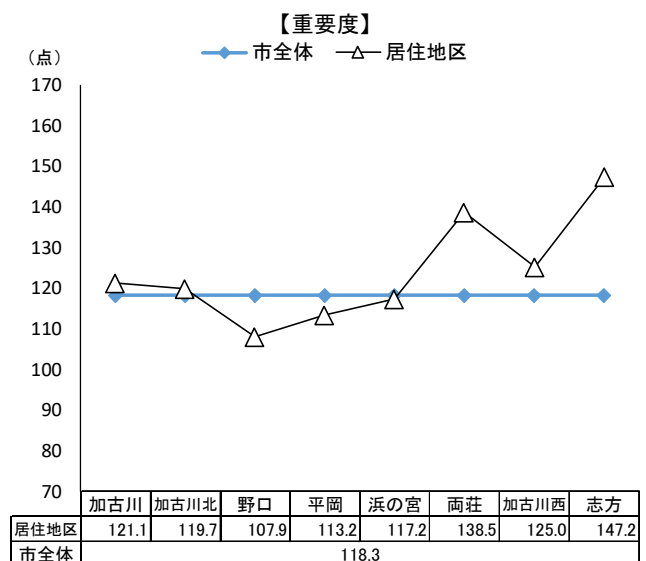
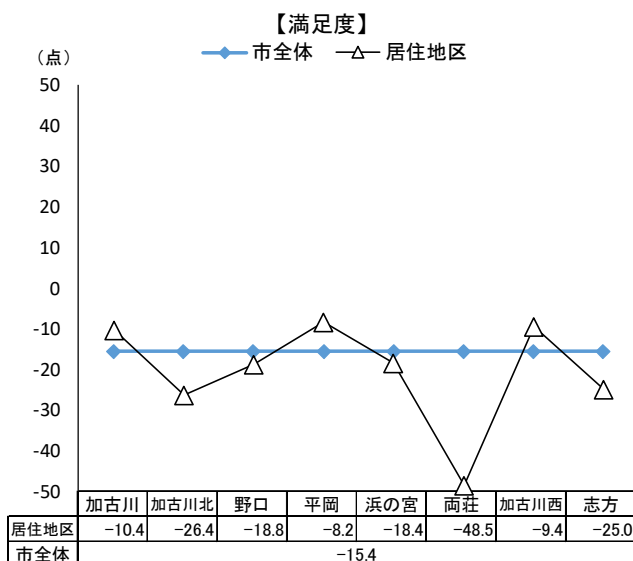
《性年代別》

- 満足度を性年代別でみると、18・19歳、20歳代の男女と、30歳代、40歳代、50歳代、60歳代、70歳以上の女性で市全体平均より高くなっている。
- 重要度を性年代別でみると、18・19歳の男女と、20歳代、40歳代、50歳代、60歳代、70歳以上の女性で市全体平均より高くなっている。



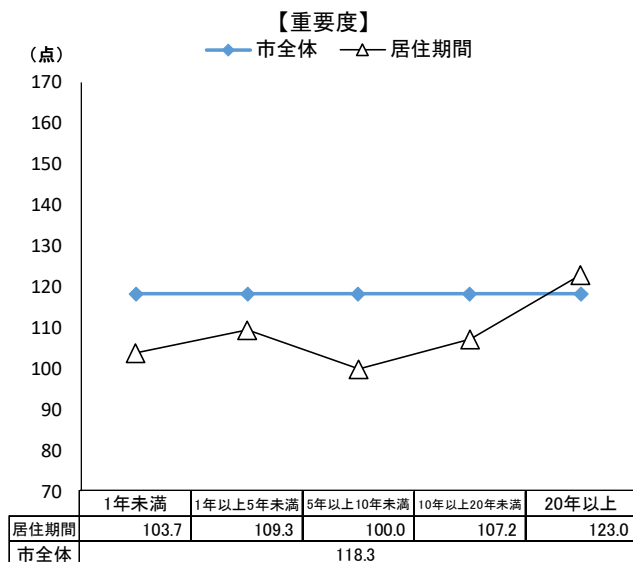
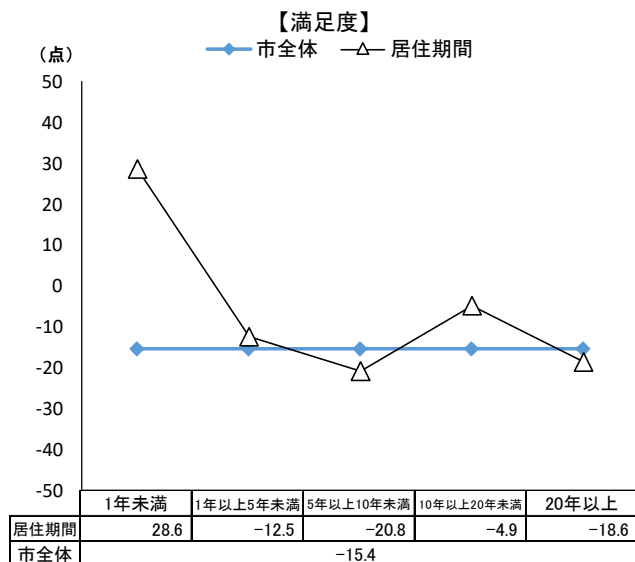
《居住地区別》

- 満足度を居住地区別でみると、加古川、平岡、加古川西で市全体平均より高くなっている。
- 重要度を居住地区別でみると、加古川、加古川北、両荘、加古川西、志方で市全体平均より高くなっている。



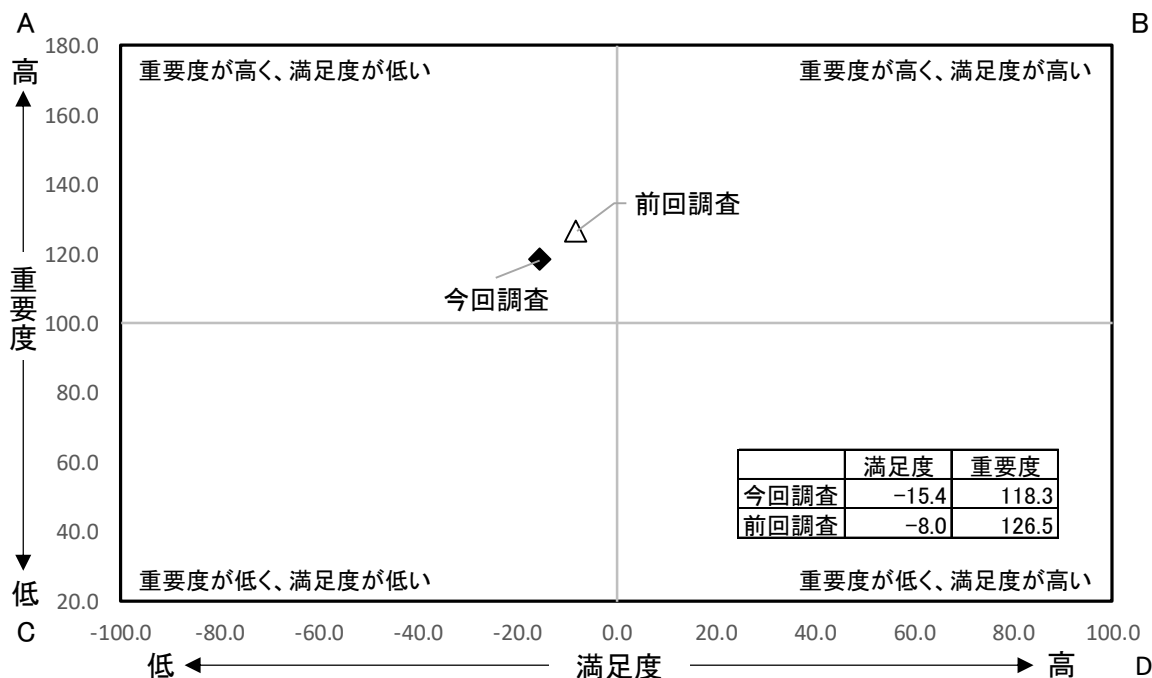
《居住期間別》

- 満足度を居住期間別でみると、「1年未満」、「1年以上5年未満」、「10年以上20年未満」で市全体平均より高くなっている。
- 重要度を居住期間別でみると、「20年以上」で市全体平均より高くなっている。



《満足度と重要度の関係（前回調査との比較）》

- 満足度と重要度の関係でみると、前回調査より満足度と重要度はともに低くなっている。

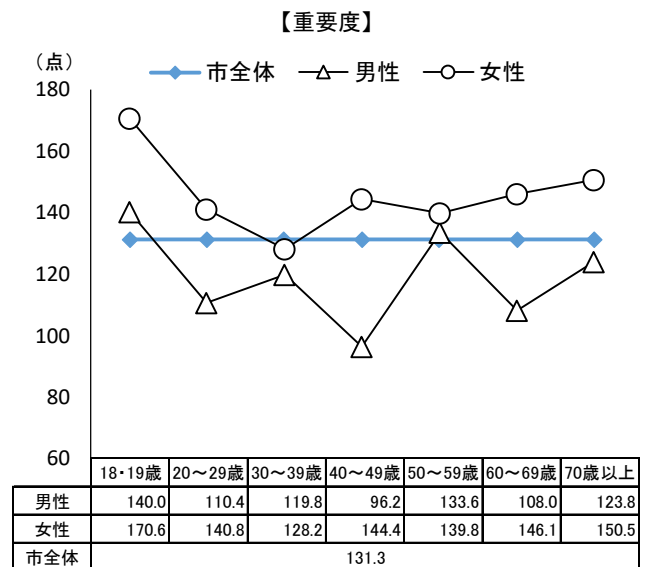
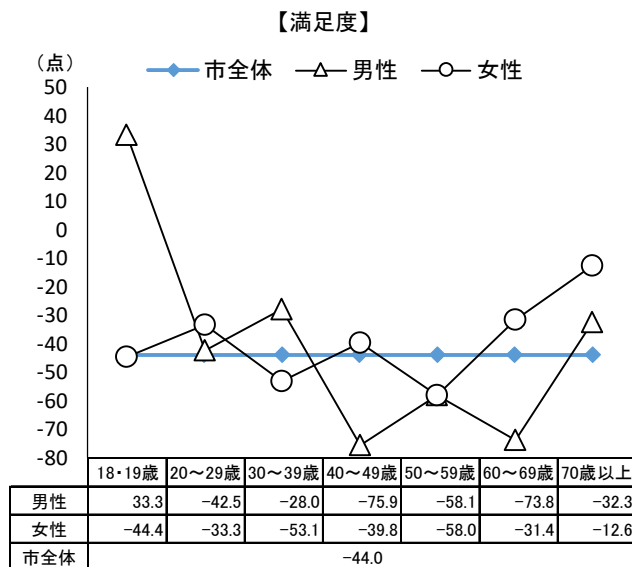


〔就業機会の確保と労働環境の向上〕

(10) 就業機会の確保や働き方改革の推進

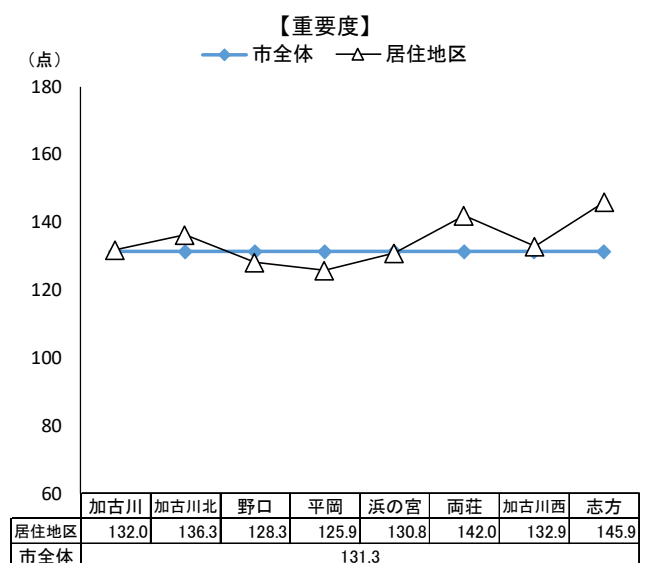
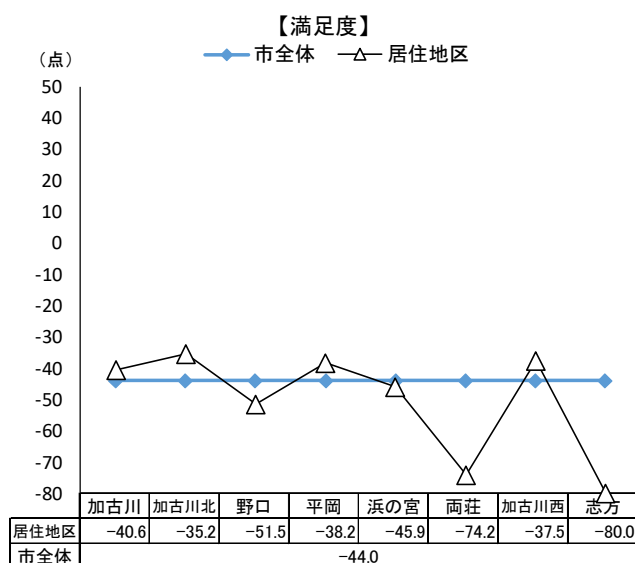
《性年代別》

- 満足度を性年代別でみると、20歳代、70歳以上の男女と、18・19歳、30歳代の男性、40歳代、60歳代の女性で市全体平均より高くなっている。
- 重要度を性年代別でみると、18・19歳、50歳代の男女と、20歳代、40歳代、60歳代、70歳以上の女性で市全体平均より高くなっている。



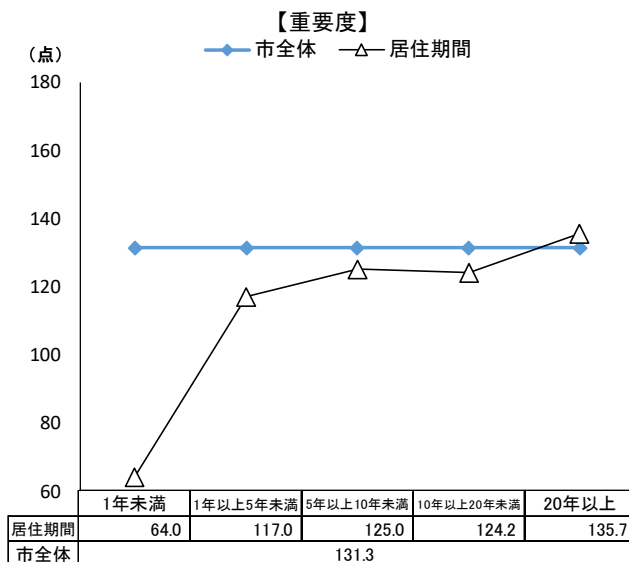
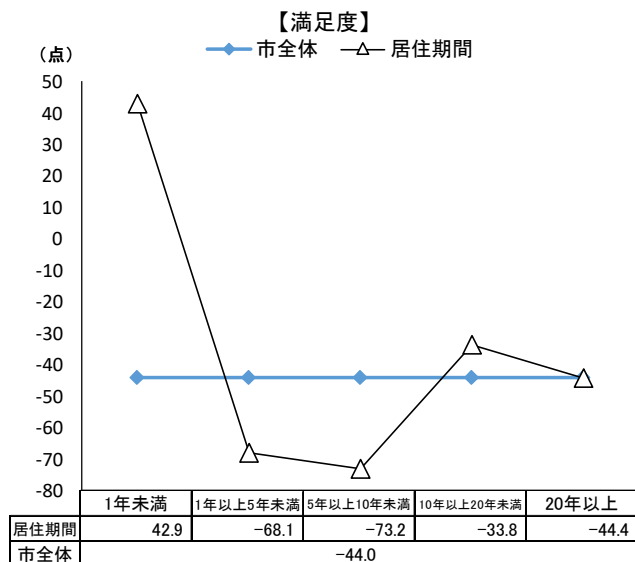
《居住地区別》

- 満足度を居住地区別でみると、加古川、加古川北、平岡、加古川西で市全体平均より高くなっている。
- 重要度を居住地区別でみると、加古川、加古川北、両荘、加古川西、志方で市全体平均より高くなっている。



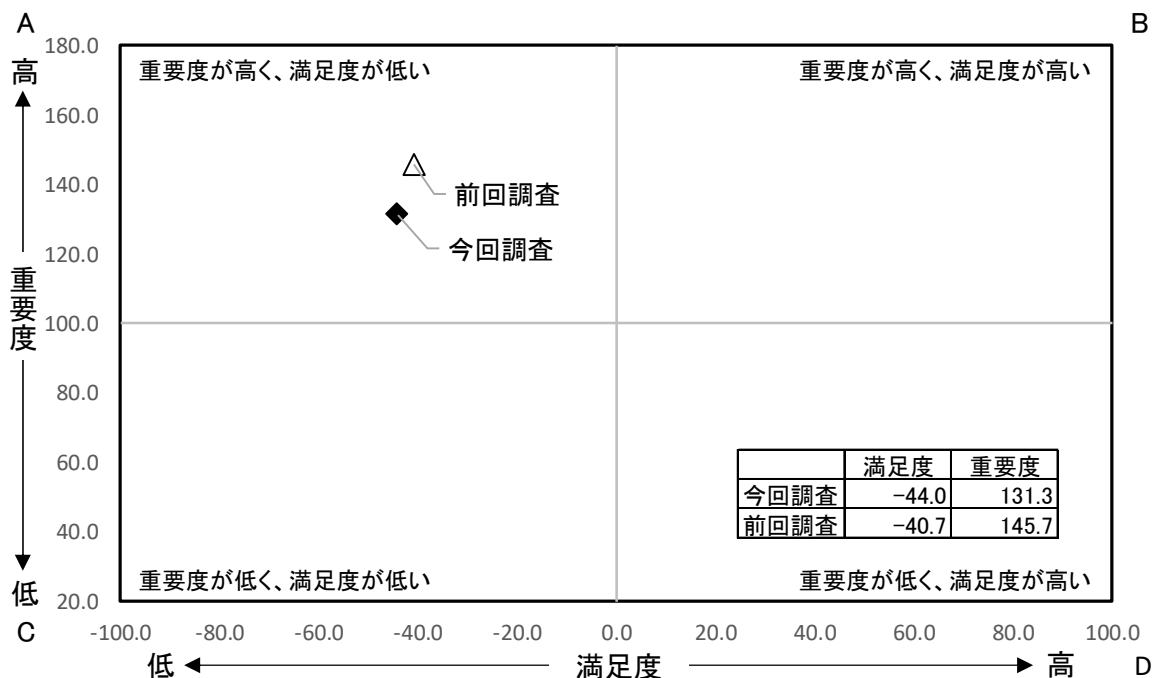
《居住期間別》

- 満足度を居住期間別でみると、「1年未満」、「10年以上20年未満」で市全体平均より高くなっている。
- 重要度を居住期間別でみると、「20年以上」で市全体平均より高くなっている。



《満足度と重要度の関係（前回調査との比較）》

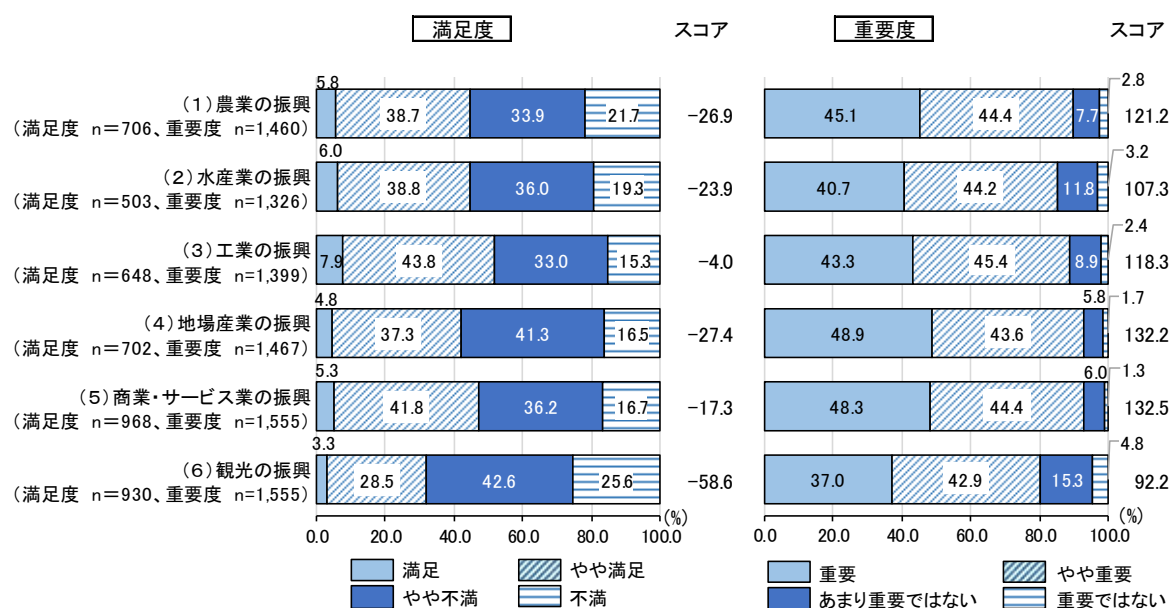
- 満足度と重要度の関係でみると、前回調査より満足度と重要度はともに低くなっている。



3-3 活力とにぎわいのあるまち

- 施策の満足度スコアが最も高い項目は「(3) 工業の振興」、次いで「(5) 商業・サービス業の振興」となっている。一方、最も低い項目は「(6) 観光の振興」、次いで「(4) 地場産業の振興」となっている。
- 施策の重要度スコアが最も高い項目は「(5) 商業・サービス業の振興」、次いで「(4) 地場産業の振興」となっている。一方、最も低い項目は「(6) 観光の振興」、次いで「(2) 水産業の振興」となっている。

《全体》 ※グラフは「わからない」、「不明・無回答」を除いて集計



農業・水産業を振興する

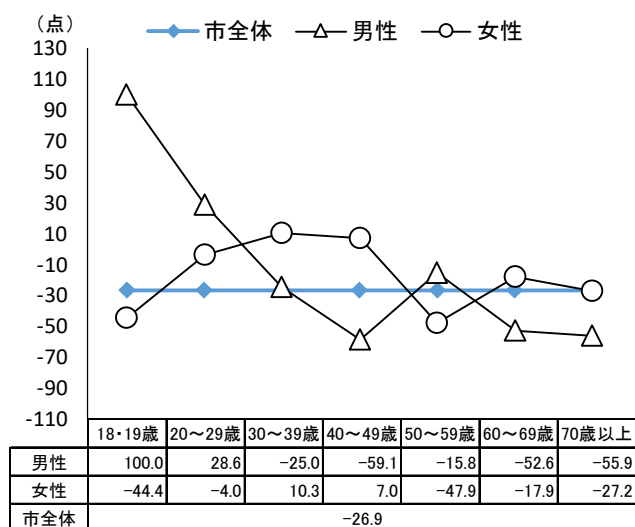
〔農業の振興〕

(1) 農業の振興

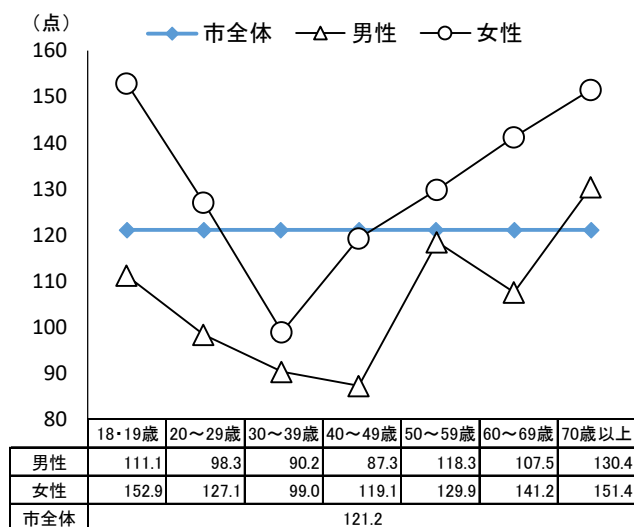
《性年代別》

- 満足度を性年代別でみると、20歳代、30歳代の男女と、18・19歳、50歳代の男性、40歳代、60歳代の女性で市全体平均より高くなっている。
- 重要度を性年代別でみると、70歳以上の男女と、18・19歳、20歳代、50歳代、60歳代の女性で市全体平均より高くなっている。

【満足度】



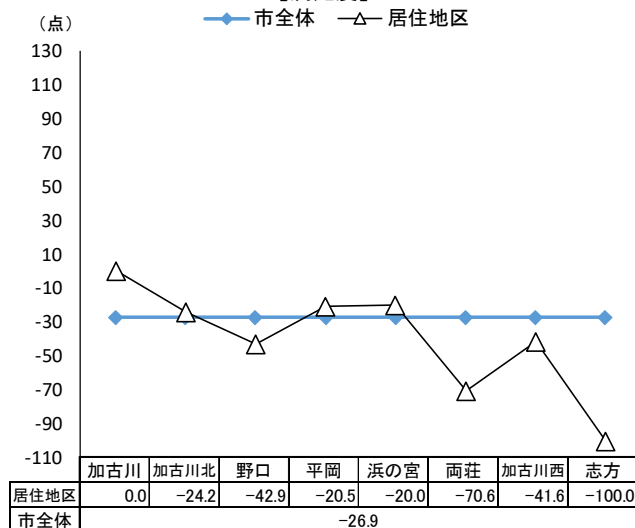
【重要度】



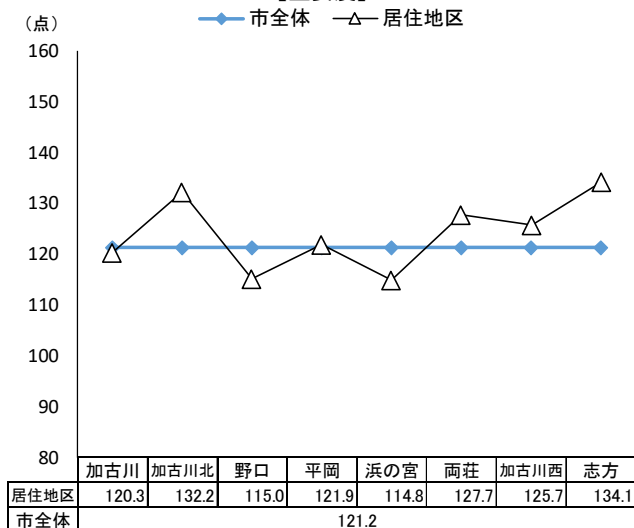
《居住地区別》

- 満足度を居住地区別でみると、加古川、加古川北、平岡、浜の宮で市全体平均より高くなっている。
- 重要度を居住地区別でみると、加古川北、平岡、両荘、加古川西、志方で市全体平均より高くなっている。

【満足度】

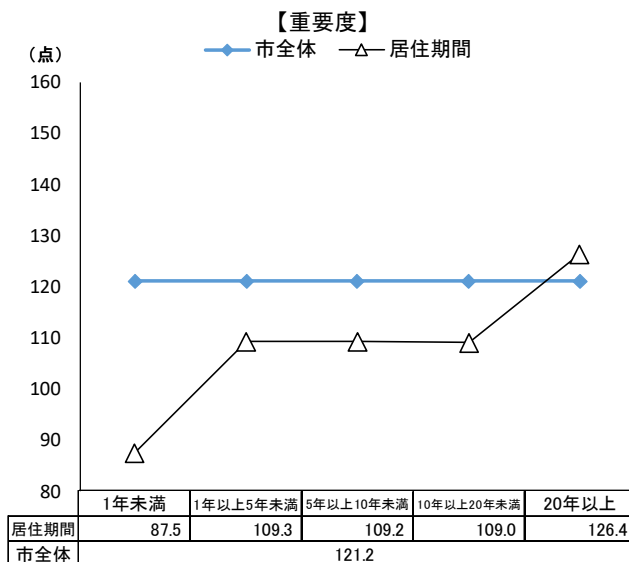
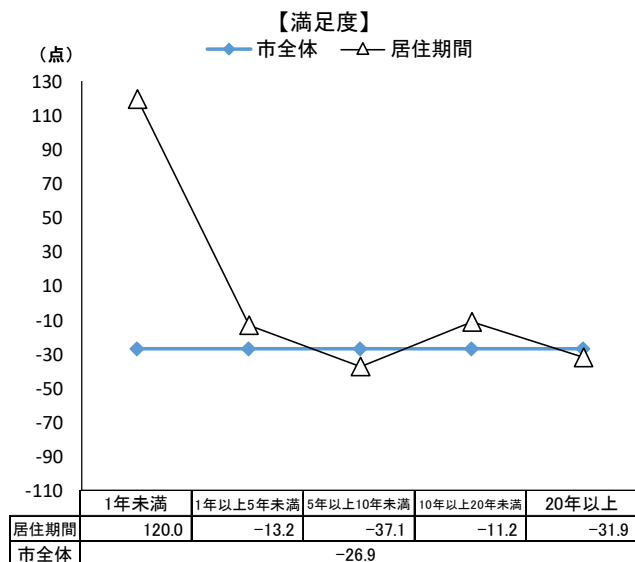


【重要度】



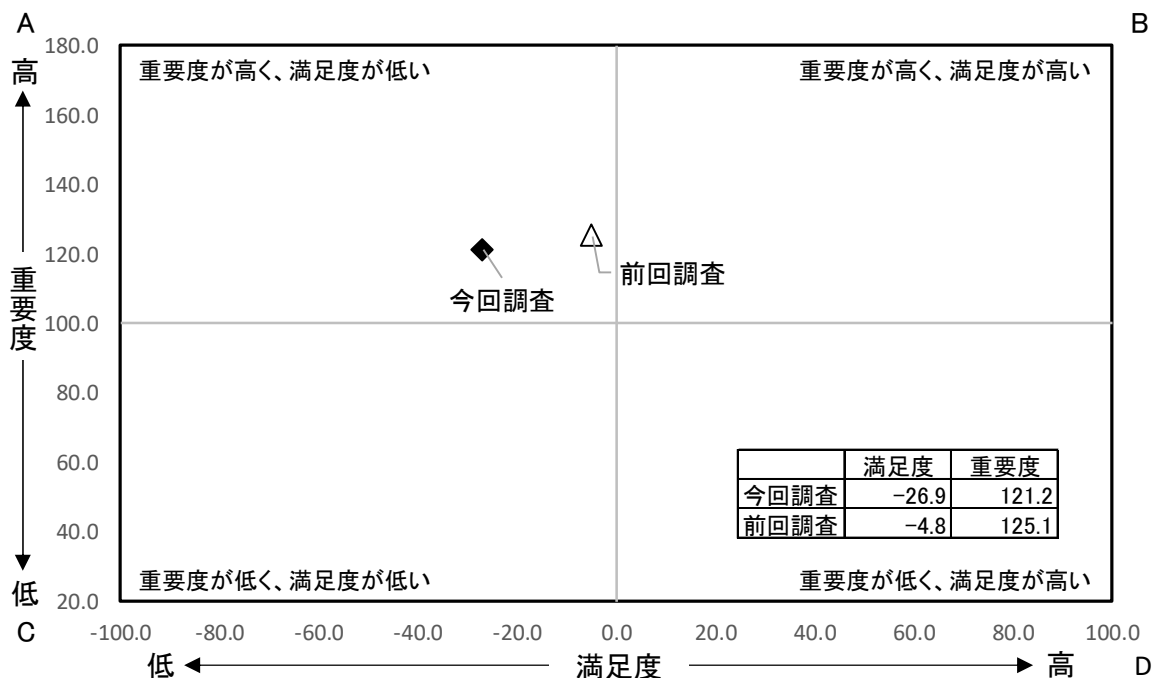
《居住期間別》

- 満足度を居住期間別でみると、「1年未満」、「1年以上5年未満」、「10年以上20年未満」で市全体平均より高くなっている。
- 重要度を居住期間別でみると、「20年以上」で市全体平均より高くなっている。



《満足度と重要度の関係（前回調査との比較）》

- 満足度と重要度の関係でみると、前回調査より満足度と重要度はともに低くなっている。

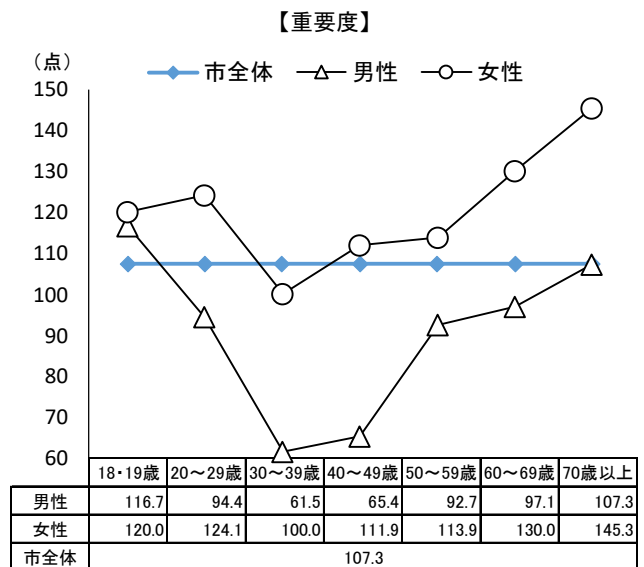
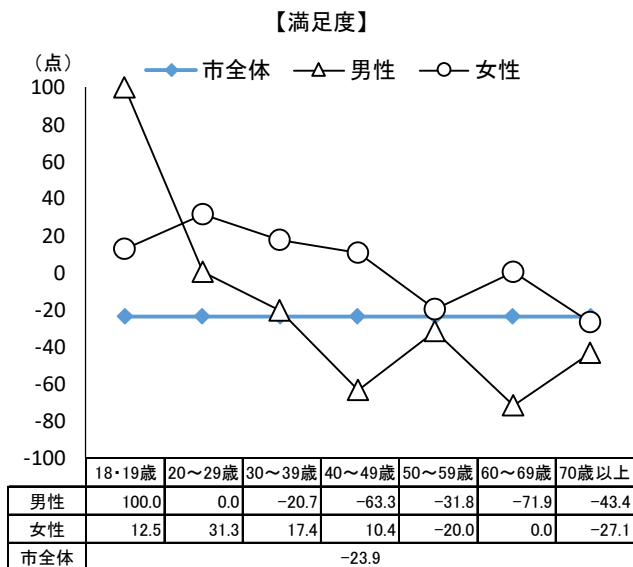


〔水産業の振興〕

(2) 水産業の振興

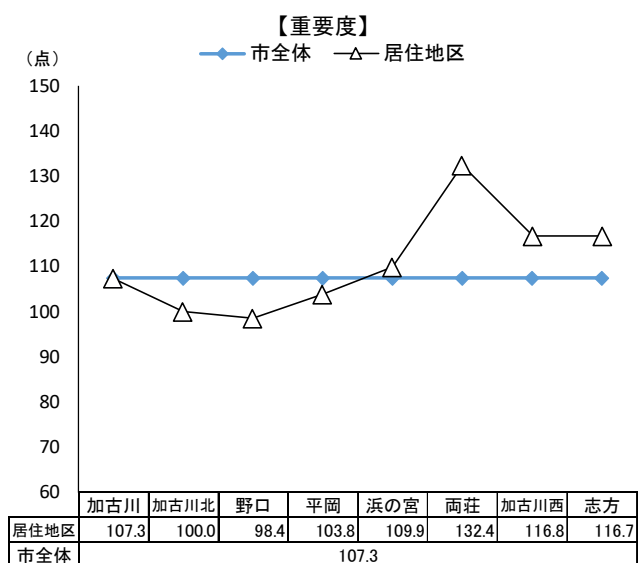
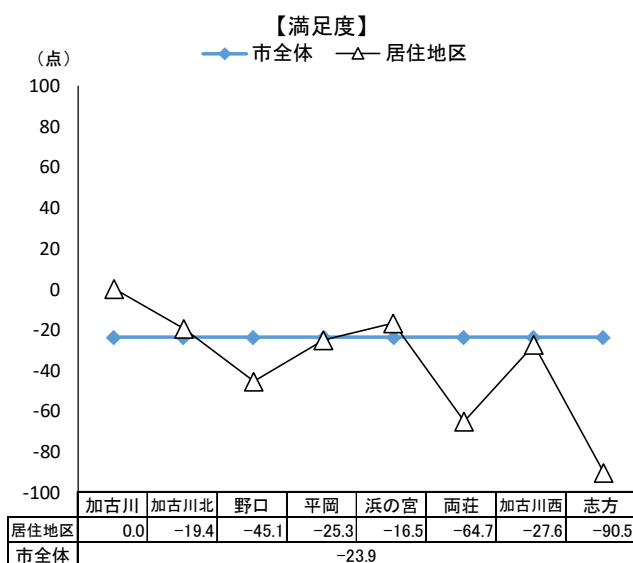
《性年代別》

- 満足度を性年代別でみると、18・19歳、20歳代、30歳代の男女と、40歳代、50歳代、60歳代の女性で市全体平均より高くなっている。
- 重要度を性年代別でみると、18・19歳の男女と、20歳代、40歳代、50歳代、60歳代、70歳以上の女性で市全体平均より高くなっている。



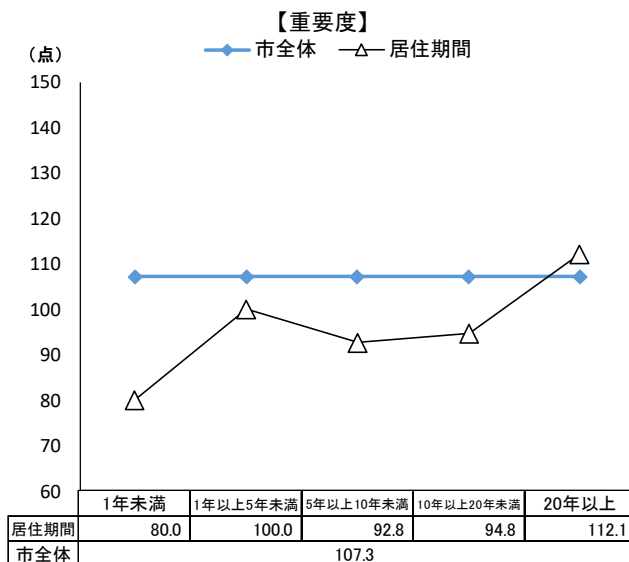
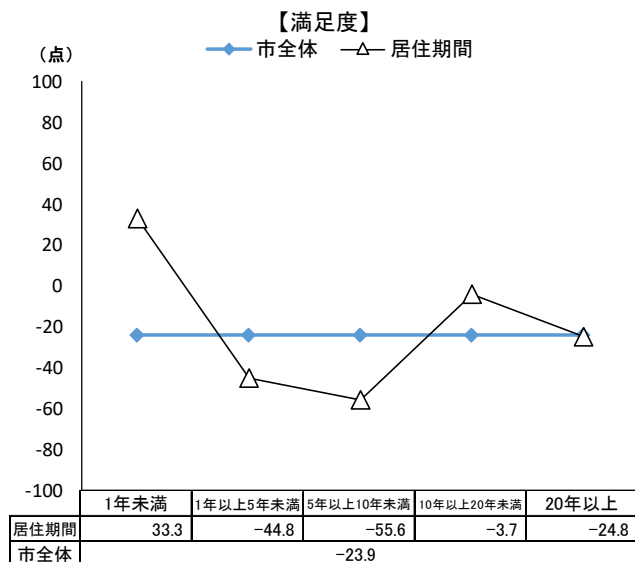
《居住地区別》

- 満足度を居住地区別でみると、加古川、加古川北、浜の宮で市全体平均より高くなっている。
- 重要度を居住地区別でみると、浜の宮、両荘、加古川西、志方で市全体平均より高くなっている。



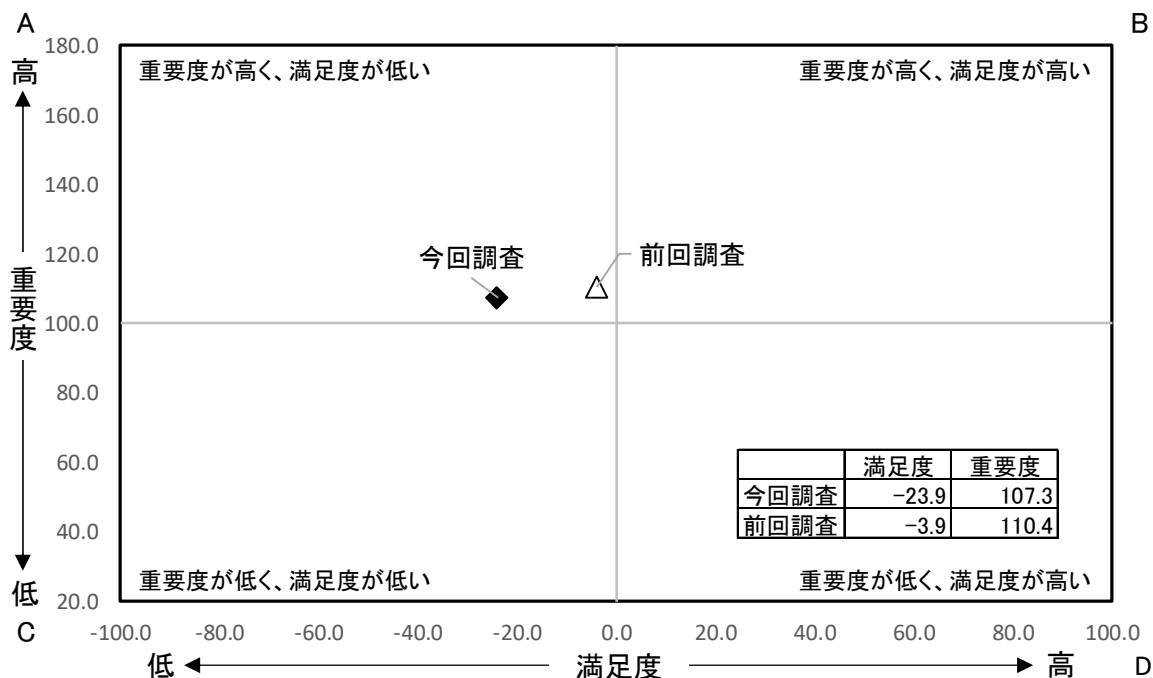
《居住期間別》

- 満足度を居住期間別でみると、「1年未満」、「10年以上20年未満」で市全体平均より高くなっている。
- 重要度を居住期間別でみると、「20年以上」で市全体平均より高くなっている。



《満足度と重要度の関係（前回調査との比較）》

- 満足度と重要度の関係でみると、前回調査より満足度と重要度はともに低くなっている。



工業・地場産業を振興する

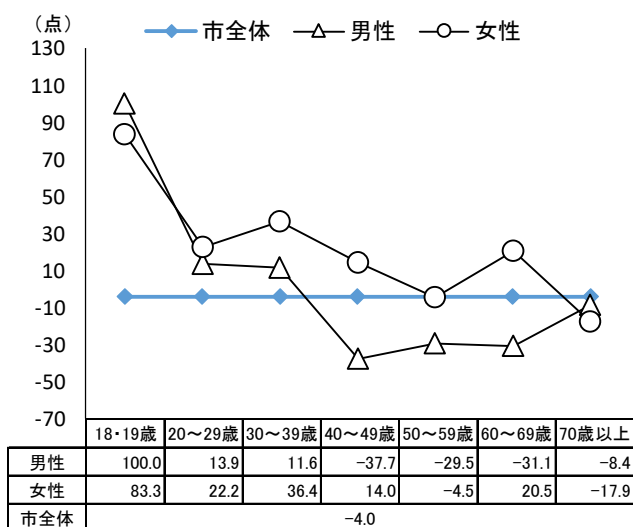
【工業の振興】

(3) 工業の振興

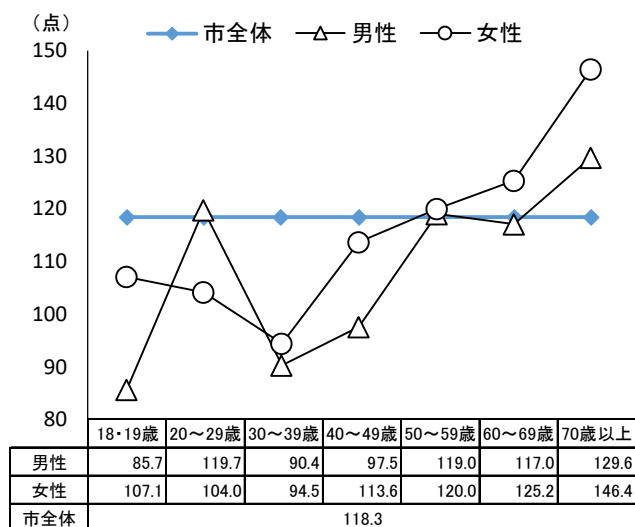
《性年代別》

- 満足度を性年代別でみると、18・19歳、20歳代、30歳代の男女と、40歳代、60歳代の女性で市全体平均より高くなっている。
- 重要度を性年代別でみると、50歳代、70歳以上の男女と、20歳代の男性、60歳代の女性で市全体平均より高くなっている。

【満足度】



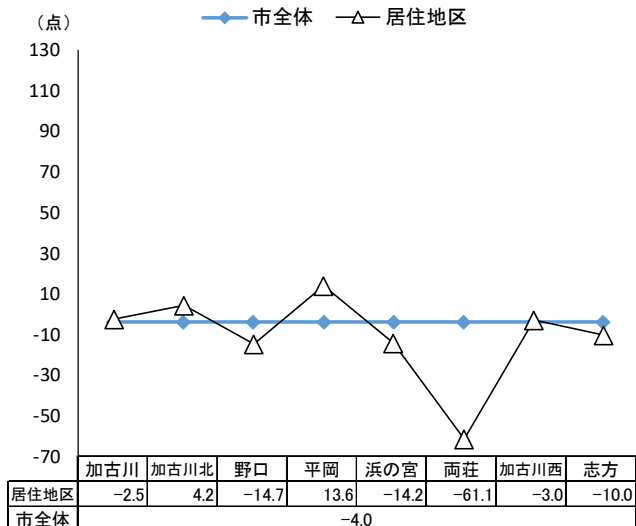
【重要度】



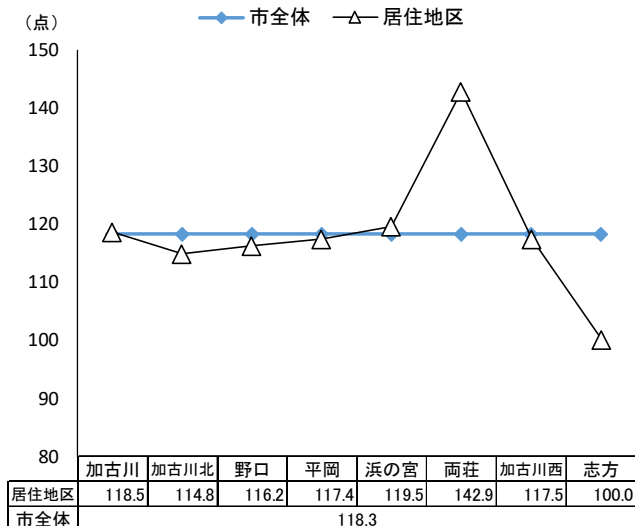
《居住地区別》

- 満足度を居住地区別でみると、加古川、加古川北、平岡、加古川西で市全体平均より高くなっている。
- 重要度を居住地区別でみると、加古川、浜の宮、両荘で市全体平均より高くなっている。

【満足度】

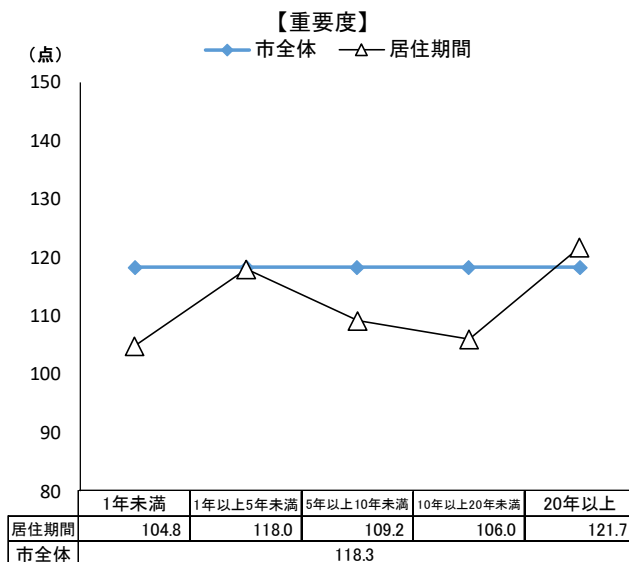
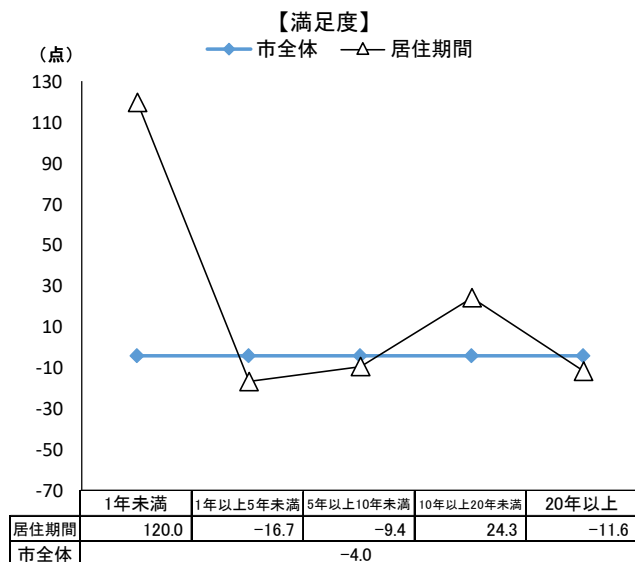


【重要度】



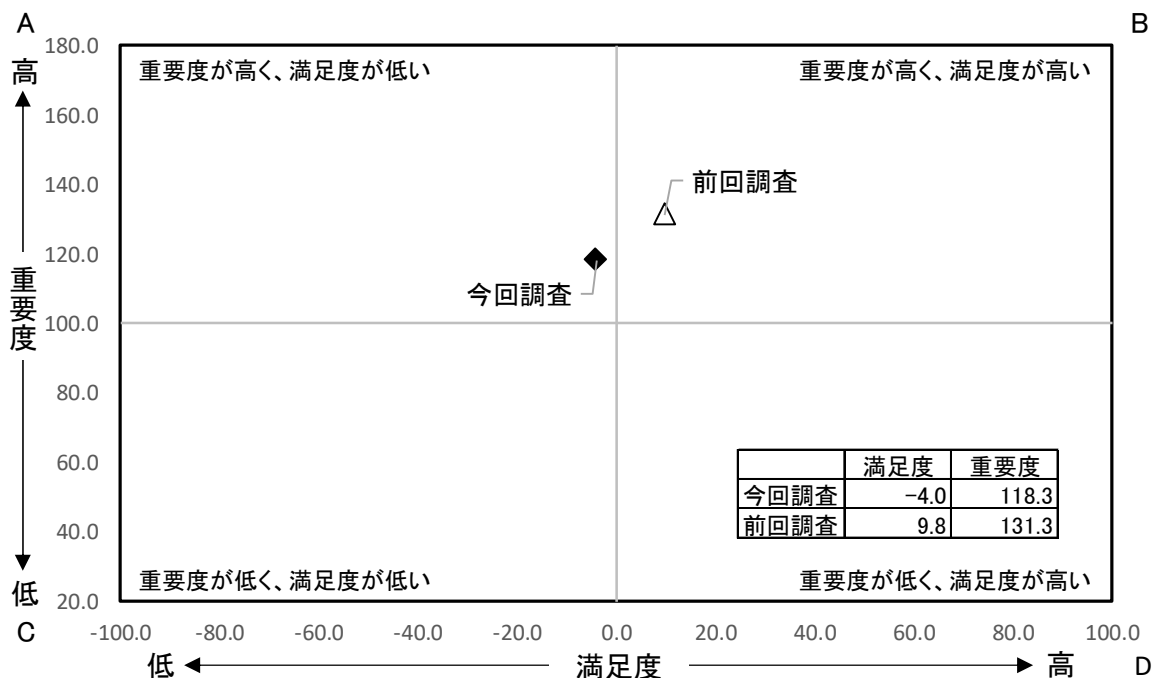
《居住期間別》

- 満足度を居住期間別でみると、「1年未満」、「10年以上20年未満」で市全体平均より高くなっている。
- 重要度を居住期間別でみると、「20年以上」で市全体平均より高くなっている。



《満足度と重要度の関係（前回調査との比較）》

- 満足度と重要度の関係でみると、前回調査より満足度と重要度はともに低くなっている。

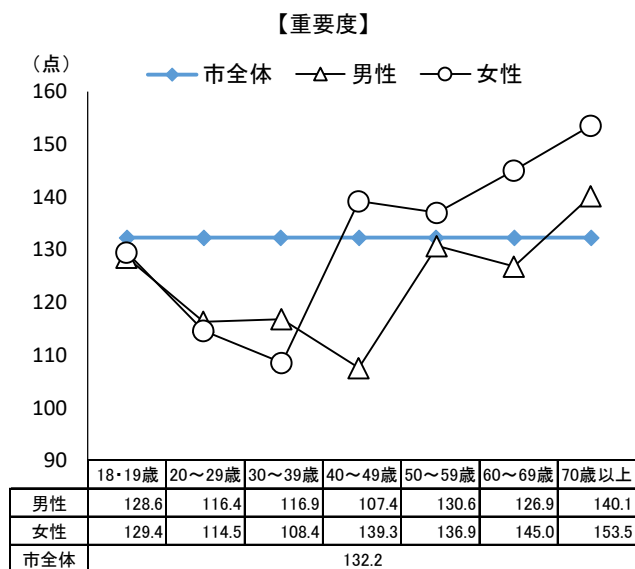
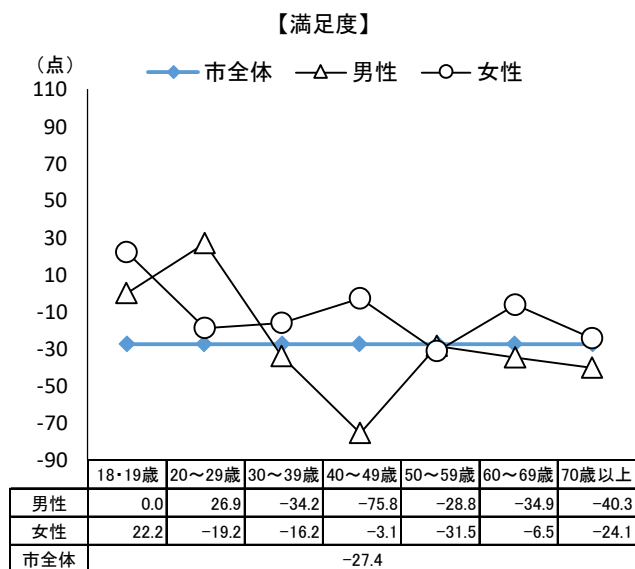


〔地場産業の振興〕

（４）地場産業の振興

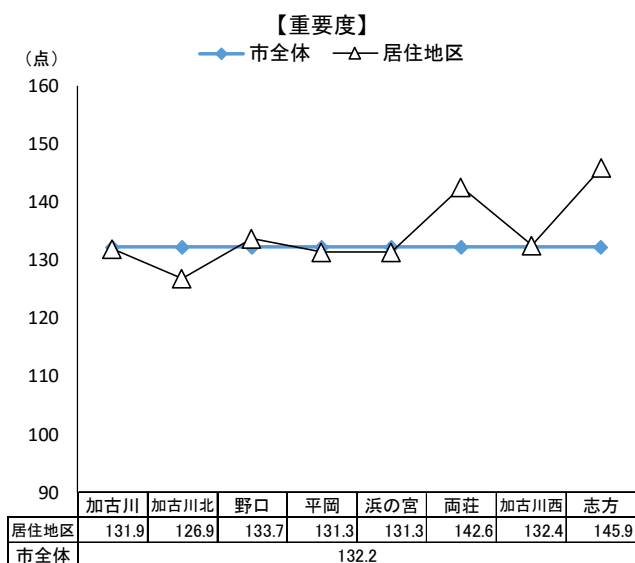
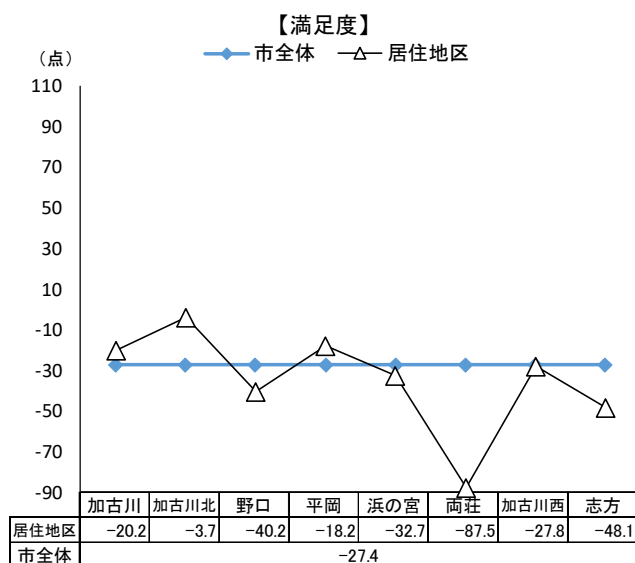
《性年代別》

- 満足度を性年代別でみると、18・19歳、20歳代の男女と、30歳代、40歳代、60歳代、70歳以上の女性で市全体平均より高くなっている。
- 重要度を性年代別でみると、70歳以上の男女と、40歳代、50歳代、60歳代の女性で市全体平均より高くなっている。



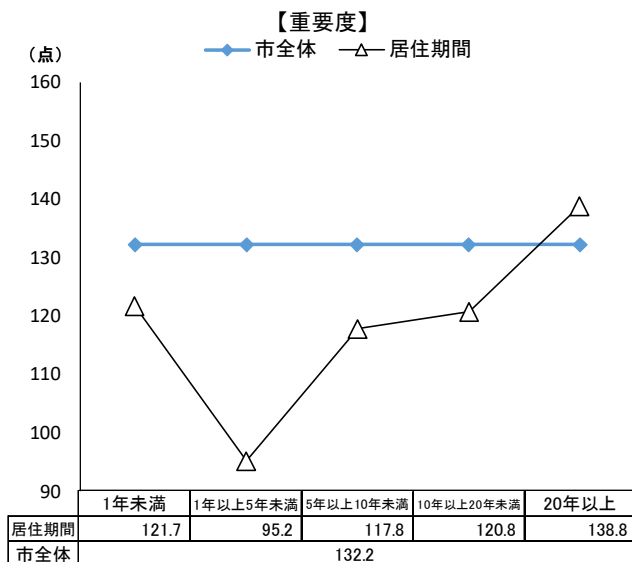
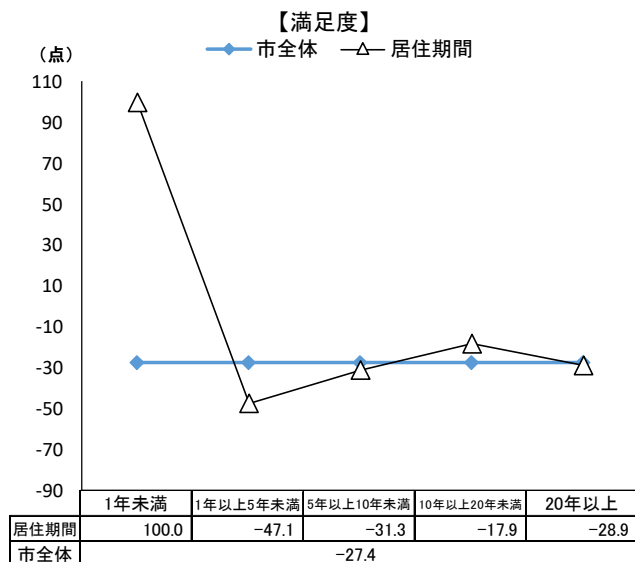
《居住地区別》

- 満足度を居住地区別でみると、加古川、加古川北、平岡で市全体平均より高くなっている。
- 重要度を居住地区別でみると、野口、両荘、加古川西、志方で市全体平均より高くなっている。



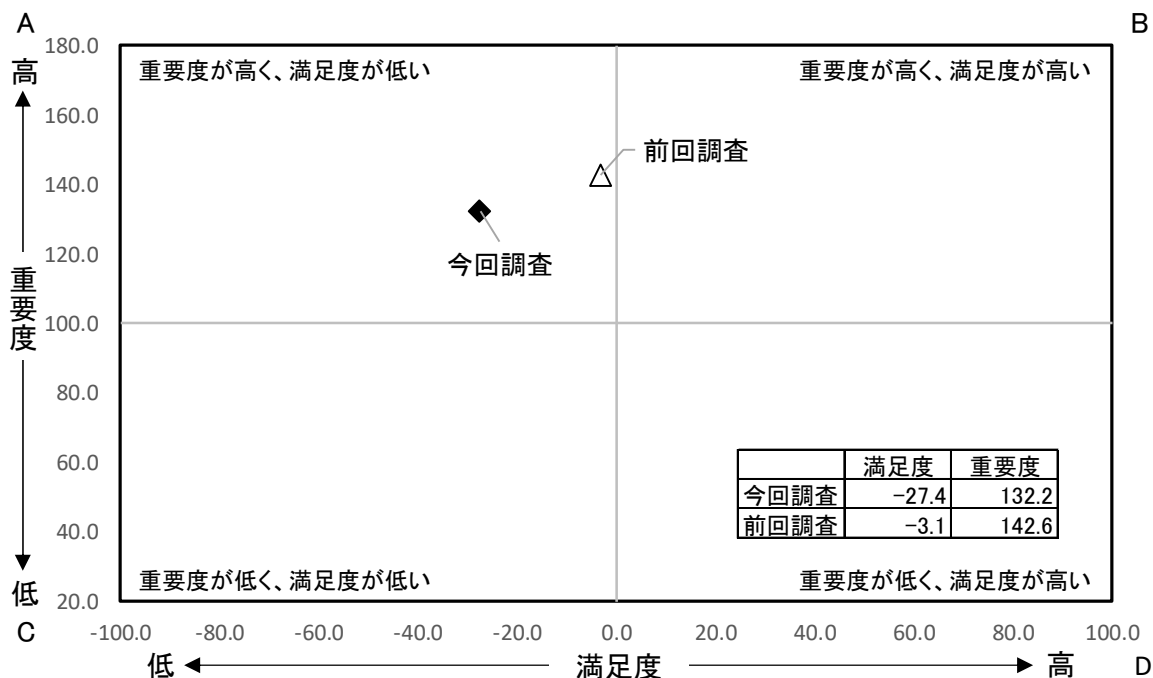
《居住期間別》

- 満足度を居住期間別でみると、「1年未満」、「10年以上20年未満」で市全体平均より高くなっている。
- 重要度を居住期間別でみると、「20年以上」で市全体平均より高くなっている。



《満足度と重要度の関係（前回調査との比較）》

- 満足度と重要度の関係でみると、前回調査より満足度と重要度はともに低くなっている。



商業・観光を振興する

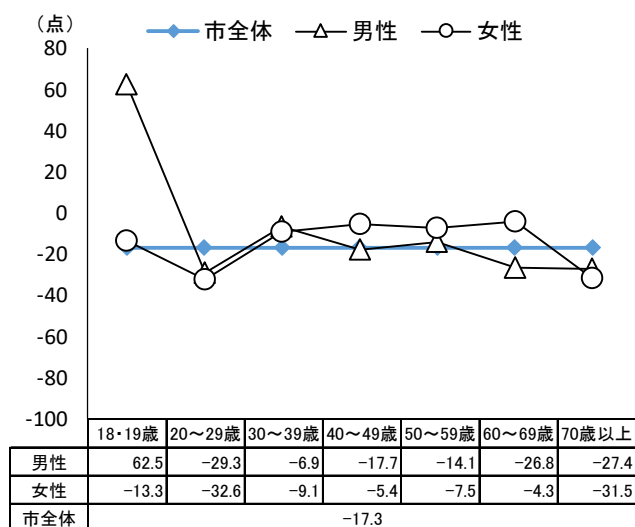
〔商業・サービス業の振興〕

(5) 商業・サービス業の振興

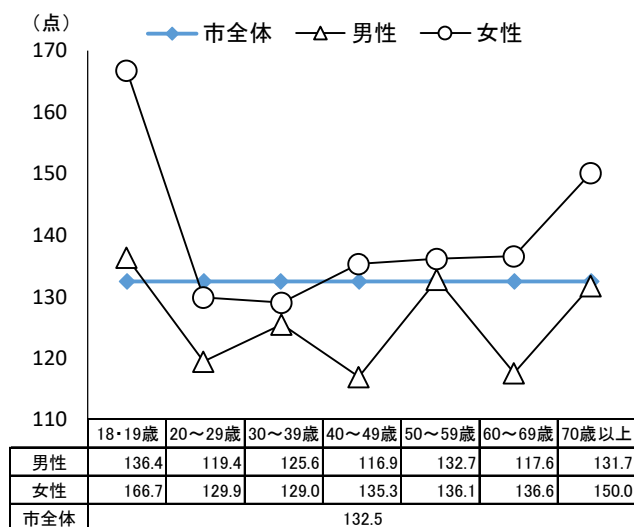
《性年代別》

- 満足度を性年代別でみると、18・19歳、30歳代、50歳代の男女と、40歳代、60歳代の女性で市全体平均より高くなっている。
- 重要度を性年代別でみると、18・19歳、50歳代の男女と、40歳代、60歳代、70歳以上の女性で市全体平均より高くなっている。

【満足度】



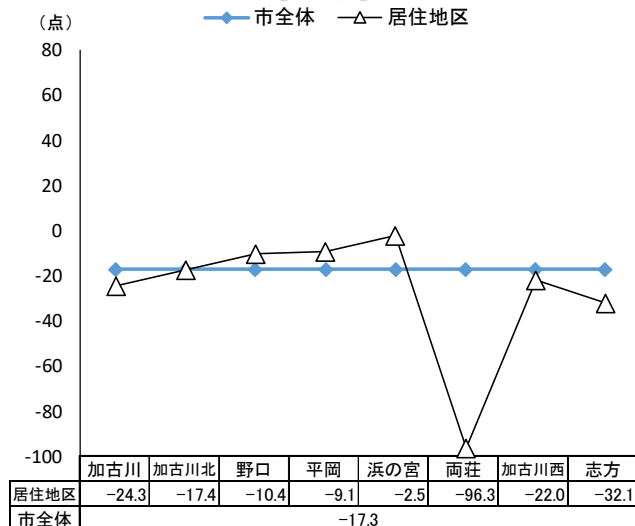
【重要度】



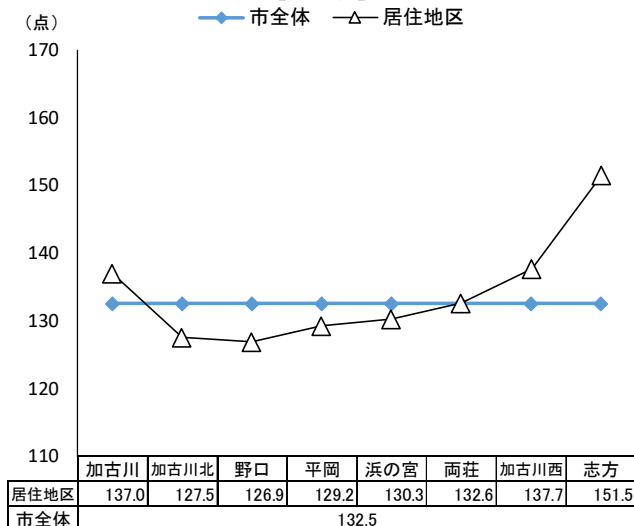
《居住地区別》

- 満足度を居住地区別でみると、野口、平岡、浜の宮で市全体平均より高くなっている。
- 重要度を居住地区別でみると、加古川、両荘、加古川西、志方で市全体平均より高くなっている。

【満足度】

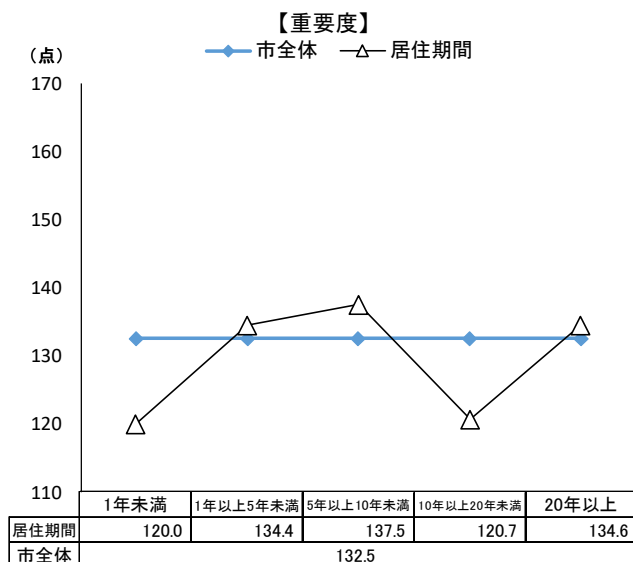
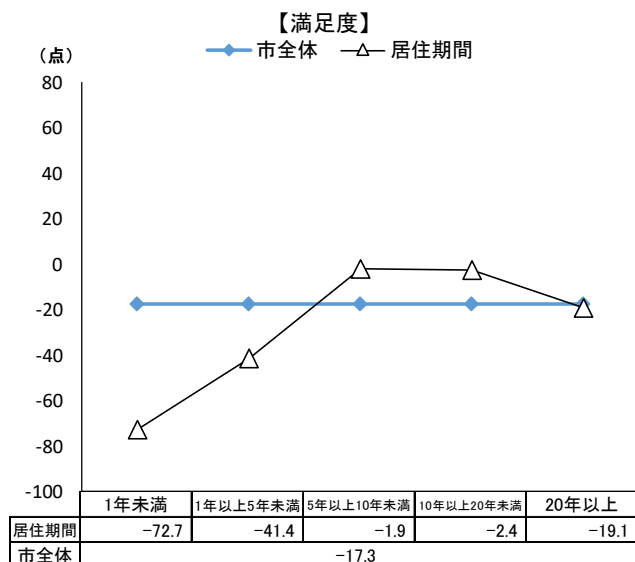


【重要度】



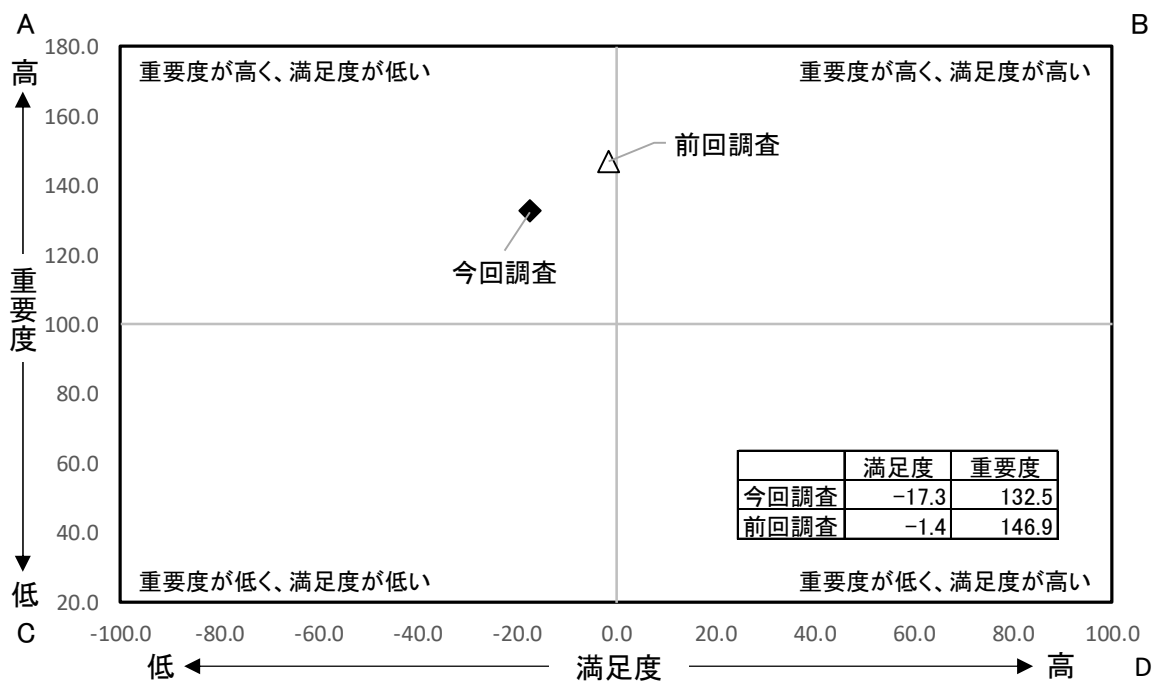
《居住期間別》

- 満足度を居住期間別でみると、「5年以上10年未満」、「10年以上20年未満」で市全体平均より高くなっている。
- 重要度を居住期間別でみると、「1年以上5年未満」、「5年以上10年未満」、「20年以上」で市全体平均より高くなっている。



《満足度と重要度の関係（前回調査との比較）》

- 満足度と重要度の関係でみると、前回調査より満足度と重要度はともに低くなっている。



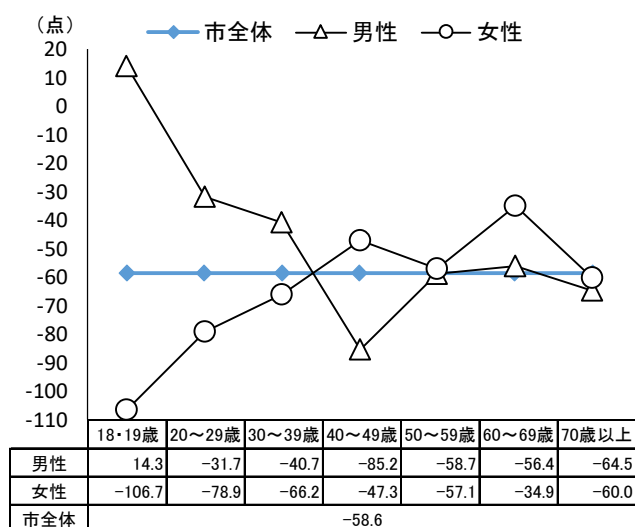
〔観光の振興〕

(6) 観光の振興

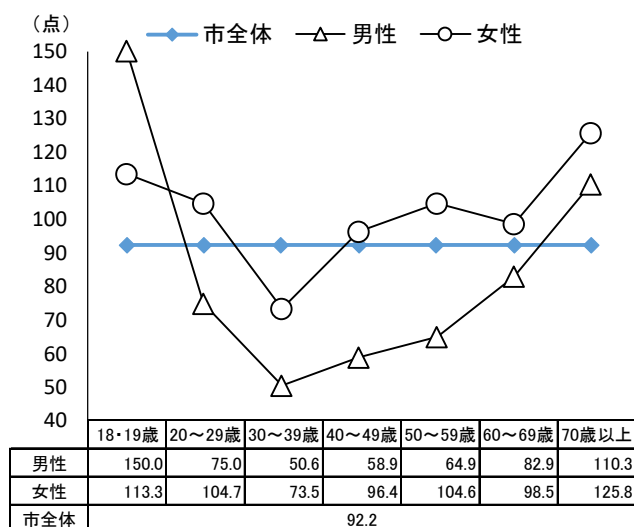
《性年代別》

- 満足度を性年代別でみると、60歳代の男女と、18・19歳、20歳代、30歳代の男性、40歳代、50歳代の女性で市全体平均より高くなっている。
- 重要度を性年代別でみると、18・19歳、70歳以上の男女と、20歳代、40歳代、50歳代、60歳代の女性で市全体平均より高くなっている。

【満足度】



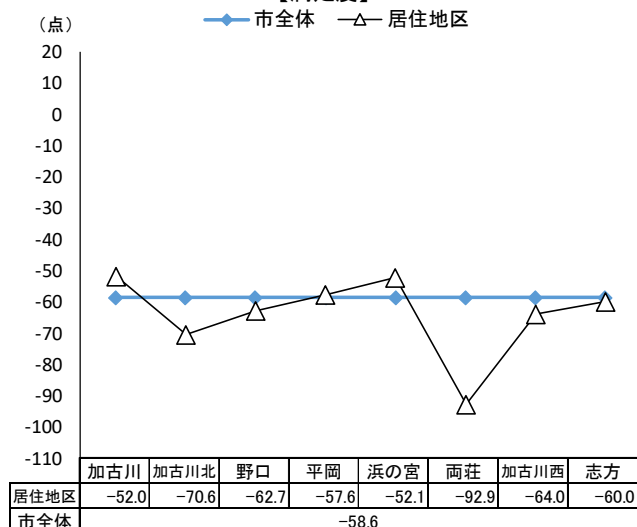
【重要度】



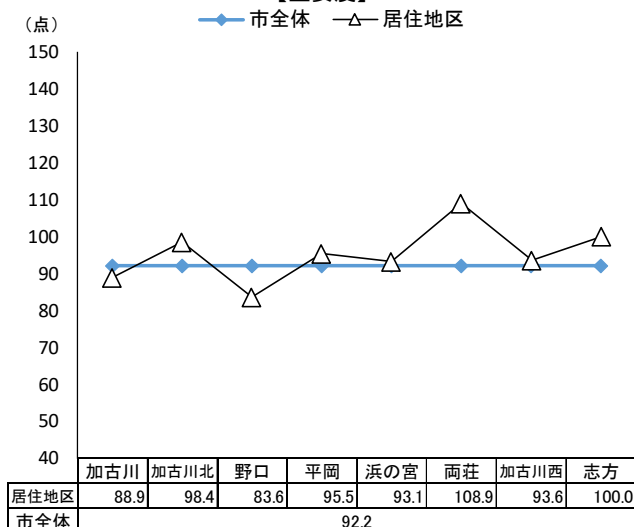
《居住地区別》

- 満足度を居住地区別でみると、加古川、平岡、浜の宮で市全体平均より高くなっている。
- 重要度を居住地区別でみると、加古川北、平岡、浜の宮、両荘、加古川西、志方で市全体平均より高くなっている。

【満足度】

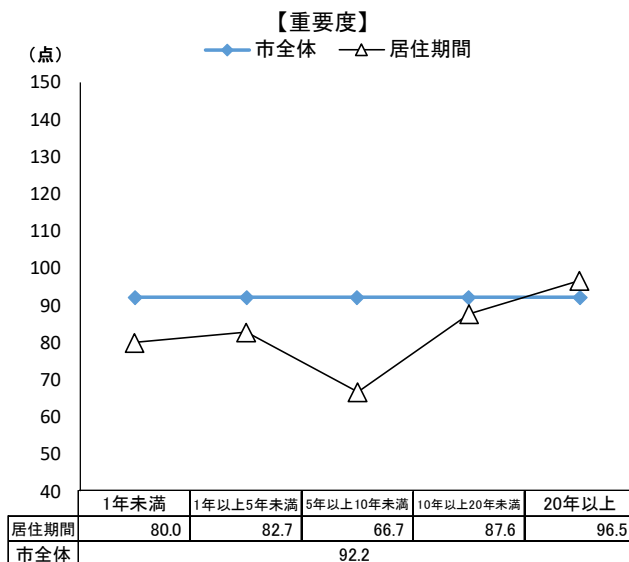
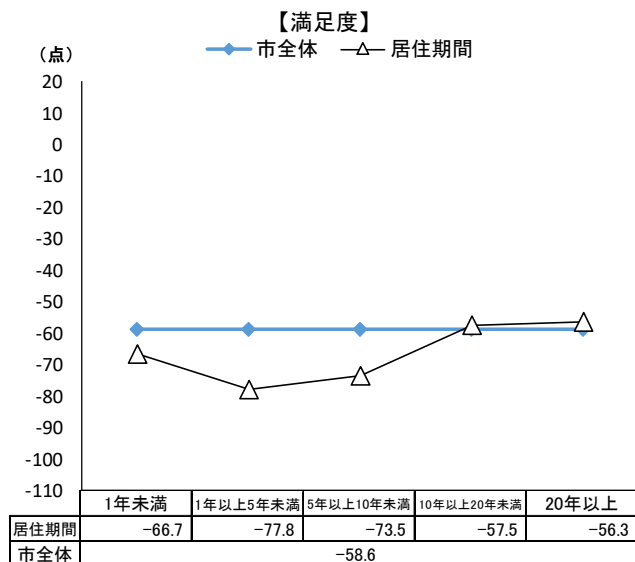


【重要度】



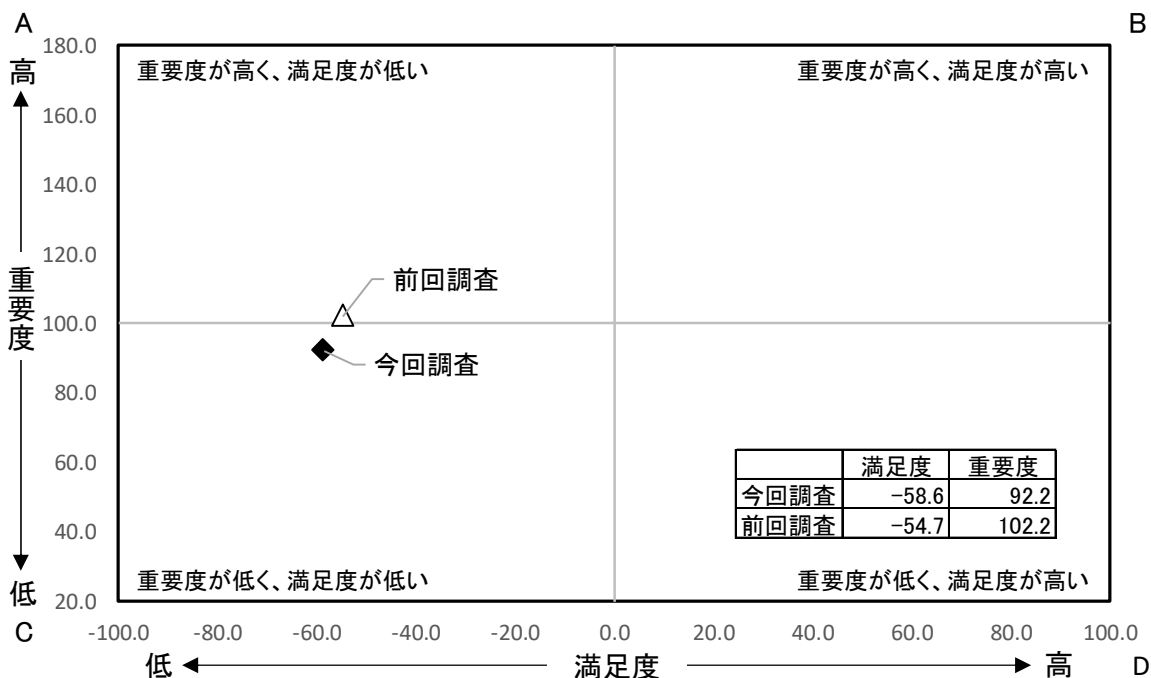
《居住期間別》

- 満足度を居住期間別でみると、「10年以上20年未満」、「20年以上」で市全体平均より高くなっている。
- 重要度を居住期間別でみると、「20年以上」で市全体平均より高くなっている。



《満足度と重要度の関係（前回調査との比較）》

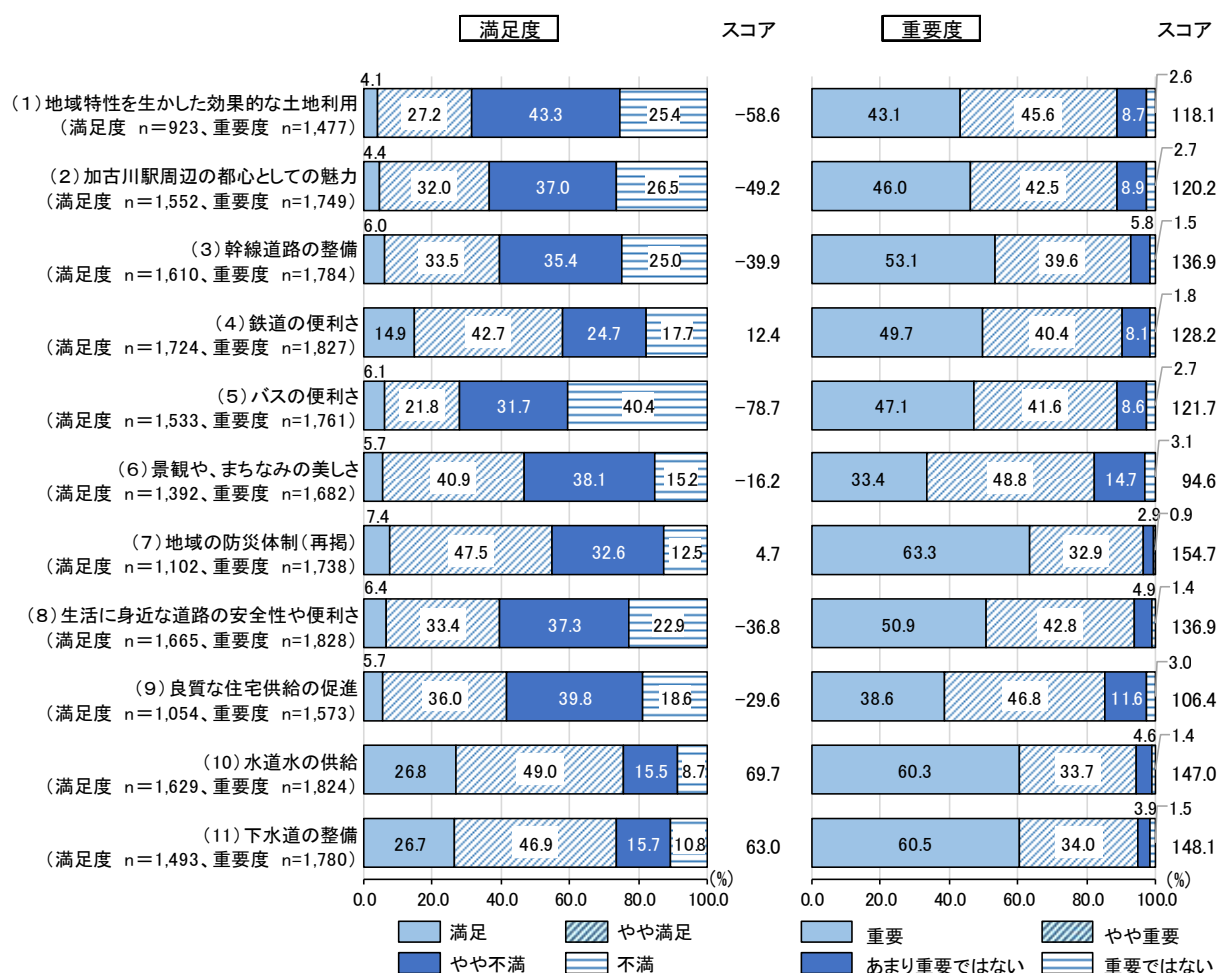
- 満足度と重要度の関係でみると、前回調査より満足度と重要度はともに低くなっている。



3-4 快適なまち

- 施策の満足度スコアが最も高い項目は「(10) 水道水の供給」、次いで「(11) 下水道の整備」となっている。一方、最も低い項目は「(5) バスの便利さ」、次いで「(1) 地域特性を生かした効果的な土地利用」となっている。
- 施策の重要度スコアが最も高い項目は「(7) 地域の防災体制（再掲）」、次いで「(11) 下水道の整備」となっている。一方、最も低い項目は「(6) 景観や、まちなみの美しさ」、次いで「(9) 良質な住宅供給の促進」となっている。

《全体》 ※グラフは「わからない」、「不明・無回答」を除いて集計



機能的・効率的なまちを形成する

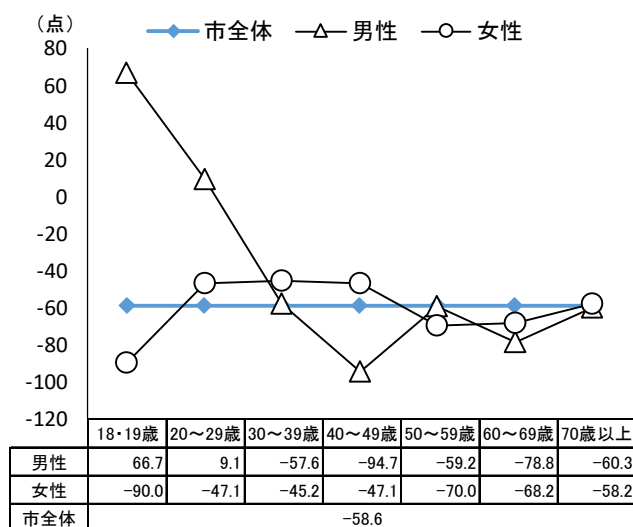
〔計画的な土地利用〕

（１）地域特性を生かした効果的な土地利用

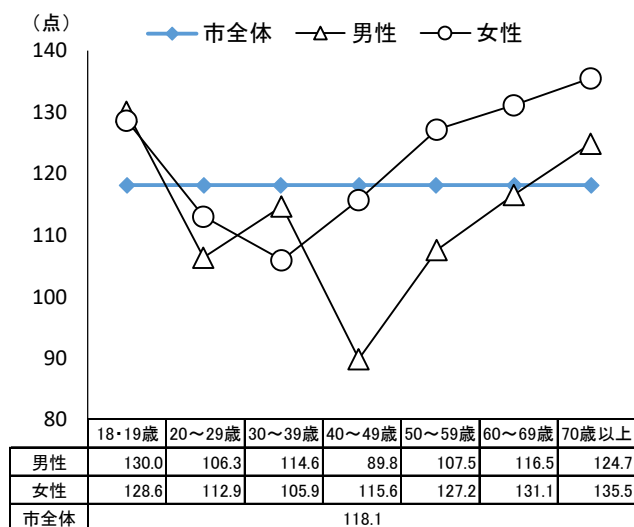
《性年代別》

- 満足度を性年代別でみると、20歳代、30歳代の男女と、18・19歳の男性、40歳代、70歳以上の女性で市全体平均より高くなっている。
- 重要度を性年代別でみると、18・19歳、70歳以上の男女と、50歳代、60歳代の女性で市全体平均より高くなっている。

【満足度】



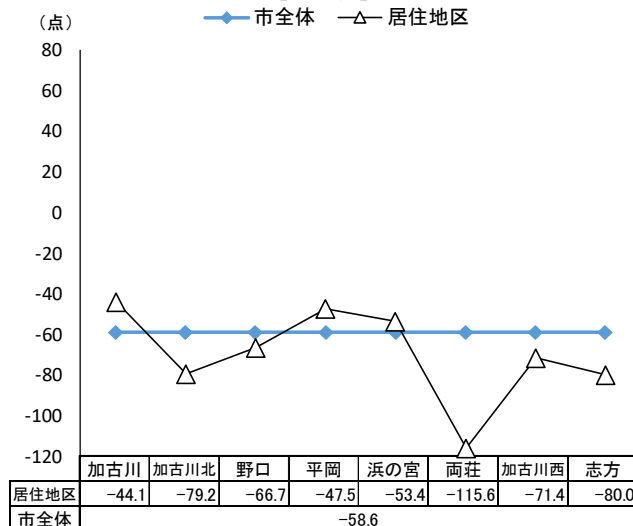
【重要度】



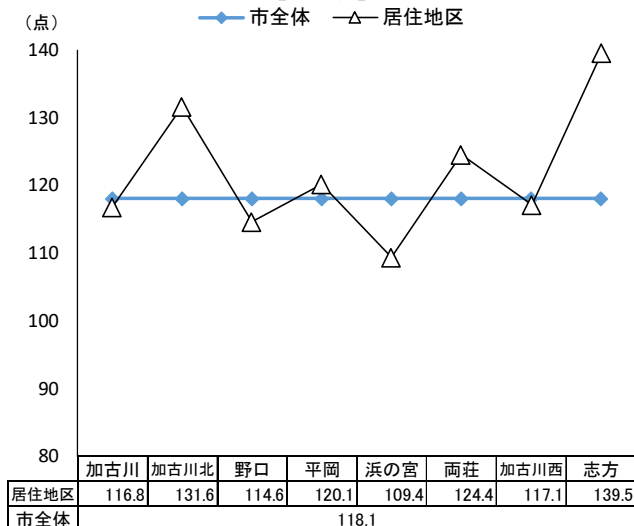
《居住地区別》

- 満足度を居住地区別でみると、加古川、平岡、浜の宮で市全体平均より高くなっている。
- 重要度を居住地区別でみると、加古川北、平岡、両荘、志方で市全体平均より高くなっている。

【満足度】

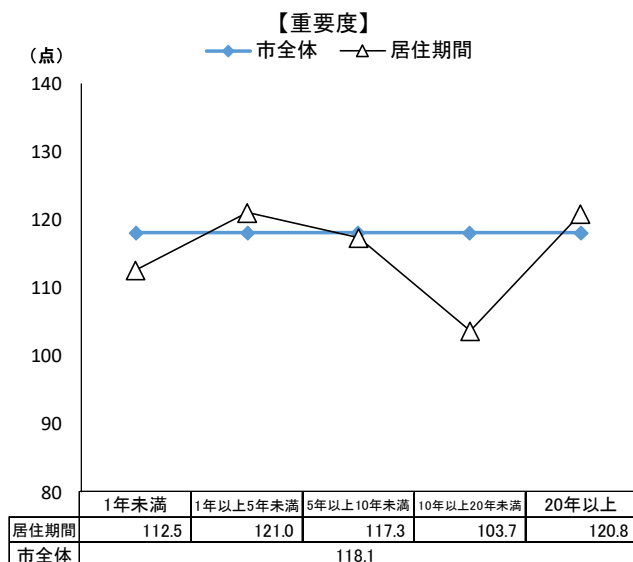
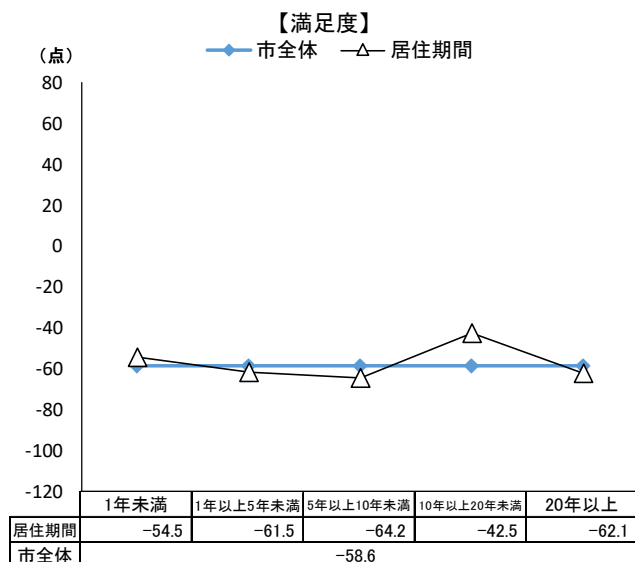


【重要度】



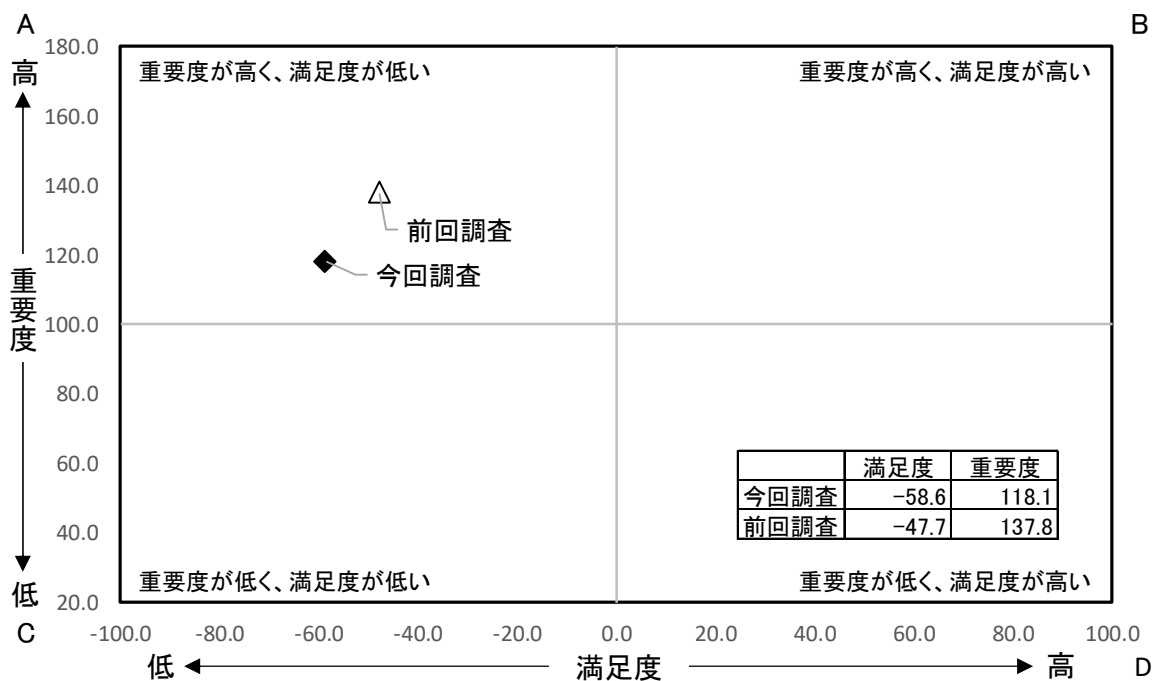
《居住期間別》

- 満足度を居住期間別でみると、「1年未満」「10年以上20年未満」で市全体平均より高くなっている。
- 重要度を居住期間別でみると、「1年以上5年未満」「20年以上」で市全体平均より高くなっている。



《満足度と重要度の関係（前回調査との比較）》

- 満足度と重要度の関係でみると、前回調査より満足度と重要度はともに低くなっている。



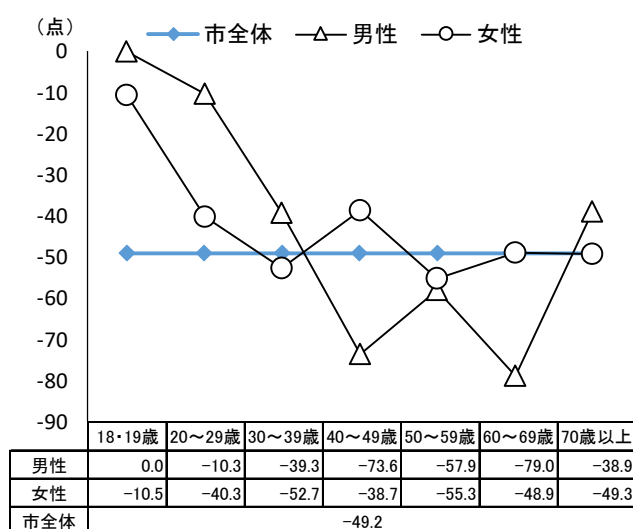
〔都市拠点機能の充実〕

（２）加古川駅周辺の都心としての魅力

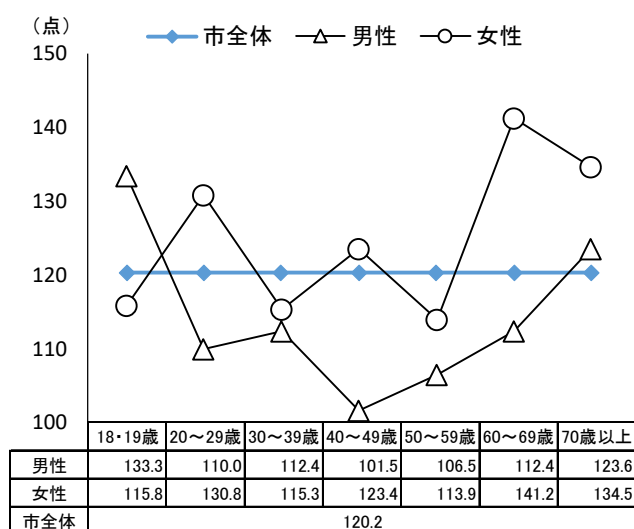
《性年代別》

- 満足度を性年代別でみると、18・19歳、20歳代の男女と、30歳代、70歳以上の男性、40歳代、60歳代の女性で市全体平均より高くなっている。
- 重要度を性年代別でみると、70歳以上の男女と、18・19歳の男性、20歳代、40歳代、60歳代の女性で市全体平均より高くなっている。

【満足度】



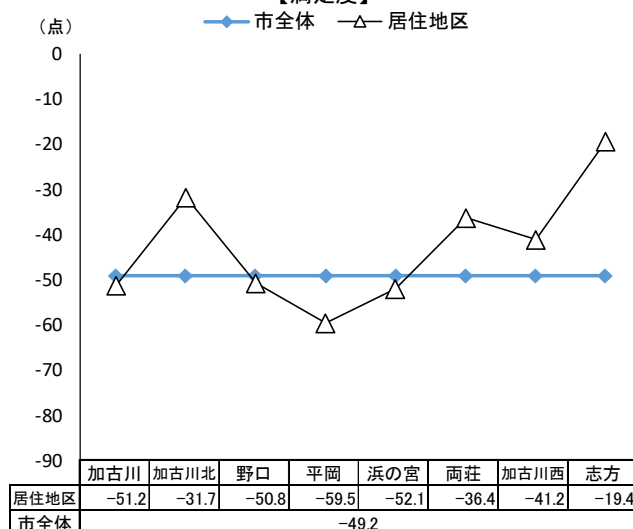
【重要度】



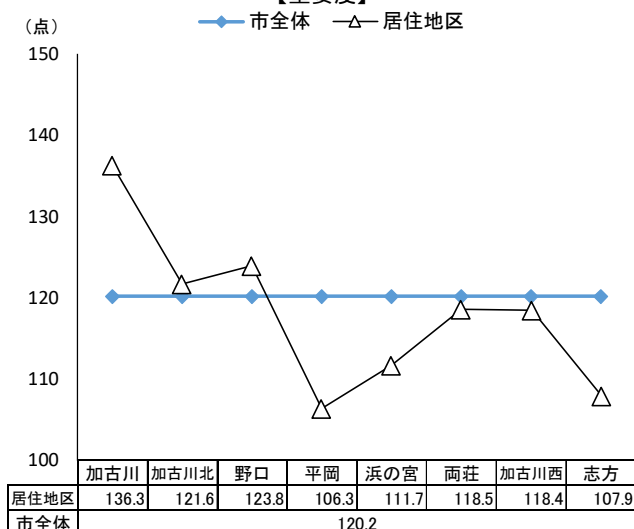
《居住地区別》

- 満足度を居住地区別でみると、加古川北、両荘、加古川西、志方で市全体平均より高くなっている。
- 重要度を居住地区別でみると、加古川、加古川北、野口で市全体平均より高くなっている。

【満足度】

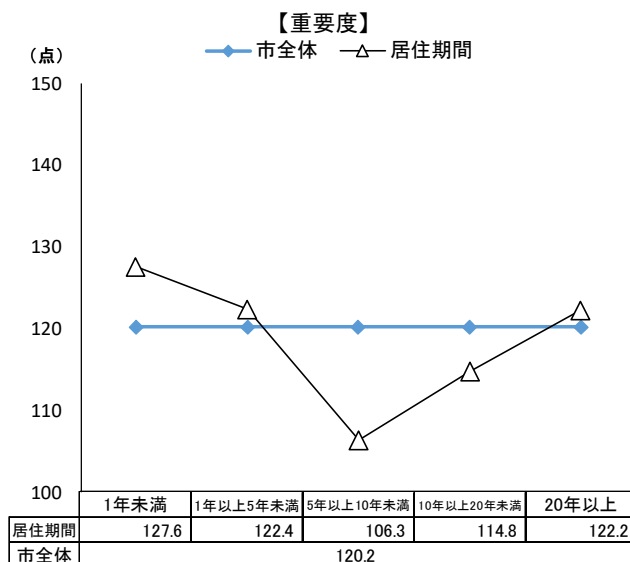
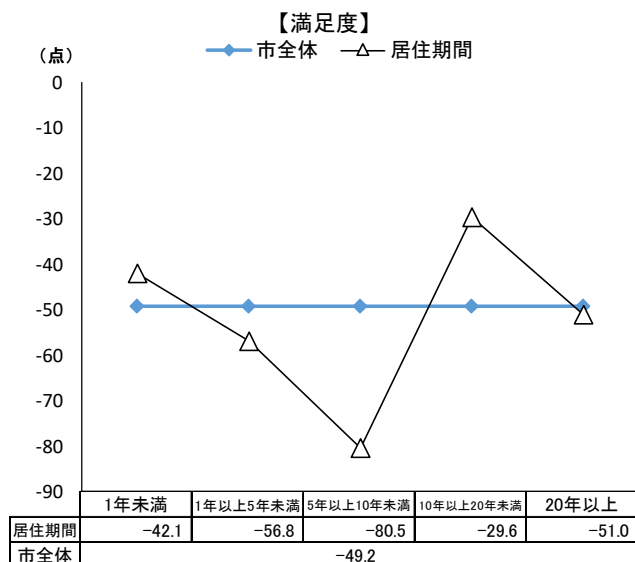


【重要度】



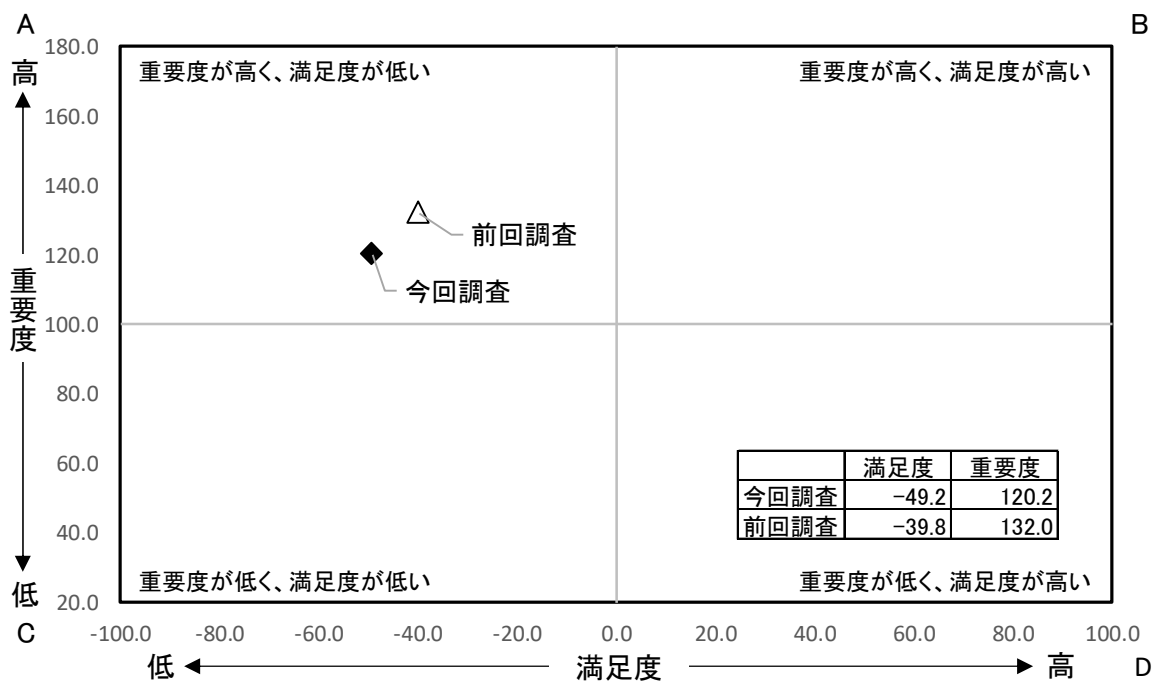
《居住期間別》

- 満足度を居住期間別でみると、「1年未満」、「10年以上20年未満」で市全体平均より高くなっている。
- 重要度を居住期間別でみると、「1年未満」、「1年以上5年未満」、「20年以上」で市全体平均より高くなっている。



《満足度と重要度の関係（前回調査との比較）》

- 満足度と重要度の関係でみると、前回調査より満足度と重要度はともに低くなっている。



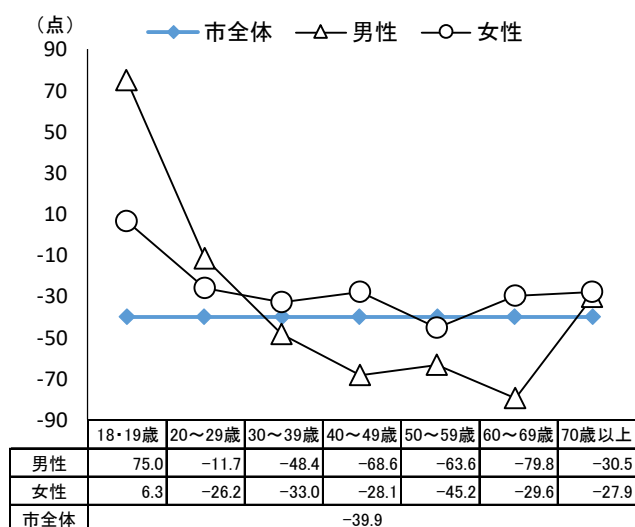
〔幹線道路・港湾機能の充実〕

(3) 幹線道路の整備

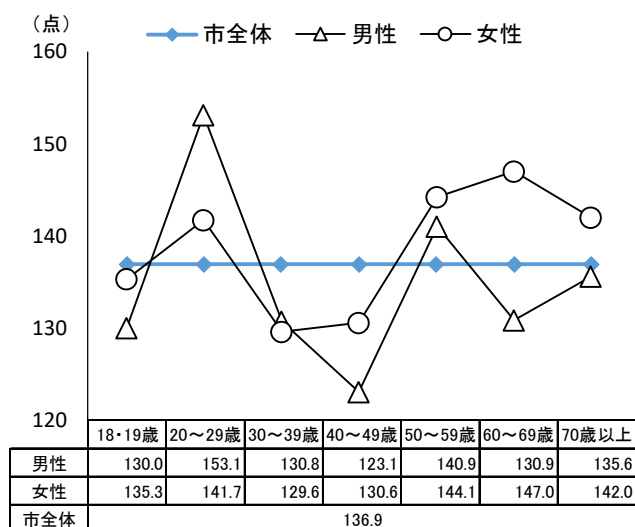
《性年代別》

- 満足度を性年代別でみると、18・19歳、20歳代、70歳以上の男女と、30歳代、40歳代、60歳代の女性で市全体平均より高くなっている。
- 重要度を性年代別でみると、20歳代、50歳代の男女と、60歳代、70歳以上の女性で市全体平均より高くなっている。

【満足度】



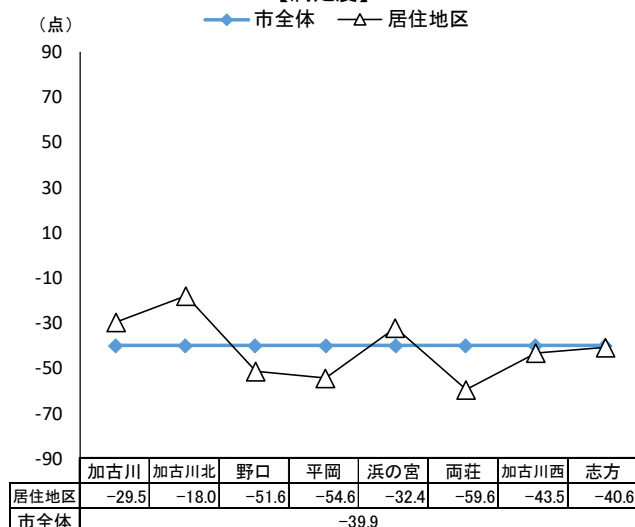
【重要度】



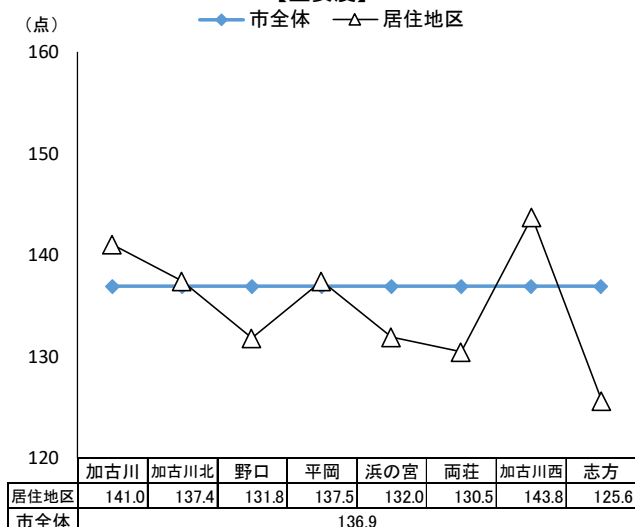
《居住地区別》

- 満足度を居住地区別でみると、加古川、加古川北、浜の宮で市全体平均より高くなっている。
- 重要度を居住地区別でみると、加古川、加古川北、平岡、加古川西で市全体平均より高くなっている。

【満足度】

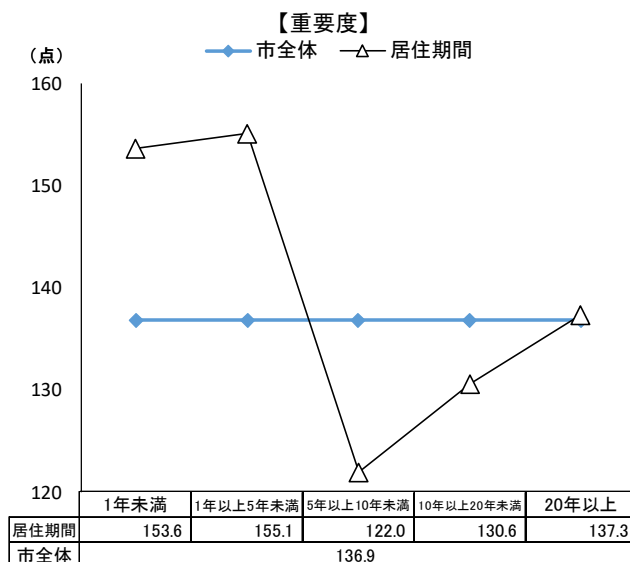
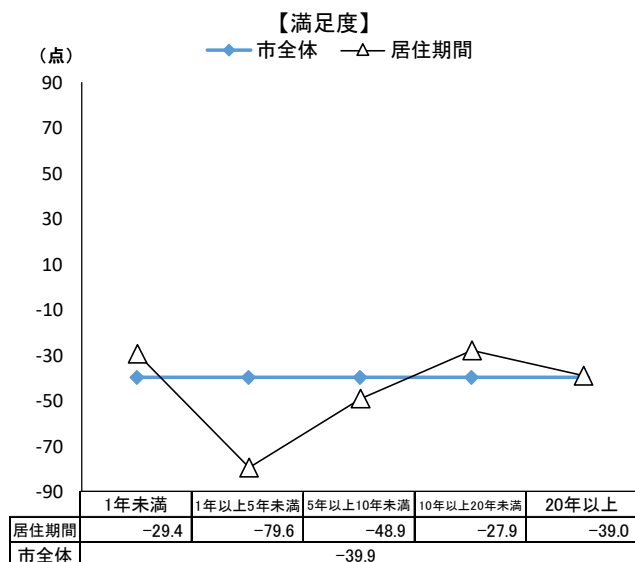


【重要度】



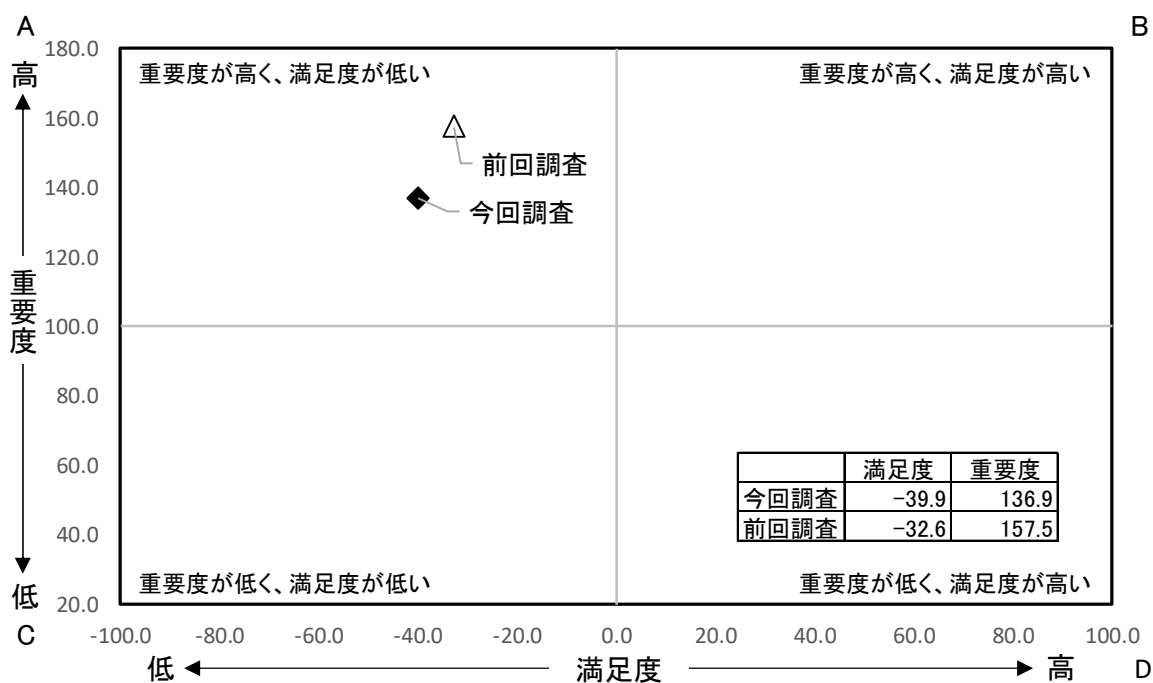
《居住期間別》

- 満足度を居住期間別でみると、「1年未満」、「10年以上20年未満」、「20年以上」で市全体平均より高くなっている。
- 重要度を居住期間別でみると、「1年未満」、「1年以上5年未満」、「20年以上」で市全体平均より高くなっている。



《満足度と重要度の関係（前回調査との比較）》

- 満足度と重要度の関係でみると、前回調査より満足度と重要度はともに低くなっている。

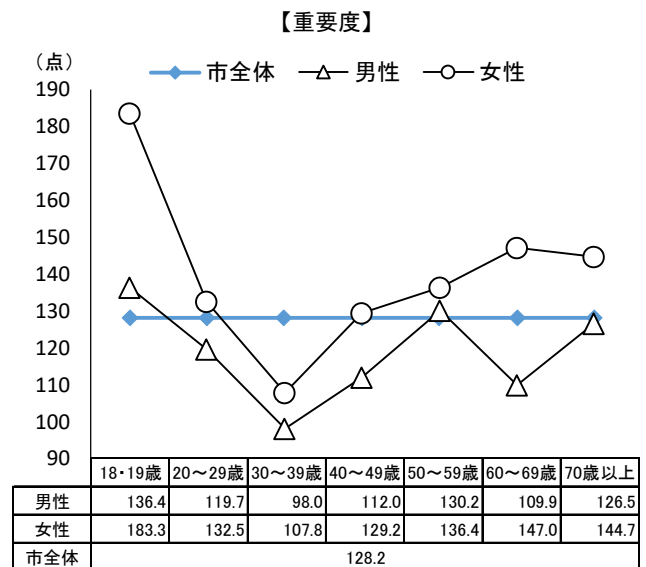
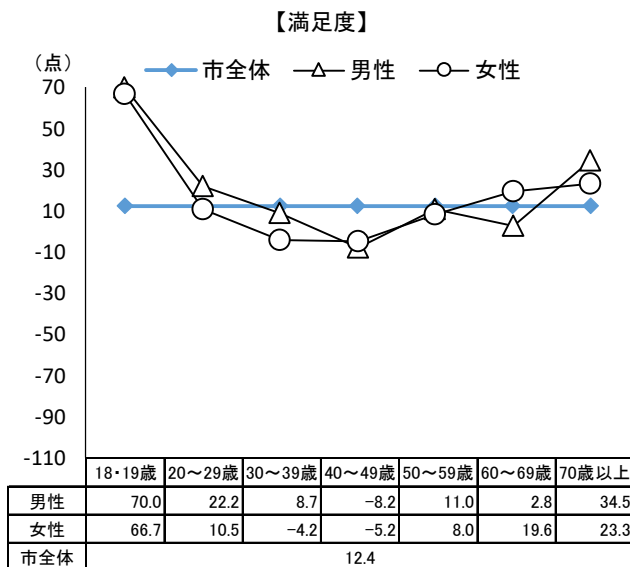


〔公共交通機能の充実〕

（４）鉄道の便利さ

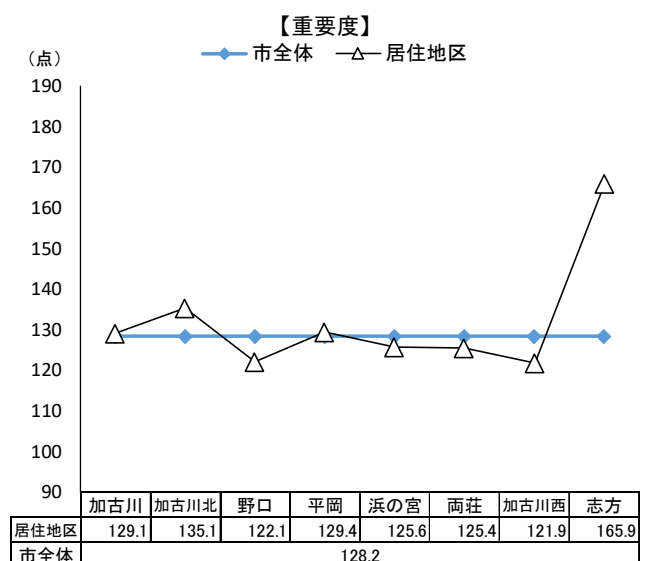
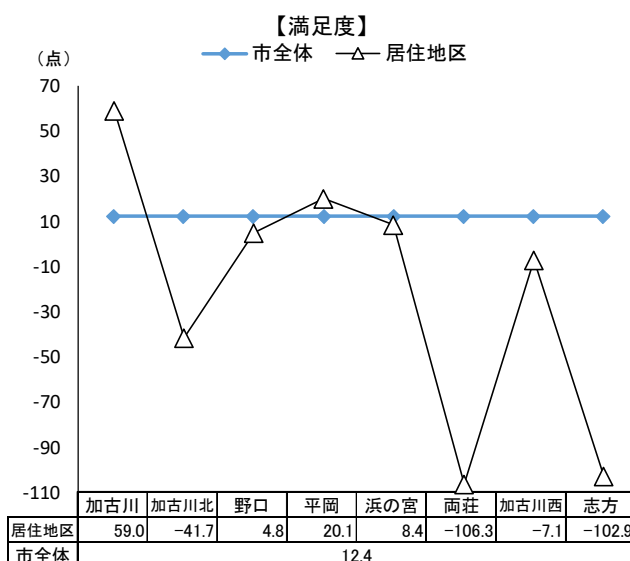
《性年代別》

- 満足度を性年代別でみると、18・19歳、70歳以上の男女と、20歳代の男性、60歳代の女性で市全体平均より高くなっている。
- 重要度を性年代別でみると、18・19歳、50歳代の男女と、20歳代、40歳代、60歳代、70歳以上の女性で市全体平均より高くなっている。



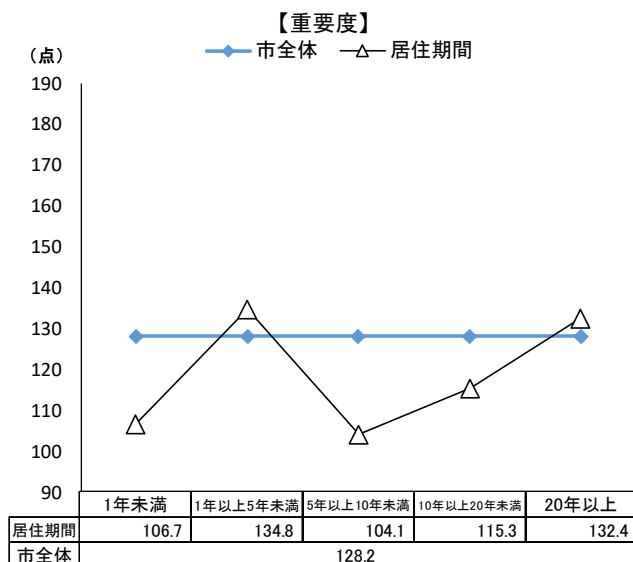
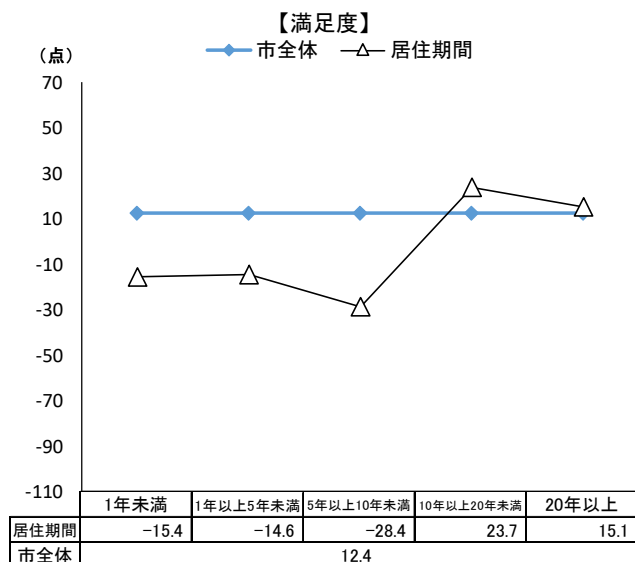
《居住地区別》

- 満足度を居住地区別でみると、加古川、平岡で市全体平均より高くなっている。
- 重要度を居住地区別でみると、加古川、加古川北、平岡、志方で市全体平均より高くなっている。



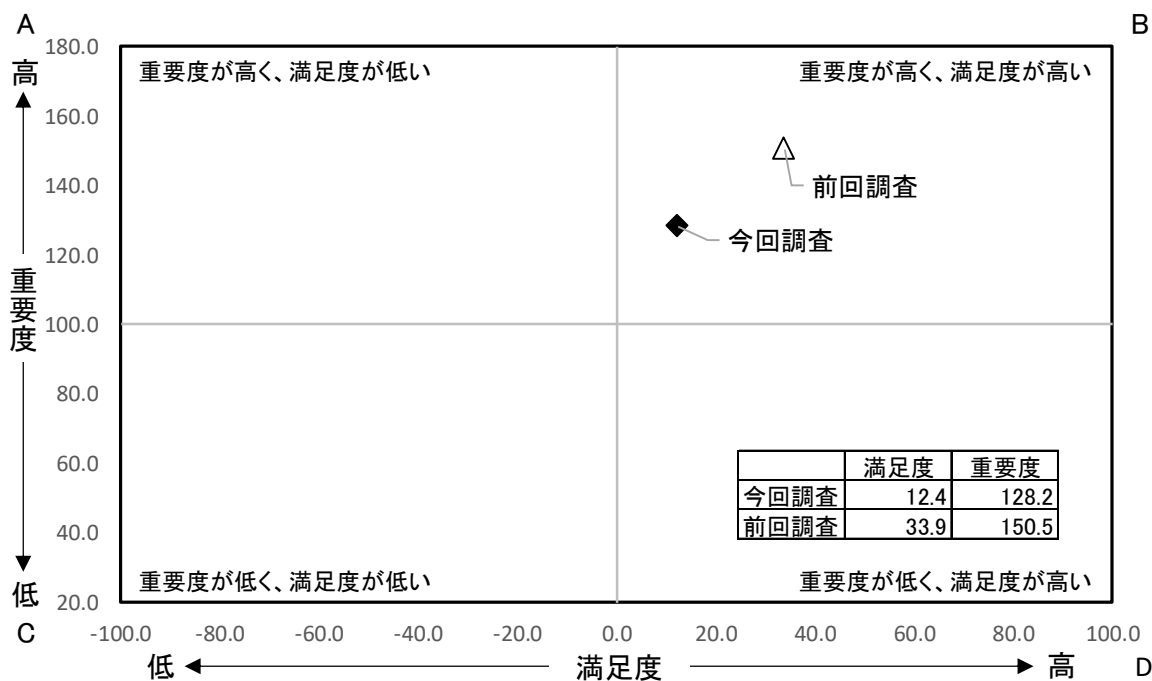
《居住期間別》

- 満足度を居住期間別でみると、「10年以上20年未満」、「20年以上」で市全体平均より高くなっている。
- 重要度を居住期間別でみると、「1年以上5年未満」、「20年以上」で市全体平均より高くなっている。



《満足度と重要度の関係（前回調査との比較）》

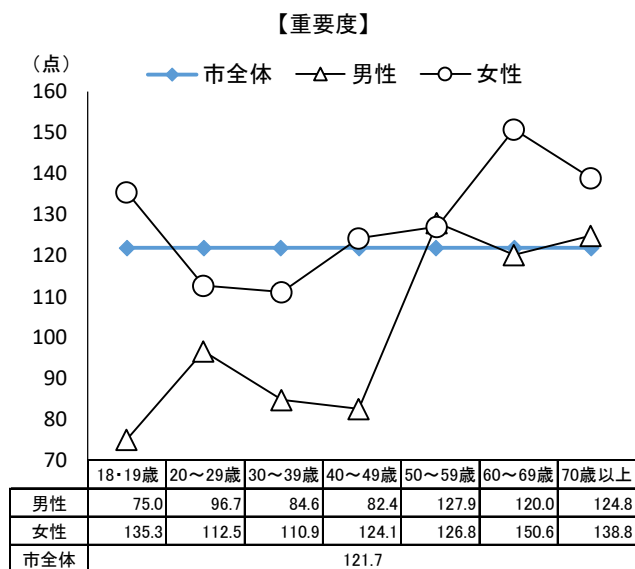
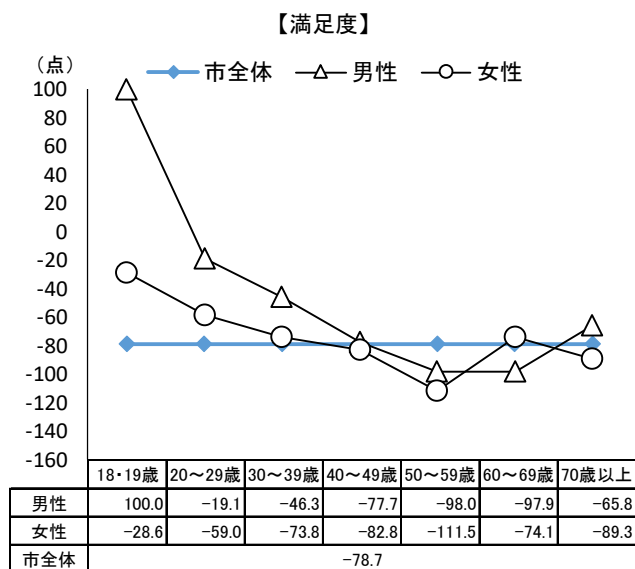
- 満足度と重要度の関係でみると、前回調査より満足度と重要度はともに低くなっている。



(5) バスの便利さ

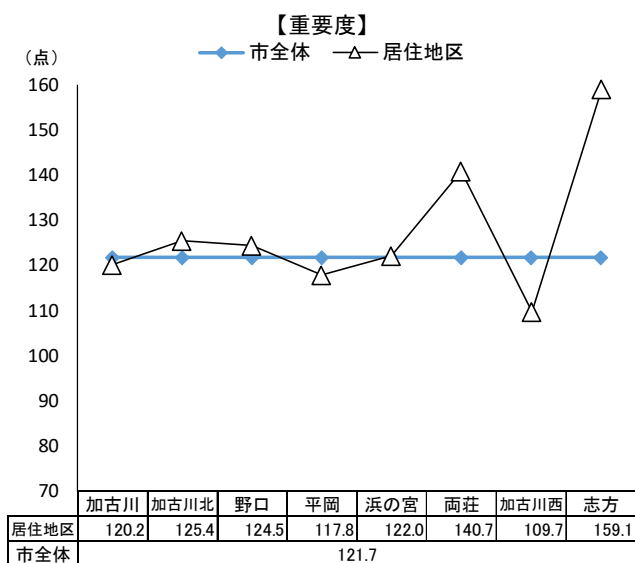
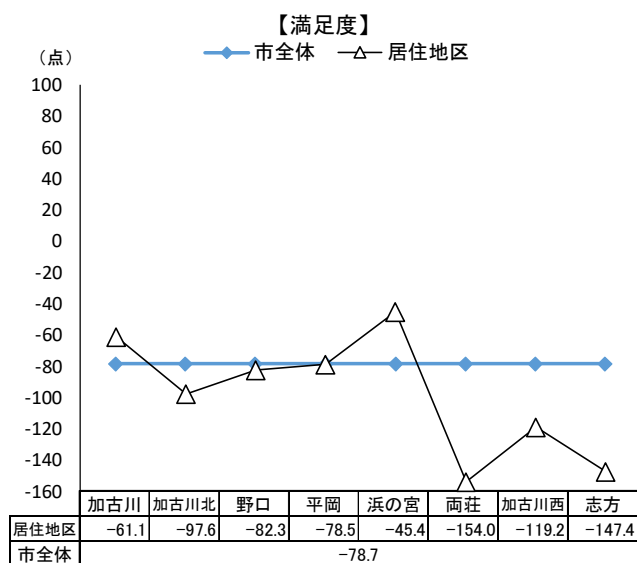
《性年代別》

- 満足度を性年代別でみると、18・19歳、20歳代、30歳代の男女と、40歳代、70歳以上の男性、60歳代の女性で市全体平均より高くなっている。
- 重要度を性年代別でみると、50歳代、70歳以上の男女と、18・19歳、40歳代、60歳代の女性で市全体平均より高くなっている。



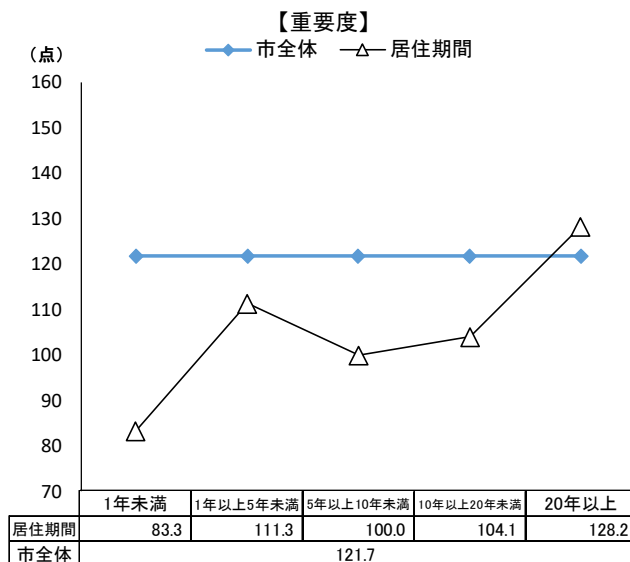
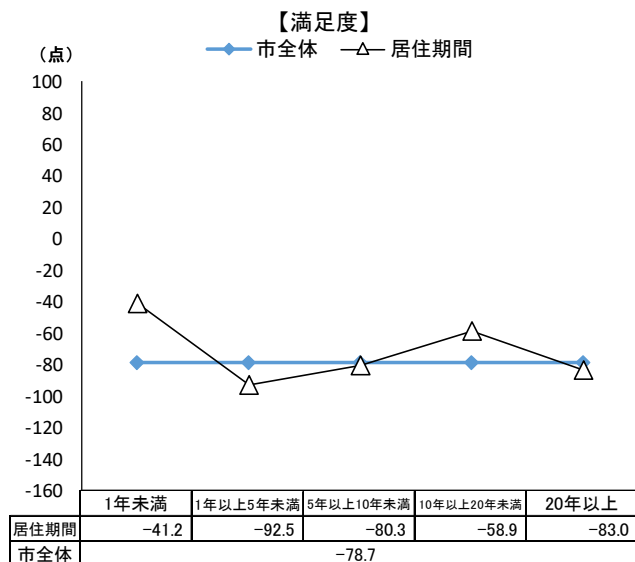
《居住地区別》

- 満足度を居住地区別でみると、加古川、平岡、浜の宮で市全体平均より高くなっている。
- 重要度を居住地区別でみると、加古川北、野口、浜の宮、両荘、志方で市全体平均より高くなっている。



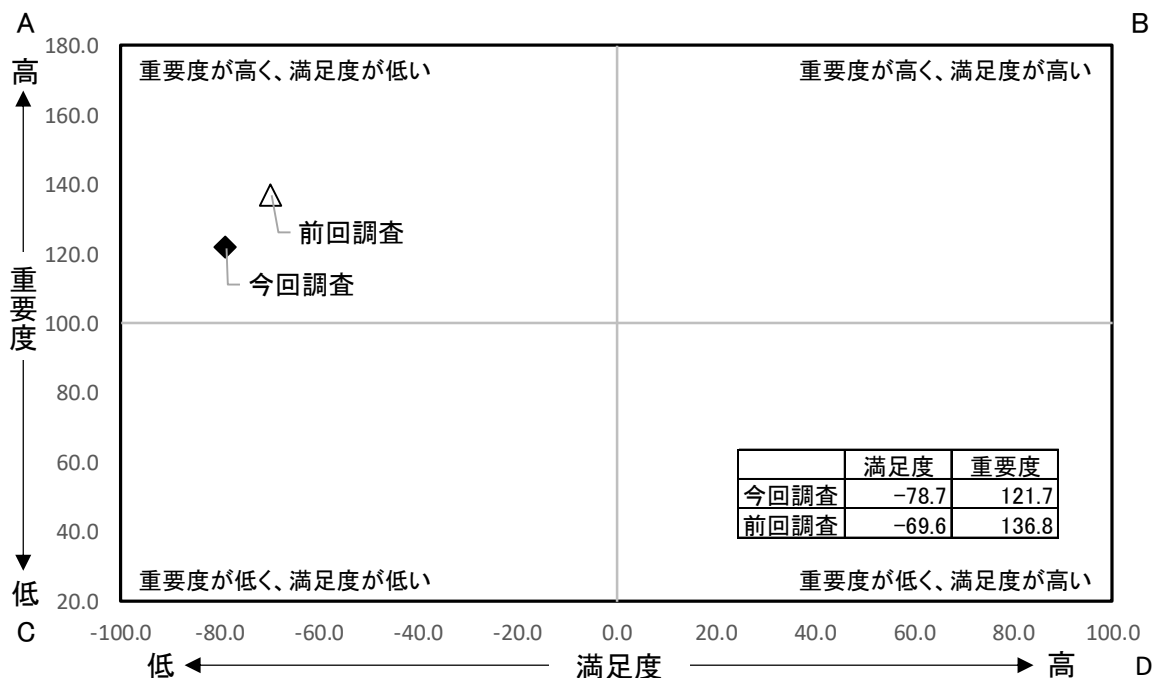
《居住期間別》

- 満足度を居住期間別でみると、「1年未満」、「10年以上20年未満」で市全体平均より高くなっている。
- 重要度を居住期間別でみると、「20年以上」で市全体平均より高くなっている。



《満足度と重要度の関係（前回調査との比較）》

- 満足度と重要度の関係でみると、前回調査より満足度と重要度はともに低くなっている。



安全で快適な暮らしの基盤を整備する

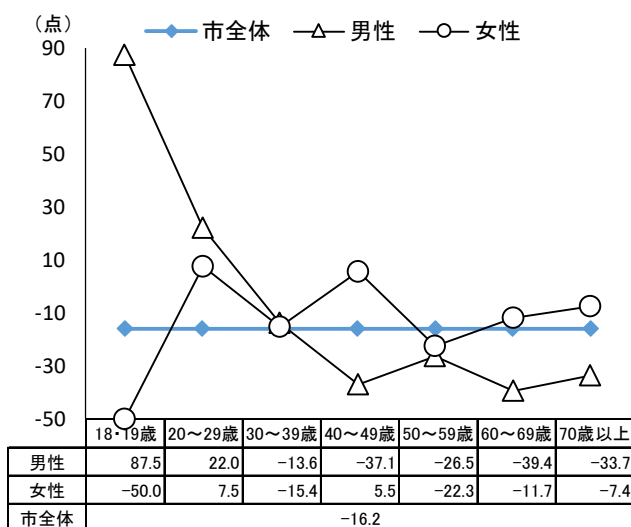
〔秩序あるまちなみの形成〕

(6) 景観や、まちなみの美しさ

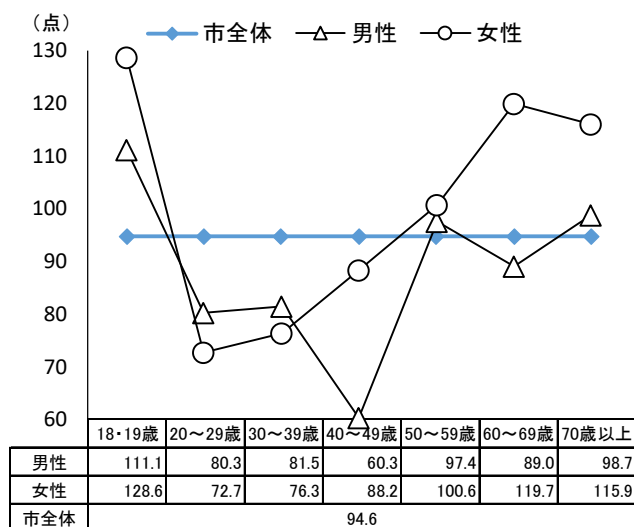
《性年代別》

- 満足度を性年代別でみると、20歳代、30歳代の男女と、18・19歳の男性、40歳代、60歳代、70歳以上の女性で市全体平均より高くなっている。
- 重要度を性年代別でみると、18・19歳、50歳代、70歳以上の男女と、60歳代の女性で市全体平均より高くなっている。

【満足度】



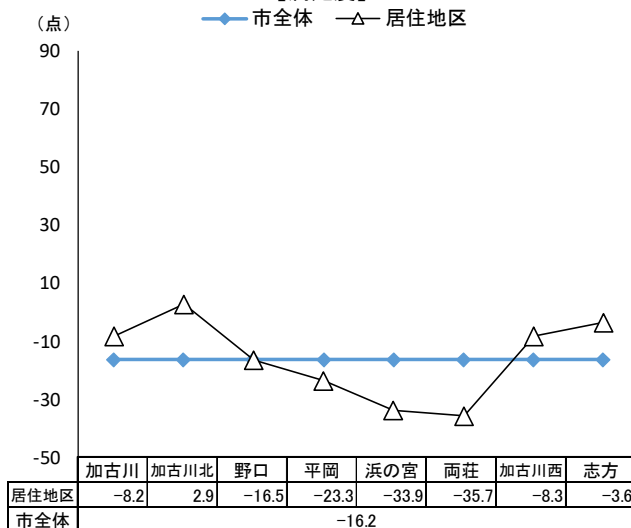
【重要度】



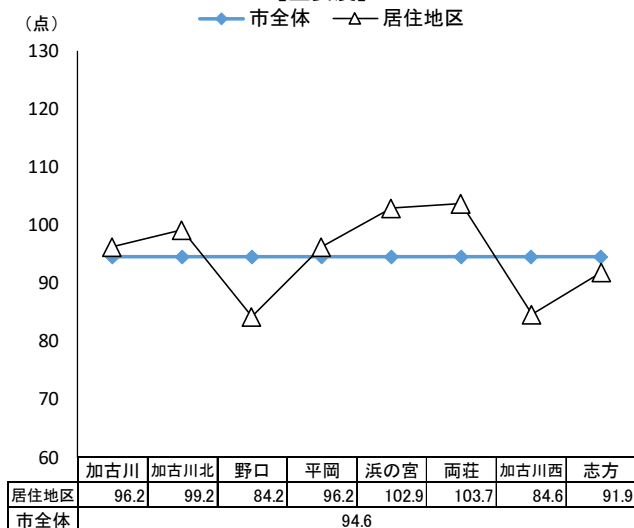
《居住地区別》

- 満足度を居住地区別でみると、加古川、加古川北、加古川西、志方で市全体平均より高くなっている。
- 重要度を居住地区別でみると、加古川、加古川北、平岡、浜の宮、両荘で市全体平均より高くなっている。

【満足度】

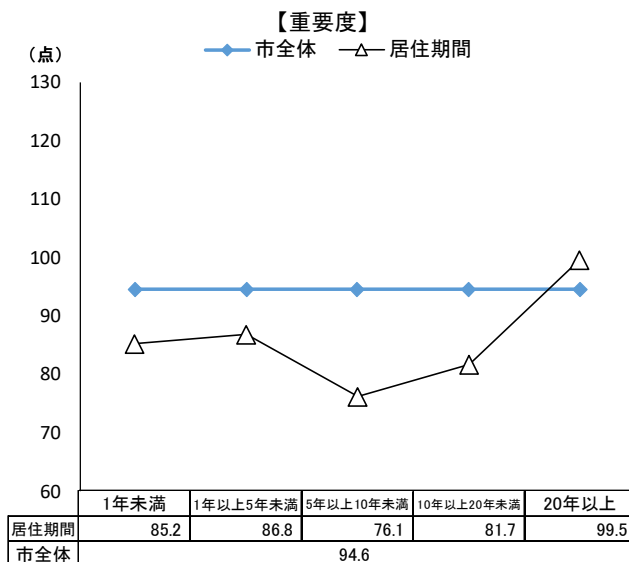
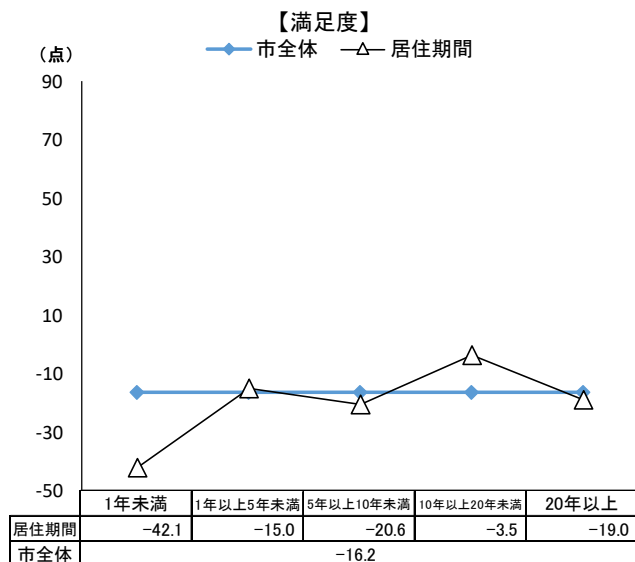


【重要度】



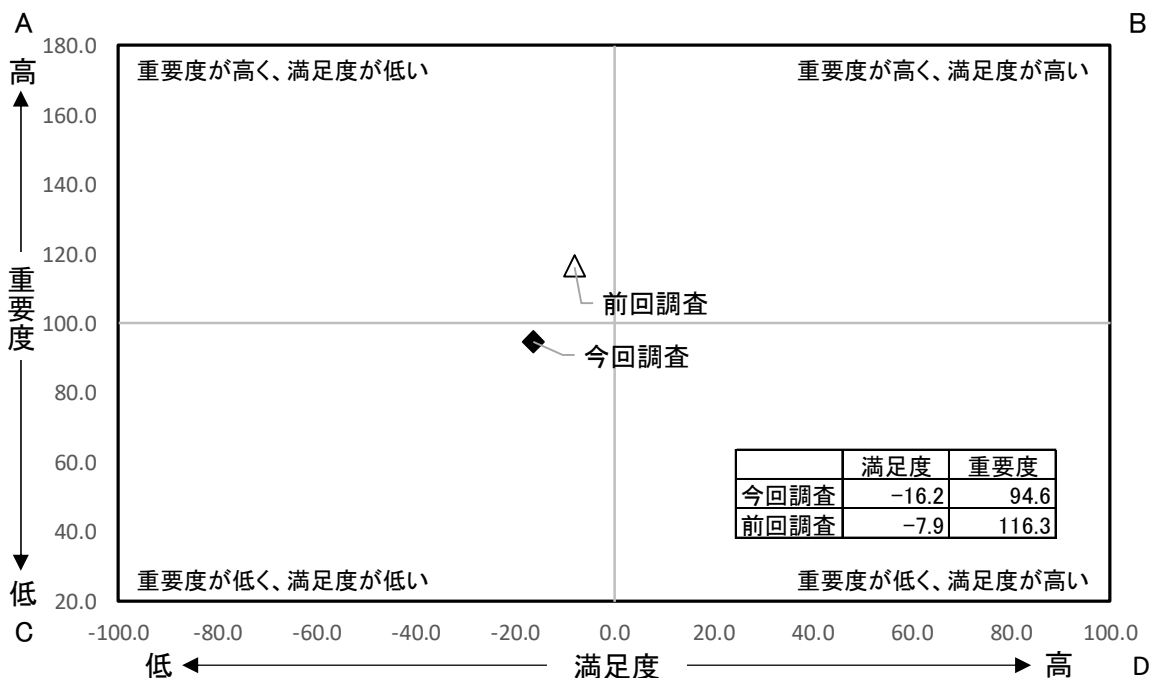
《居住期間別》

- 満足度を居住期間別でみると、「1年以上5年未満」、「10年以上20年未満」で市全体平均より高くなっている。
- 重要度を居住期間別でみると、「20年以上」で市全体平均より高くなっている。



《満足度と重要度の関係（前回調査との比較）》

- 満足度と重要度の関係でみると、前回調査より満足度と重要度はともに低くなっている。

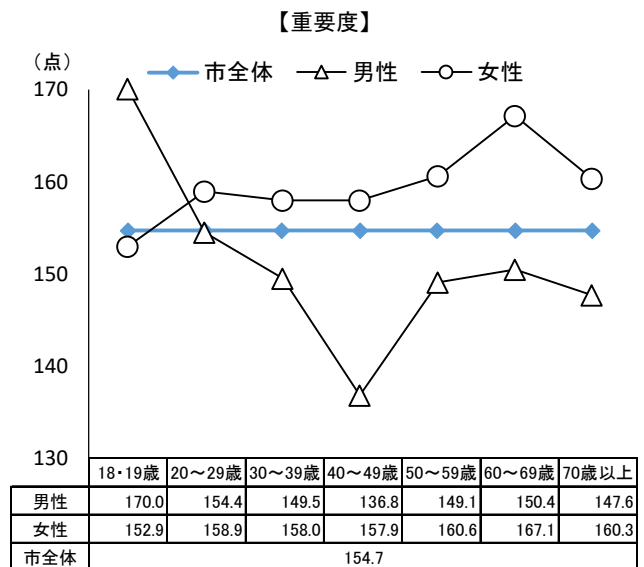
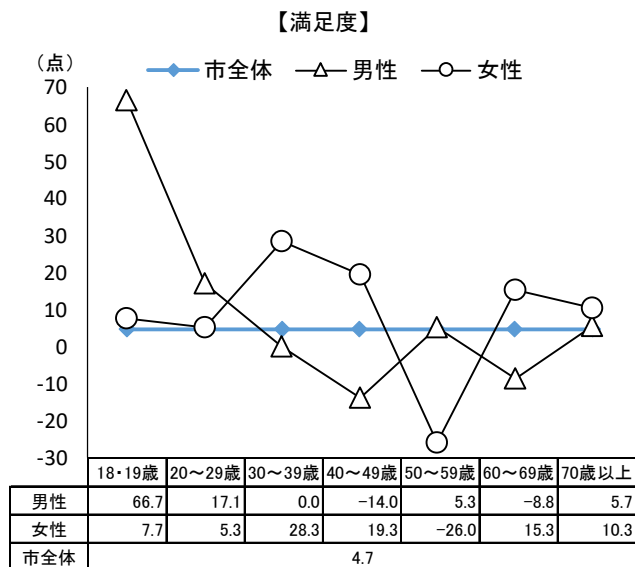


〔防災・防犯のための基盤の整備〕

（７）地域の防災体制（再掲）

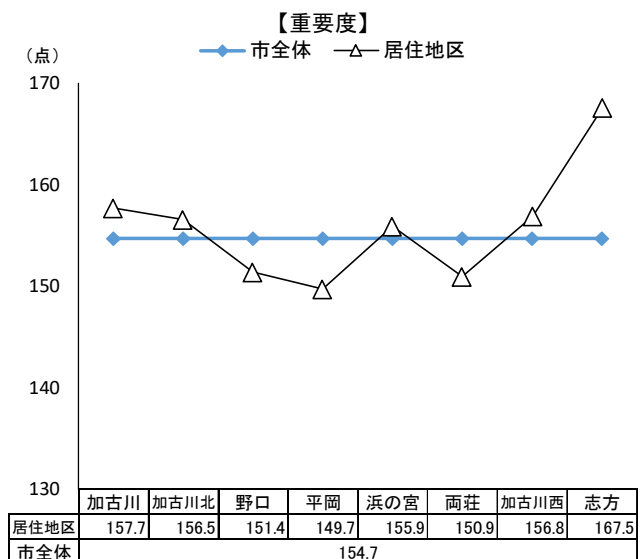
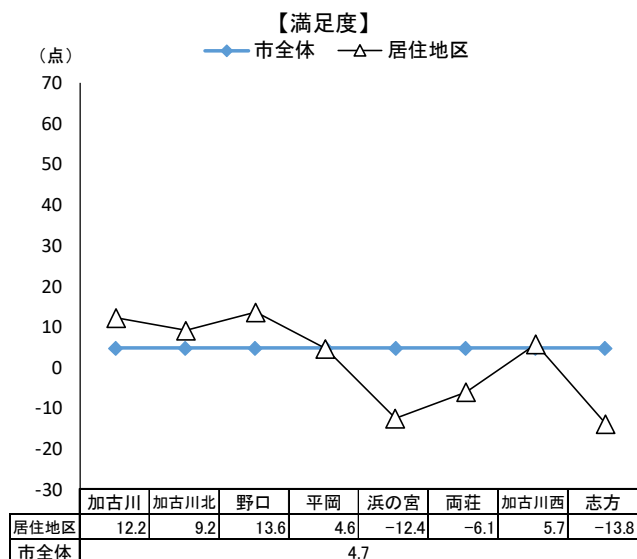
《性年代別》

- 満足度を性年代別でみると、18・19歳、20歳代、70歳以上の男女と、50歳代の男性、30歳代、40歳代、60歳代の女性で市全体平均より高くなっている。
- 重要度を性年代別でみると、18・19歳の男性、20歳代、30歳代、40歳代、50歳代、60歳代、70歳以上の女性で市全体平均より高くなっている。



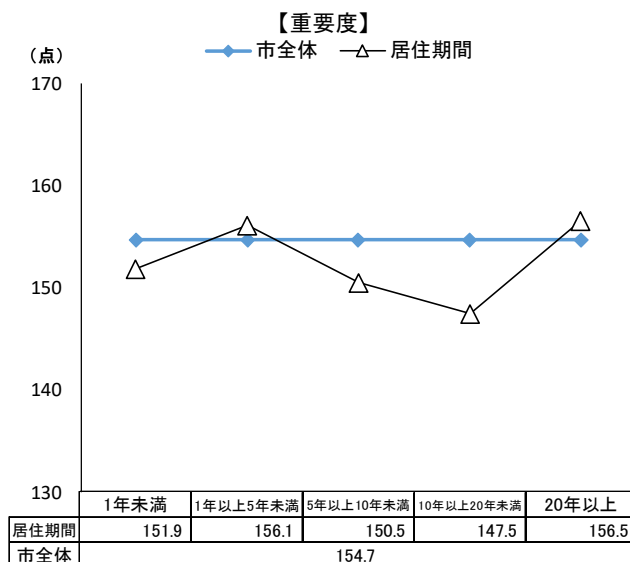
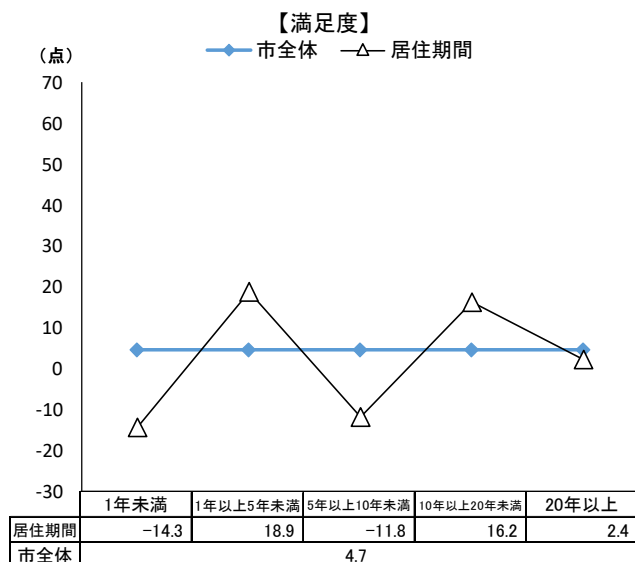
《居住地区別》

- 満足度を居住地区別でみると、加古川、加古川北、野口、加古川西で市全体平均より高くなっている。
- 重要度を居住地区別でみると、加古川、加古川北、浜の宮、加古川西、志方で市全体平均より高くなっている。



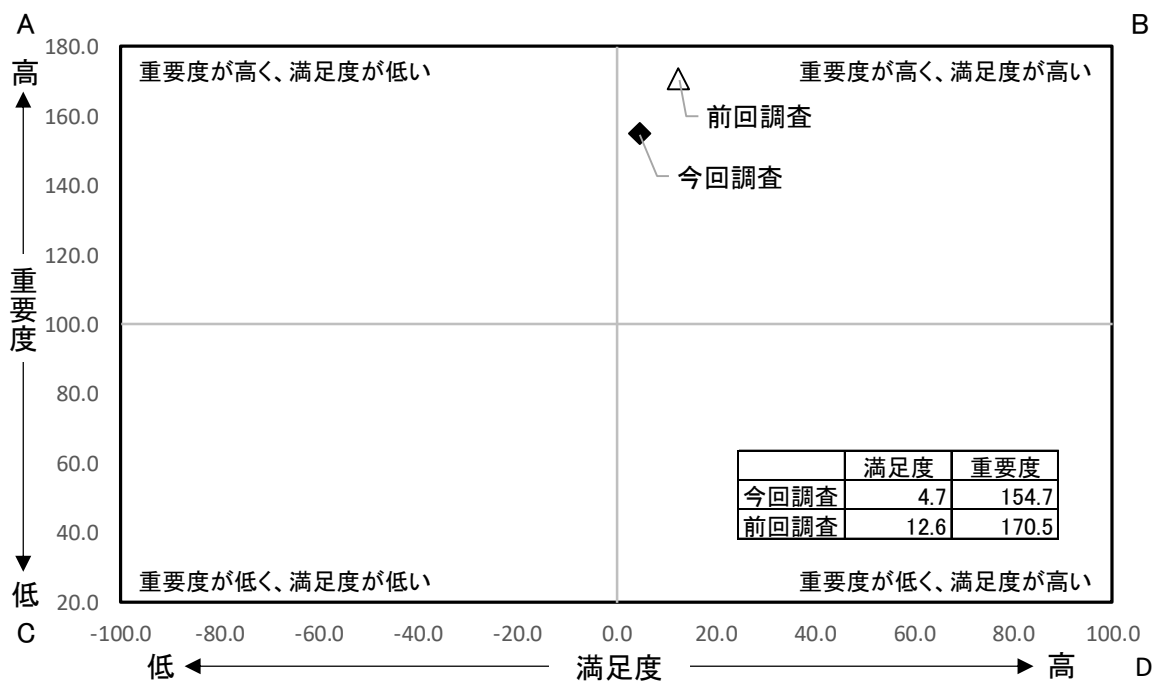
《居住期間別》

- 満足度を居住期間別でみると、「1年以上5年未満」、「10年以上20年未満」で市全体平均より高くなっている。
- 重要度を居住期間別でみると、「1年以上5年未満」、「20年以上」で市全体平均より高くなっている。



《満足度と重要度の関係（前回調査との比較）》

- 満足度と重要度の関係でみると、前回調査より満足度と重要度はともに低くなっている。

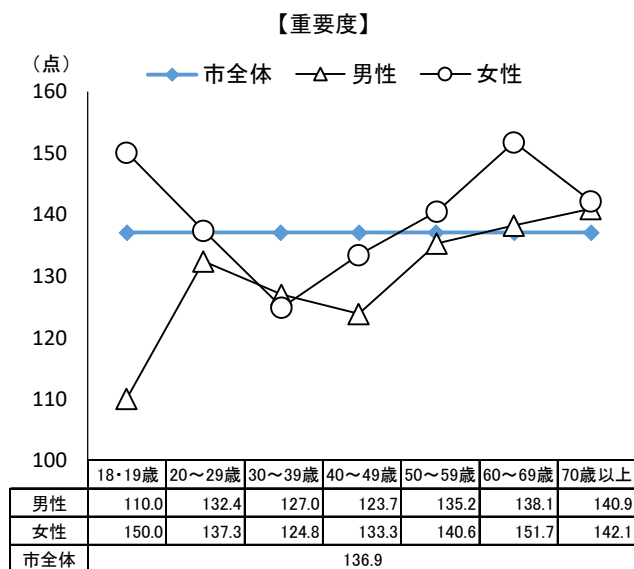
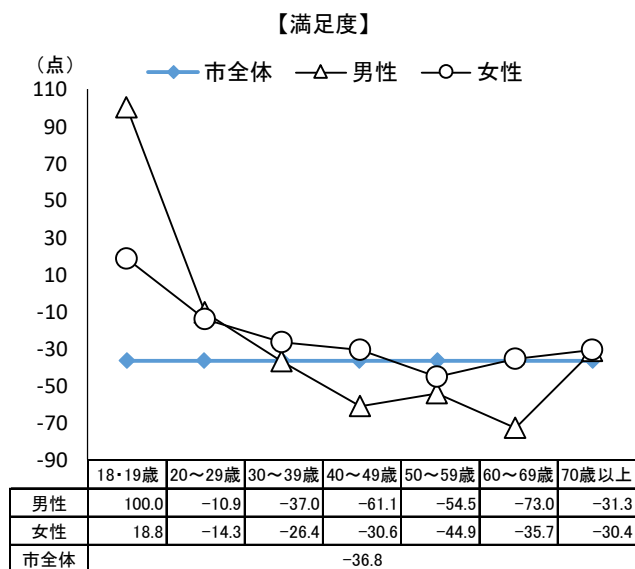


〔生活に身近な道路の整備〕

（８）生活に身近な道路の安全性や便利さ

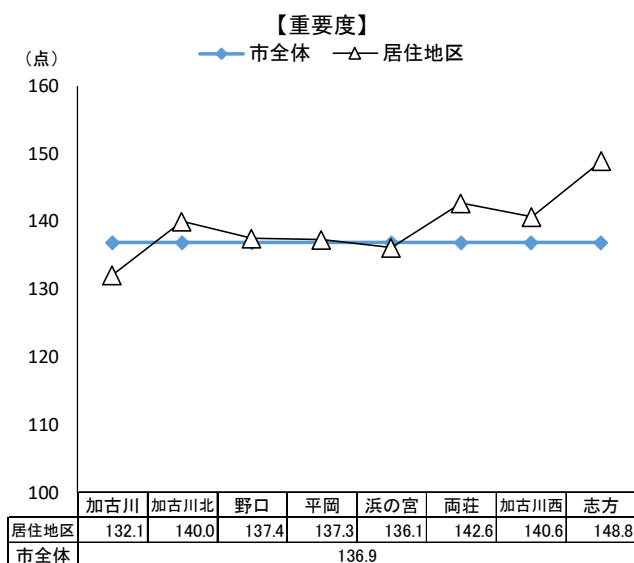
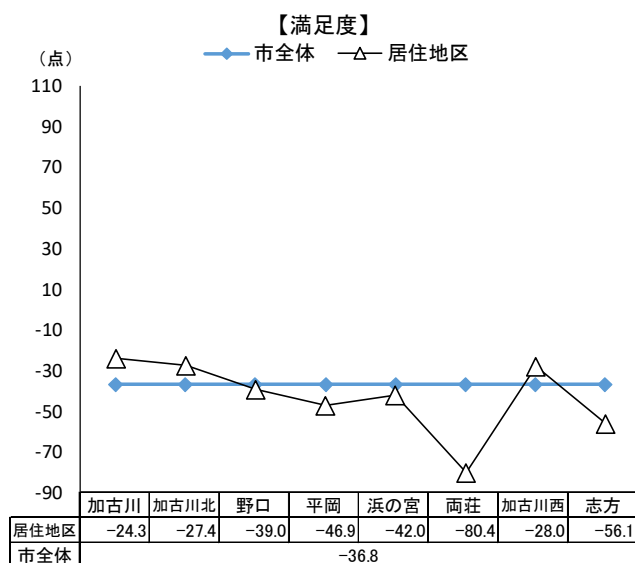
《性年代別》

- 満足度を性年代別でみると、18・19歳、20歳代、70歳以上の男女と、30歳代、40歳代、60歳代の女性で市全体平均より高くなっている。
- 重要度を性年代別でみると、60歳代、70歳以上の男女と、18・19歳、20歳代、50歳代の女性で市全体平均より高くなっている。



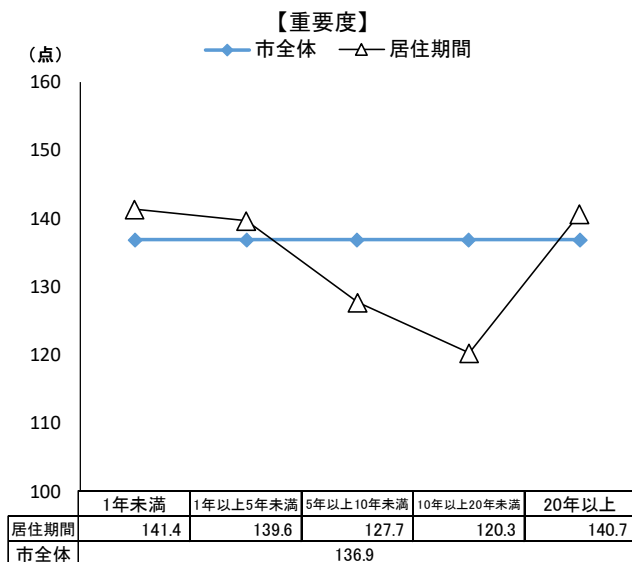
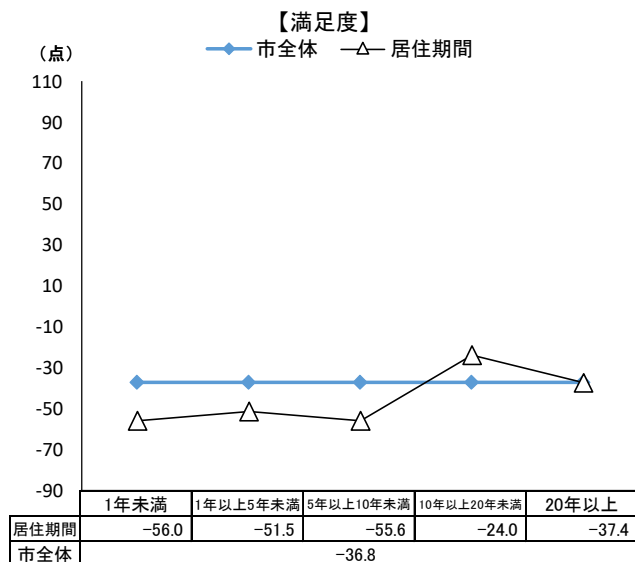
《居住地区別》

- 満足度を居住地区別でみると、加古川、加古川北、加古川西で市全体平均より高くなっている。
- 重要度を居住地区別でみると、加古川北、野口、平岡、両荘、加古川西、志方で市全体平均より高くなっている。



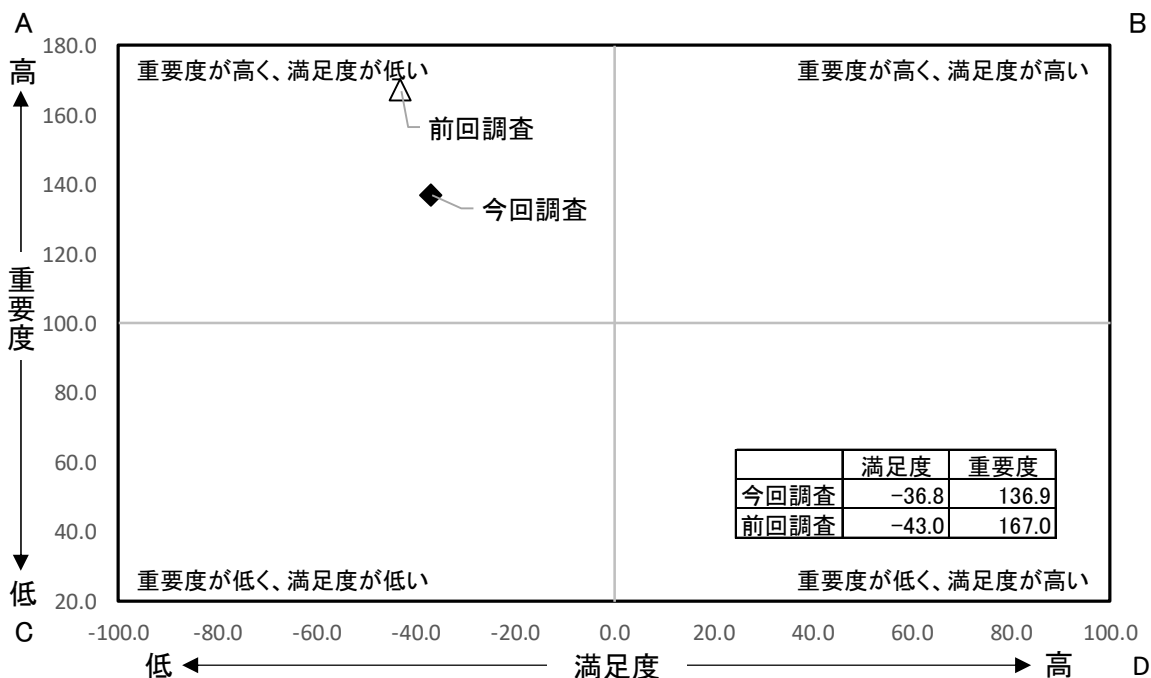
《居住期間別》

- 満足度を居住期間別でみると、「10年以上20年未満」で市全体平均より高くなっている。
- 重要度を居住期間別でみると、「1年未満」、「1年以上5年未満」、「20年以上」で市全体平均より高くなっている。



《満足度と重要度の関係（前回調査との比較）》

- 満足度と重要度の関係でみると、前回調査より満足度は高くなり、重要度は低くなっている。

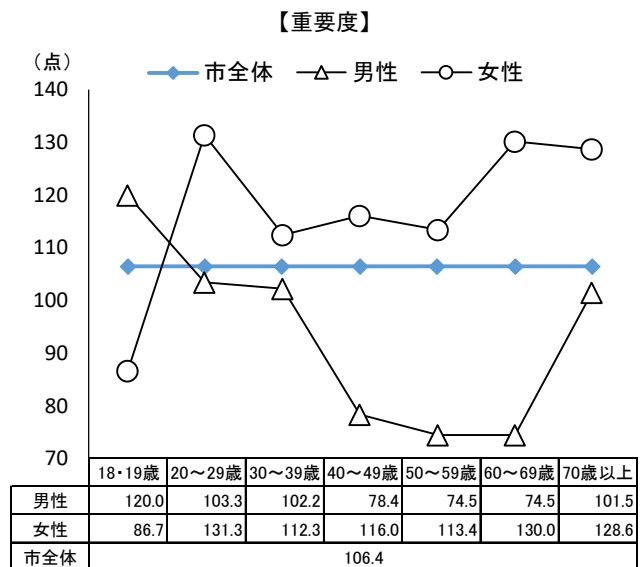
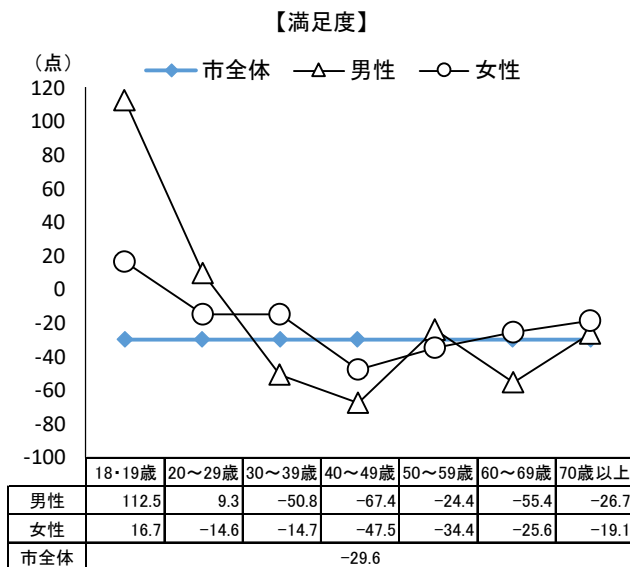


〔良質な住宅供給の促進〕

（９）良質な住宅供給の促進

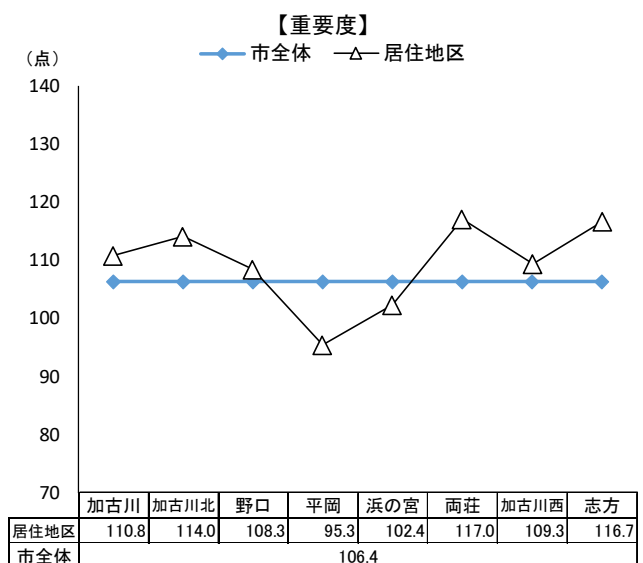
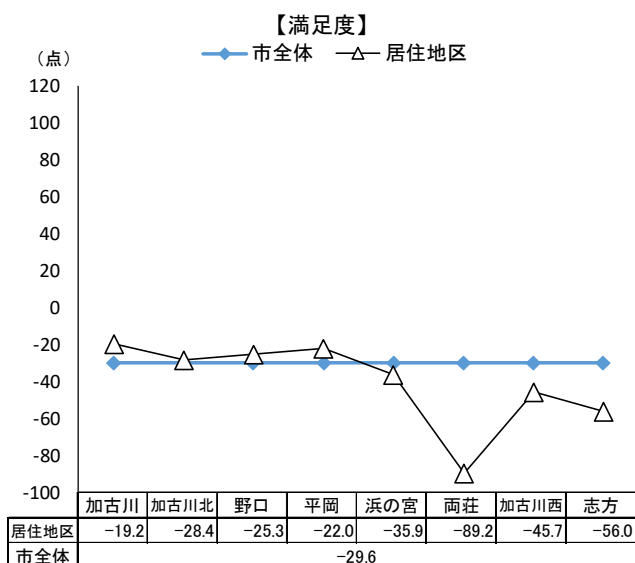
《性年代別》

- 満足度を性年代別でみると、18・19歳、20歳代、70歳以上の男女と、50歳代の男性、30歳代、60歳代の女性で市全体平均より高くなっている。
- 重要度を性年代別でみると、18・19歳の男性、20歳代、30歳代、40歳代、50歳代、60歳代、70歳以上の女性で市全体平均より高くなっている。



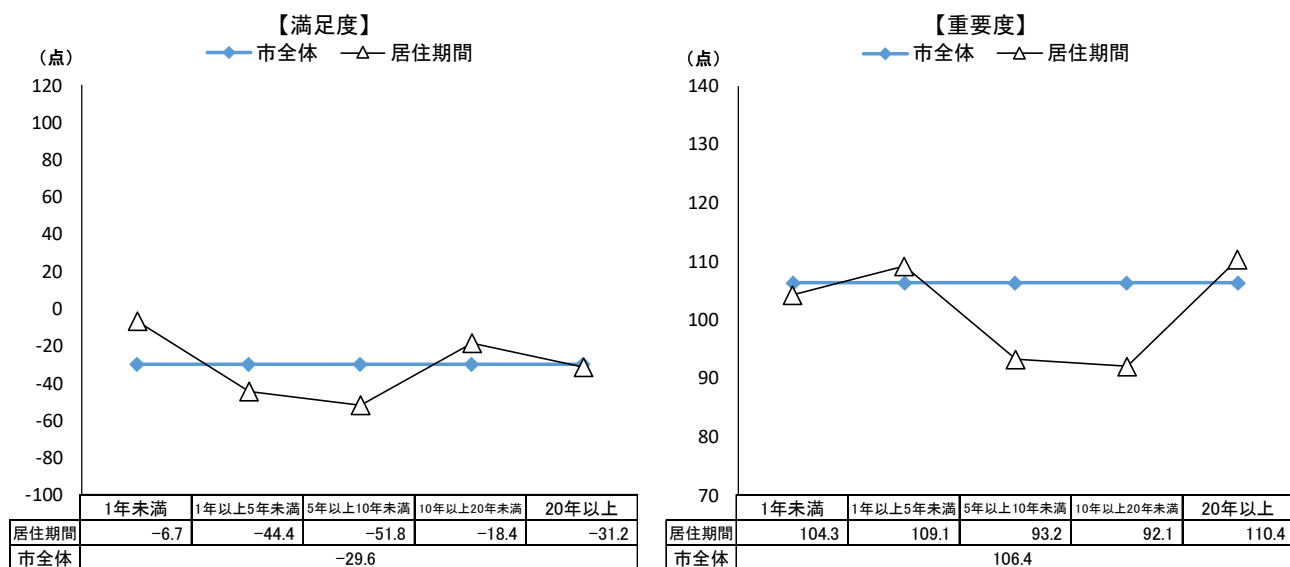
《居住地区別》

- 満足度を居住地区別でみると、加古川、加古川北、野口、平岡で市全体平均より高くなっている。
- 重要度を居住地区別でみると、加古川、加古川北、野口、両荘、加古川西、志方で市全体平均より高くなっている。



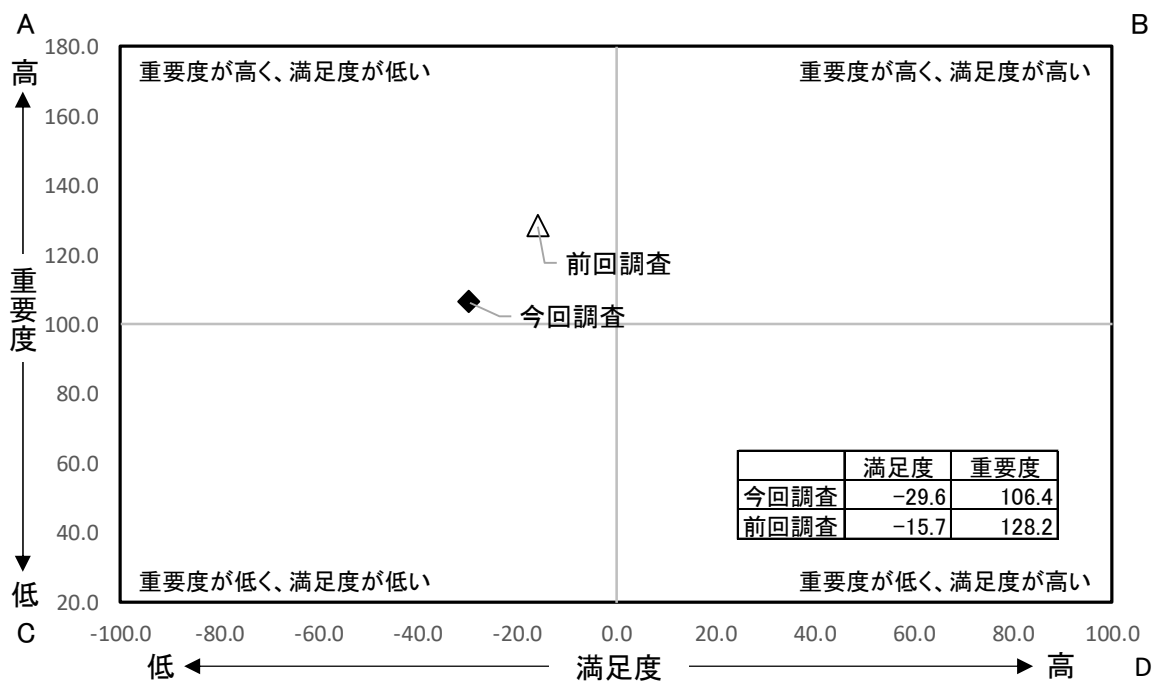
《居住期間別》

- 満足度を居住期間別でみると、「1年未満」、「10年以上20年未満」で市全体平均より高くなっている。
- 重要度を居住期間別でみると、「1年以上5年未満」、「20年以上」で市全体平均より高くなっている。



《満足度と重要度の関係（前回調査との比較）》

- 満足度と重要度の関係でみると、前回調査より満足度と重要度はともに低くなっている。



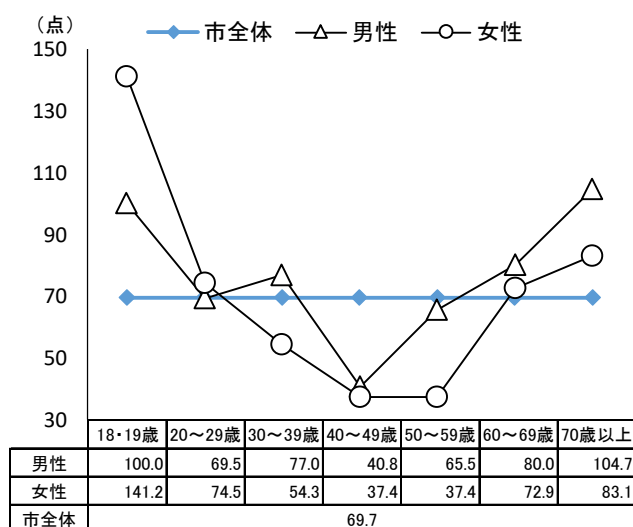
〔安全で良質な水道水の供給〕

(10) 水道水の供給

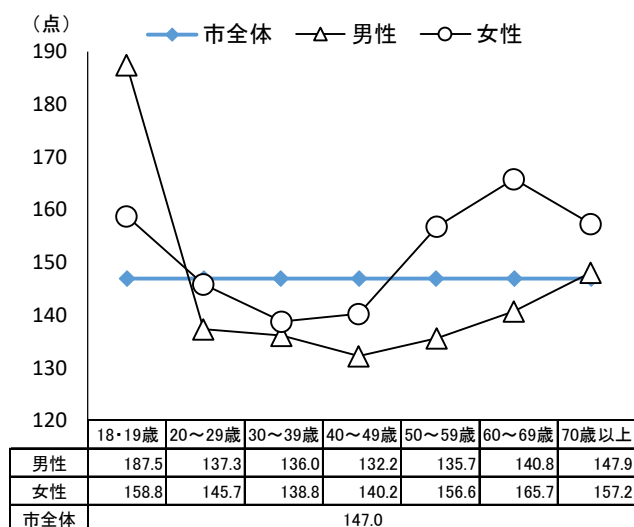
《性年代別》

- 満足度を性年代別でみると、18・19歳、60歳代、70歳以上の男女と、30歳代の男性、20歳代の女性で市全体平均より高くなっている。
- 重要度を性年代別でみると、18・19歳、70歳以上の男女と、50歳代、60歳代の女性で市全体平均より高くなっている。

【満足度】



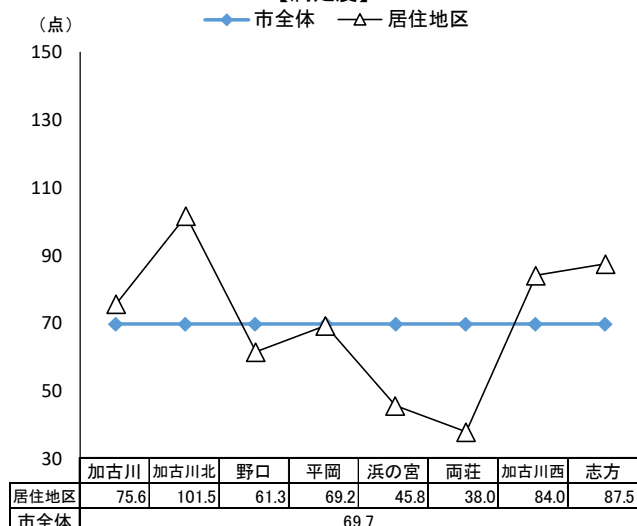
【重要度】



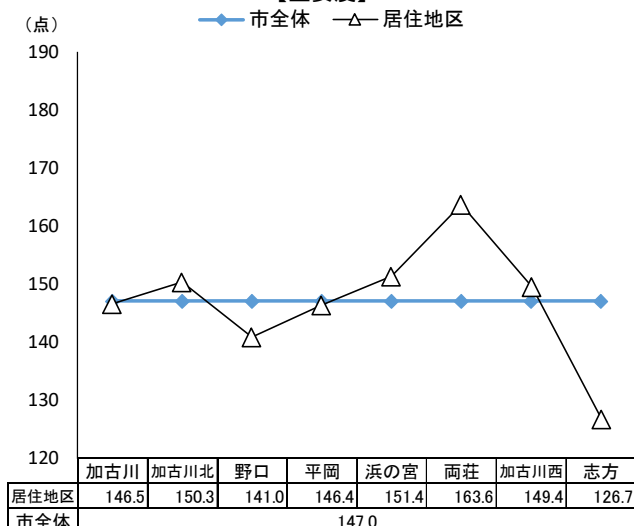
《居住地区別》

- 満足度を居住地区別でみると、加古川、加古川北、加古川西、志方で市全体平均より高くなっている。
- 重要度を居住地区別でみると、加古川北、浜の宮、両荘、加古川西で市全体平均より高くなっている。

【満足度】

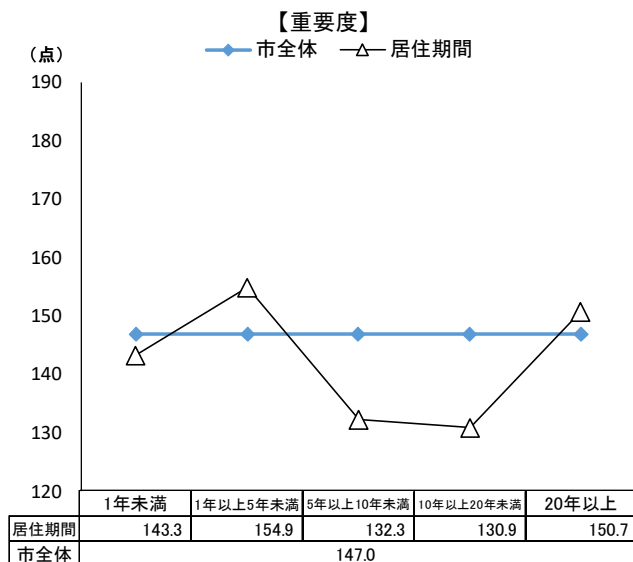
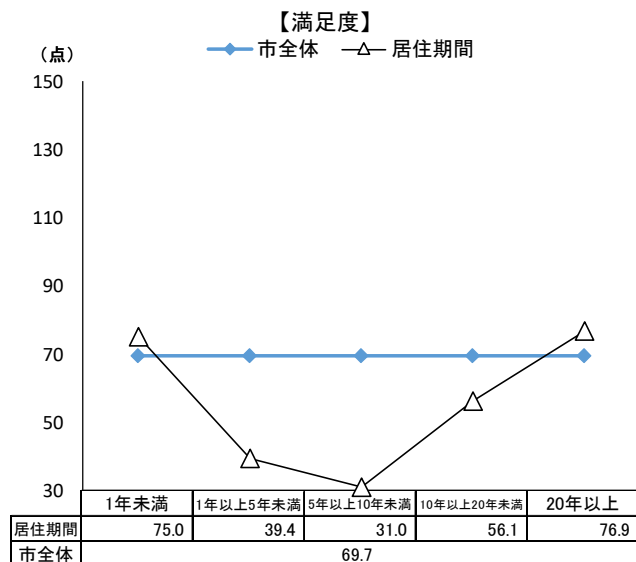


【重要度】



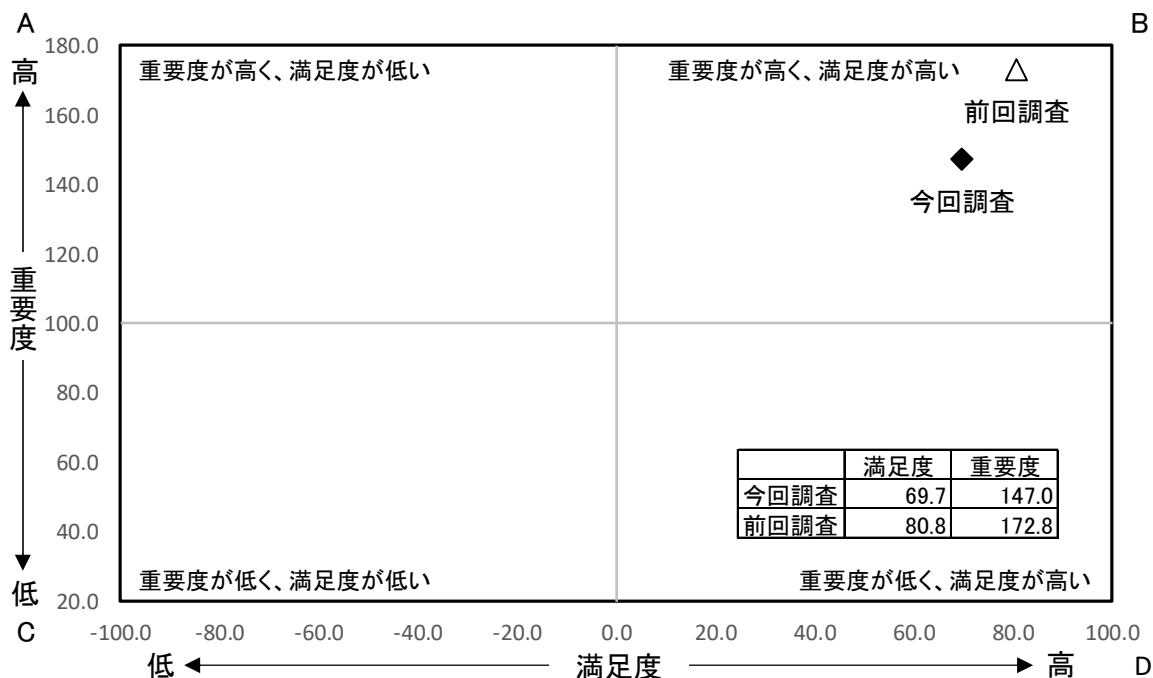
《居住期間別》

- 満足度を居住期間別でみると、「1年未満」、「20年以上」で市全体平均より高くなっている。
- 重要度を居住期間別でみると、「1年以上5年未満」、「20年以上」で市全体平均より高くなっている。



《満足度と重要度の関係（前回調査との比較）》

- 満足度と重要度の関係でみると、前回調査より満足度と重要度はともに低くなっている。

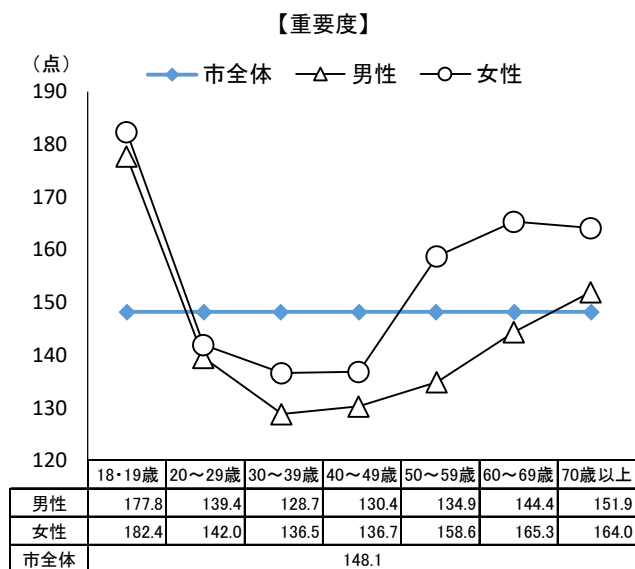
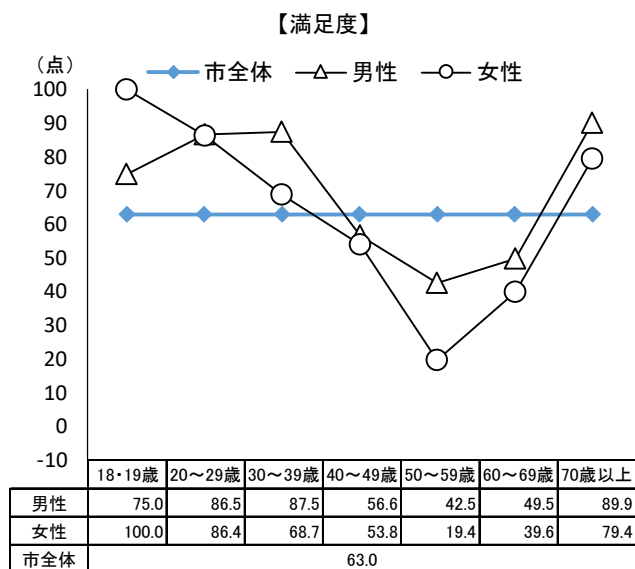


〔雨水・汚水の適切な処理〕

(11) 下水道の整備

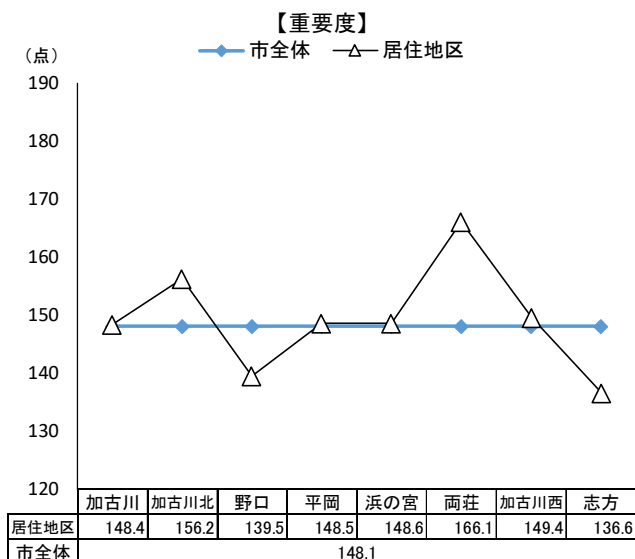
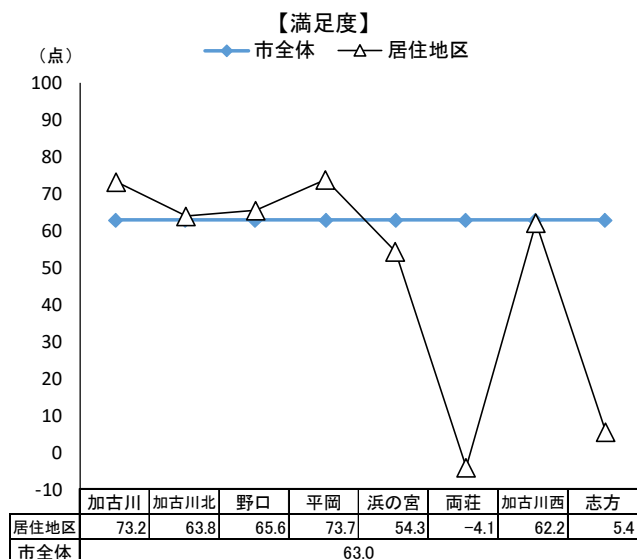
《性年代別》

- 満足度を性年代別でみると、18・19歳、20歳代、30歳代、70歳以上の男女で市全体平均より高くなっている。
- 重要度を性年代別でみると、18・19歳、70歳以上の男女と、50歳代、60歳代の女性で市全体平均より高くなっている。



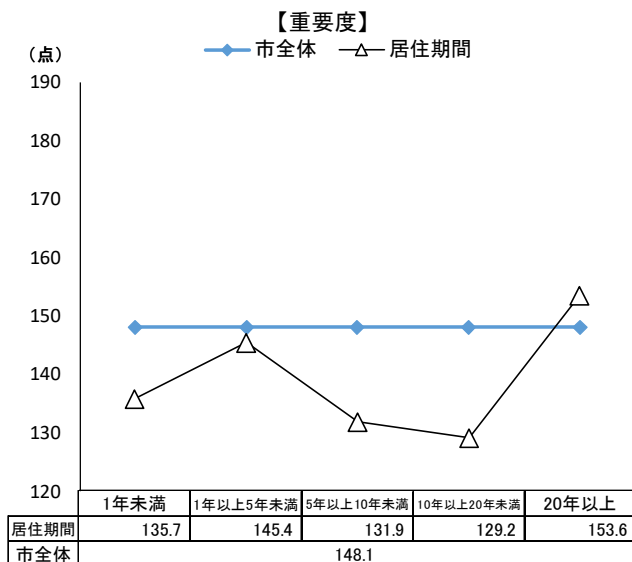
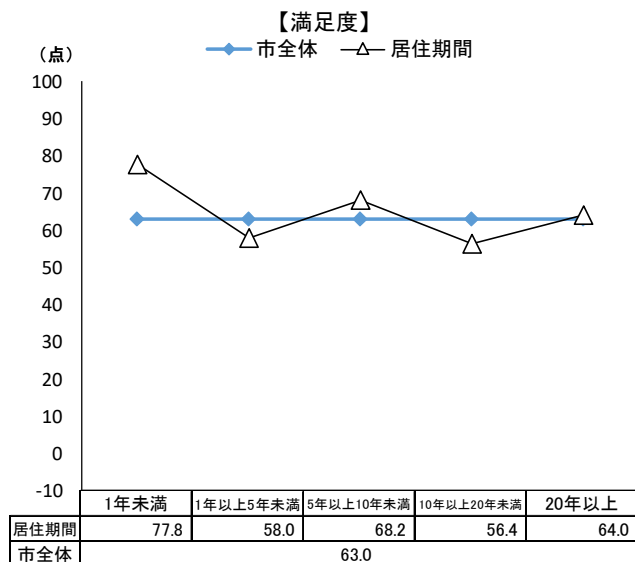
《居住地区別》

- 満足度を居住地区別でみると、加古川、加古川北、野口、平岡で市全体平均より高くなっている。
- 重要度を居住地区別でみると、加古川、加古川北、平岡、浜の宮、両荘、加古川西で市全体平均より高くなっている。



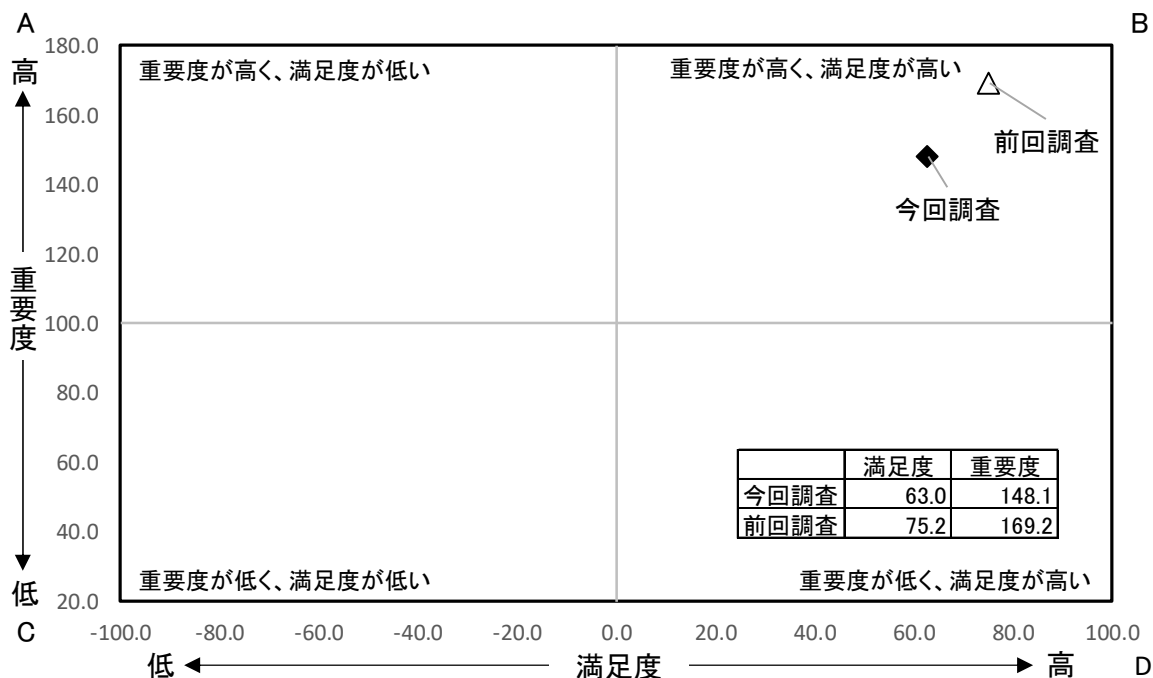
《居住期間別》

- 満足度を居住期間別でみると、「1年未満」、「5年以上10年未満」、「20年以上」で市全体平均より高くなっている。
- 重要度を居住期間別でみると、「20年以上」で市全体平均より高くなっている。



《満足度と重要度の関係（前回調査との比較）》

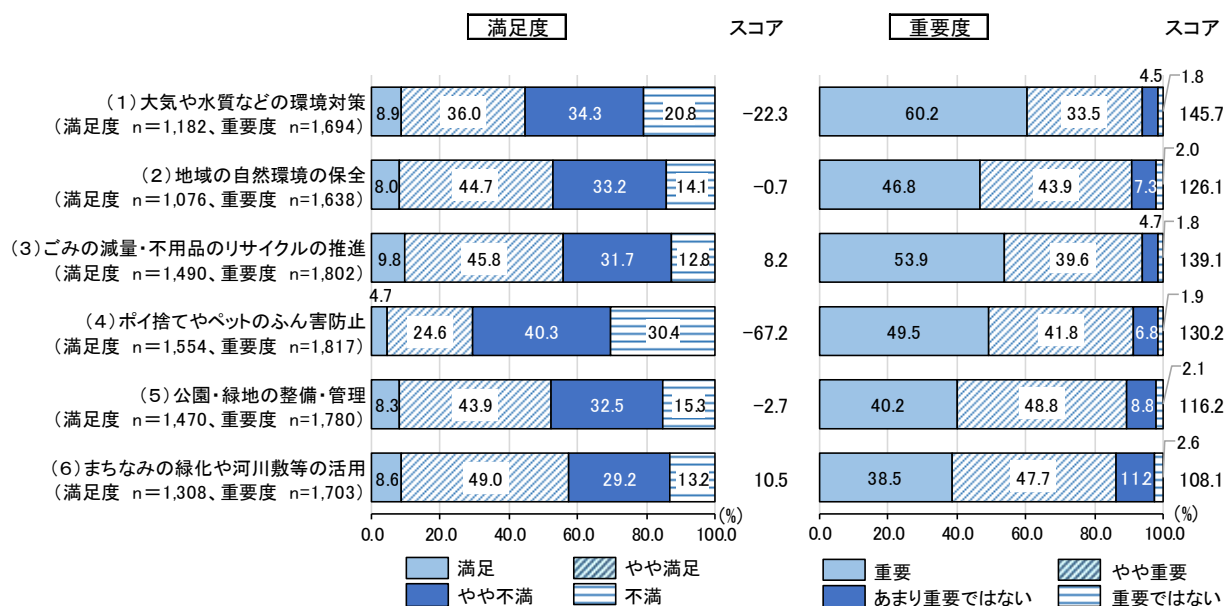
- 満足度と重要度の関係でみると、前回調査より満足度と重要度はともに低くなっている。



3-5 うるおいのあるまち

- 施策の満足度スコアが最も高い項目は「(6) まちなみの緑化や河川敷等の活用」、次いで「(3) ごみの減量・不用品のリサイクルの推進」となっている。一方、最も低い項目は「(4) ポイ捨てやペットのふん害防止」、次いで「(1) 大気や水質などの環境対策」となっている。
- 施策の重要度スコアが最も高い項目は「(1) 大気や水質などの環境対策」、次いで「(3) ごみの減量・不用品のリサイクルの推進」となっている。一方、最も低い項目は「(6) まちなみの緑化や河川敷等の活用」、次いで「(5) 公園・緑地の整備・管理」となっている。

《全体》 ※グラフは「わからない」、「不明・無回答」を除いて集計



地球環境と地域の環境を保全する

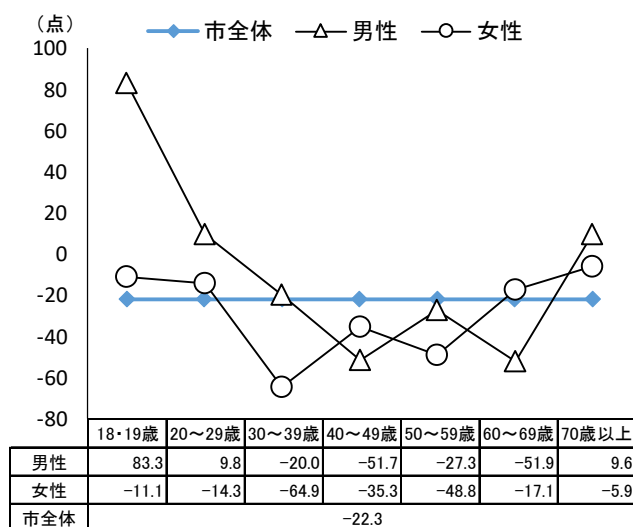
〔地球環境の保全〕

（１）大気や水質などの環境対策

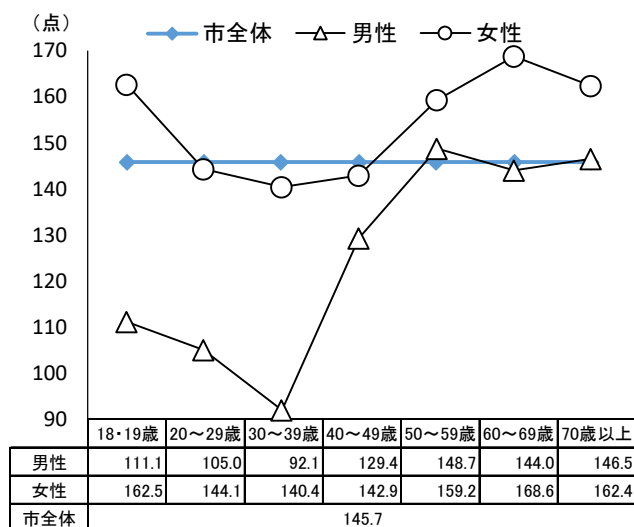
《性年代別》

- 満足度を性年代別でみると、18・19歳、20歳代、70歳以上の男女と、30歳代の男性、60歳代の女性で市全体平均より高くなっている。
- 重要度を性年代別でみると、50歳代、70歳以上の男女と、18・19歳、60歳代の女性で市全体平均より高くなっている。

【満足度】



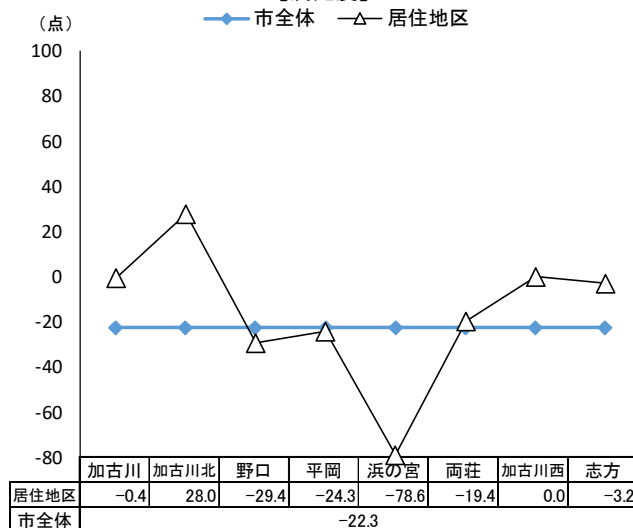
【重要度】



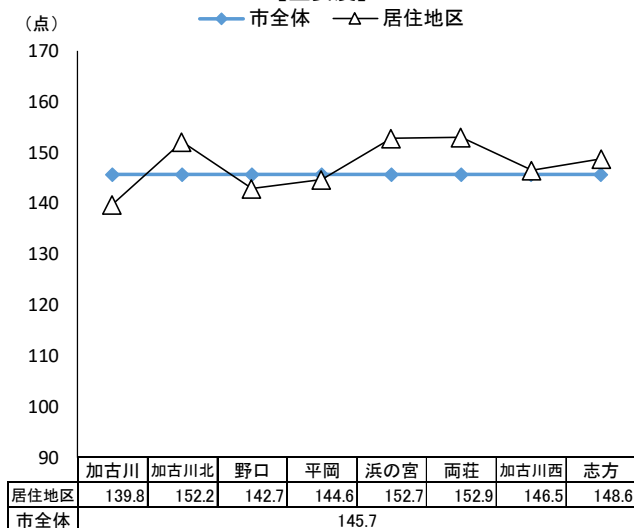
《居住地区別》

- 満足度を居住地区別でみると、加古川、加古川北、両荘、加古川西、志方で市全体平均より高くなっている。
- 重要度を居住地区別でみると、加古川北、浜の宮、両荘、加古川西、志方で市全体平均より高くなっている。

【満足度】

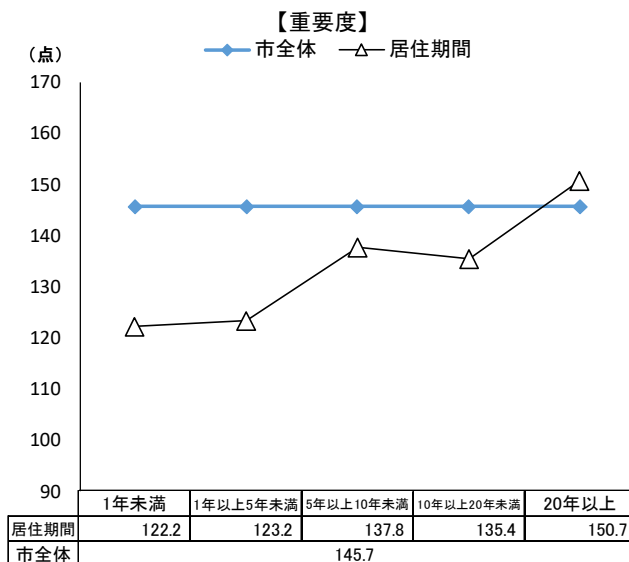
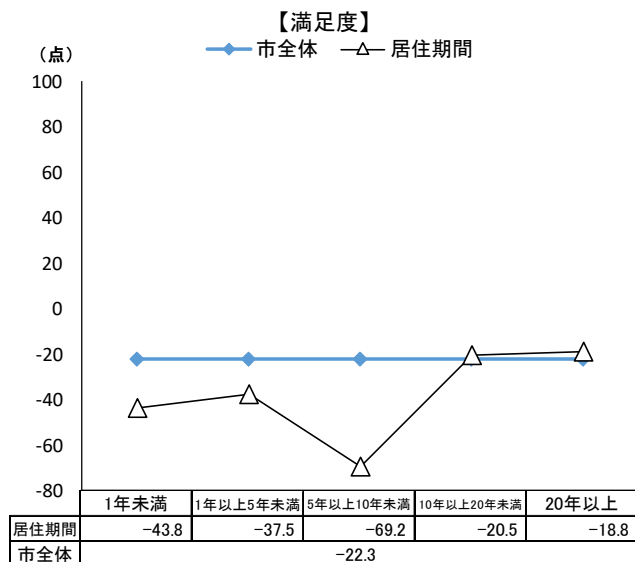


【重要度】



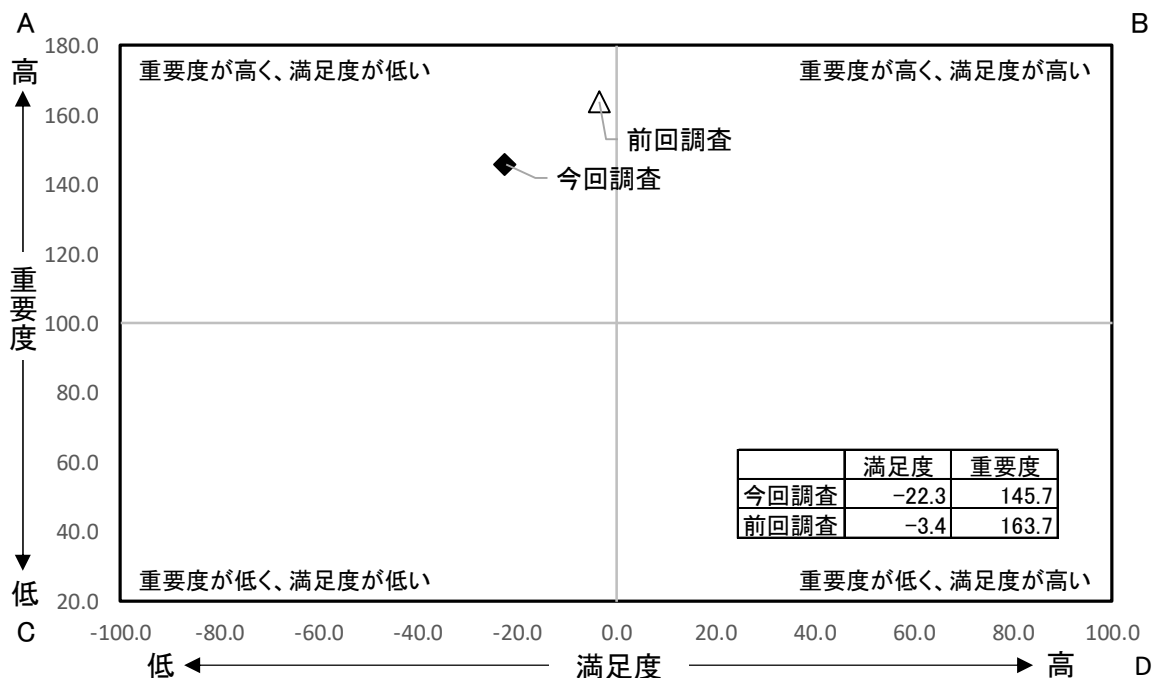
《居住期間別》

- 満足度を居住期間別でみると、「10年以上20年未満」、「20年以上」で市全体平均より高くなっている。
- 重要度を居住期間別でみると、「20年以上」で市全体平均より高くなっている。



《満足度と重要度の関係（前回調査との比較）》

- 満足度と重要度の関係でみると、前回調査より満足度と重要度はともに低くなっている。



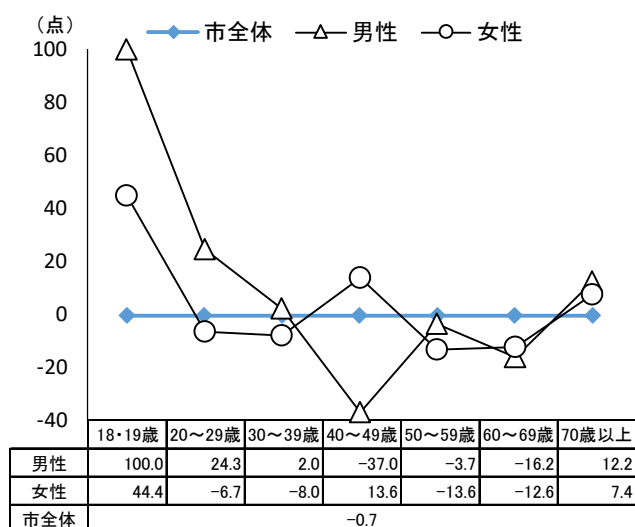
〔地域の自然環境の保全〕

（２）地域の自然環境の保全

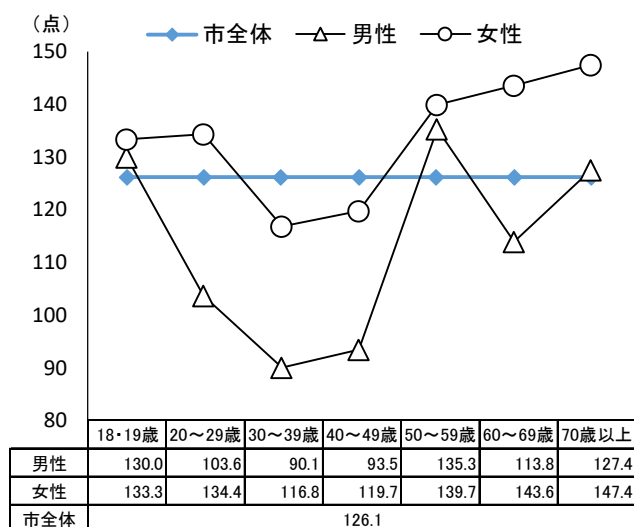
《性年代別》

- 満足度を性年代別でみると、18・19歳、70歳以上の男女と、20歳代、30歳代の男性、40歳代の女性で市全体平均より高くなっている。
- 重要度を性年代別でみると、18・19歳、50歳代、70歳以上の男女と、20歳代、60歳代の女性で市全体平均より高くなっている。

【満足度】



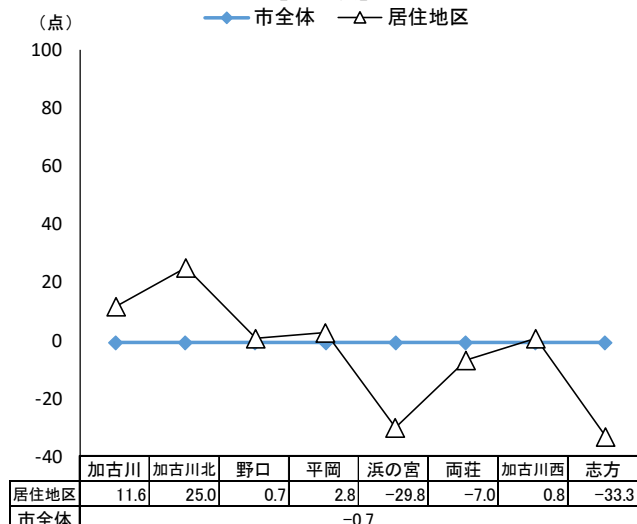
【重要度】



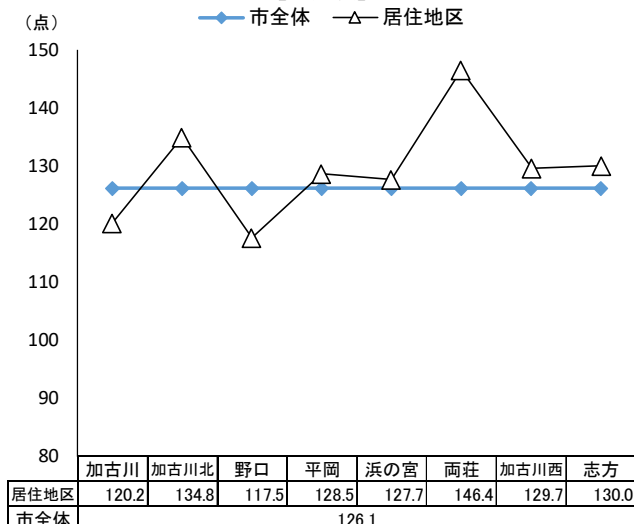
《居住地区別》

- 満足度を居住地区別でみると、加古川、加古川北、野口、平岡、加古川西で市全体平均より高くなっている。
- 重要度を居住地区別でみると、加古川北、平岡、浜の宮、両荘、加古川西、志方で市全体平均より高くなっている。

【満足度】

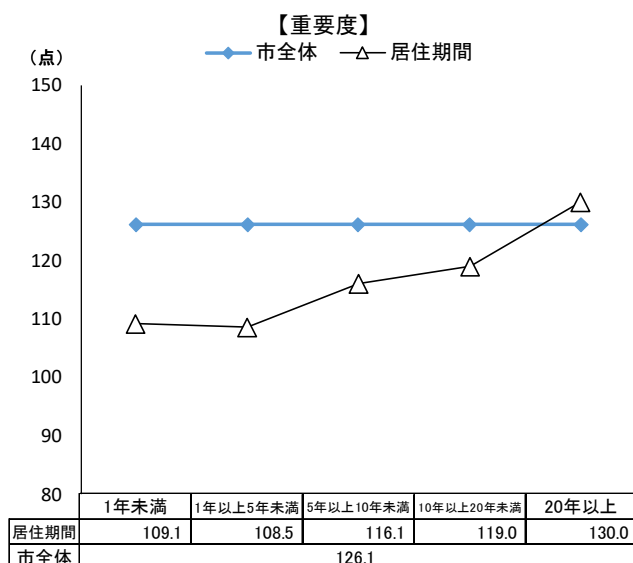
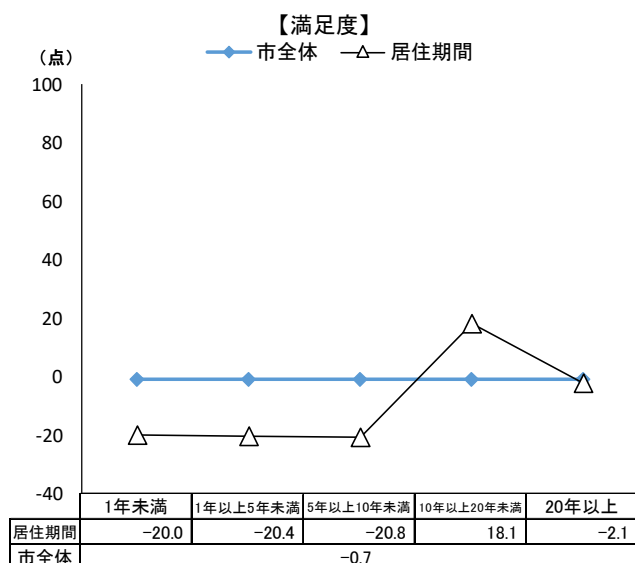


【重要度】



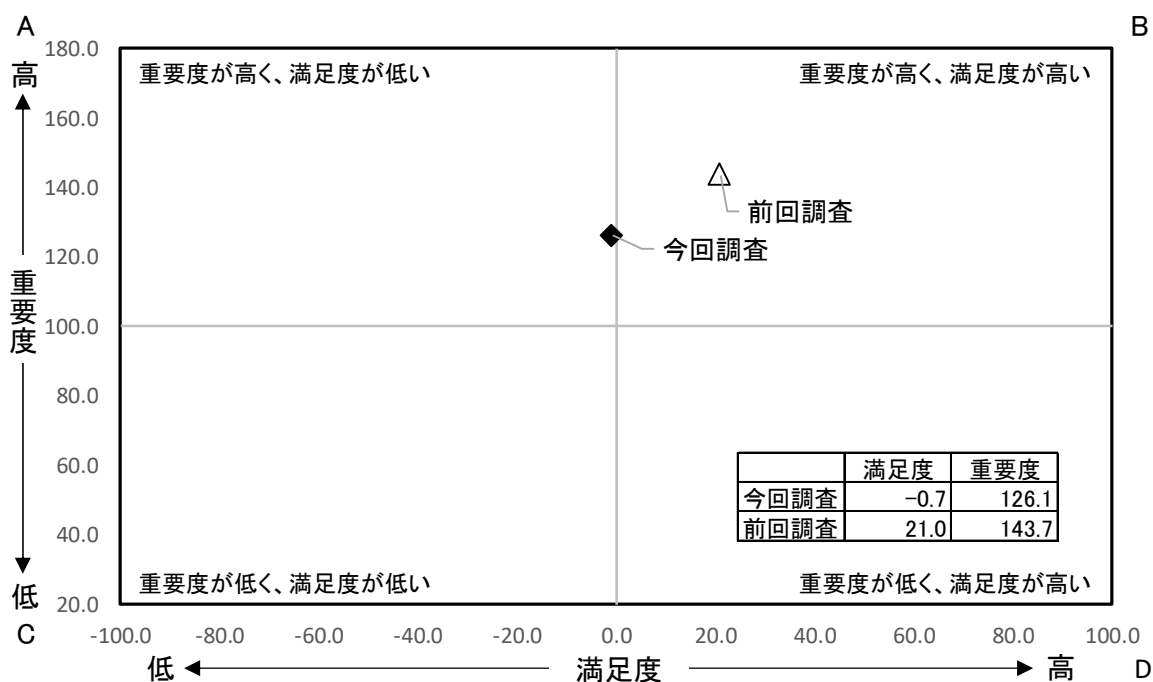
《居住期間別》

- 満足度を居住期間別でみると、「10年以上20年未満」で市全体平均より高くなっている。
- 重要度を居住期間別でみると、「20年以上」で市全体平均より高くなっている。



《満足度と重要度の関係（前回調査との比較）》

- 満足度と重要度の関係でみると、前回調査より満足度と重要度はともに低くなっている。



資源の循環と環境美化を推進する

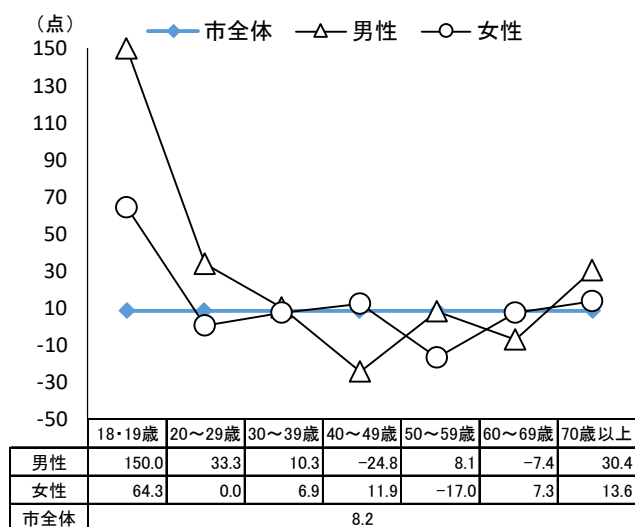
〔ごみの減量・再資源化の推進〕

(3) ごみの減量・不用品のリサイクルの推進

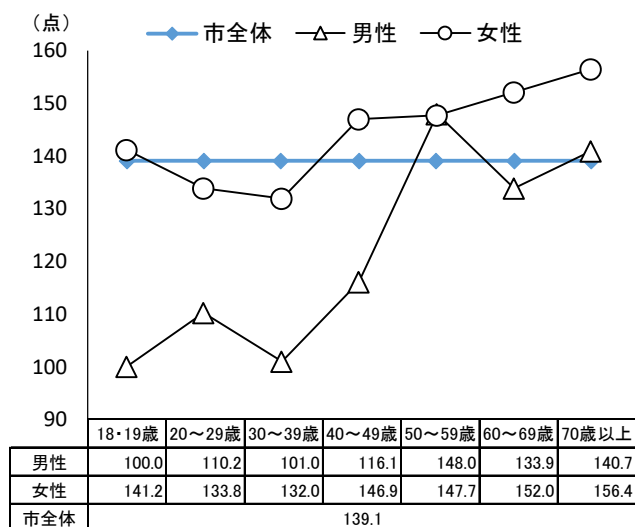
《性年代別》

- 満足度を性年代別でみると、18・19歳、70歳以上の男女と、20歳代、30歳代の男性、40歳代の女性で市全体平均より高くなっている。
- 重要度を性年代別でみると、50歳代、70歳以上の男女と、18・19歳、40歳代、60歳代の女性で市全体平均より高くなっている。

【満足度】



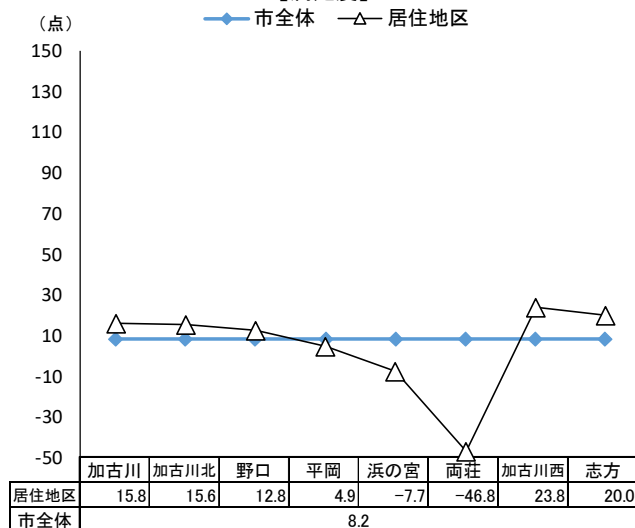
【重要度】



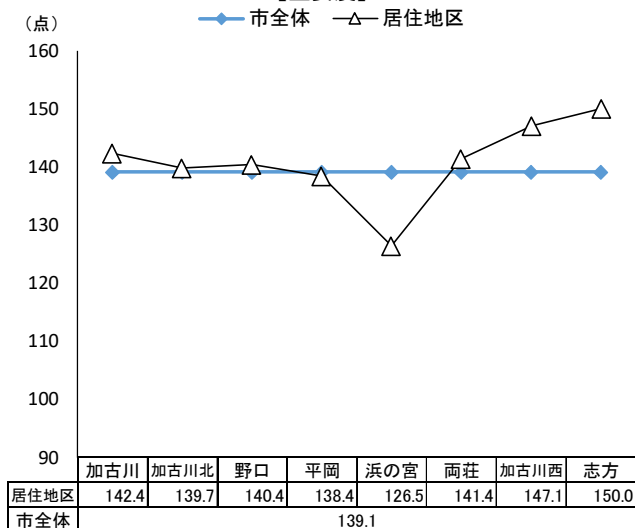
《居住地区別》

- 満足度を居住地区別でみると、加古川、加古川北、野口、加古川西、志方で市全体平均より高くなっている。
- 重要度を居住地区別でみると、加古川、加古川北、野口、両荘、加古川西、志方で市全体平均より高くなっている。

【満足度】

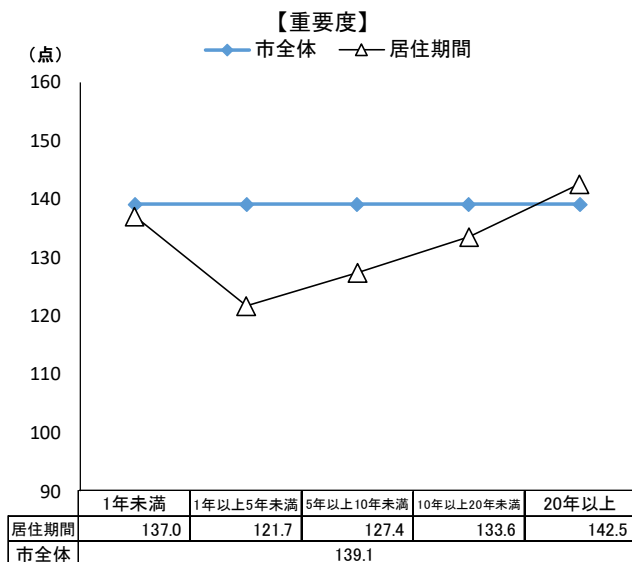
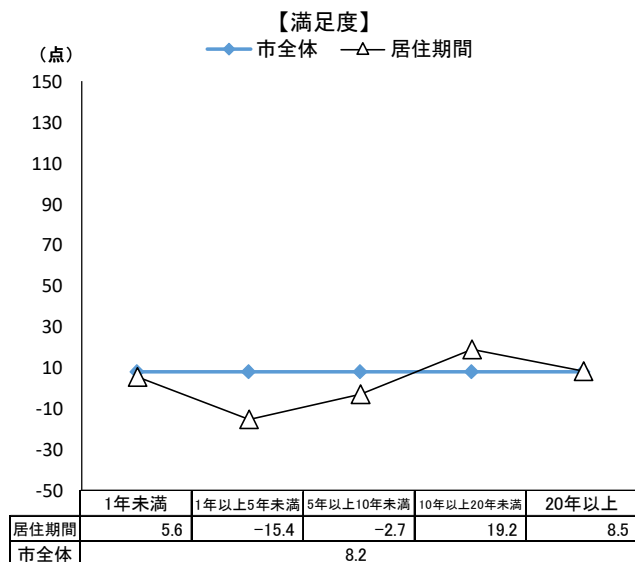


【重要度】



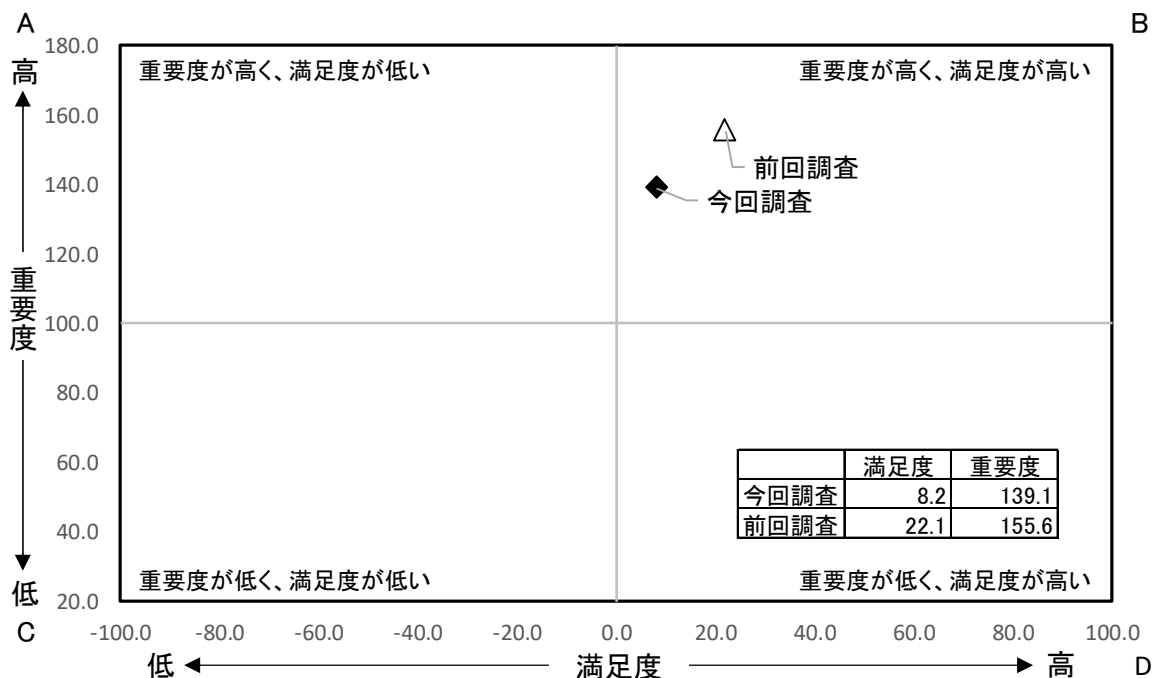
《居住期間別》

- 満足度を居住期間別でみると、「10年以上20年未満」、「20年以上」で市全体平均より高くなっている。
- 重要度を居住期間別でみると、「20年以上」で市全体平均より高くなっている。



《満足度と重要度の関係（前回調査との比較）》

- 満足度と重要度の関係でみると、前回調査より満足度と重要度はともに低くなっている。



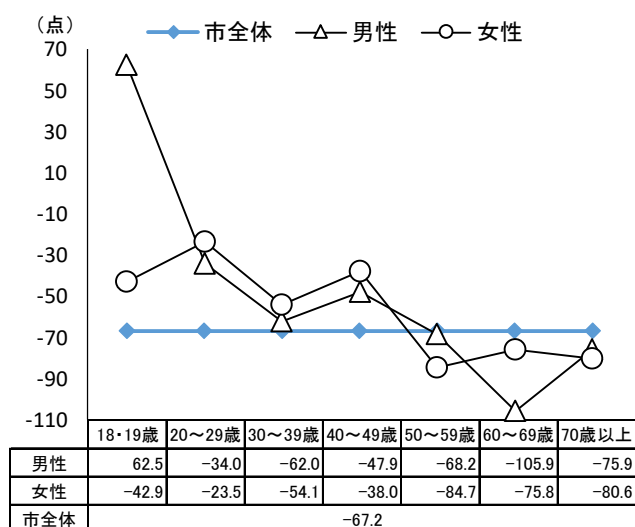
〔環境美化の推進〕

（４）ポイ捨てやペットのふん害防止

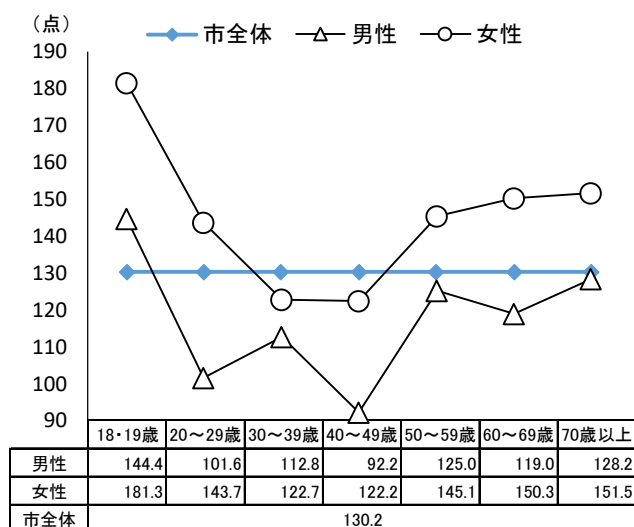
《性年代別》

- 満足度を性年代別でみると、18・19歳、20歳代、30歳代、40歳代の男女で市全体平均より高くなっている。
- 重要度を性年代別でみると、18・19歳の男女と、20歳代、50歳代、60歳代、70歳以上の女性で市全体平均より高くなっている。

【満足度】



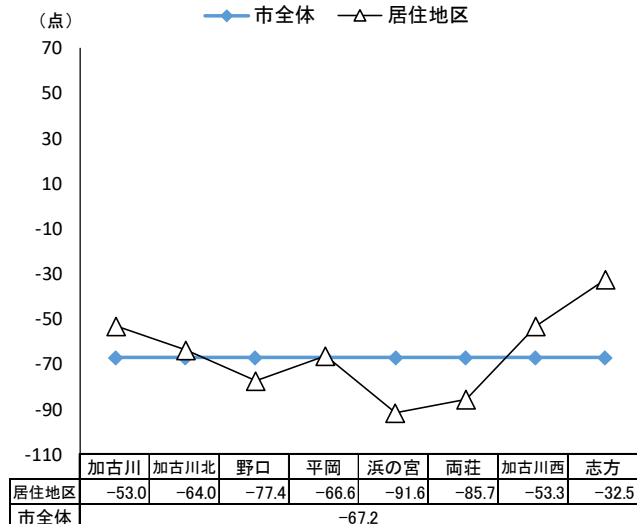
【重要度】



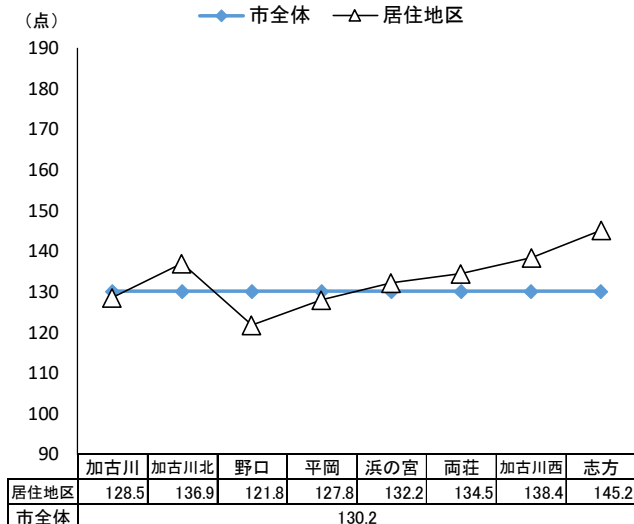
《居住地区別》

- 満足度を居住地区別でみると、加古川、加古川北、平岡、加古川西、志方で市全体平均より高くなっている。
- 重要度を居住地区別でみると、加古川北、浜の宮、両荘、加古川西、志方で市全体平均より高くなっている。

【満足度】

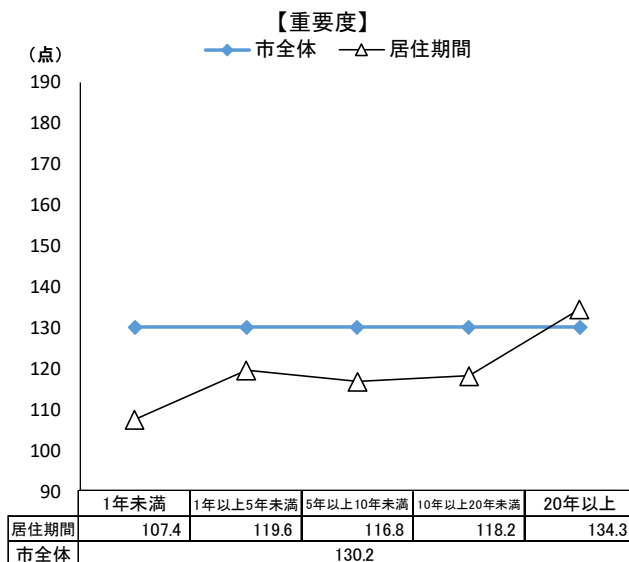
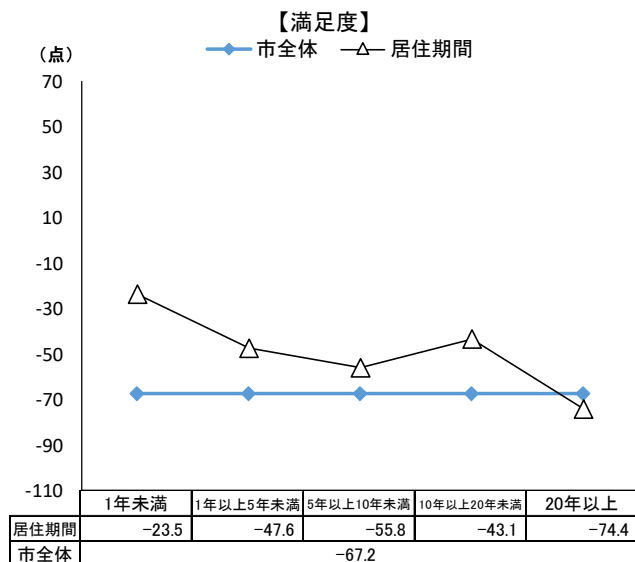


【重要度】



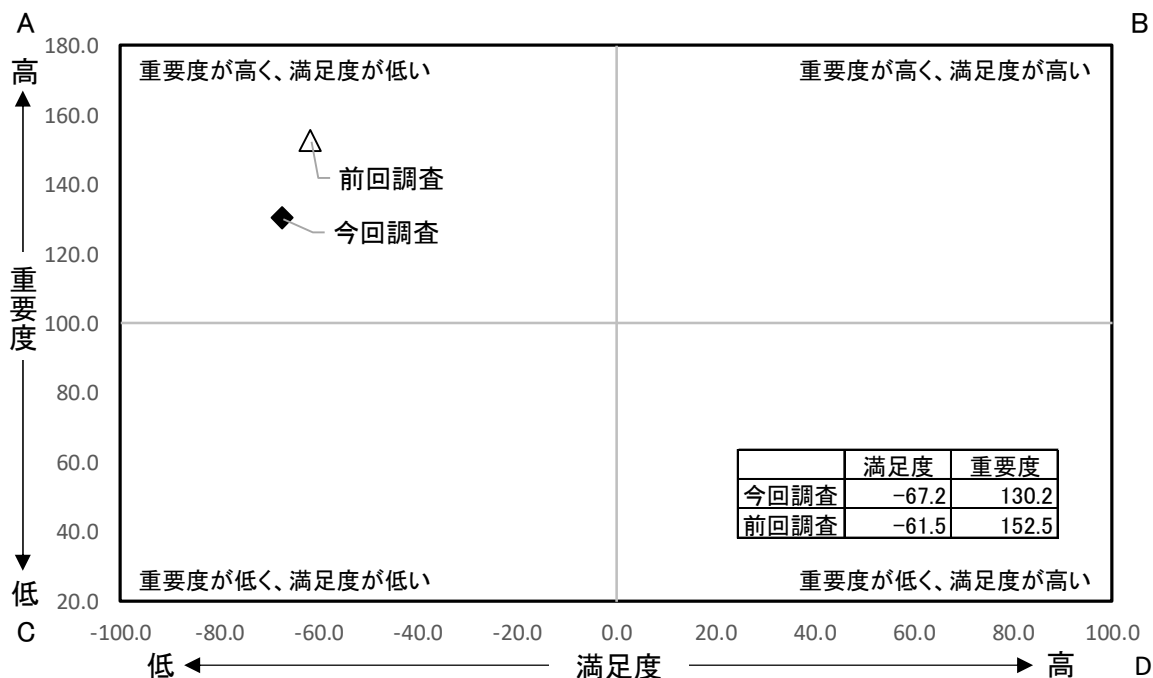
《居住期間別》

- 満足度を居住期間別でみると、「1年未満」、「1年以上5年未満」、「5年以上10年未満」、「10年以上20年未満」で市全体平均より高くなっている。
- 重要度を居住期間別でみると、「20年以上」で市全体平均より高くなっている。



《満足度と重要度の関係（前回調査との比較）》

- 満足度と重要度の関係でみると、前回調査より満足度と重要度はともに低くなっている。



水と緑の空間を形成する

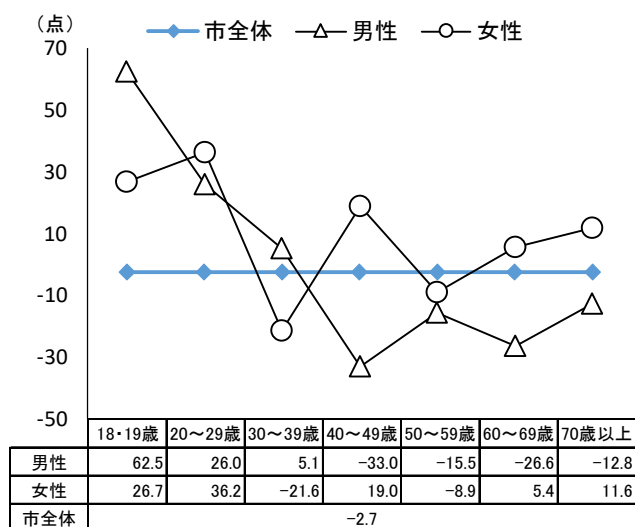
〔公園等の整備〕

(5) 公園・緑地の整備・管理

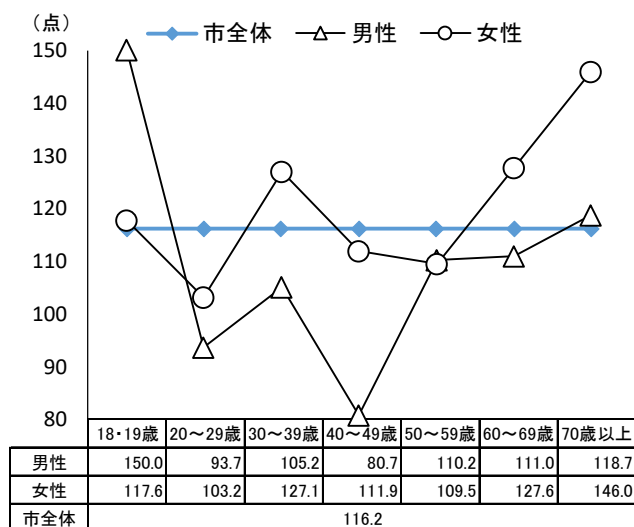
《性年代別》

- 満足度を性年代別でみると、18・19歳、20歳代の男女と、30歳代の男性、40歳代、60歳代、70歳以上の女性で市全体平均より高くなっている。
- 重要度を性年代別でみると、18・19歳、70歳以上の男女と、30歳代、60歳代の女性で市全体平均より高くなっている。

【満足度】



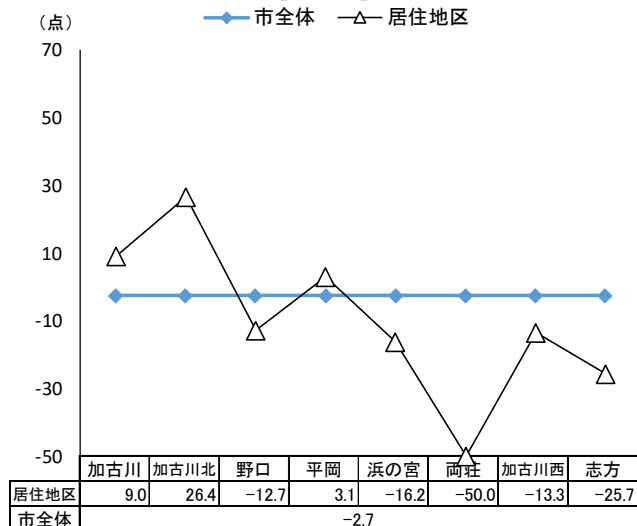
【重要度】



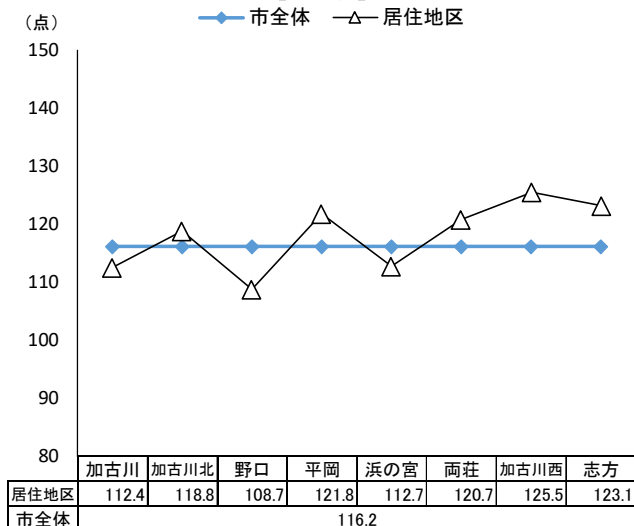
《居住地区別》

- 満足度を居住地区別でみると、加古川、加古川北、平岡で市全体平均より高くなっている。
- 重要度を居住地区別でみると、加古川北、平岡、両荘、加古川西、志方で市全体平均より高くなっている。

【満足度】

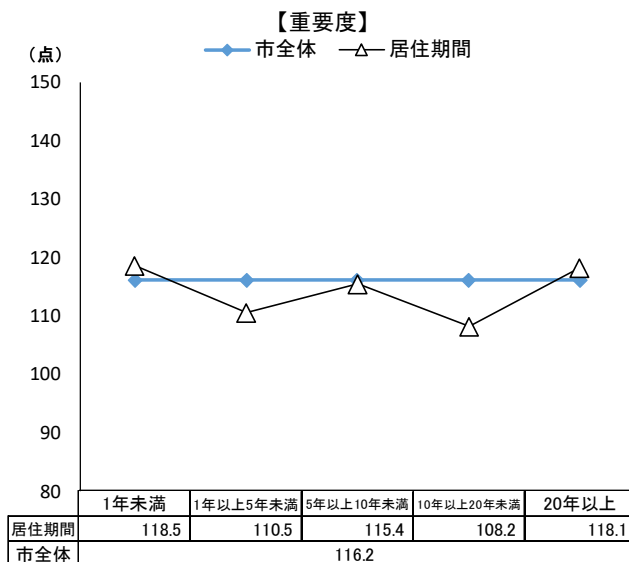
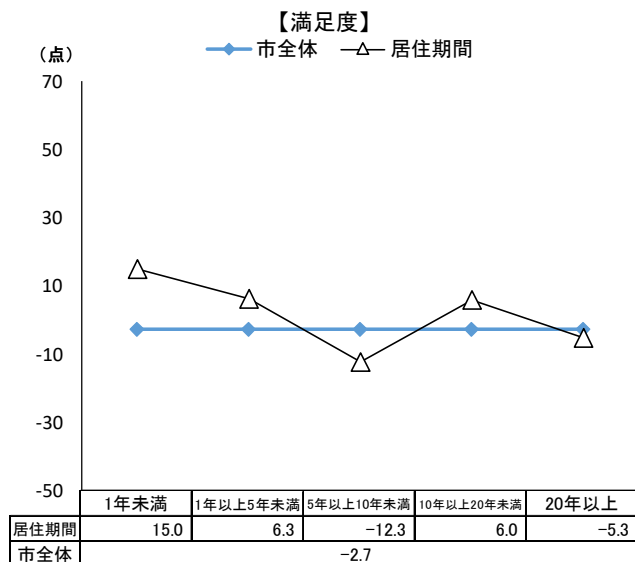


【重要度】



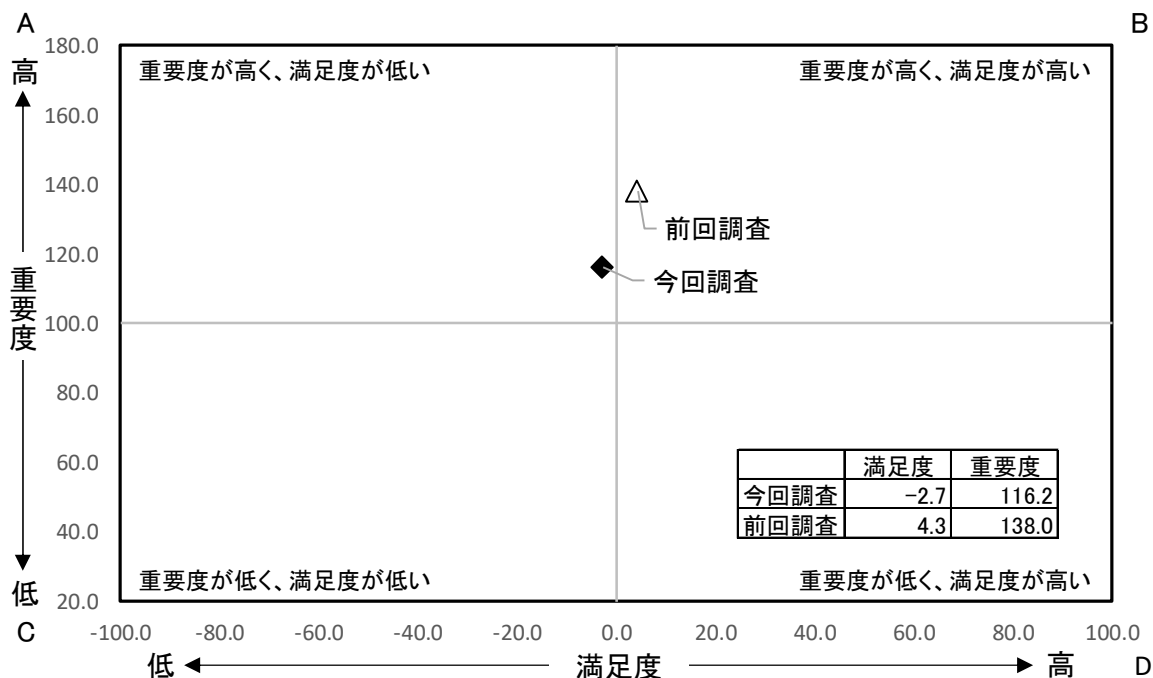
《居住期間別》

- 満足度を居住期間別でみると、「1年未満」、「1年以上5年未満」、「10年以上20年未満」で市全体平均より高くなっている。
- 重要度を居住期間別でみると、「1年未満」、「20年以上」で市全体平均より高くなっている。



《満足度と重要度の関係（前回調査との比較）》

- 満足度と重要度の関係でみると、前回調査より満足度と重要度はともに低くなっている。

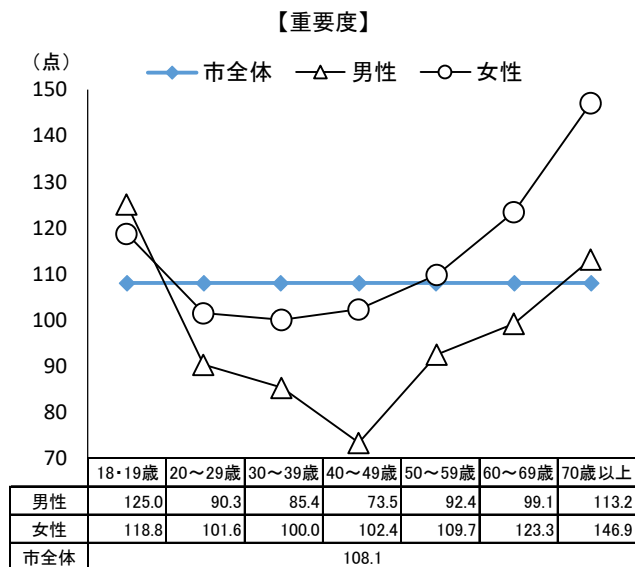
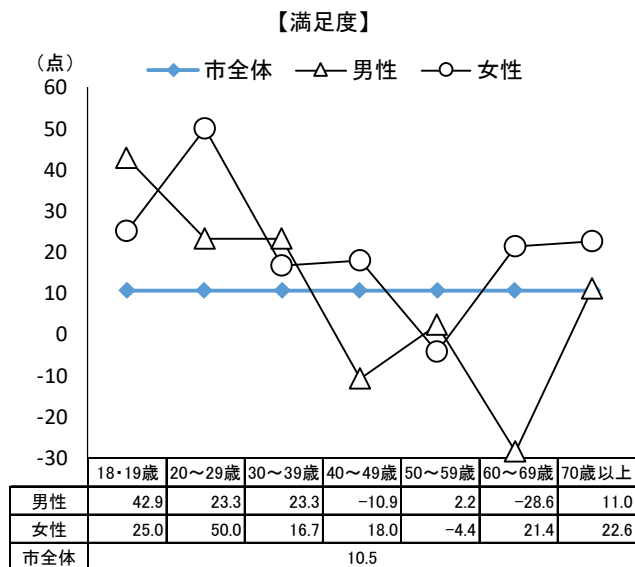


〔緑化・親水空間の活用〕

(6) まちなみの緑化や河川敷等の活用

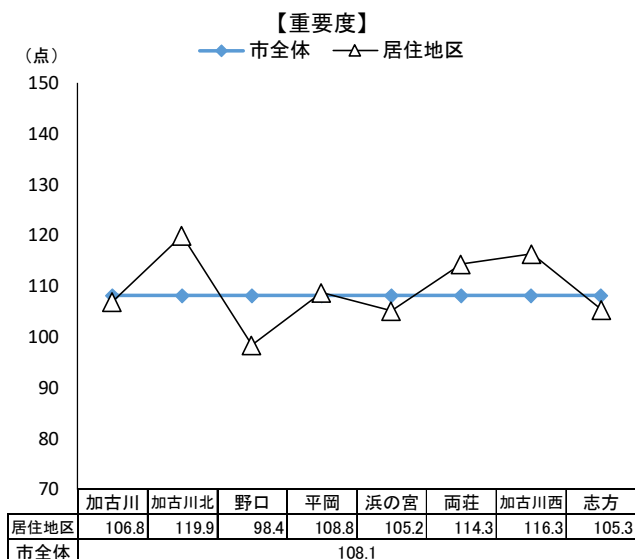
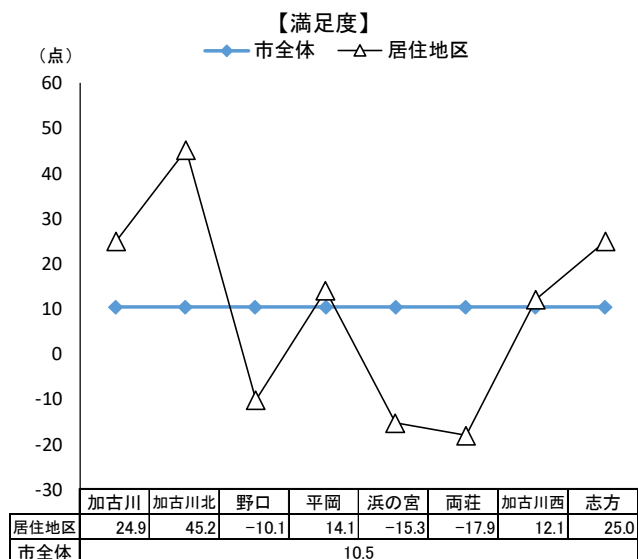
《性年代別》

- 満足度を性年代別でみると、18・19歳、20歳代、30歳代、70歳以上の男女と、40歳代、60歳代の女性で市全体平均より高くなっている。
- 重要度を性年代別でみると、18・19歳、70歳以上の男女と、50歳代、60歳代の女性で市全体平均より高くなっている。



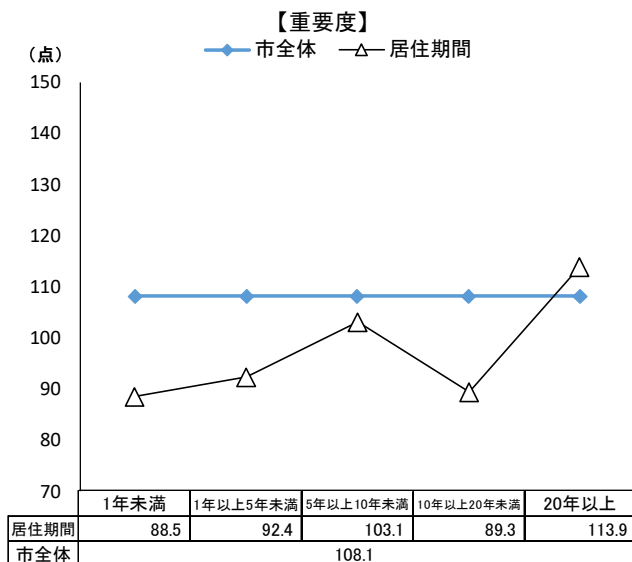
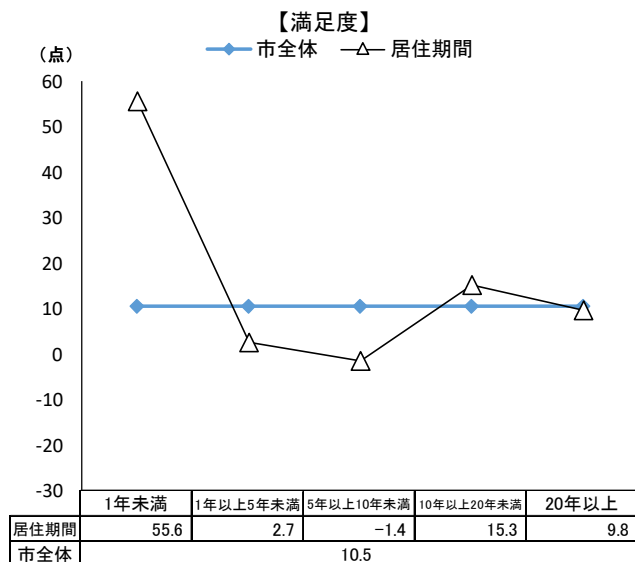
《居住地区別》

- 満足度を居住地区別でみると、加古川、加古川北、平岡、加古川西、志方で市全体平均より高くなっている。
- 重要度を居住地区別でみると、加古川北、平岡、両荘、加古川西で市全体平均より高くなっている。



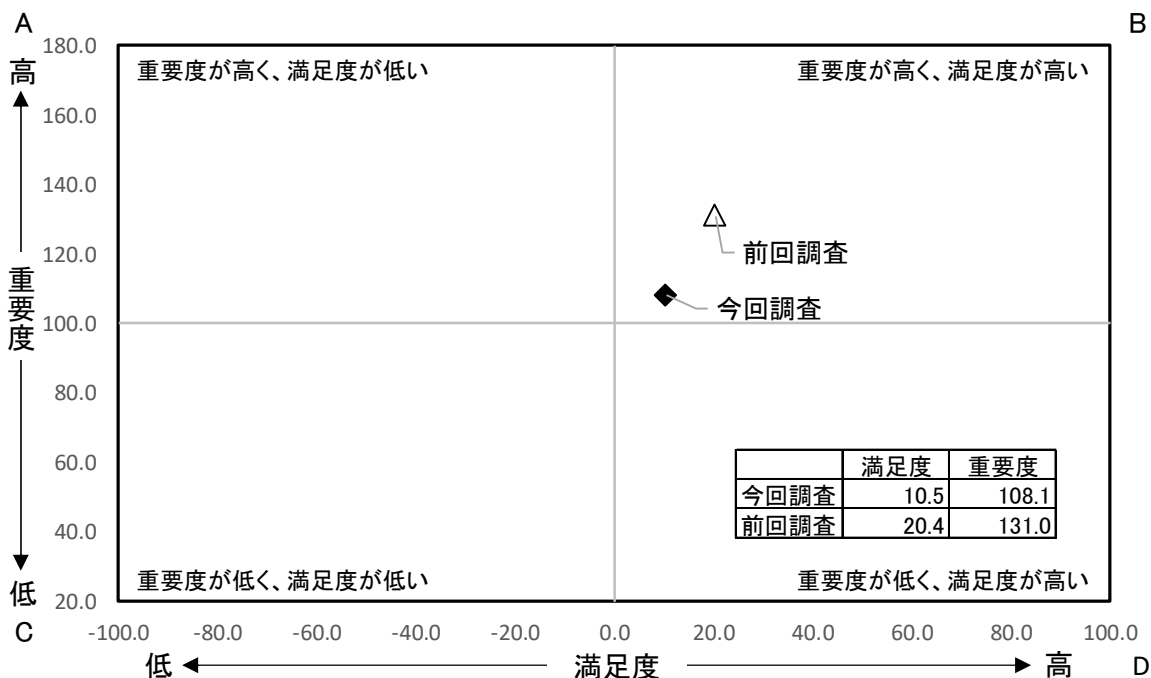
《居住期間別》

- 満足度を居住期間別でみると、「1年未満」、「10年以上20年未満」で市全体平均より高くなっている。
- 重要度を居住期間別でみると、「20年以上」で市全体平均より高くなっている。



《満足度と重要度の関係（前回調査との比較）》

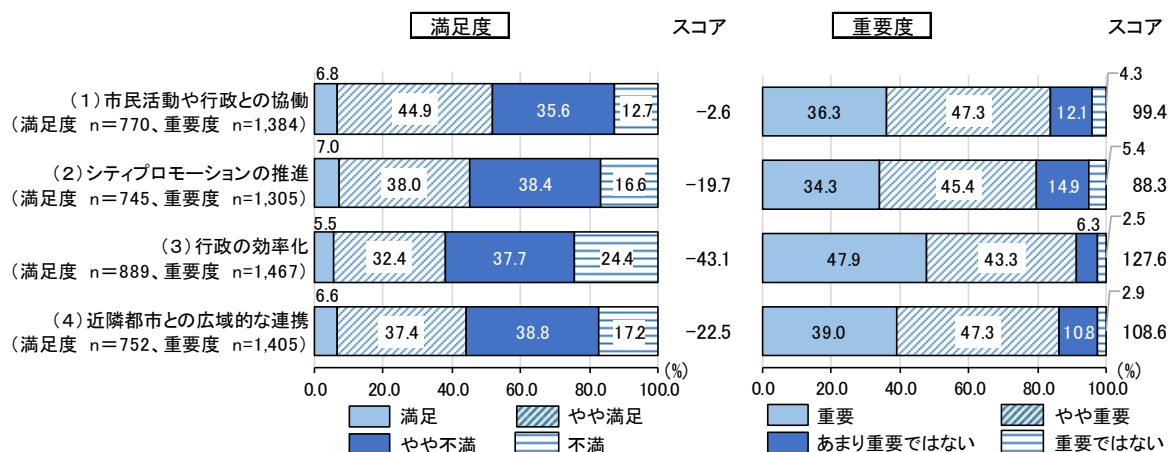
- 満足度と重要度の関係でみると、前回調査より満足度と重要度はともに低くなっている。



3-6 まちづくりの取組を進めるにあたっての方法

- 施策の満足度スコアが最も高い項目は「(1) 市民活動や行政との協働」、次いで「(2) シティプロモーションの推進」となっている。一方、最も低い項目は「(3) 行政の効率化」、次いで「(4) 近隣都市との広域的な連携」となっている。
- 施策の重要度スコアが最も高い項目は「(3) 行政の効率化」、次いで「(4) 近隣都市との広域的な連携」となっている。一方、最も低い項目は「(2) シティプロモーションの推進」、次いで「(1) 市民活動や行政との協働」となっている。

《全体》 ※グラフは「わからない」、「不明・無回答」を除いて集計



まちづくりの進め方

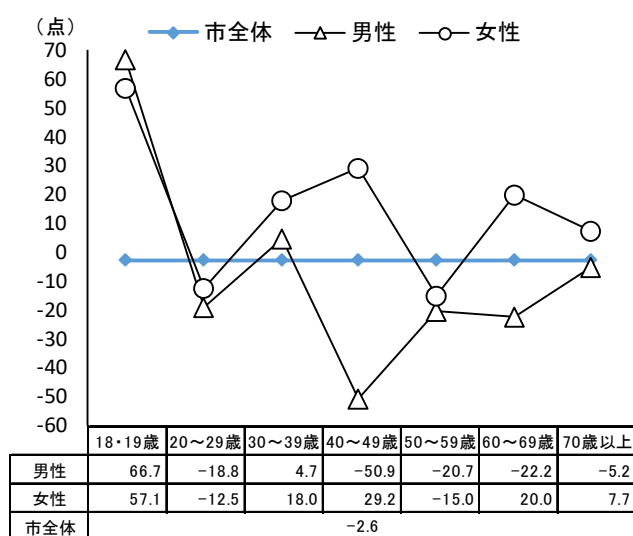
〔多様な主体と行政との協働〕

(1) 市民活動や行政との協働

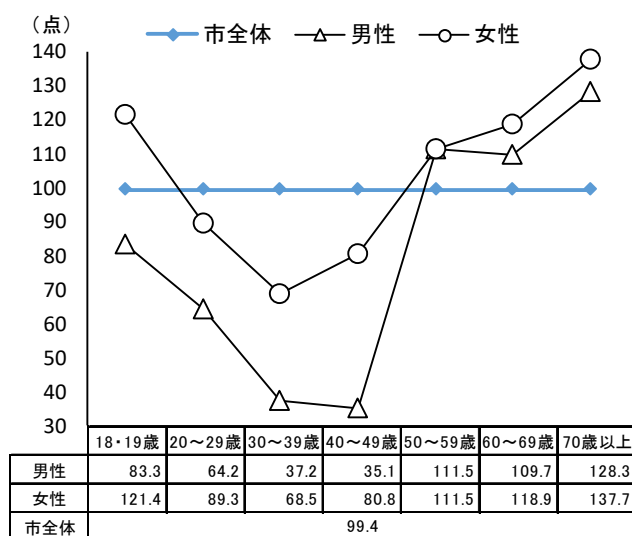
《性年代別》

- 満足度を性年代別でみると、18・19歳、30歳代の男女と、40歳代、60歳代、70歳以上の女性で市全体平均より高くなっている。
- 重要度を性年代別でみると、50歳代、60歳代、70歳以上の男女と、18・19歳の女性で市全体平均より高くなっている。

【満足度】



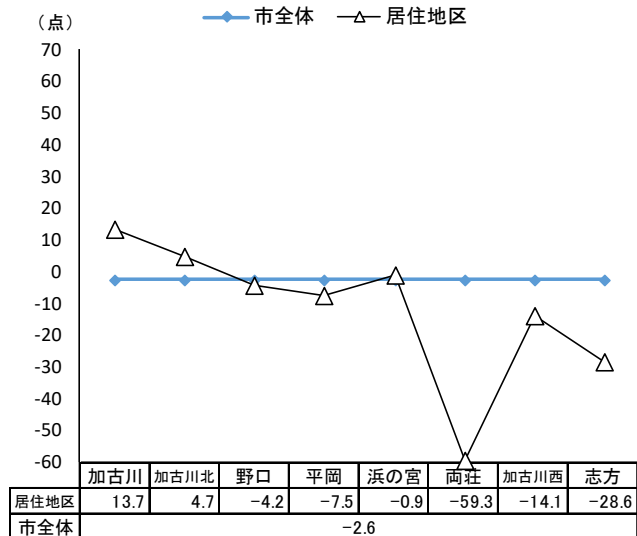
【重要度】



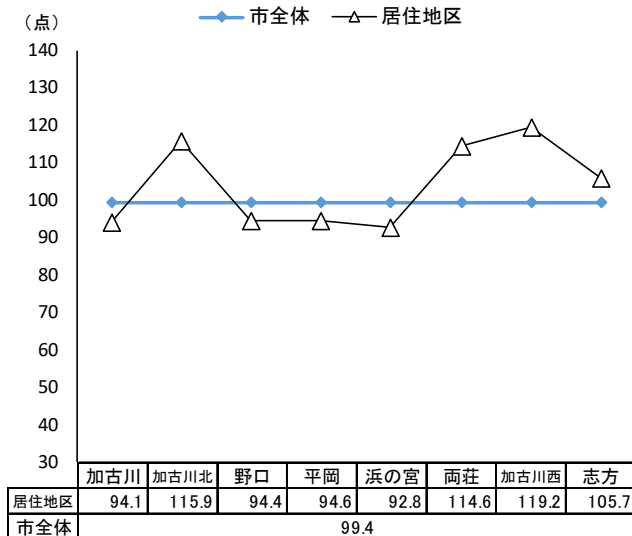
《居住地区別》

- 満足度を居住地区別でみると、加古川、加古川北、浜の宮で市全体平均より高くなっている。
- 重要度を居住地区別でみると、加古川北、両荘、加古川西、志方で市全体平均より高くなっている。

【満足度】



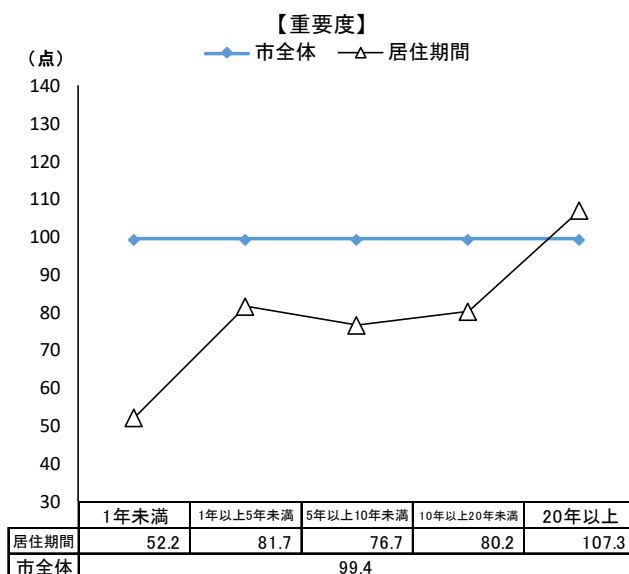
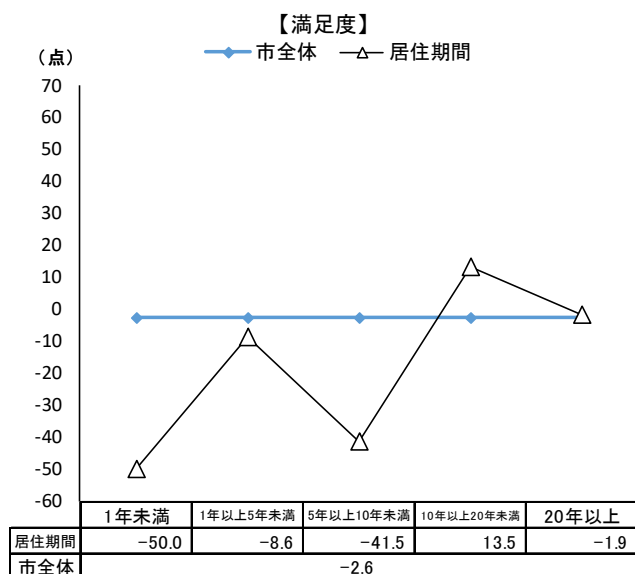
【重要度】



《居住期間別》

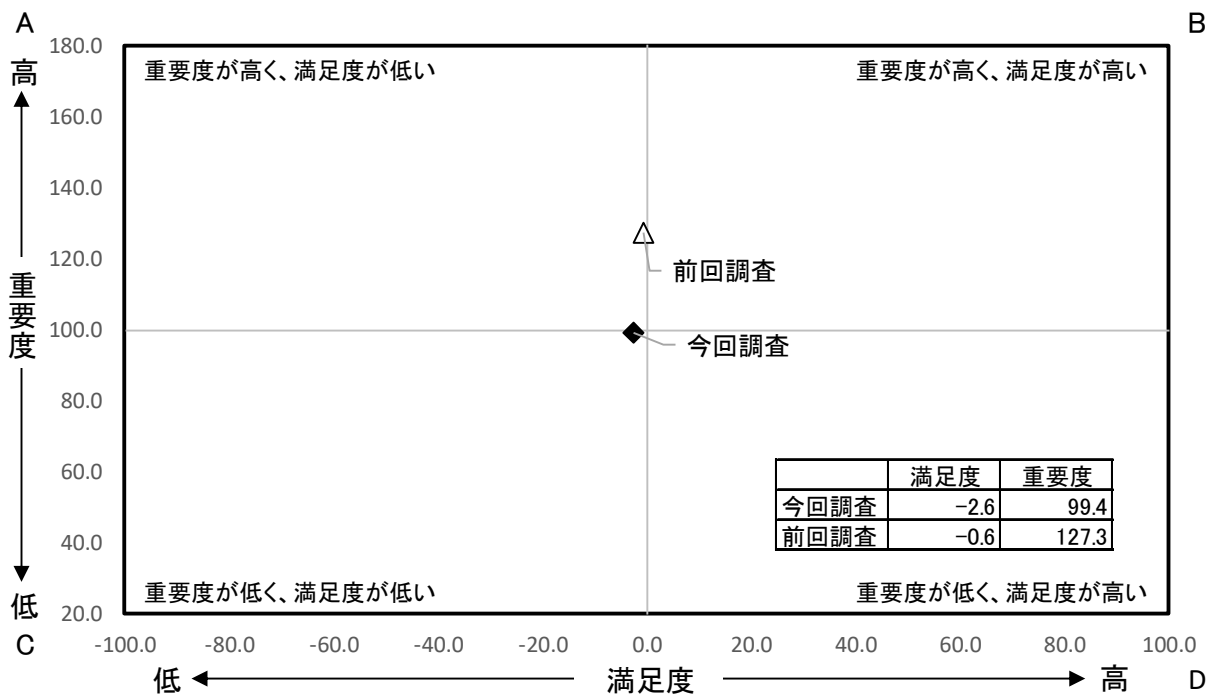
●満足度を居住期間別でみると、「10年以上20年未満」、「20年以上」で市全体平均より高くなっている。

●重要度を居住期間別でみると、「20年以上」で市全体平均より高くなっている。



《満足度と重要度の関係（前回調査との比較）》

●満足度と重要度の関係でみると、前回調査より満足度と重要度はともに低くなっている。



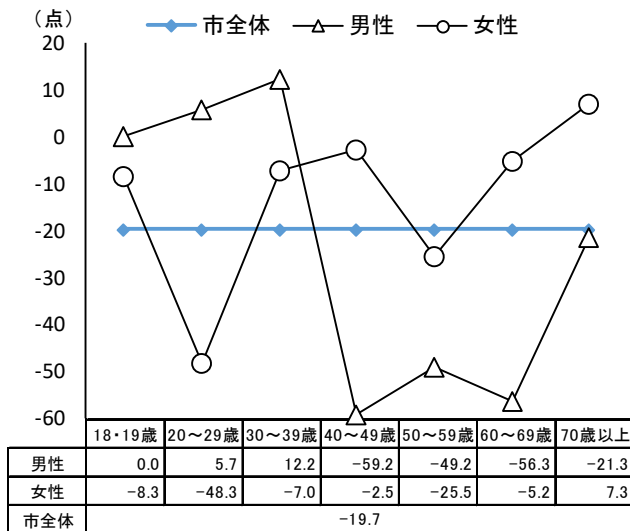
〔シティプロモーションの推進〕

(2) シティプロモーションの推進

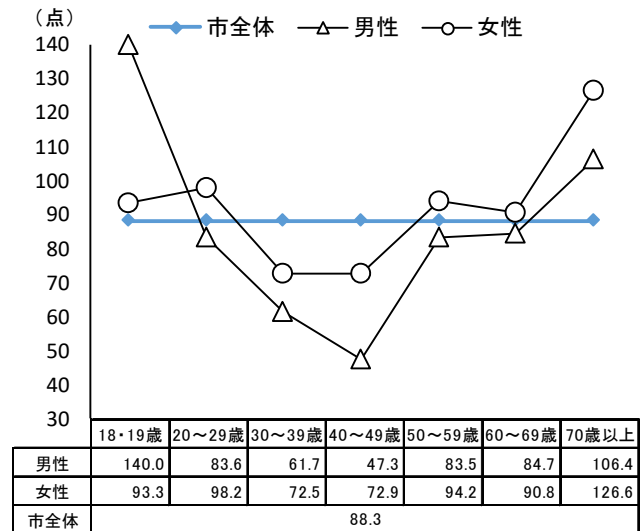
《性年代別》

- 満足度を性年代別でみると、18・19歳、30歳代の男女と、20歳代の男性、40歳代、60歳代、70歳以上の女性で市全体平均より高くなっている。
- 重要度を性年代別でみると、18・19歳、70歳以上の男女と、20歳代、50歳代、60歳代の女性で市全体平均より高くなっている。

【満足度】



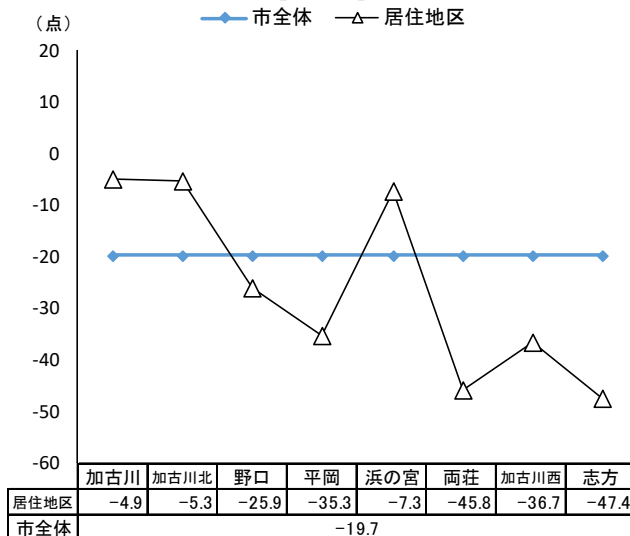
【重要度】



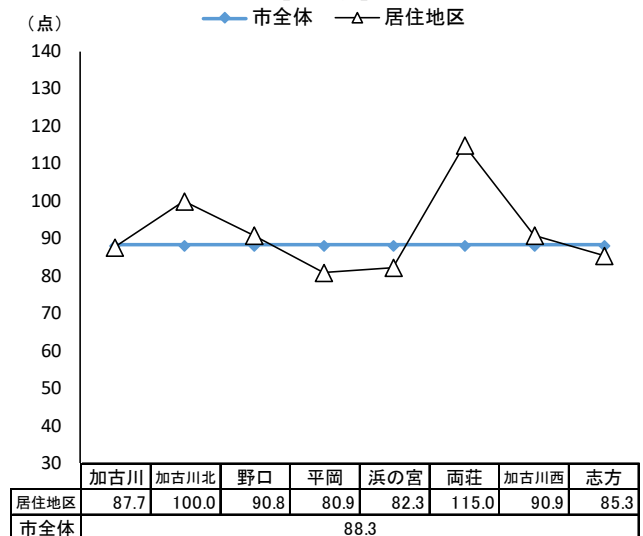
《居住地区別》

- 満足度を居住地区別でみると、加古川、加古川北、浜の宮で市全体平均より高くなっている。
- 重要度を居住地区別でみると、加古川北、野口、両荘、加古川西で市全体平均より高くなっている。

【満足度】



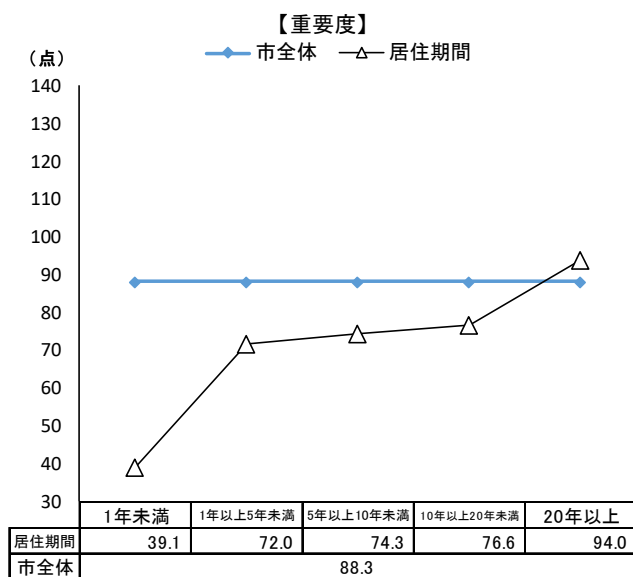
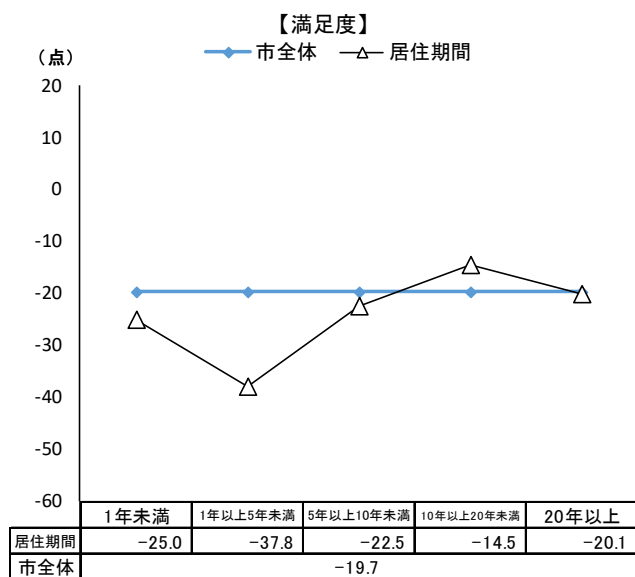
【重要度】



《居住期間別》

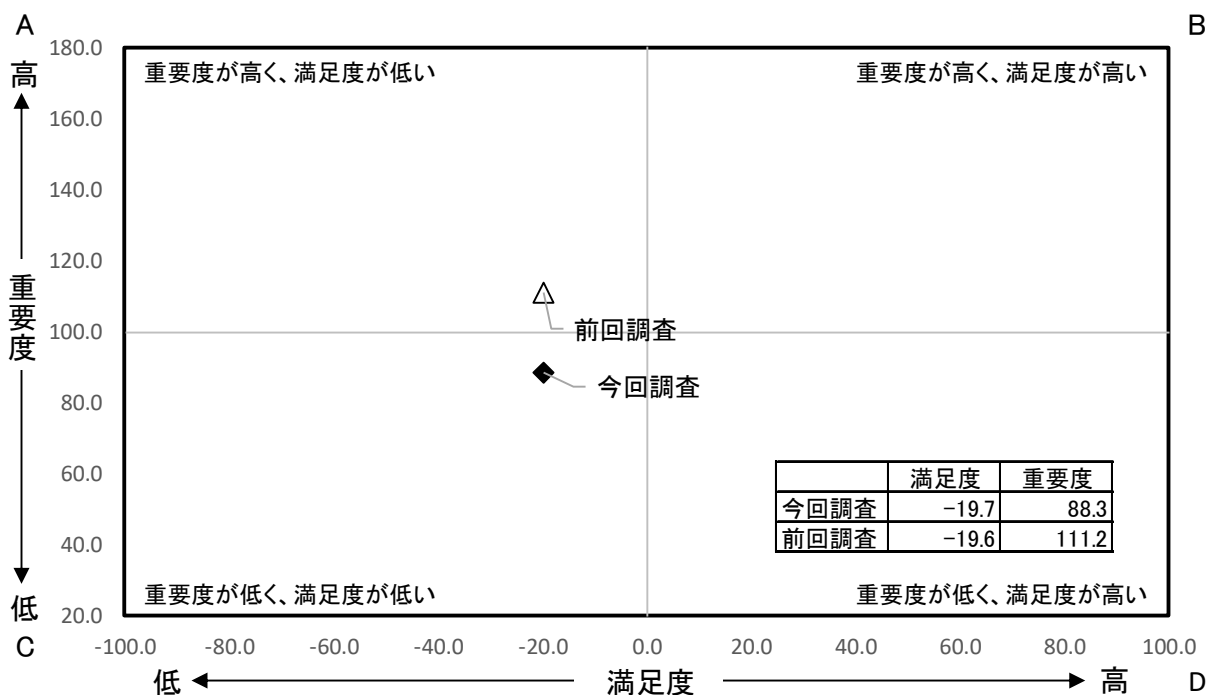
●満足度を居住期間別でみると、「10年以上20年未満」で市全体平均より高くなっている。

●重要度を居住期間別でみると、「20年以上」で市全体平均より高くなっている。



《満足度と重要度の関係（前回調査との比較）》

●満足度と重要度の関係でみると、前回調査より満足度と重要度はともに低くなっている。



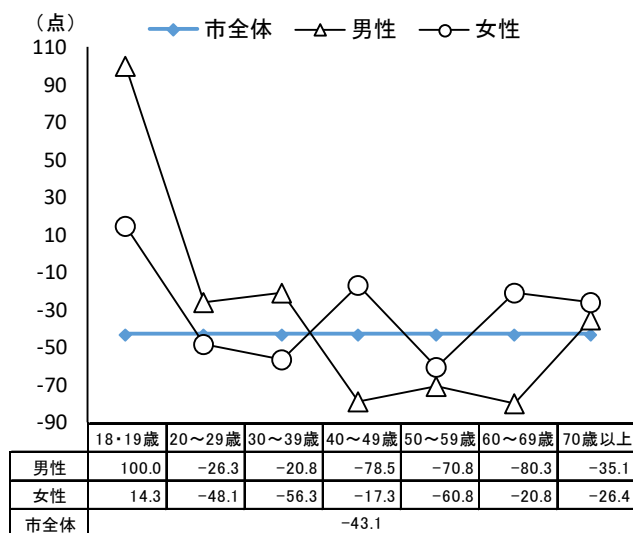
〔効果的・効率的な行財政運営〕

（３）行政の効率化

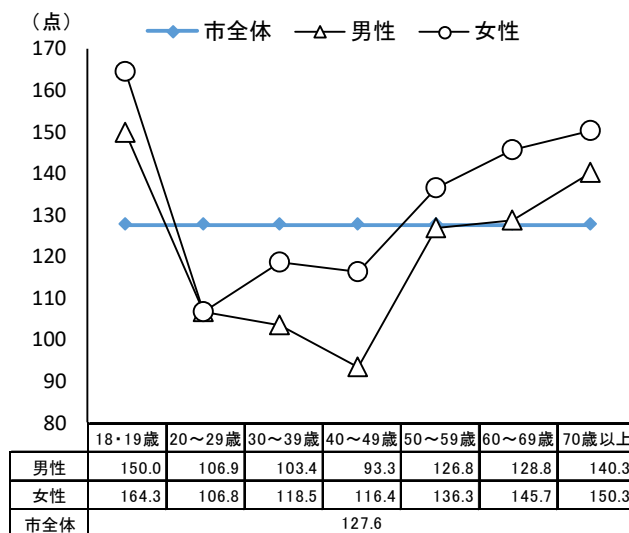
《性年代別》

- 満足度を性年代別でみると、18・19歳、70歳以上の男女と、20歳代、30歳代の男性、40歳代、60歳代の女性で市全体平均より高くなっている。
- 重要度を性年代別でみると、18・19歳、60歳代、70歳以上の男女と、50歳代の女性で市全体平均より高くなっている。

【満足度】



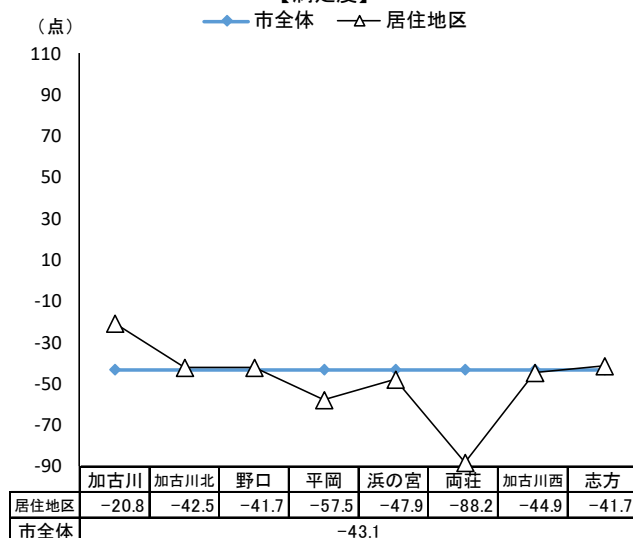
【重要度】



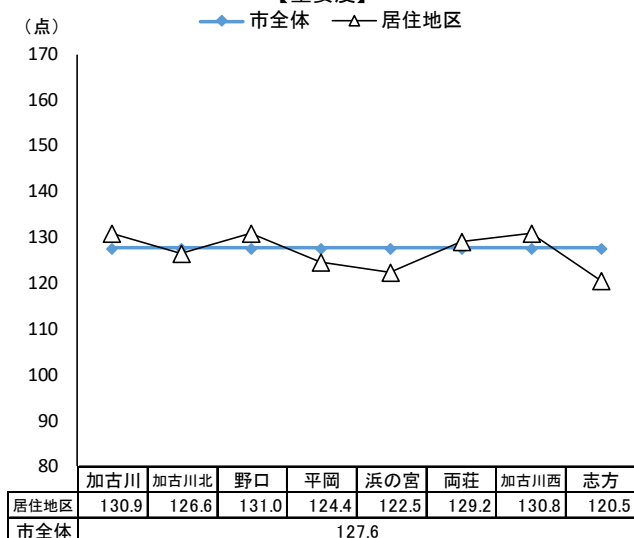
《居住地区別》

- 満足度を居住地区別でみると、加古川、加古川北、野口、志方で市全体平均より高くなっている。
- 重要度を居住地区別でみると、加古川、野口、両荘、加古川西で市全体平均より高くなっている。

【満足度】

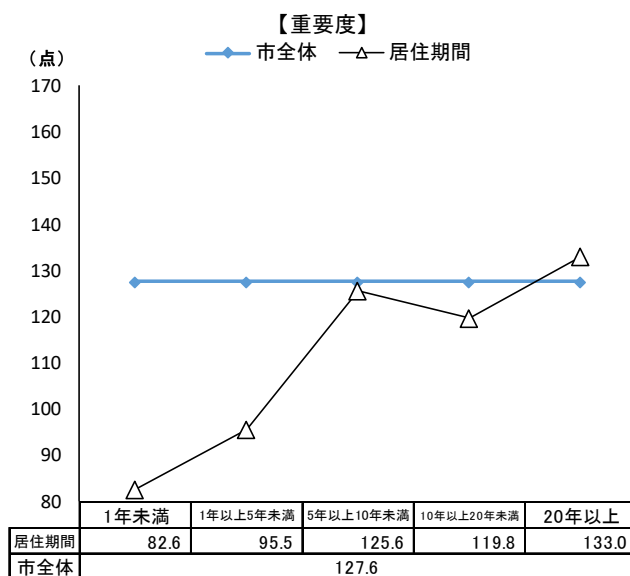
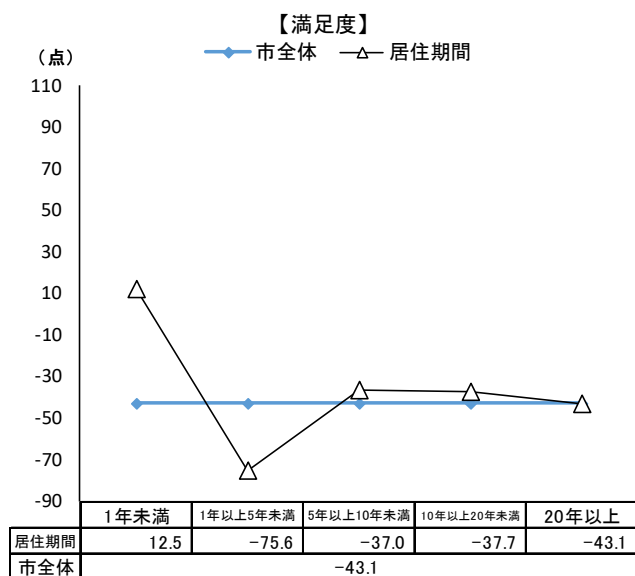


【重要度】



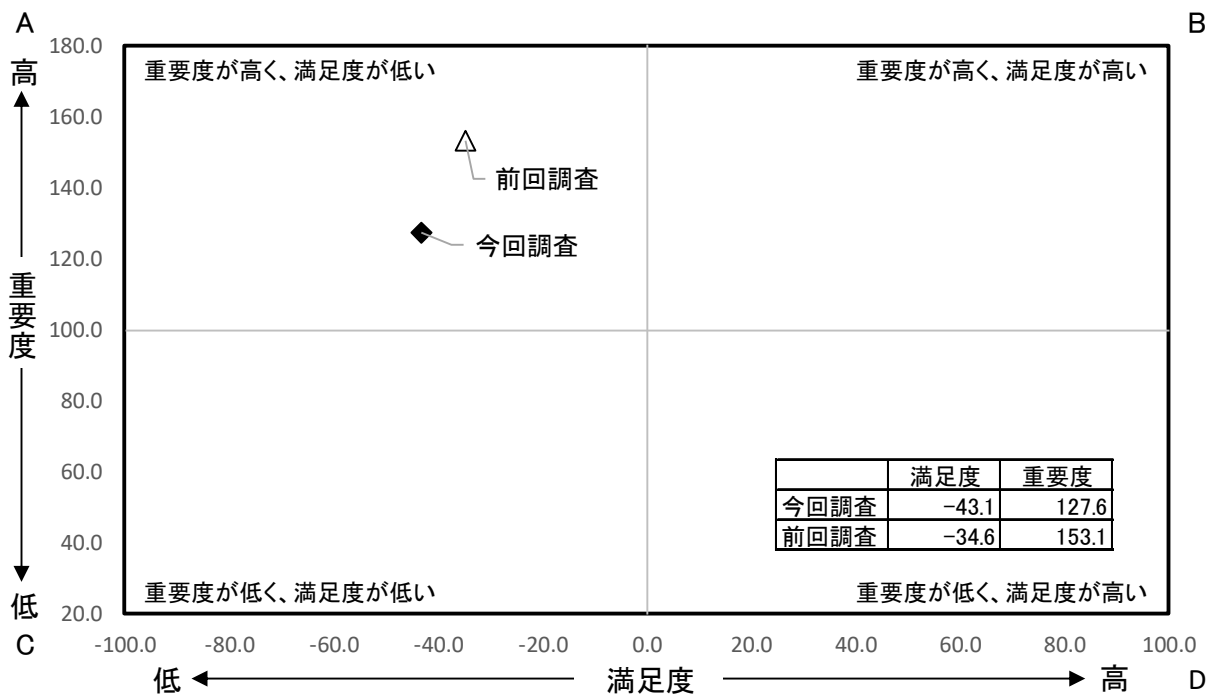
《居住期間別》

- 満足度を居住期間別でみると、「1年未満」、「5年以上10年未満」、「10年以上20年未満」で市全体平均より高くなっている。
- 重要度を居住期間別でみると、「20年以上」で市全体平均より高くなっている。



《満足度と重要度の関係（前回調査との比較）》

- 満足度と重要度の関係でみると、前回調査より満足度と重要度はともに低くなっている。



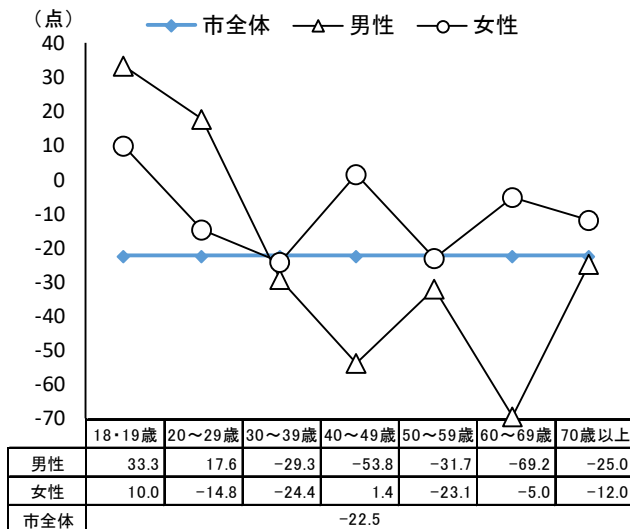
〔広域的なまちづくりの推進〕

（４）近隣都市との広域的な連携

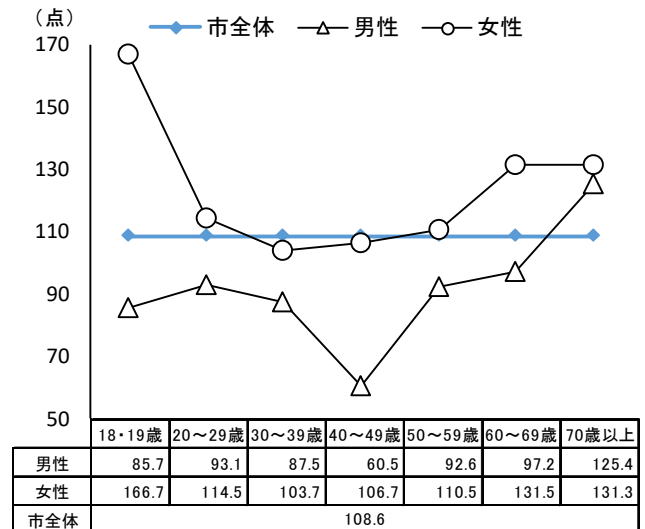
《性年代別》

- 満足度を性年代別でみると、18・19歳、20歳代の男女と、40歳代、60歳代、70歳以上の女性で市全体平均より高くなっている。
- 重要度を性年代別でみると、70歳以上の男女と、18・19歳、20歳代、50歳代、60歳代の女性で市全体平均より高くなっている。

【満足度】



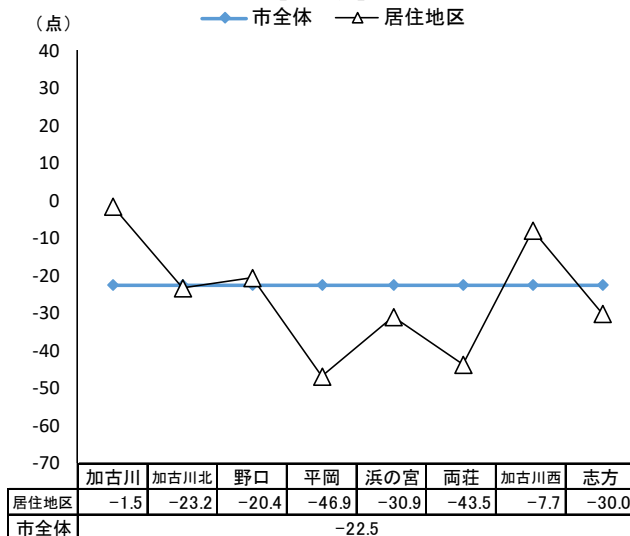
【重要度】



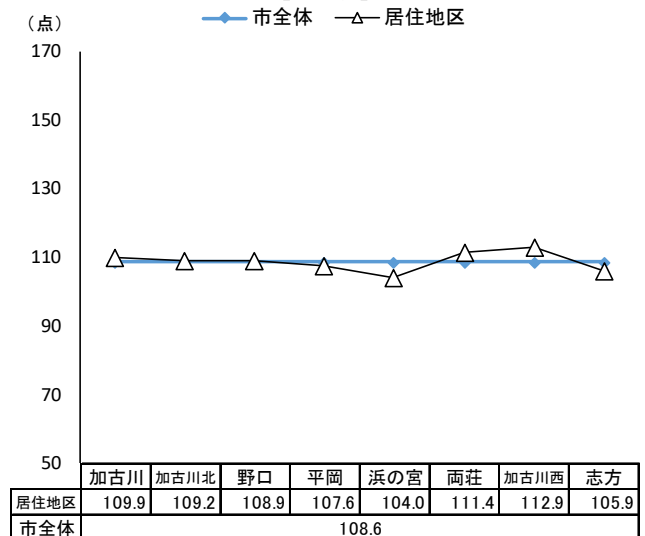
《居住地区別》

- 満足度を居住地区別でみると、加古川、野口、加古川西で市全体平均より高くなっている。
- 重要度を居住地区別でみると、加古川、加古川北、野口、両荘、加古川西で市全体平均より高くなっている。

【満足度】

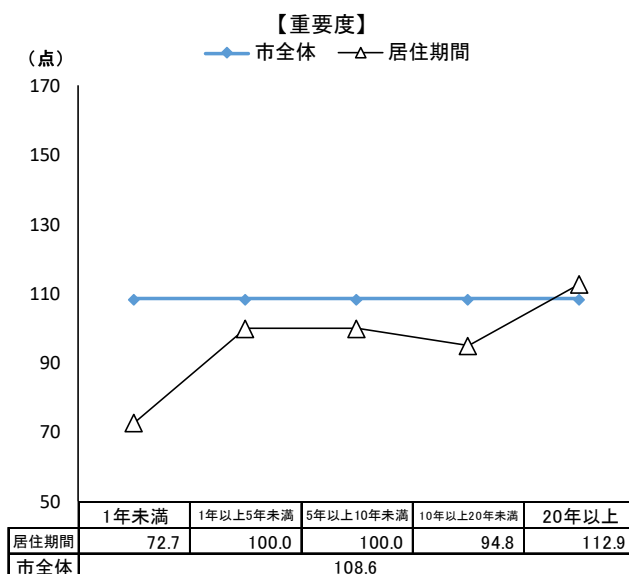
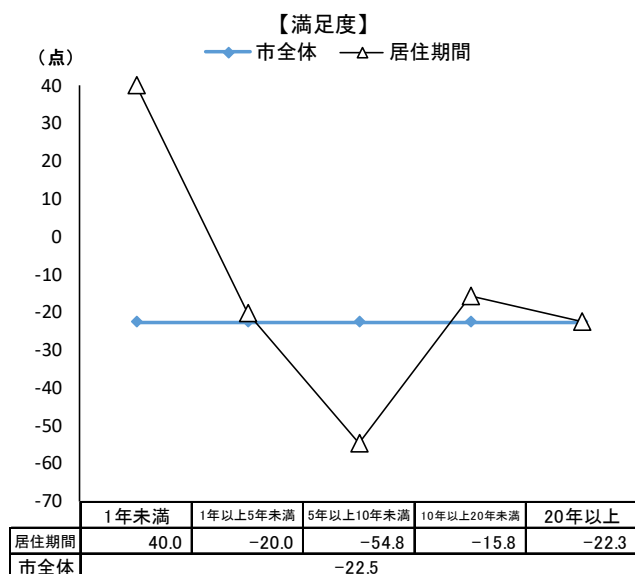


【重要度】



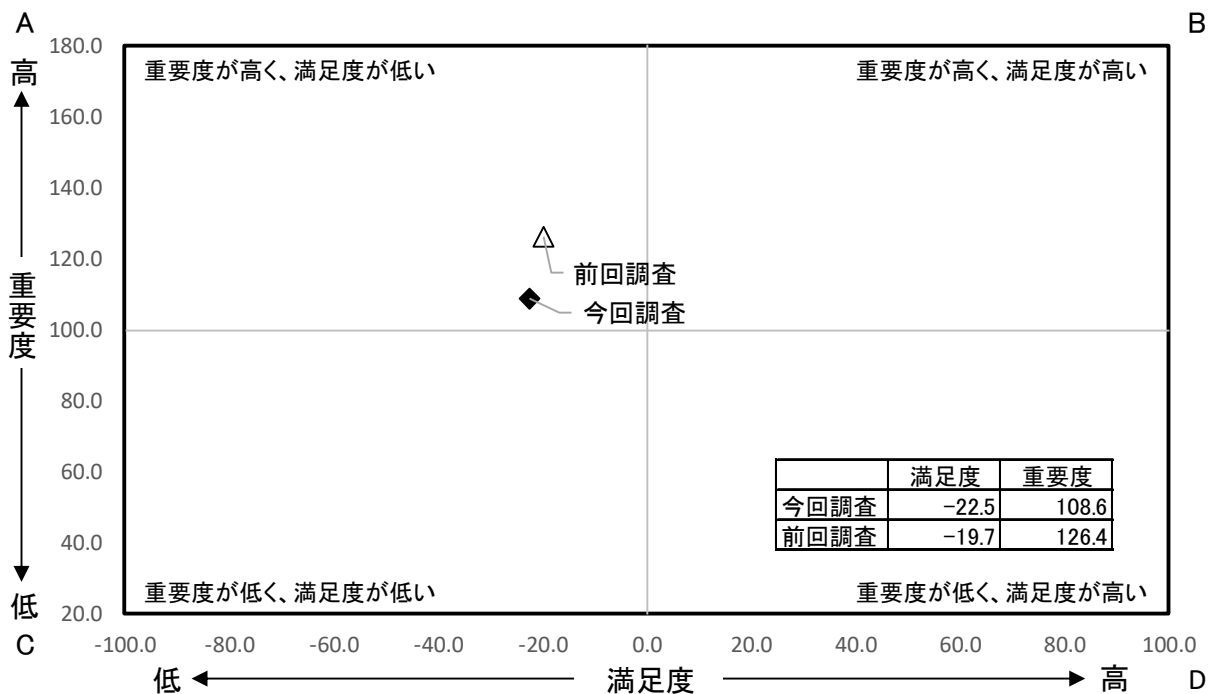
《居住期間別》

- 満足度を居住期間別でみると、「1年未満」「1年以上5年未満」、「10年以上20年未満」、「20年以上」で市全体平均より高くなっている。
- 重要度を居住期間別でみると、「20年以上」で市全体平均より高くなっている。

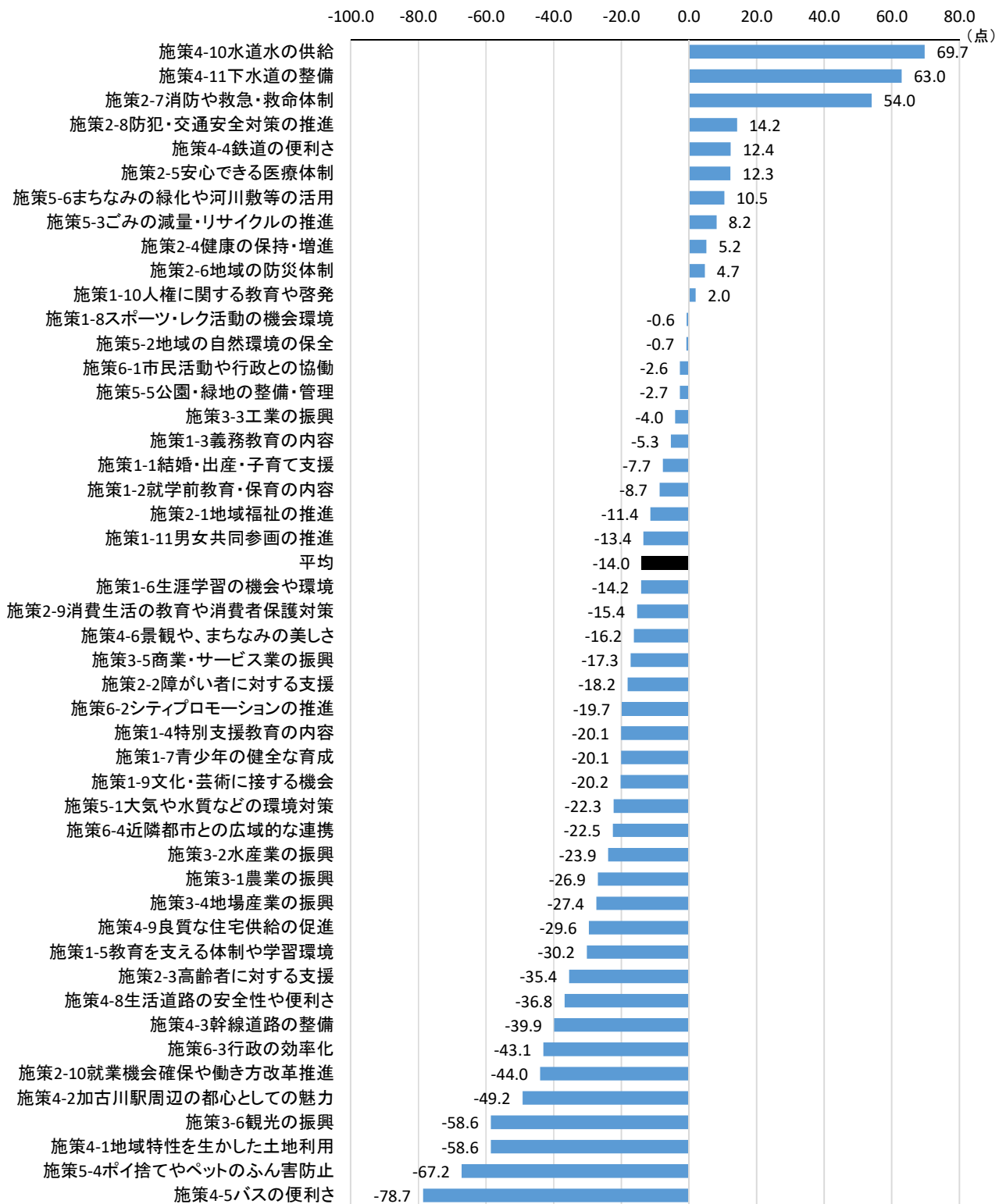


《満足度と重要度の関係（前回調査との比較）》

- 満足度と重要度の関係でみると、前回調査より満足度と重要度はともに低くなっている。

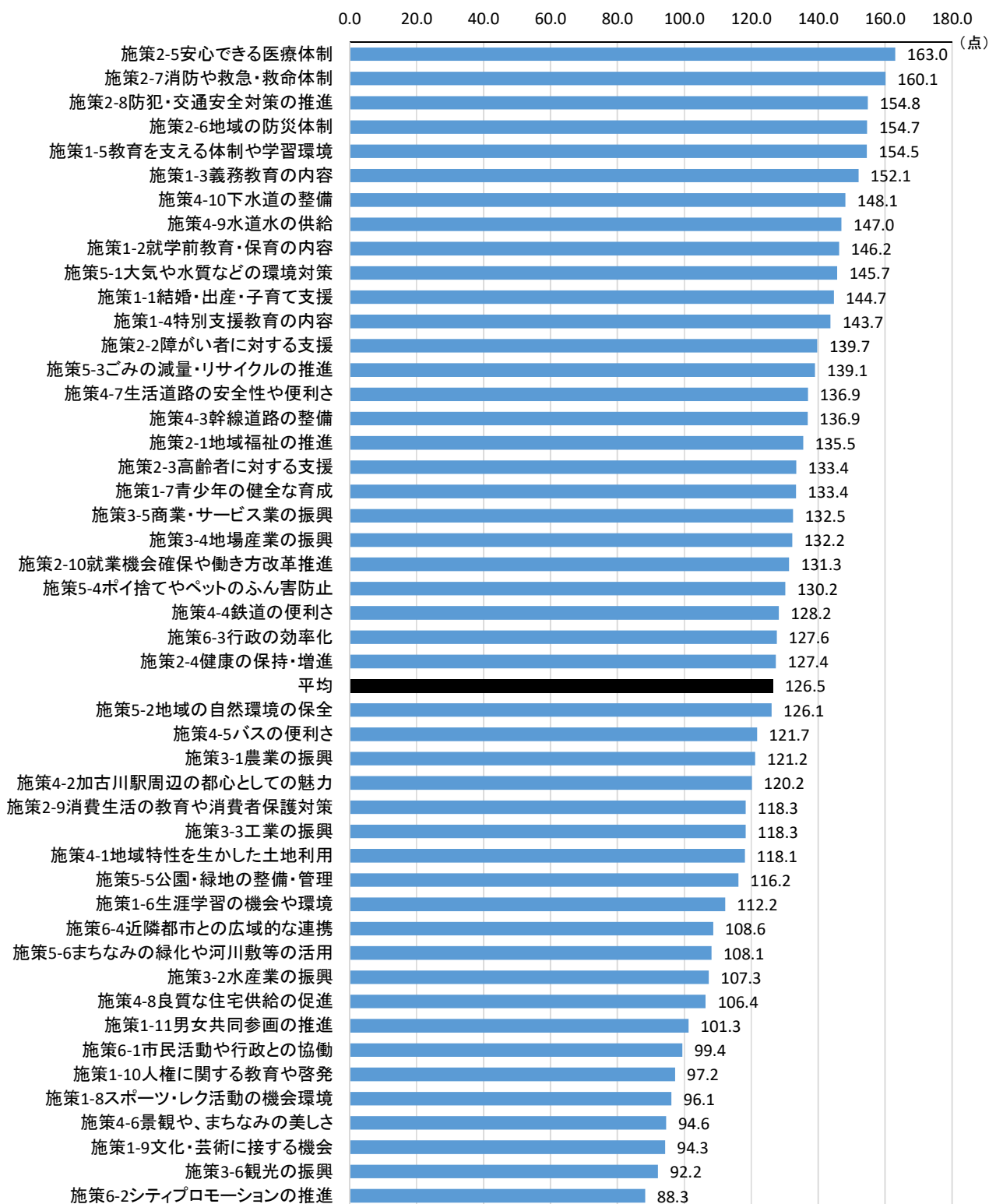


【参考】満足度スコアの一覧



※上記の「平均」は算出したスコアの平均を示したもの

【参考】重要度スコアの一覧



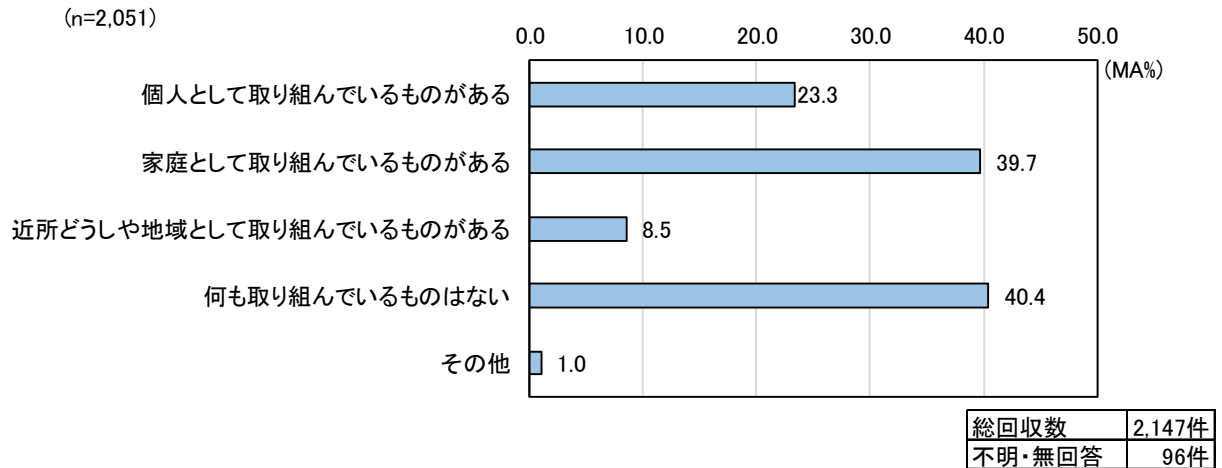
※上記の「平均」は算出したスコアの平均を示したもの

5. 「防災」及び「防犯」対策への取組について

(1) 「防災」対策として取り組んでいること

問14 「防災」対策として、あなたご自身やご家庭、地域で取り組んでいるものがありますか
(あてはまるものすべてに○)

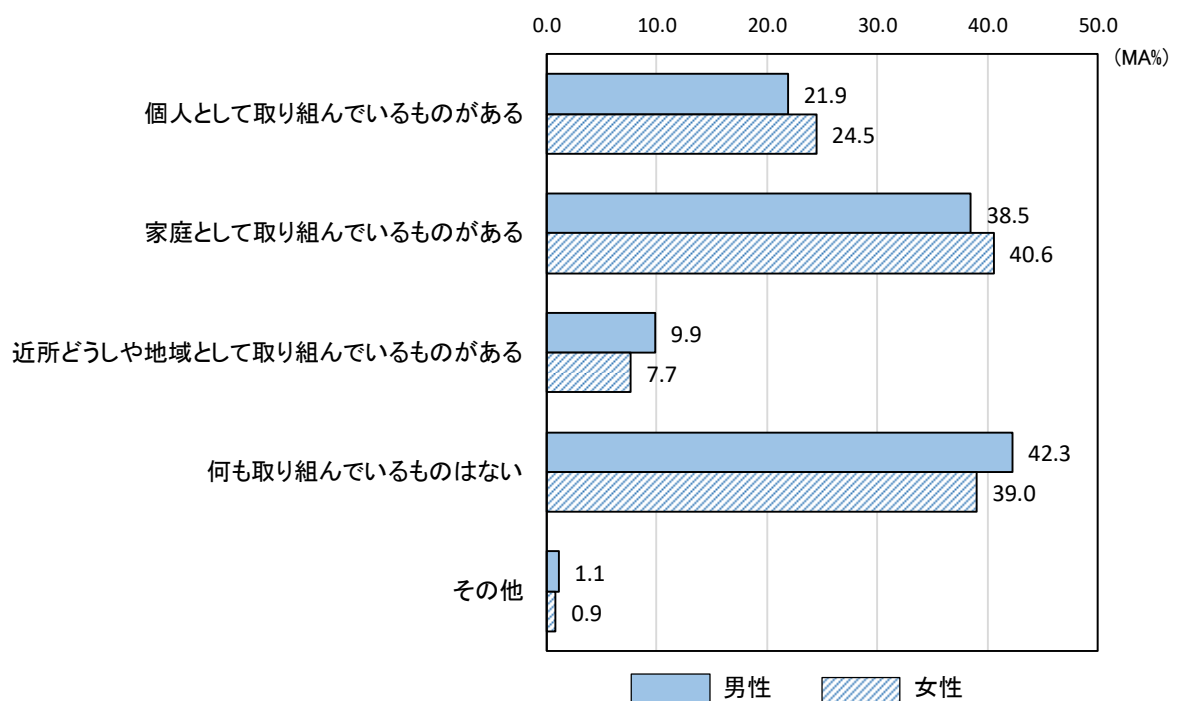
【図5-1 「防災」対策として取り組んでいること】



● 「防災」対策として取り組んでいることについては、「何も取り組んでいるものはない」が40.4%と最も高く、次いで、「家庭として取り組んでいるものがある」が39.7%、「個人として取り組んでいるものがある」が22.3%となっている。(図5-1)

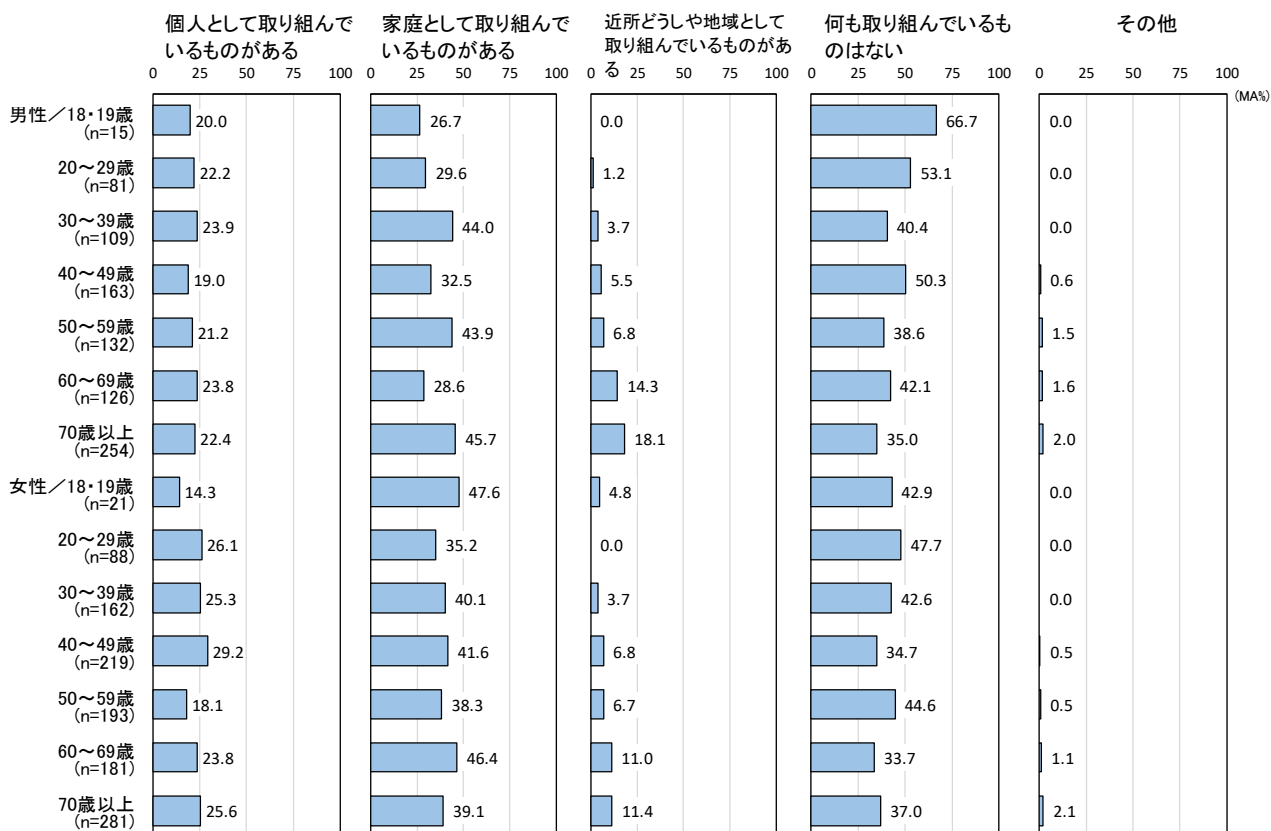
● 性別でみると、男性では「何も取り組んでいるものはない」が42.3%、女性では「家庭として取り組んでいるものがある」が40.6%で、それぞれ最も高くなっている。(図5-1-1)

【図5-1-1 性別 「防災」対策として取り組んでいること】



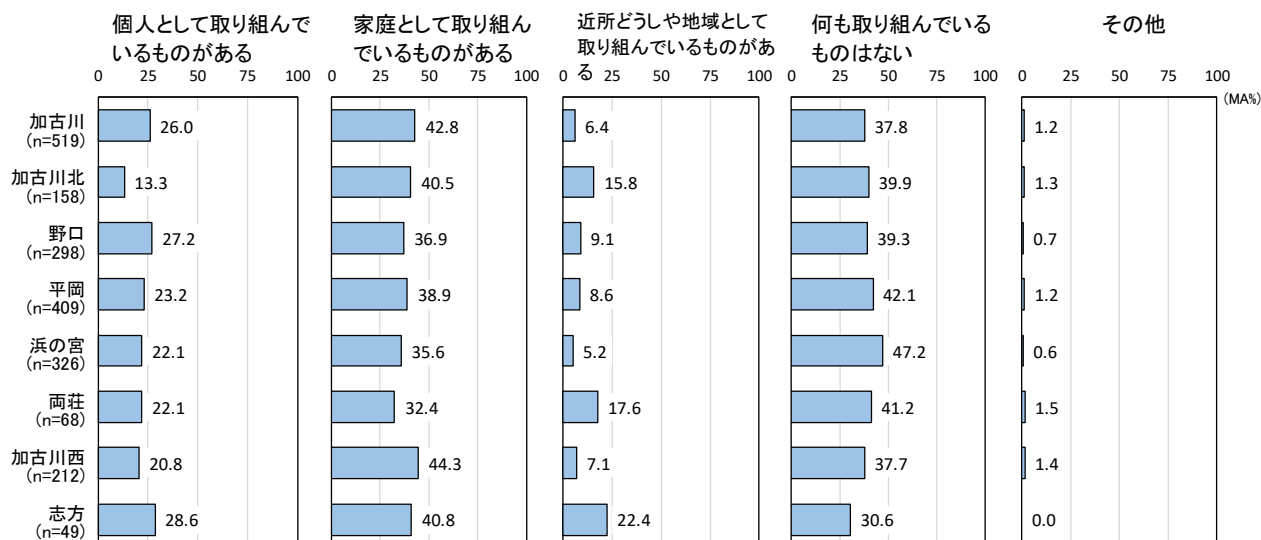
- 性年代別でみると、最も回答の多い「何も取り組んでいるものはない」は、「男性18・19歳」(66.7%)、「男性20～29歳」(53.1%)、「男性40～49歳」(50.3%) で高くなっている。(図5-1-2)

【図5-1-2 性年代別 「防災」対策として取り組んでいること】



- 居住地区別でみると、最も回答の多い「何も取り組んでいるものはない」は、「浜の宮」(47.2%)、「平岡」(42.1%)、「両荘」(41.2%) で高くなっている。(図5-1-3)

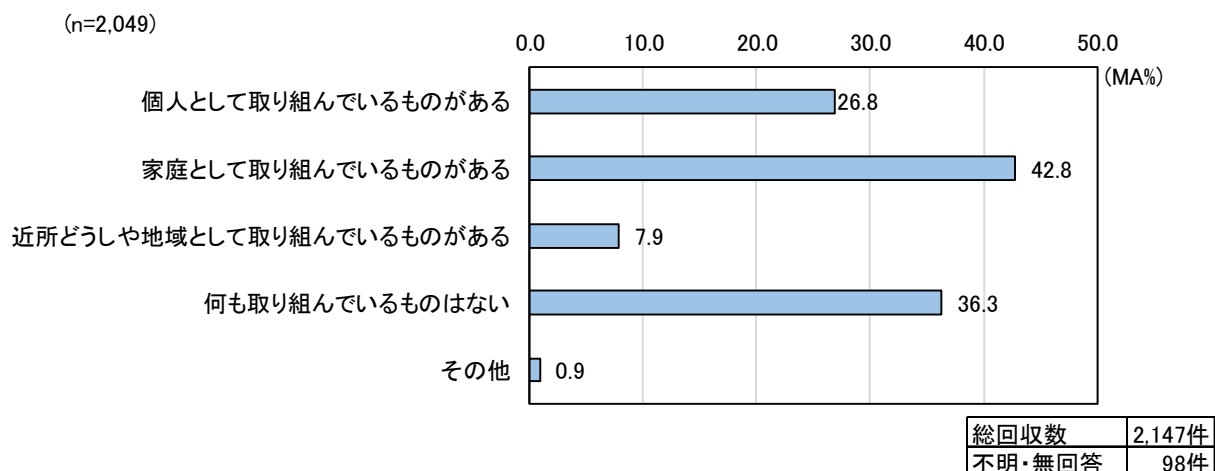
【図5-1-3 居住地区別 「防災」対策として取り組んでいること】



(2)「防犯」対策として取り組んでいること

問15 「防犯」対策として、あなたご自身やご家庭、地域で取り組んでいるものがありますか
(あてはまるものすべてに○)

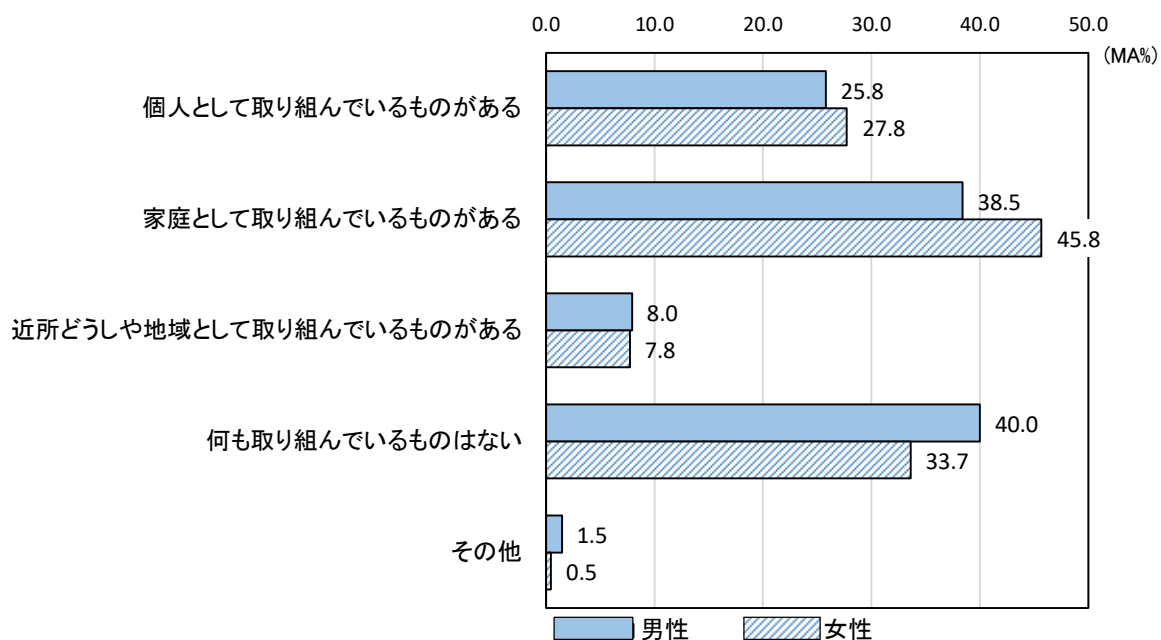
【図5-2 「防犯」対策として取り組んでいること】



●「防犯」対策として取り組んでいることについては、「家庭として取り組んでいるものがある」が42.8%と最も高く、次いで、「何も取り組んでいるものはない」が36.3%、「個人として取り組んでいるものがある」が26.8%となっている。(図5-2)

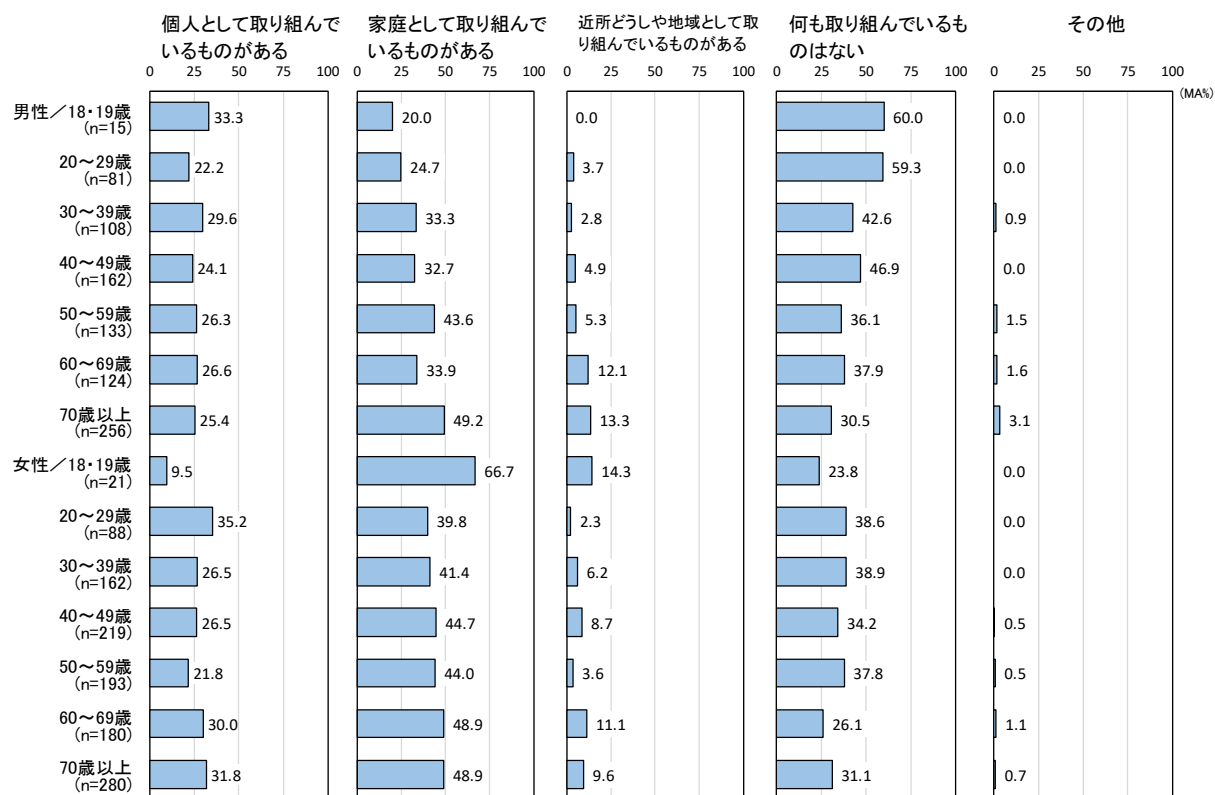
●性別でみると、男性では「何も取り組んでいるものはない」が40.0%、女性では「家庭として取り組んでいるものがある」が45.8%で、それぞれ最も高くなっている。(図5-2-1)

【図5-2-1 性別 「防犯」対策として取り組んでいること】



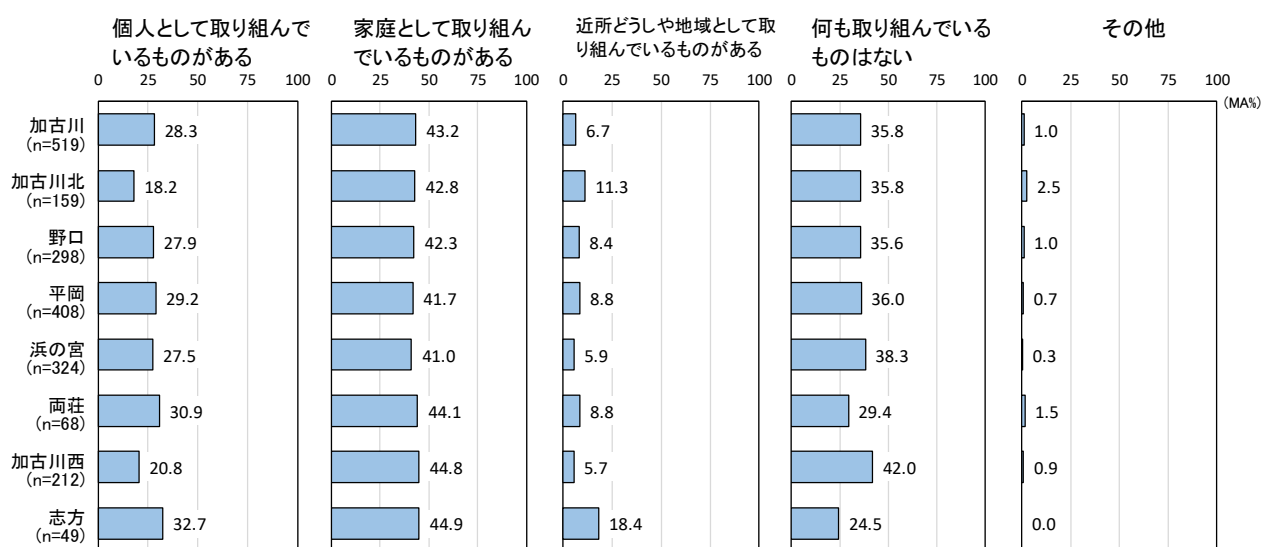
- 性年代別でみると、最も回答の多い「家庭として取り組んでいるものがある」は、「女性18・19歳」(66.7%)、「男性70歳以上」(49.2%)、「女性60～69歳」(48.9%)、「女性70歳以上」(48.9%)で高くなっている。(図5-2-2)

【図5-2-2 性年代別 「防災」対策として取り組んでいること】



- 居住地区別でみると、最も回答の多い「家庭として取り組んでいるものがある」は、「志方」(44.9%)、「加古川西」(44.8%)、「両荘」(44.1%)で高くなっている。(図5-2-3)

【図5-2-3 居住地区別 「防災」対策として取り組んでいること】

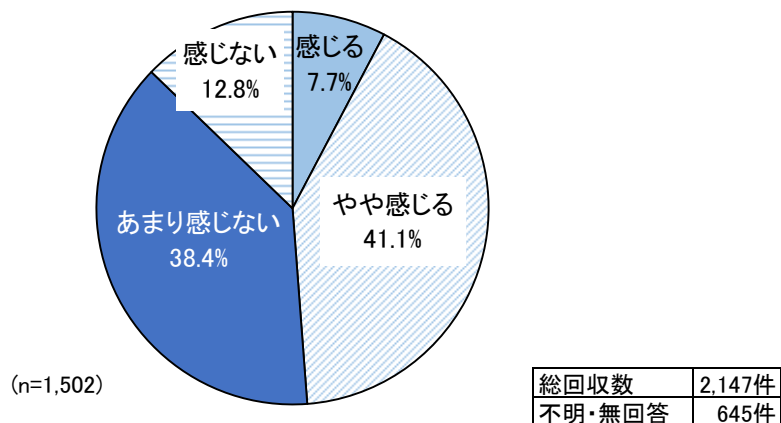


6. 子育てと仕事に関することについて

(1) 加古川市が子育てしやすいまちだと感じるか

問16 あなたは、加古川市が子育てしやすいまちだと感じますか（○は1つ）

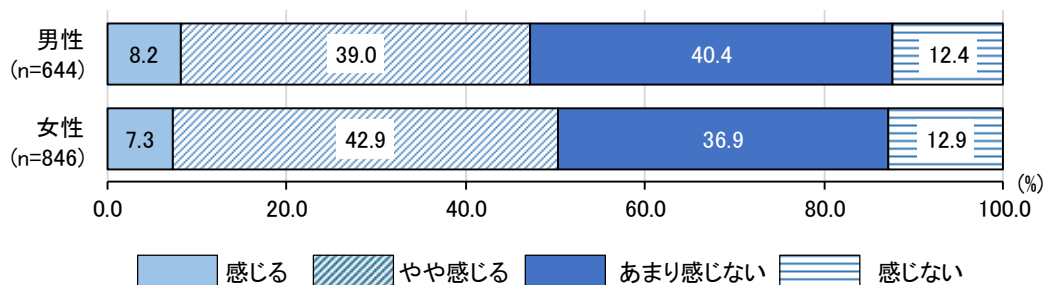
【図6-1 加古川市が子育てしやすいまちだと感じるか】



●加古川市が子育てしやすいまちだと感じるかについては、「感じる」と「やや感じる」を合わせた『感じる』が48.8%、「感じない」と「あまり感じない」を合わせた『感じない』が51.2%となっている。（図6-1）

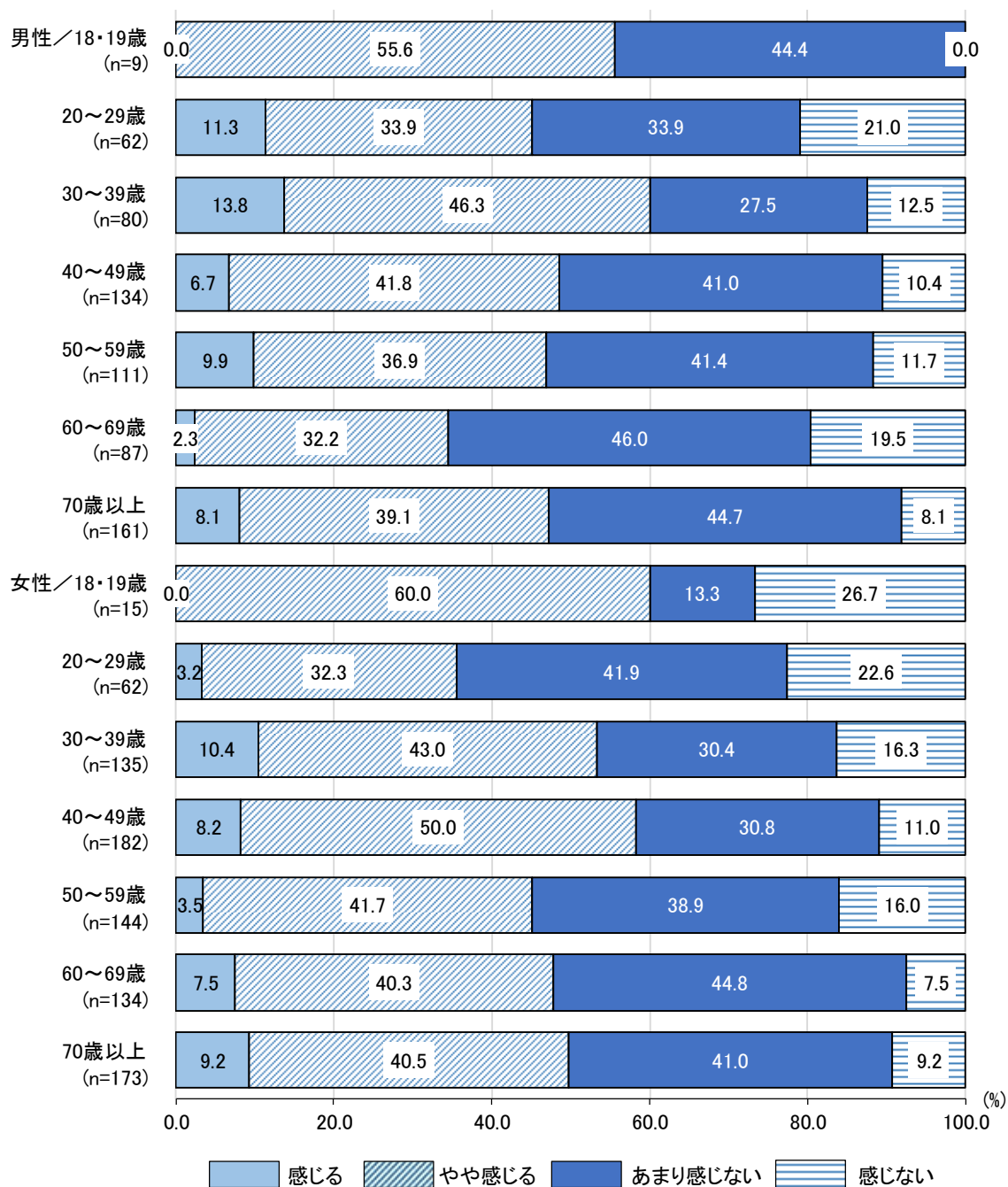
●性別でみると、男性では『感じない』が52.8%、女性では『感じる』が50.2%で、それぞれ高くなっている。（図6-1-1）

【図6-1-1 性別 加古川市が子育てしやすいまちだと感じるか】



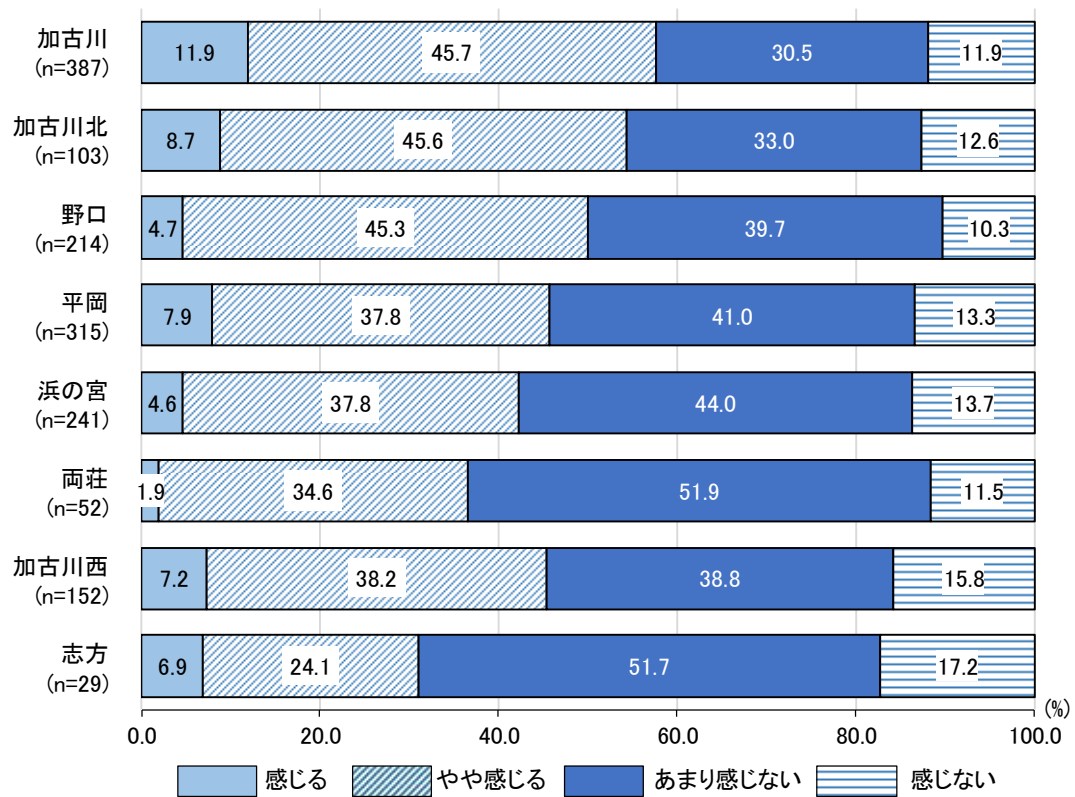
●性年代別でみると、『感じない』は、「男性60～69歳」(65.5%)、「女性20～29歳」(64.5%)、「男性20～29歳」(54.9%)、「女性50～59歳」(54.9%)で高くなっている。(図6-1-2)

【図6-1-2 性年代別 加古川市が子育てしやすいまちだと感じるか】



- 居住地区別でみると、『感じない』は、「志方」(68.9%)、「両荘」(63.4%)、「浜の宮」(57.7%)で高くなっている。(図6-1-3)

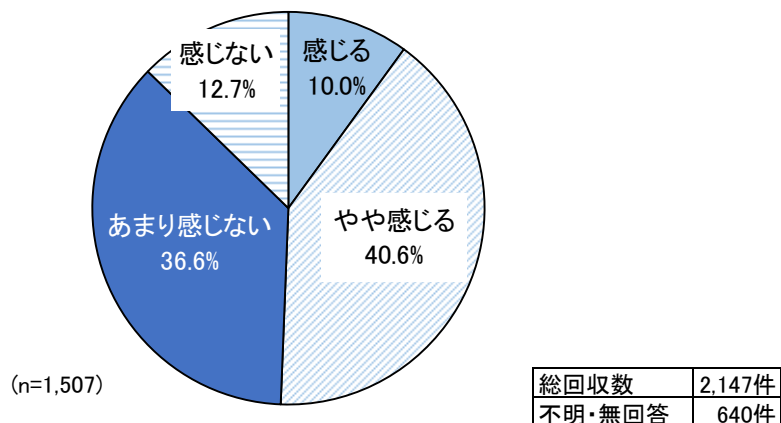
【図6-1-3 居住地区別 加古川市が子育てしやすいまちだと感じるか】



(2) 子育てと仕事の両立についての理解

問17 子育てと仕事の両立について、あなたの周りでは理解が進んでいると感じますか（○は1つ）

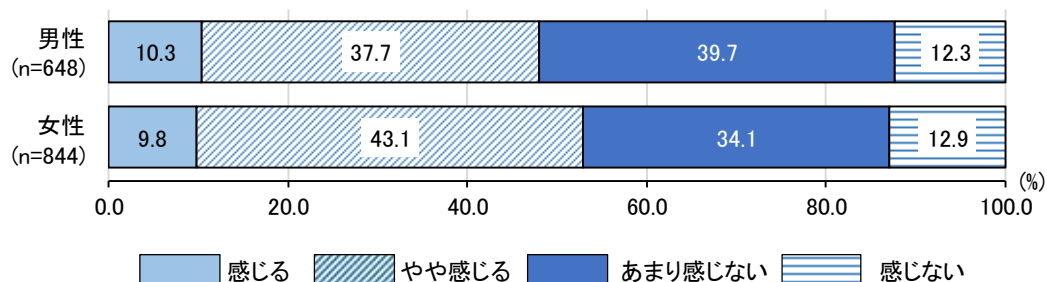
【図6-2 子育てと仕事の両立についての理解】



●子育てと仕事の両立について理解が進んでいると思うかについては、「感じる」と「やや感じる」を合わせた『感じる』が50.6%、「感じない」と「あまり感じない」を合わせた『感じない』が49.3%となっている。（図6-2）

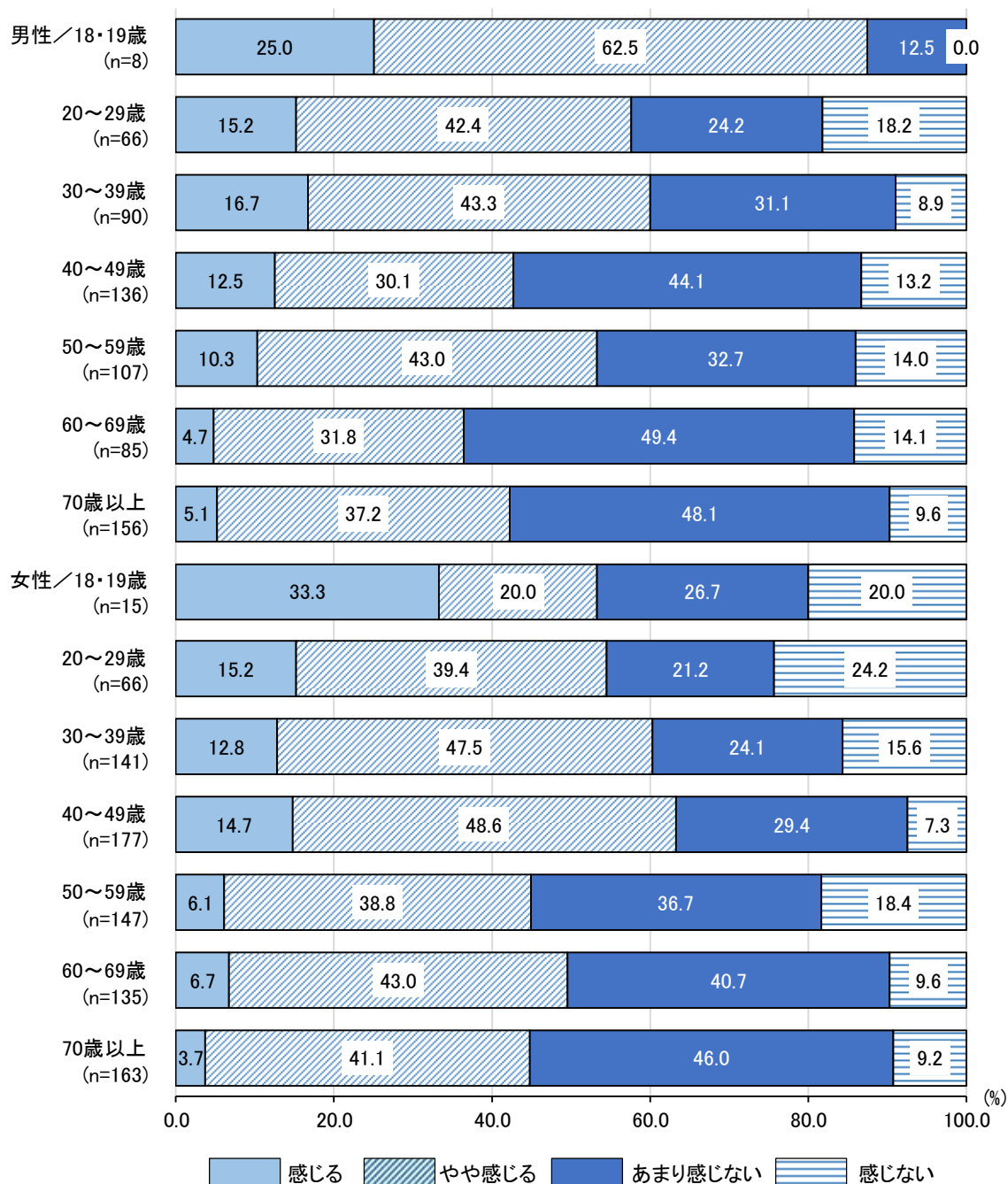
●性別でみると、男性では『感じない』が52.0%、女性では『感じる』が52.9%で、それぞれ高くなっている。（図6-2-1）

【図6-2-1 性別 子育てと仕事の両立についての理解】



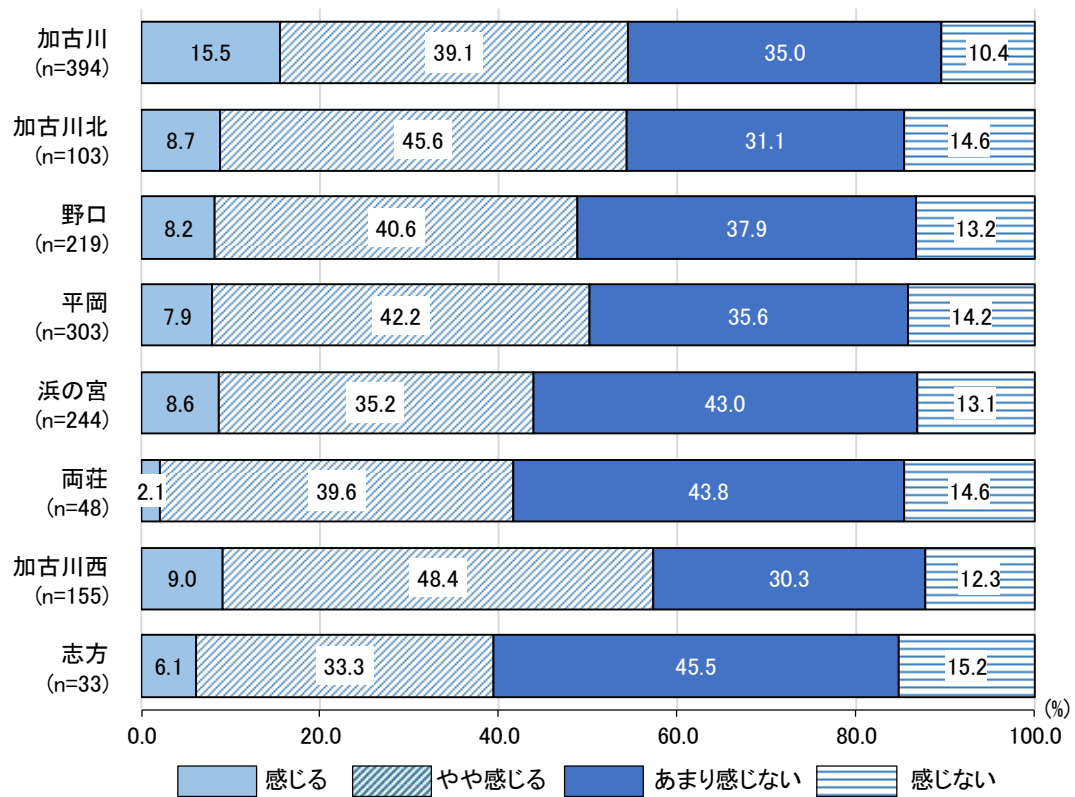
●性年代別でみると、『感じる』は、「男性18・19歳」(87.5%)、「女性40～49歳」(63.3%)、「女性30～39歳」(60.3%) で高くなっている。(図6-2-2)

【図6-2-2 性年代別 子育てと仕事の両立についての理解】



- 居住地区別でみると、『感じる』は、「加古川西」(57.4%)、「加古川」(54.6%)、「加古川北」(54.3%) で高くなっている。(図6-2-3)

【図6-2-3 居住地区別 子育てと仕事の両立についての理解】



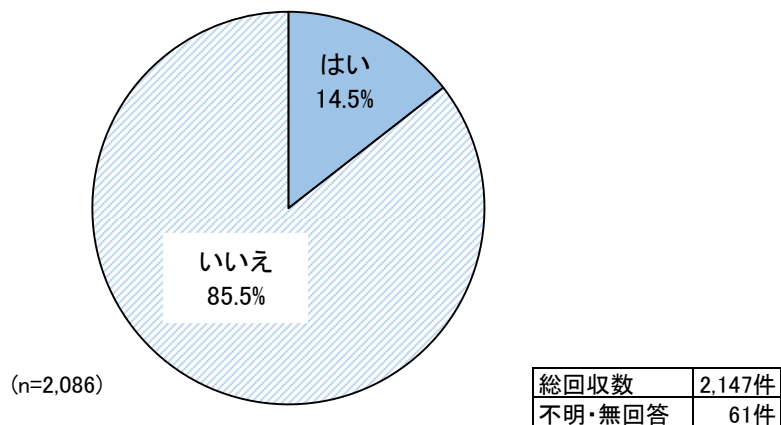
7. 協働のまちづくりについて

(1) 市民活動の参加状況

問18 あなたは、市民活動（※）に参加していますか。（○は1つ）

※市民活動とは、ボランティアやNPO活動など、営利を目的とせず、多くの人にとって役に立つこと・ためになることを行う活動です。

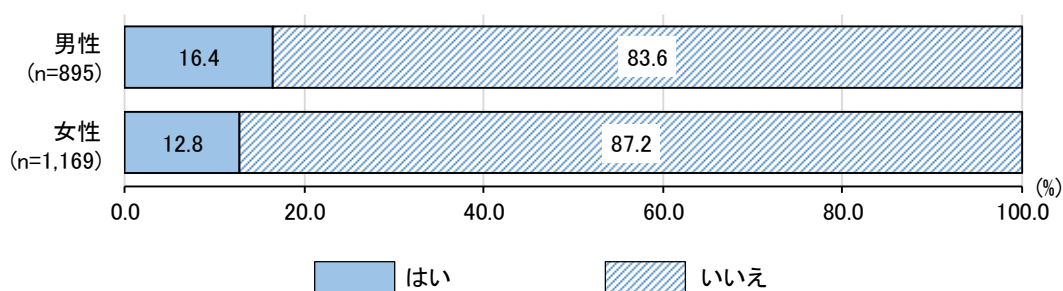
【図7-1 市民活動の参加状況】



●市民活動の参加状況については、「はい」（参加している）が14.5%、「いいえ」（参加していない）が85.5%となっている。（図7-1）

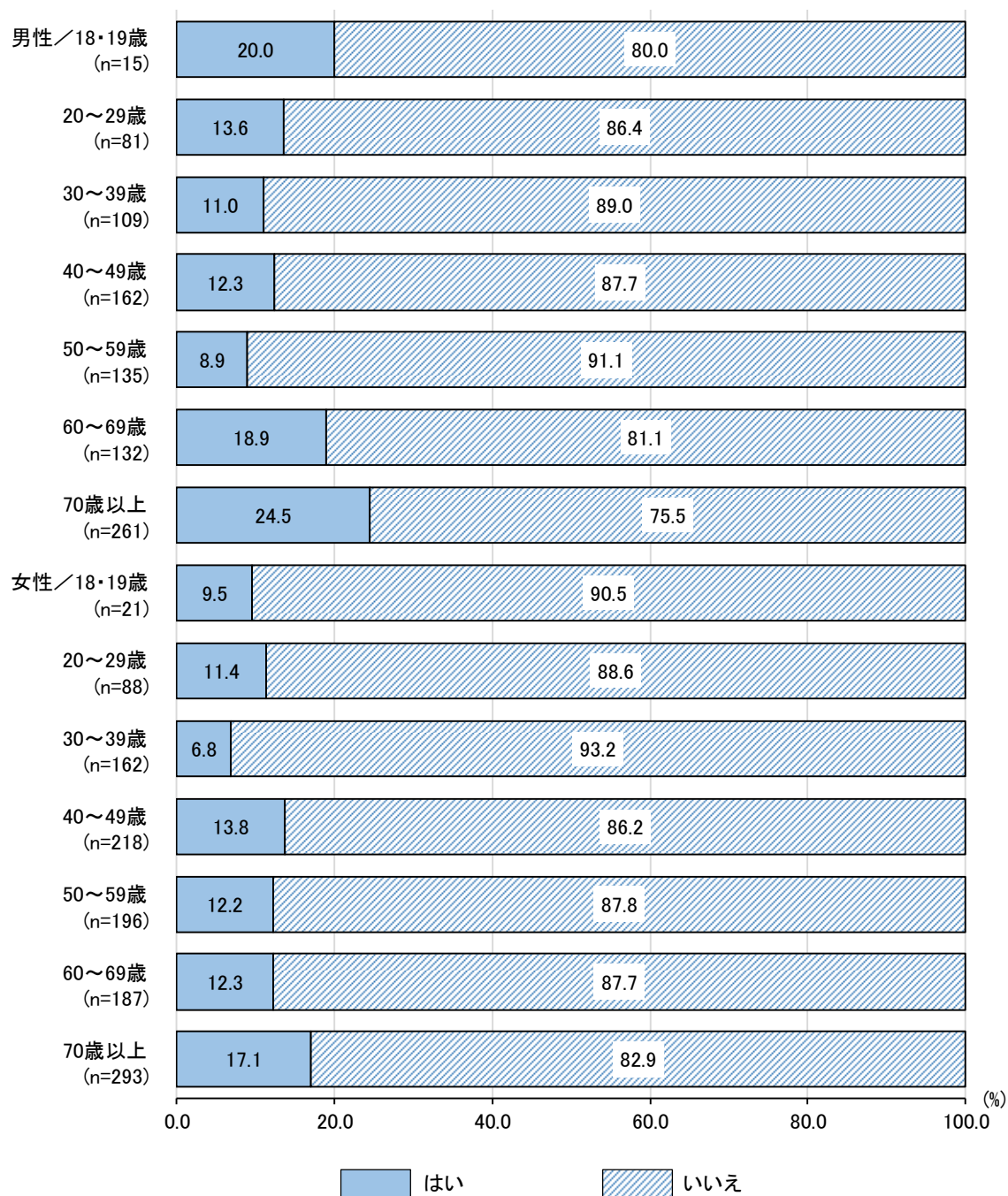
●性別でみると、男女ともに「いいえ」が高く、男性では83.6%、女性では87.2%となっている。（図7-1-1）

【図7-1-1 性別 市民活動の参加状況】



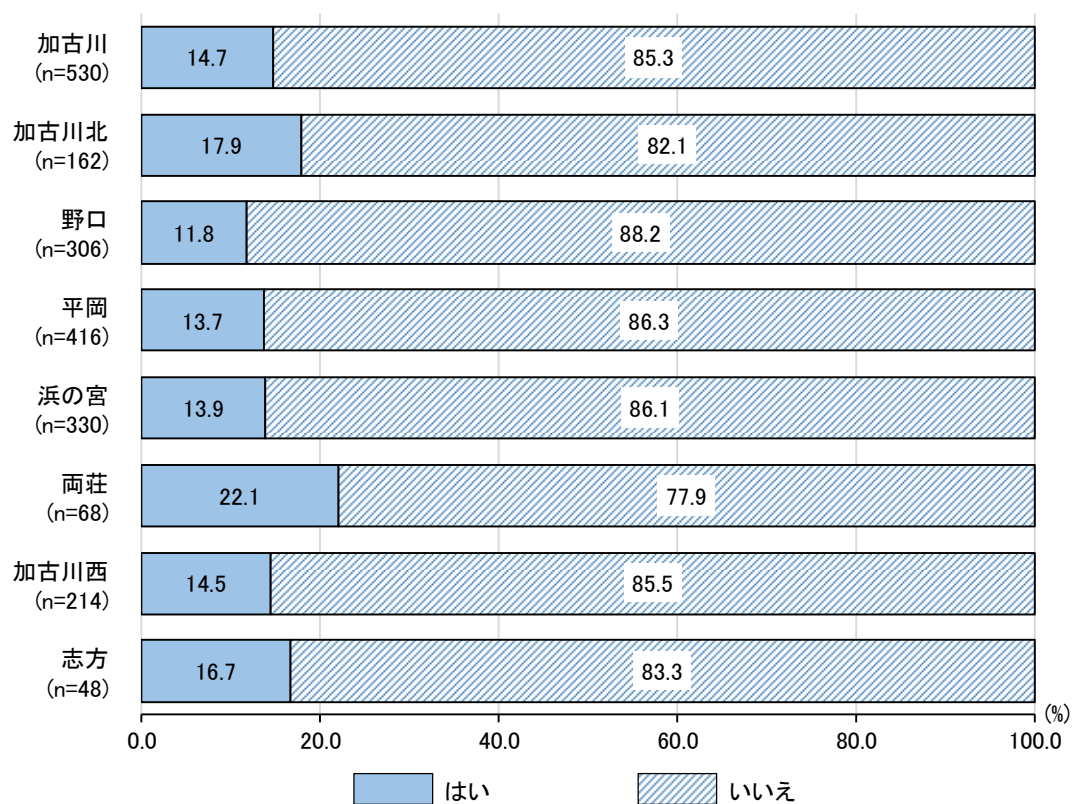
●性年代別でみると、「いいえ」は、「女性30～39歳」(93.2%)、「男性50～59歳」(91.1%)、「女性18・19歳」(90.5%)で高くなっている。(図7-1-2)

【図7-1-2 性年代別 市民活動の参加状況】



- 居住地区別でみると、「いいえ」は、「野口」（88.2%）、「平岡」（86.3%）、「浜の宮」（86.1%）で高くなっている。（図7-1-3）

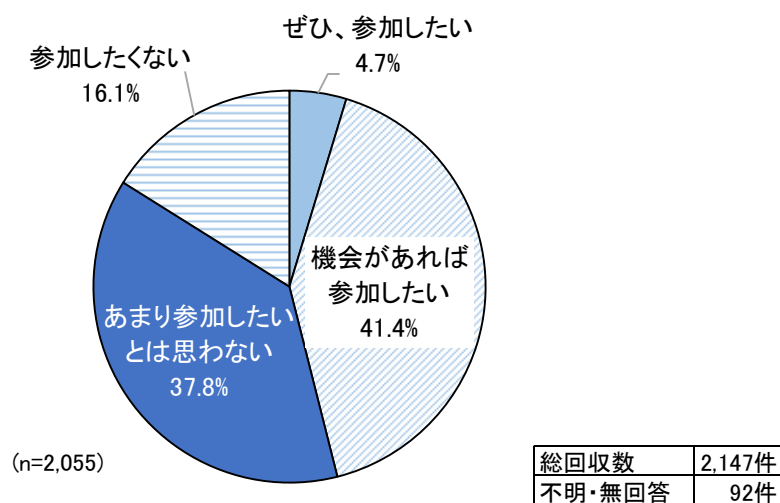
【図7-1-3 居住地区別 市民活動の参加状況】



(2) 市民活動への参加意向

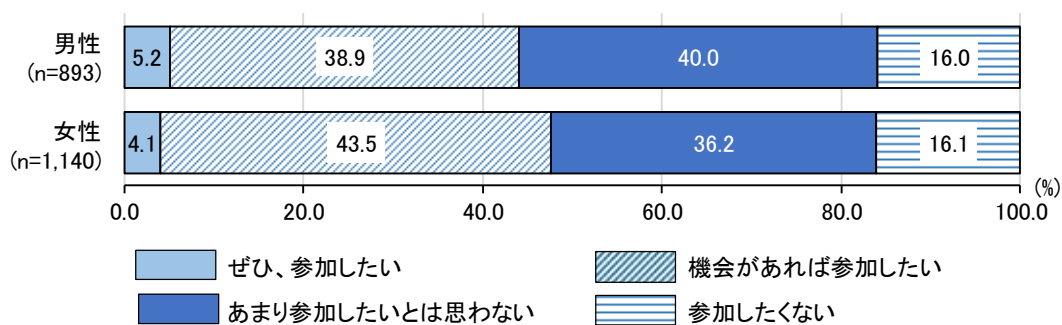
問19 あなたは、問18のような活動に参加したいと思いますか。現在、何らかの活動に参加されている方は、引き続き活動に参加したいと思いますか（○は1つ）

【図7-2 市民活動への参加意向】



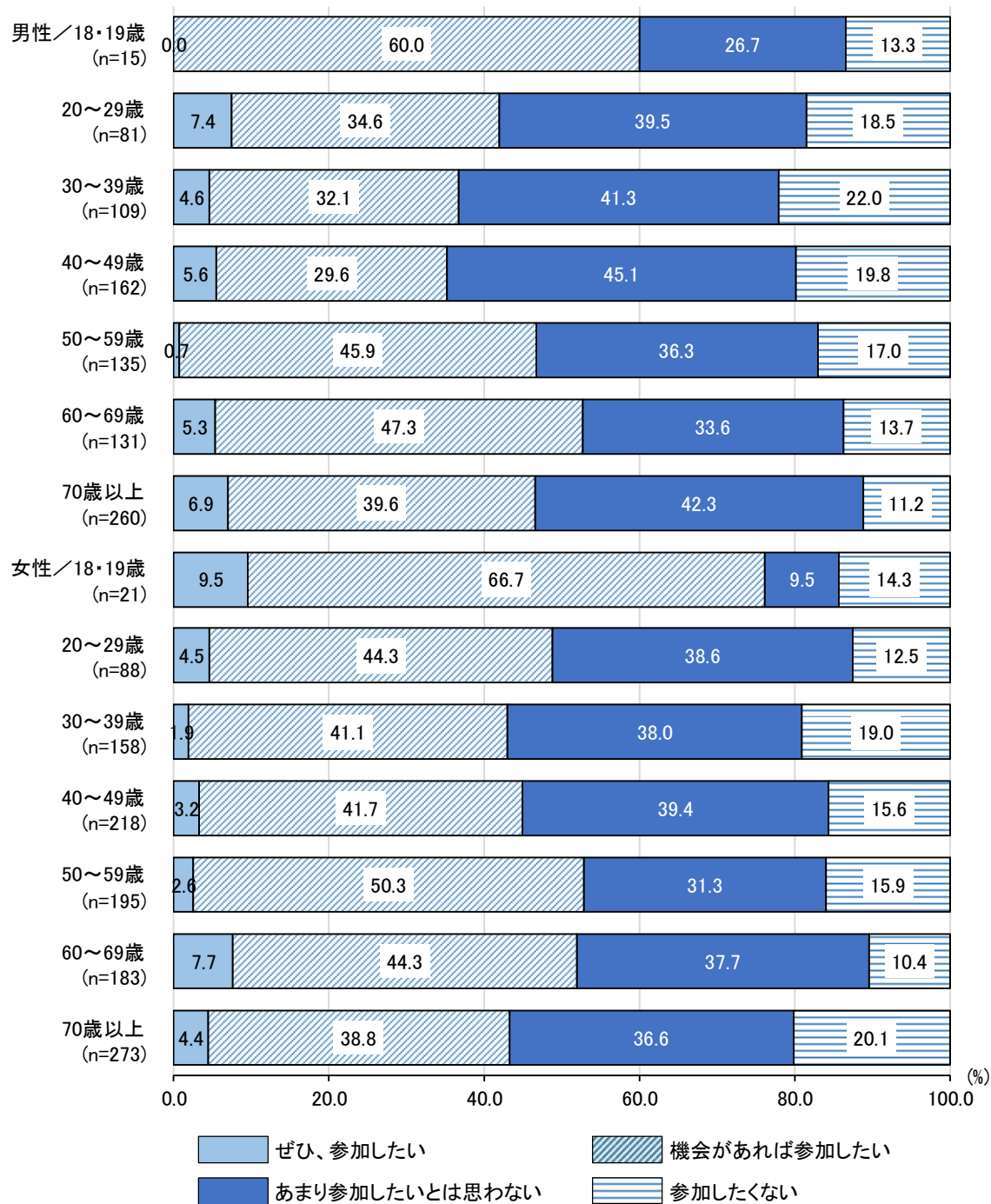
- 市民活動への参加意向については、「ぜひ、参加したい」と「機会があれば参加したい」を合わせた『参加したい』が46.1%、「参加したくない」と「あまり参加したいとは思わない」を合わせた『参加したくない』が53.9%となっている。（図7-2）
- 性別でみると、男女ともに『参加したくない』が高く、男性では56.0%、女性では52.3%となっている。（図7-2-1）

【図7-2-1 性別 市民活動への参加意向】



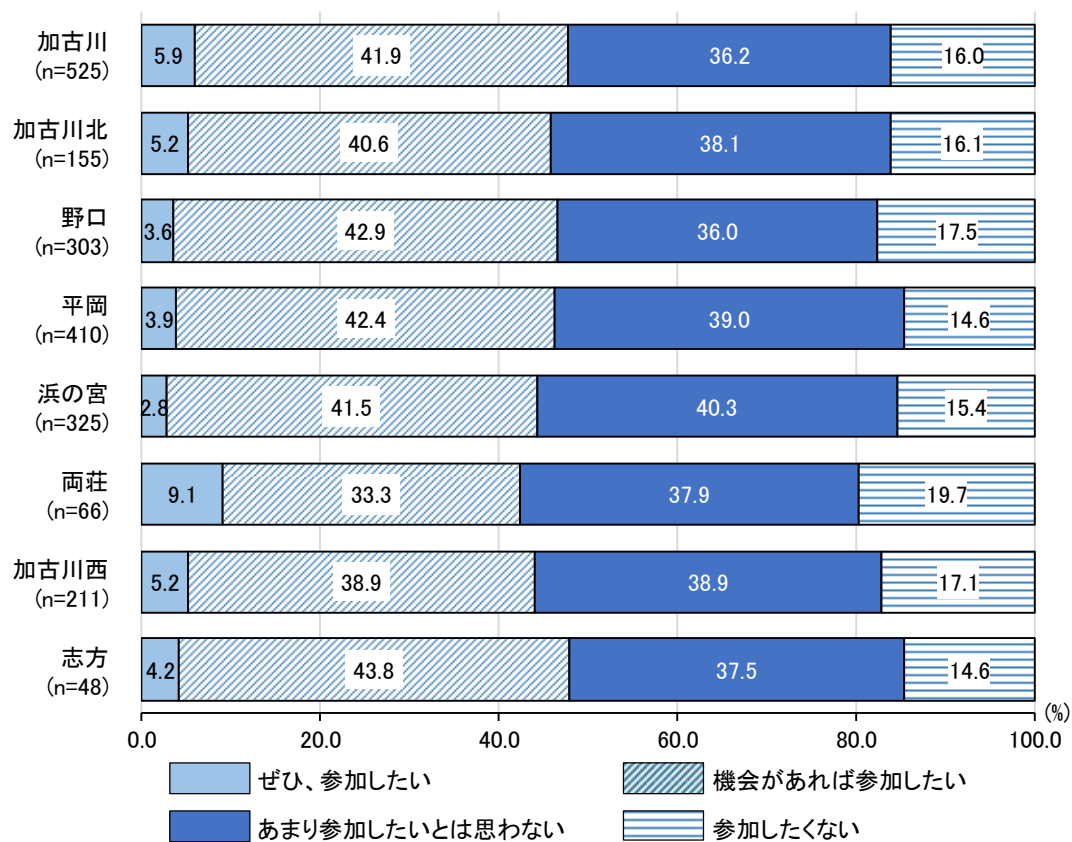
●性年代別でみると、『参加したくない』は、「男性40～49歳」(64.9%)、「男性30～39歳」(63.3%)、「男性20～29歳」(58.0%)で高くなっている。(図7-2-2)

【図7-2-2 性年代別 市民活動への参加意向】



- 居住地区別でみると、『参加したくない』は、「両荘」(57.6%)、「加古川西」(56.0%)、「浜の宮」(55.7%) で高くなっている。(図7-2-3)

【図7-2-3 居住地区別 市民活動への参加意向】

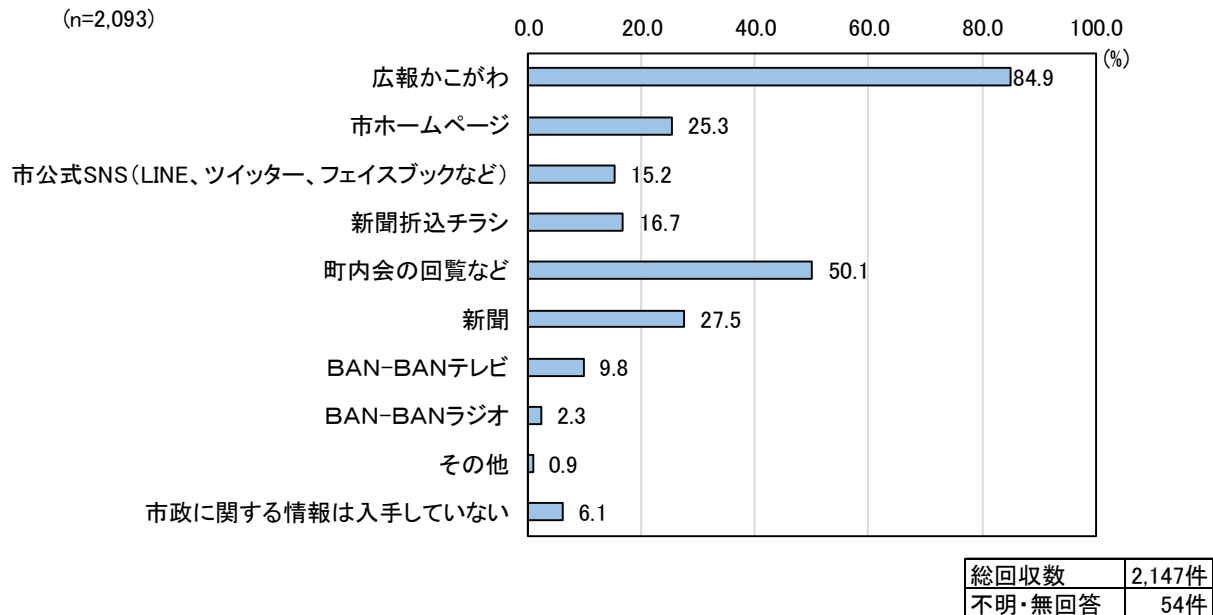


8. 市政などに関する情報について

(1) 市政に関する情報の入手方法

問20 あなたは市政に関する情報について、どのような方法で入手していますか（あてはまるものすべてに○）

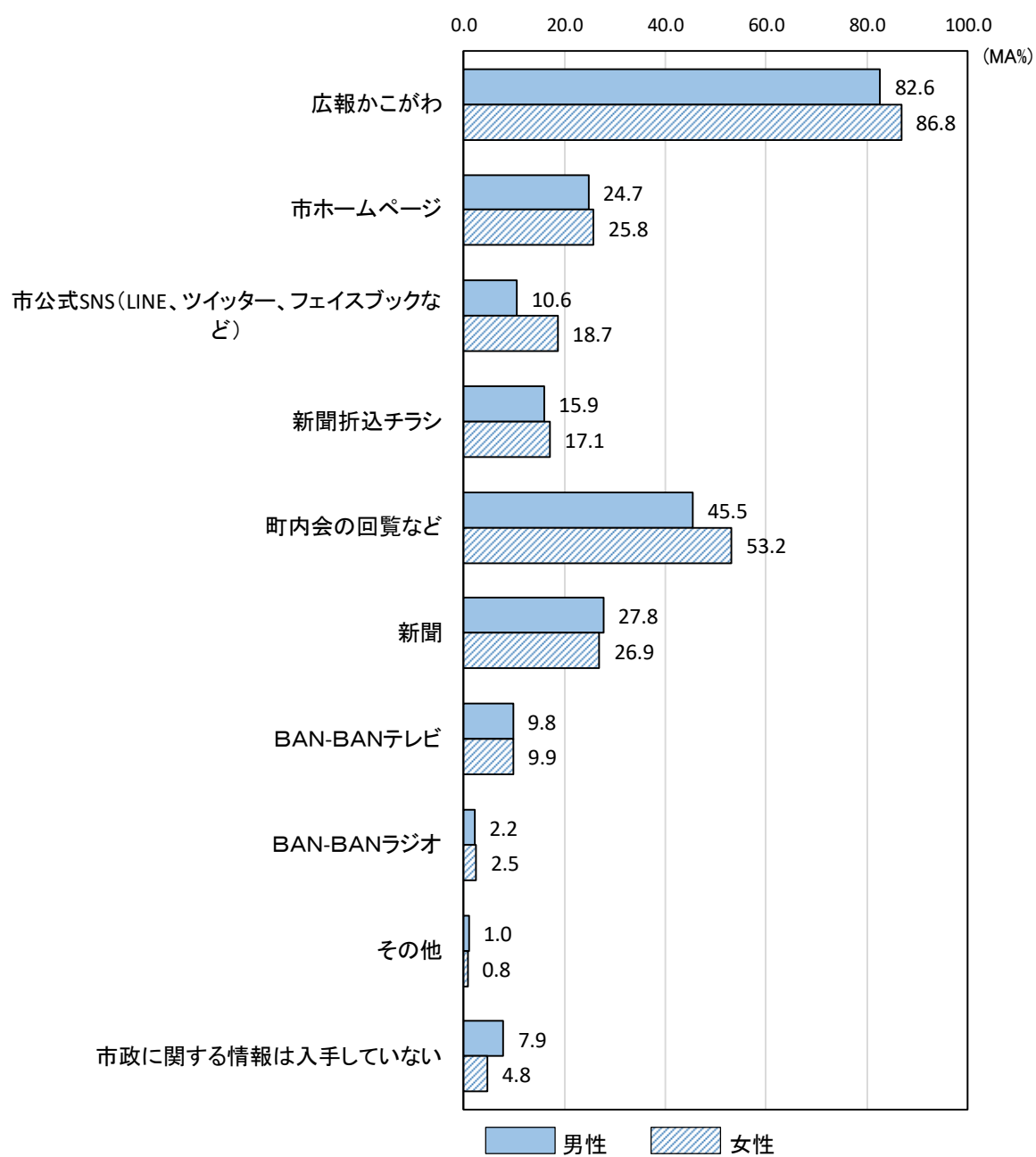
【図8-1 市政に関する情報の入手方法】



- 市政に関する情報の入手方法については、「広報かがわ」が84.9%と最も高く、次いで、「町内会の回覧など」が50.1%、「新聞」が27.5%となっている。（図8-1）

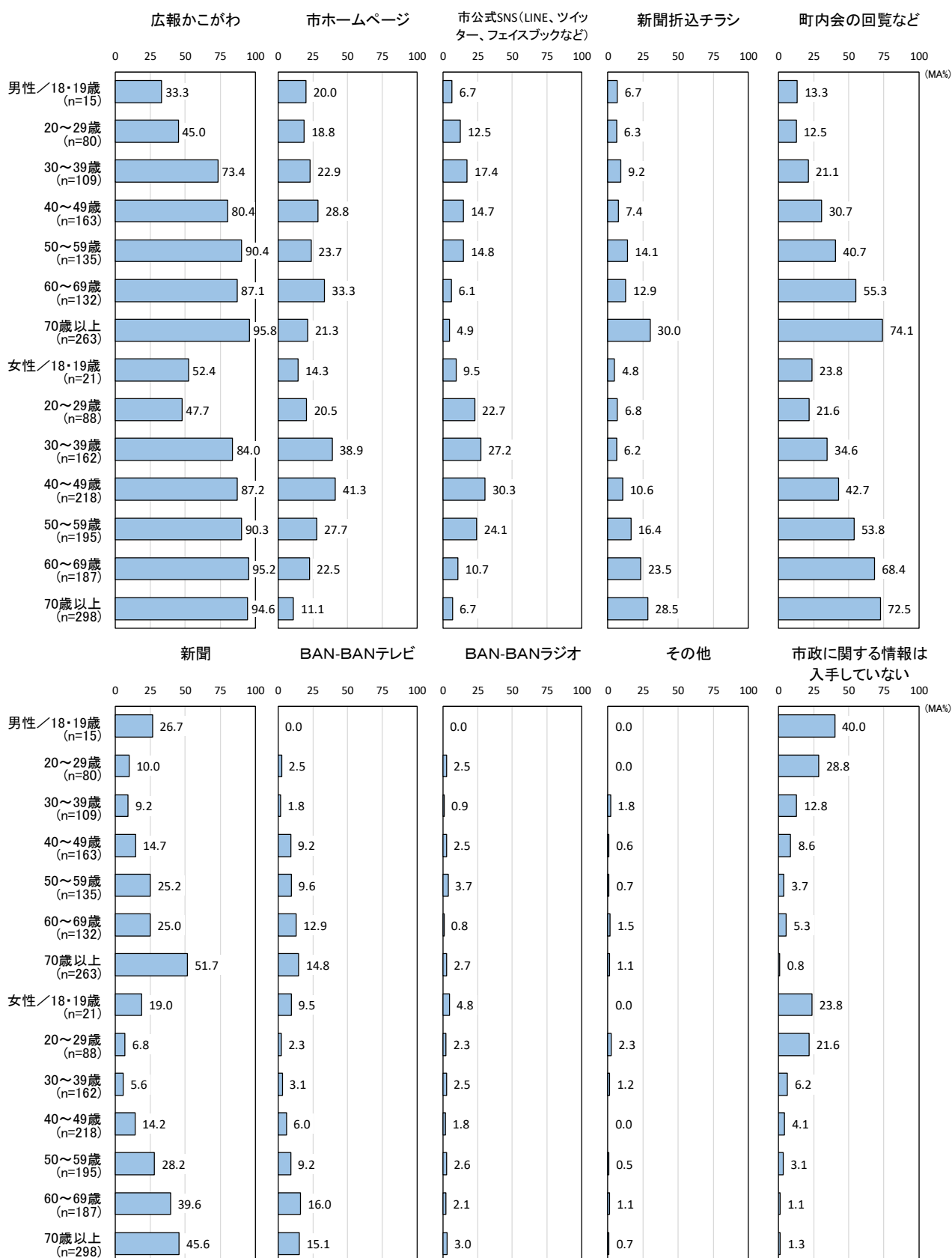
●性別でみると、男女ともに「広報かこがわ」が最も高く、男性では82.6%、女性では86.8%となっている。(図8-1-1)

【図8-1-1 性別 市政に関する情報の入手方法】



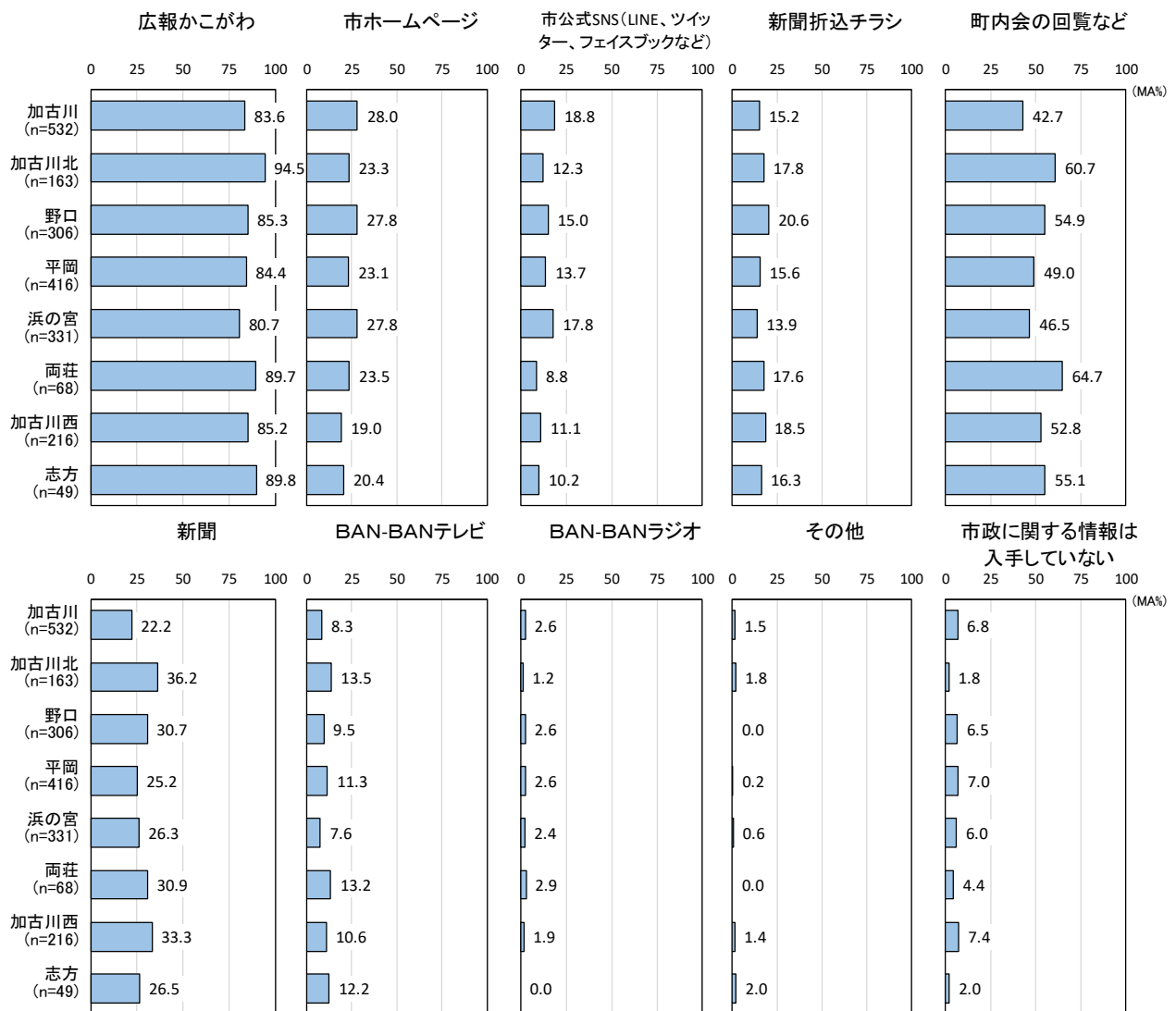
●性別でみると、最も回答の多い「広報かこがわ」は、「男性70歳以上」(95.8%)、「女性60～69歳」(95.2%)、「女性70歳以上」(94.6%) で高くなっている。(図8-1-2)

【図8-1-2 性年代別 市政に関する情報の入手方法】



●居住地区別でみると、最も回答の多い「広報かこがわ」は、「加古川北」(94.5%)、「志方」(89.8%)、「両荘」(89.7%) で高くなっている。(図8-1-3)

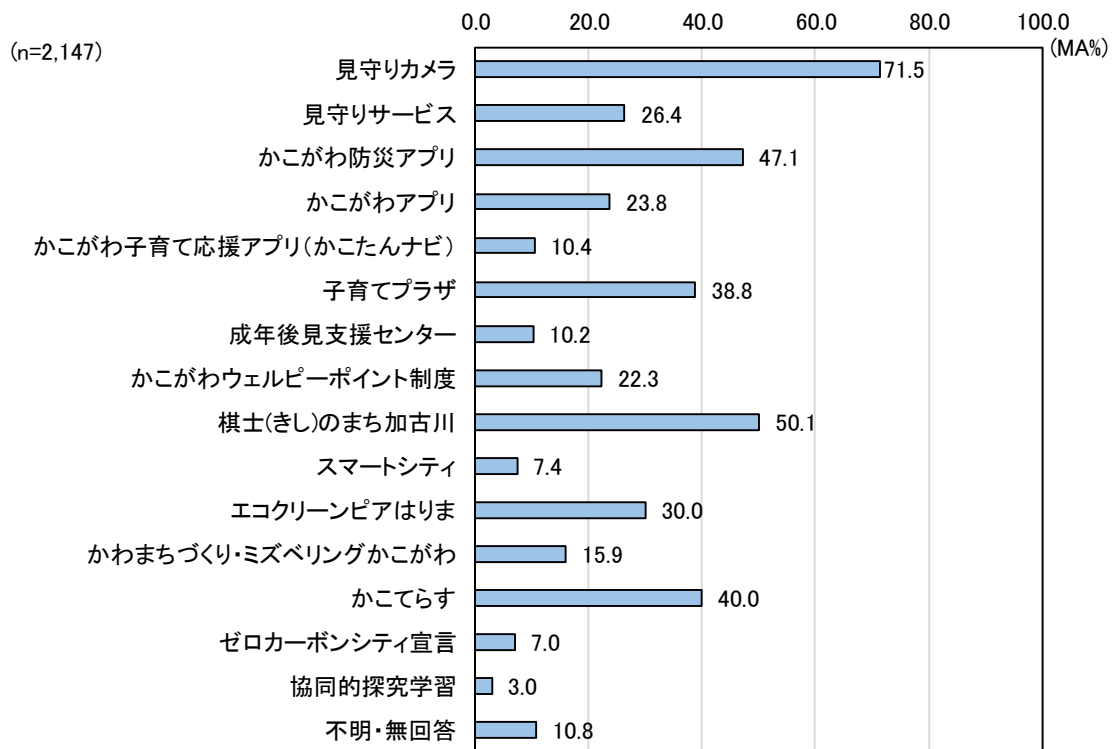
【図8-1-3 居住地区別 市政に関する情報の入手方法】



(2) 加古川市の取組等の認知度

問21 以下に記載した項目について、知っているものをすべて選んで番号に○をつけてください

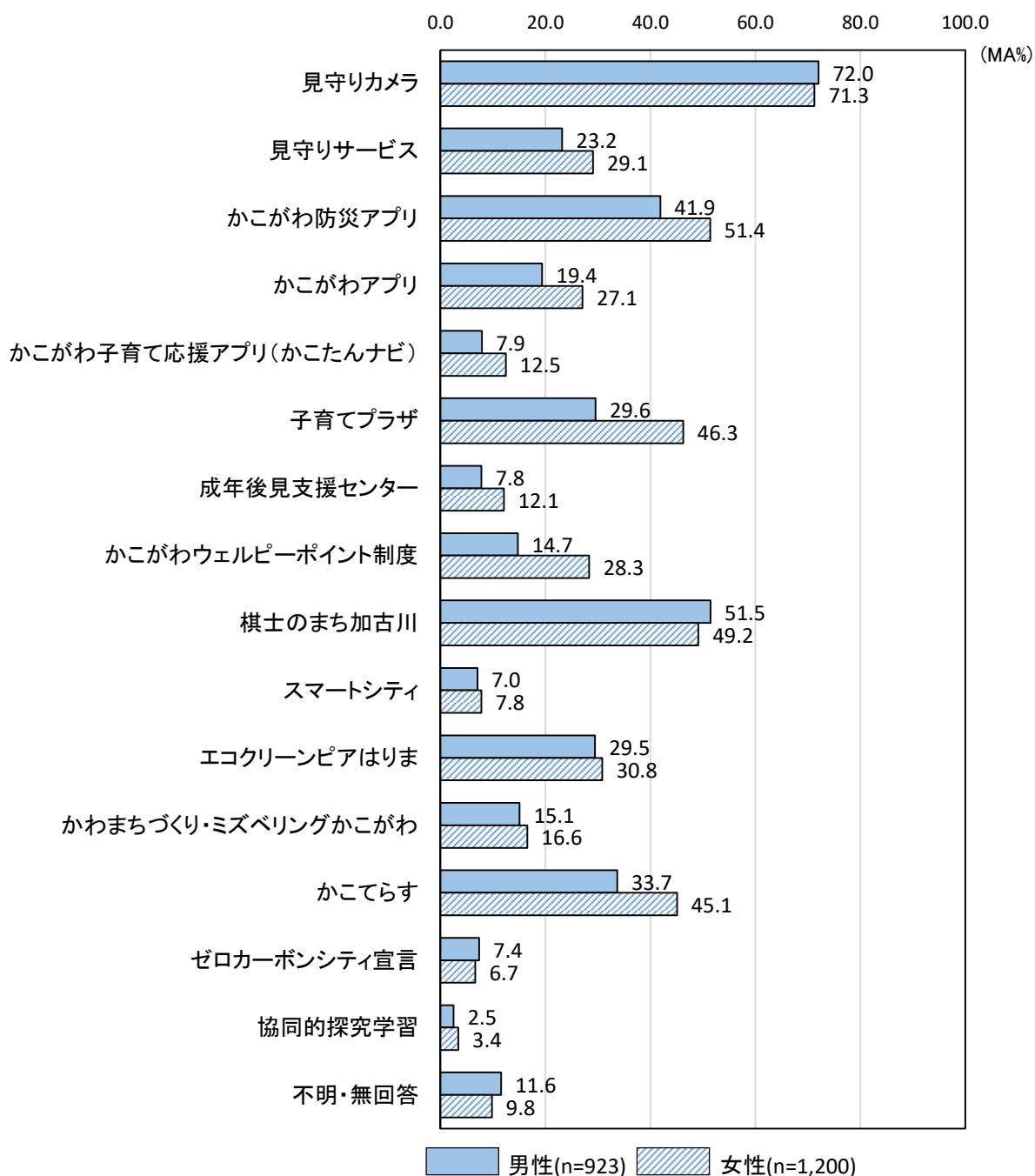
【図8-2 加古川市の取組等の認知度】



●加古川市の取組等の認知度については、「見守りカメラ」が71.5%と最も高く、次いで、「棋士のまち加古川」が50.1%、「かこがわ防災アプリ」が47.1%、となっている。(図8-2)

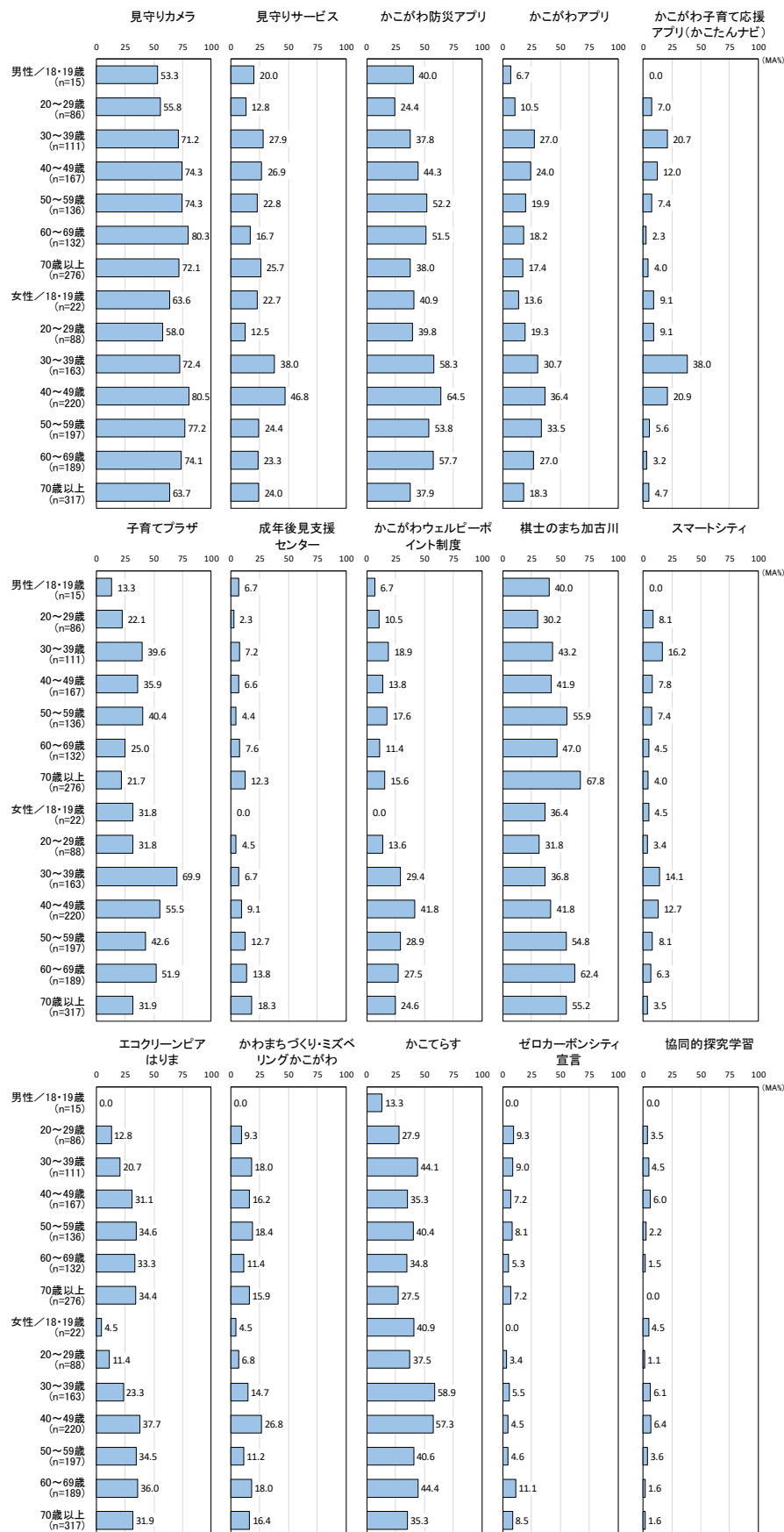
- 性別でみると、男女ともに「見守りカメラ」が最も高く、男性では72.0%、女性では71.3%となっている。また、「子育てプラザ」では16.7ポイント、「かこがわウェルビーポイント制度」では13.6ポイント、「かこてらす」では11.4ポイント、男性より女性のほうが高くなっている。(図8-2-1)

【図8-2-1 性別 加古川市の取組等の認知度】



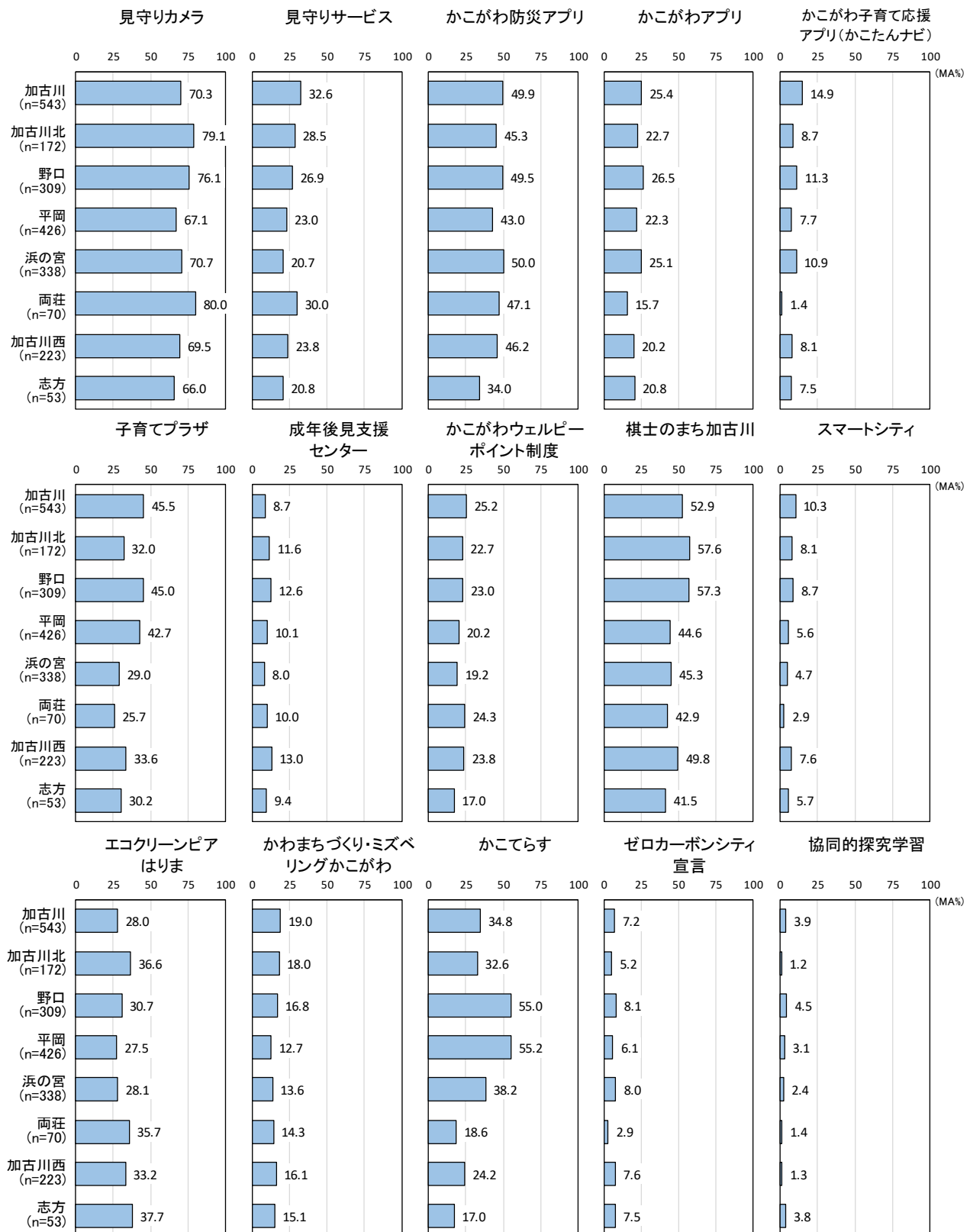
●性年代別でみると、最も回答の多い「見守りカメラ」は、「男性60～69歳」（80.3%）、「女性40～49歳」（80.5%）で高くなっている。（図8-2-2）

【図8-2-2 性年代別 加古川市の取組等の認知度】



●居住地区別でみると、最も回答の多い「見守りカメラ」は、「両荘」(80.0%)、「加古川北」(79.1%)、「野口」(76.1%) で高くなっている。(図8-2-3)

【図8-2-3 居住地区別 加古川市の取組等の認知度】



9. その他

(1) 自由意見

問22 今後の加古川市のまちづくりについて、ご意見などがありましたら、ご自由にお書きください

有効回答数2,147件のうち、記述があったのは664件で、テーマごとに分類し、集計した結果、意見の延べ件数は1,110件となった。分類した結果は以下のとおりである。(主な意見を掲載)

分類	件数
1 子どもの緩やかな成長を支援する	131
a 結婚・出産・子育てに関する支援	64
● 子育てや生活がしやすいまちづくりをして過疎化を防いでほしい。 ● 母子家庭で養育費を受け取っていない世帯などに、もっと手を差し伸べてほしい。 ● 長期的な子育て支援をお願いしたい。 ● もう少し子育て世代に寄り添った政策を行ってほしい。	
b 就学前教育・保育	21
● 市立幼稚園での3年保育の充実を図ってほしい。私立幼稚園や保育所を選ぶ人が多い現状だが、市立幼稚園の3年保育を希望するも叶わない人が周りには多くいる。統廃合やこども園化に向けた市の方針も周知してほしい。 ● 保育所を増やしてほしい。	
c 義務教育	21
● 夫婦共に他地域出身で、転勤により加古川市へ住むことになった。自然豊かなこの地域にずっと住みたいと思い、家を購入した。子どもが通う学校は小規模であるが、一人ひとりをしっかり見てくださる先生方に恵まれて充実した学童期を過ごしている。 ● 義務教育の分野において、施設、教職員の質の向上に取り組んでほしい。 ● 小学生のランドセルが重すぎるので、宿題などで使わない教科書などは置き勉強ができるようにしてほしい。	
d 教育を支える体制や学習環境	18
● 共働き家庭が増える中、児童生徒数が減っている学校では、PTA役員になった時の負担が大きい。PTAの運営を委託業者をお願いしたり、イベントを減らすなど、保護者の負担を軽減してほしい。 ● フリースクールの助成金を出すなど、不登校の児童生徒に対しての対策を充実してほしい。 ● 子どもが通信制高校に通っており、地域から孤立していると感じる。中学校卒業後の支援を充実してほしい。	
e その他(子ども全般)	7
● 今後も引き続き、子どもたちの安全確保や、教育の充実に力を入れてほしい。 ● 少子高齢化が進む今、少子化対策が必要と感じる。	

分類		件数
2	地域における教育・学習環境の整備について	8
	a 生涯学習の機会や環境	8
	● 中年層向けのイベントや学習環境の質と量を充実してほしい。 ● 寺社仏閣を活用した歴史教育などを充実してほしい。 ● 図書館の蔵書の更なる充実を図ってほしい。	
3	スポーツや文化・芸術の振興について	42
	a スポーツ・レクリエーション活動の機会や環境	16
	● ドッジボール大会、リレー大会、縄跳び大会などのスポーツのほか、音楽、パソコン、将棋などの幅広い範囲で、小学生、中学生を対象としたイベント等をもっと増やしてほしい。 ● 球技専用のスタジアムを整備してほしい。	
	b 文化・芸術に接する機会	8
	● 加古川には魅力的な文化や自然があるため、身の回りの環境に新たな発見があるようなまちづくりを希望する。 ● 文化や芸術をもっと創出して、市民の教養を深める機会を増やすなど、文化レベルの高いまちづくりを進めてほしい。 ● 加古川以西の地域には市の文化施設がない。	
	c 建造物の維持・再利用	6
	● 旧加古川図書館の建物は、郷土愛や市への愛着の醸成のために、保存・活用してほしい。	
	d その他(各種イベントなど)	12
	● 音楽のイベントを増やしてほしい。加古川河川敷や日岡山公園でのイベントが増えているのはとても魅力的であるが、市外からの誘客を増やすためには、もっと魅力のあるイベントや告知が必要であると思う。 ● 季節に応じた川や公園の自然観察イベントを開催してほしい。	
4	ともに支えあう福祉社会の実現について	55
	a 障がい者に対する支援	12
	● 放課後等デイサービス施設の数が足りていないように感じる。また、作業所など障がいのある人の将来の就職先も不足しているのではないかと。重度の発達障害があっても、過ごせる場所が確保できる地域にしていきたい。 ● 障がい者等への施策が不十分であり、相談、支援体制をさらに充実してほしい。 ● 日常生活用具の給付基準の見直しなど、障がい者の実情に合わせた施策の実施をお願いしたい。	
	b 高齢者に対する支援	43
	● 特別養護老人ホームを増やしてほしい。また、介護従事者の確保も必要である。 ● 高齢化率が高まり、独身者が高齢者を介護するケースも多くなる。そのような介護者へのサポートも考えてほしい。	

分類		件数
5	健康づくりや地域医療の充実について	13
	a 健康の保持・増進	1
	● 高齢者の医療費の軽減に向け、健康促進の活動に力を入れてほしい。	
	b 安心できる医療体制	12
	● 依存症の対策については、兵庫県の健康福祉事務所以外での啓発がほとんどなく、当事者やご家族などが繋がる方法が少ない。 ● 市内の病院・医院への受診をネットや電話などの様々な方法で予約でき、インターネット等で現在の順番が分かるようにしてほしい。 ● 夜間休日応急診療センターにおける小児科の診療時間が短い。	
6	市民生活の安全・安定の確保について	46
	a 地域の防災体制	7
	● 地域の防災の担い手として、消防団を位置づけている中、市としてその仕組みを維持しようとするのであれば、人員確保について地域と協働して取り組んでほしい。 ● 南海トラフ地震の発生が危惧される中で、津波に対する設備や避難場所等と合わせて避難訓練を行い、市民の意識向上を図る必要がある。 ● ハザードマップ上の「土砂災害警戒区域」や「山腹崩壊危険区域」に指定されている区域で、周辺に多くの民家が存在するような場所においては、太陽光発電施設の建設は危険なので規制してほしい。	
	b 防犯・交通安全対策の推進	32
	● 子どもの視点に立った、安全に歩くことができるまちづくりを進めてほしい。 ● 見守りカメラの更なる増設を希望する。 ● 自動車運転のマナーの向上が必要である。	
	c 就業機会の確保と労働環境の向上	3
	● 自営業の方々が交流し合える機会がほしい。 ● 30代から50代のデジタル人材の育成及び企業誘致に市として力を入れてほしい。 ● 経済活性化と雇用創出、ひいては定住人口の増加に向けた手段として、企業誘致のための大規模工業団地の開発等の計画が有効と考える。	
	d その他の安全について	4
	● 太陽光パネルの設置が増加する中、台風や大雨による災害発生時の安全性の確保に向けた啓発が必要である。 ● 飲食店ののぼりなど、自動車運転時の視認性を下げるような広告物の移設・撤去を促進するための啓発が必要である。 ● 国外からの武力攻撃に際し、市民が安全に避難し、命を守ることができるよう、弾道ミサイル落下時の避難行動に関する啓発や迅速な情報発信をお願いしたい。	
7	農業・水産業の振興について	7
	a 農業の振興	7
	● 加古川北・西部の豊かな自然を生かし、キャンプや先進的な農業が体験できるようなまちづくりを進めてほしい。	

分類		件数
	● 農業振興地域における放棄田対策や、農地の有効活用に向けた太陽光発電設備の設置等に係る規制緩和をお願いしたい。	
8	工業・地場産業の振興について	2
	a 地場産業の振興 ● 市の特産品の更なる周知や、新たな開発が必要である。 ● 農業などの第一次産業や地場産業の活性化に取り組んでほしい。	2
9	商業・観光の振興について	28
	a 商業・サービス業の振興 ● テイクアウトなど、ウィズコロナに向けた飲食店等への支援が必要である。 ● 今住んでいる方の生活が豊かになるような都市開発や環境整備がされれば、新規居住者も増えるのではないか ● J Rの新快速電車が停車する駅にしては、駅周辺に活気がない。子育て施策ばかりに力を入れるのではなく、もっと商業の活性化などに力を入れてほしい。	19
	b 観光の振興 ● 観光や移住が盛んになるよう、もっと本市の魅力を発信する力を強めてほしい。 ● J R加古川駅構内のまち案内所に活気を持たせてほしい。 ● 本市のシンボルとなるような観光場所として、日岡山公園を活用すべきである。 ● 見土呂フルーツパーク、日光山常楽寺、加古川漕艇センター、上之庄神社など、本市の観光スポットに関するPRに力を入れてほしい。	9
10	機能的・効率的なまちの形成について	212
	a 地域特性を生かした効果的な土地利用 ● 本市は市域が広く、八幡町や志方町など、北部地域の活性化が必要である。 ● 神戸から通勤圏内にあり、新快速が停まるといった好立地を生かした都市計画を進めてほしい。 ● スポーツ施設は郊外に多く立地するため、公共交通機関での移動による利用が難しい。	20
	b 加古川駅周辺の都心としての魅力 ● J R加古川駅周辺に活気がない。 ● J R加古川駅、東加古川駅周辺の活性化により、内外からの来訪者が増えるのではないか。 ● J R加古川駅周辺や寺家町周辺の活性化が必要である。 ● J R加古川駅周辺に食事をする場所が少ないと感じる。	42
	c 幹線道路の整備 ● 自動車交通量が非常に多く、特に朝夕は至る所で交通渋滞が発生している。 ● J R東加古川駅のすぐ東側にある踏切は、特に朝の通勤時間帯に次々と電車が通るため踏切がなかなか開かず、非常に渋滞する。 ● 加古川橋の架け替え工事が進められているが、早期の完成に向けて取り組んでほしい。	59

分類		件数
d 鉄道の便利さ	● J R加古川駅のホームドアの設置を求める。 ● J R加古川線の維持が必要である。 ● J R加古川線の本数が減便され、昼間は1時間に一本と、あまりにも少なすぎる。子育て世代から高齢者まで多くの人に利用されているため、増便又は車両をすべて2両編成にするなど、利便性の向上に向けて鉄道事業者に働きかけてほしい。	9
	e バスの便利さ	82
	● 高齢者の自動車運転免許の返納が進みつつある中、市域全体で、地域公共交通の利便性の向上に取り組んでほしい。 ● J R東加古川駅の北側は、交通手段がなく不便である。 ● 交通手段や時間帯を考慮したバス路線のルート整備などを進めてほしい。	
11 安全で快適な暮らしの基盤の整備について		104
a 景観や、まちなみの美しさ	● 美観地区の指定や、写真映えするスポットの整備をお願いしたい。 ● 違法駐輪を防ぎ、まちの景観を守るため、市営駐輪場の利用金額を安くしてほしい。 ● 景観の維持・保全に向け、無電柱化を進めてほしい。	7
b 生活に身近な道路の安全性や便利さ	● 車道や歩道にある白線の維持管理の徹底をお願いしたい。 ● 狭あい道路の解消に取り組んでほしい。 ● 街頭の増設をしてほしい。	67
c 水道水の供給	● 水道水の品質の更なる向上に取り組んでほしい。 ● 水道料金及び下水道料金の引下げに努めてほしい。	3
d 下水道の整備	● 公共下水道区域の拡大に向けて検討してほしい。 ● 市外化調整区域における下水道の早期概成に向けて取り組んでほしい。	10
e 空き家・廃墟・空地など	● 高齢化や過疎化が進む中、景観の維持や防犯性の向上に向け、空き家対策の更なる推進をお願いしたい。	14
f 危険なところがある	● 子どもが誤って転落することがないように、ため池の転落防止対策をお願いしたい。 ● 蓋やガードレールのない側溝や用水路への対策をお願いしたい。	3
12 地球環境と地域の環境の保全について		28
a 大気や水質などの環境対策	● 加古川をはじめ、市内に流れる川やため池の景観の保全に取り組んでほしい。 ● 市南部における粉塵対策を進めてほしい。 ● 野焼きによる煙や悪臭への対策のほか、側溝から発生する悪臭への対策が必要である。	20

分類		件数
	b 地域の自然環境の保全	8
	● 田園風景を次世代に引き継いでいくべきである。	
13	資源の循環と環境美化の推進について	25
	a ごみの減量・不用品のリサイクルの推進	16
	● 資源物の回収頻度をもっと増やしてほしい。 ● ゴミ出しマナーの向上に向けた取組が必要である。	
	b ポイ捨てやペットのふん害防止	9
	● 喫煙マナーの向上やごみのポイ捨て防止に向けた取組が必要である。 ● トンネルなど、道路上等に溜まっている鳩のフンの清掃をお願いしたい。 ● ペットの飼い主へのマナー向上に向けた啓発をお願いいたします。	
14	水と緑の空間の形成について	77
	a 公園・緑地の整備・管理	43
	● 公園に、小さな子どもが安全に遊ぶことができるブランコなどの遊具を設置してほしい。 ● 日岡山公園の再整備に期待している。	
	b まちなみの緑化や河川敷等の活用	34
	● 植栽を進めるなど、まちなかの緑化に取り組んでほしい。 ● 本市の豊かな自然を感じられるまちづくりをお願いしたい。	
15	まちづくりの進め方について	77
	a 市民活動や行政との協働	26
	● 若い人でも参加しやすいボランティアや地域活性化のためのイベントが必要である。 ● 働きながら参加できる地域活動や活動団体などの情報発信をお願いしたい。 ● 加古川市版 Decidim の更なる活用など、市民のアイデアを発信できる機会の創出を求める。	
	b シティプロモーションの推進	14
	● メディアなどを活用し、市の魅力を分かりやすくPRしてほしい。 ● シビックプライドや郷土愛を醸成するため、市の知名度の向上に向けた取組が必要である。	
	c 行政の効率化	13
	● 行政手続きのオンライン化を更に推進してほしい。 ● 居住地による行政サービスへのアクセスの格差が生じないようにしてほしい。	
	d 近隣都市との広域的な連携	3
	● 隣接市町（播磨町、稲美町、高砂市）との連携を強め、市民生活の利便性の更なる向上に取り組んでほしい。	
	e 情報発信	21
	● より積極的な情報発信をお願いしたい。 ● 広報紙のデザイン性の更なる向上など、分かりやすい情報発信に取り組んでほしい。	
16	その他	255
延べ件数		1,137

Ⅲ 総括

1. 全体考察

■ 回答者について

性別については、男性が43.0%、女性が55.9%となっています。年齢については、70歳以上が約30%と高くなっています。また、加古川市での居住年数が20年以上の人は全体の約70%となっています。

職業については、「会社員、公務員」が約30%、「無職」が約20%となっています。通勤・通学している人の通勤・通学先については、約30%が市内となっています。また、通勤・通学をしている人の約30%は「自動車」を利用しています。

■ 定住意向と加古川市に対する誇りや愛着について

約70%が「現在の場所に住み続けたい」と回答しています。特に、若年層よりも高齢者層のほうに「現在の場所に住み続けたい」の割合が高い傾向がみられます。居住地区別にみると、加古川北、加古川西、加古川、両荘では「現在の場所に住み続けたい」が70%以上と高くなっています。

市内の他の場所や市外に移りたい人が転居したい理由については、「通勤、通学に不便である」、「景観・まちなみに魅力が少ない」、「買い物環境が充実していない」などが上位に挙がっています。

加古川市に対する誇りや愛着の程度については、約70%が「感じる」（「感じる」と「やや感じる」の合計）と回答しています。

■ 心ゆたかな暮らしについて

（1）地域生活のWell-Being

「地域生活のWell-Being（問4）」に関する21設問において、“あてはまる（「非常にあてはまる」と「ある程度あてはまる」の計）”をみると、「(4) 暮らしている地域は、日常の買い物にまったく不便がない」「(10) 自宅には、心地のいい居場所がある」「(13) 私は、精神的に健康な状態である」が“あてはまる”の上位3つとなり、3つとも70%を超えています。

反対に“あてはまらない（「あまりあてはまらない」と「全くあてはまらない」の計）”では、「(2) 暮らしている地域では、新たな発見や刺激が得られる」「(3) 暮らしている地域には、新たな事に挑戦・成長するための機会がある」「(1) 暮らしている地域は、文化・芸術・芸能が盛んで誇らしい」が“あてはまらない”の上位3つとなり、(2) と (3) は50%を超えています。

（2）協調的幸福Ⅰ

「協調的幸福Ⅰ（問5）」に関する6設問において、“そう思う（「そう思う」と「どちらかというと思う」の計）”をみると、「(2) 町内（集落）に住む人たちは、基本的に誠実に振る舞う」「(3) 私は自分の地域の役所が行う仕事を信頼している」「(1) 私は同じ町内（集落）に住む人々を信頼している」が“そう思う”の上位3で、(2) は60%を超えて特に高くなっています。「(5) この町内（集落）には、お互いの役に立つことを求める雰囲気がある」は19.2%で最も低くなっています。

（３）協調的幸福Ⅱ

「協調的幸福Ⅱ（問６）」に関する設問において、住んでいる町内（集落）における活動のうち、通常参加しているものについては、「自治会」「ごみの分別活動」「地域行事」が上位３つで、「自治会」と「ごみの分別活動」はいずれも50%を超えて特に高くなっています。

（４）協調的幸福Ⅲ～Ⅴ

「幸福度（問７）」は平均6.85点で、男女ともに比較的若い世代で幸福度が高くなっています。

「健康度（問８）」は平均6.61点で、男女ともに比較的若い世代で幸福度が高くなっています。

「町内幸福度（問９）」は平均6.22点で、男女ともに比較的若い世代で幸福度が高くなっています。

健康度別に幸福度をみると、健康と答えた点数が高い人ほど幸福度が高くなっており、健康度10点の人の幸福度は平均8.8点、健康度０点の人の幸福度は2.6点となっています。

これは町内幸福度でも同様の傾向にあり、健康度10点の人の町内幸福度は平均7.4点、健康度０点の人の町内幸福度は4.1点となっています。

（５）協調的幸福Ⅵ

「協調的幸福Ⅵ（問10）」に関する32設問において、“そう思う（「そう思う」と「どちらかという」と「そう思う」の計）」をみると、「(28)将来生まれてくる世代のために、良い環境や文化を残したい」

「(5)平凡だが安定した日々を過ごしている」「(6)人に迷惑をかけずに自分のやりたいことができる」「(18)私は、町外（集落外）からきた人が町内（集落）に定住することは喜ばしいと思う」が“そう思う”の上位４つで、(28)と(5)はいずれも75%を超えて特に高くなっています。「(22)私は、町内（集落）を良くするために、今より良いやり方を思いつく」は15.2%で最も低くなっています。

（６）センシユアス・シティ等

「センシユアス・シティ等（問11）」に関する26設問において、“しょっちゅうあった”をみると、「(17)通りで遊ぶ子供たちの声を聞いた」「(22)オンラインで日用品（食料品、薬、洋服、靴等）の買い物を行った」「(15)美しい青空や朝焼け・夕焼けを見た」が上位３つとなっています。“ほぼなかった”をみると、「(6)友人・知人のネットワークで仕事を紹介された・紹介した」「(3)刺激的で面白い人達が集まるイベント、パーティに参加した」「(25)ボランティア活動をしている」が上位３つとなっています。

（７）寛容性等

「寛容性等（問12）」に関する19設問において、“そう思う（「強くそう思う」と「ある程度そう思う」の計）」をみると、「(11)安心した食生活に満足している」「(8)私は、好きな時に好きな場所に移動できる」「(19)私が住んでいる地域にこれからも住み続けたいと思う」が上位３つで、(11)は65%を超えて特に高くなっています。「(10)私の暮らしている地域には、自慢できる都市景観がある」は15.9%で最も低くなっています。

■ 市の政策に対する満足度・重要度について

満足度のスコアをみると、「水道水の供給」、「下水道の整備」、「消防や救急・救命体制」などが上位に挙がっています。一方で、「バスの便利さ」、「ポイ捨てやペットのふん害防止」、「地域特性を生かした土地利用」、「観光の新興」などのスコアが低くなっています。

重要度については、「安心できる医療体制」、「消防や救急・救命体制」、「防犯・交通安全対策の推進」などが上位に挙がっています。

重要度が高いが満足度が低い項目としては、「教育を支える体制や学習環境」、「幹線道路の整備」、「生活道路の安全性や便利さ」などが挙げられます。

■ 防災対策・防犯対策について

防災対策、防犯対策については、いずれも「家庭として取り組んでいるものがある」「何も取り組んでいるものはない」がそれぞれ約40%となっています。

■ 子育てと仕事に関することについて

加古川市が子育てしやすいまちだと感じるかについては、「感じる」（「感じる」と「やや感じる」の合計）と「感じない」（「感じない」と「あまり感じない」の合計）がそれぞれ約50%となっています。性年代別にみると、男性の60歳代、女性の20歳代で「感じない」が60%以上と高くなっています。居住地区別にみると、志方、両荘で「感じない」が60%以上と高くなっています。

子育てと仕事の両立について理解が進んでいると思うかについては、「感じる」（「感じる」と「やや感じる」の合計）と「感じない」（「感じない」と「あまり感じない」の合計）がそれぞれ約50%となっています。性年代別にみると、男性の18・19歳、30歳代、女性の30歳代、40歳代で「感じる」が60%以上と高くなっています。

■ 協働のまちづくりについて

市民活動の参加状況については、参加している人が約15%となっています。性年代別にみると男性の70歳以上、居住地区別にみると両荘では、参加している人が20%以上と高くなっています。

市民活動への参加意向については、「参加したい」（「ぜひ参加したい」と「機会があれば参加したい」の合計）が約50%となっており、現在は参加していない人の中にも、参加意向のある人がいることがわかります。性年代別にみると、男女ともに18・19歳では60%以上が「参加したい」と回答しています。

■ 市政などに関する情報について

市政に関する情報の入手方法については、「広報かこがわ」が80%以上と高く、「町内会の回覧など」が約50%で2番目に高くなっています。性年代別にみると、「町内会の回覧など」は男女ともに、年代が上がるにつれて高くなる傾向があります。

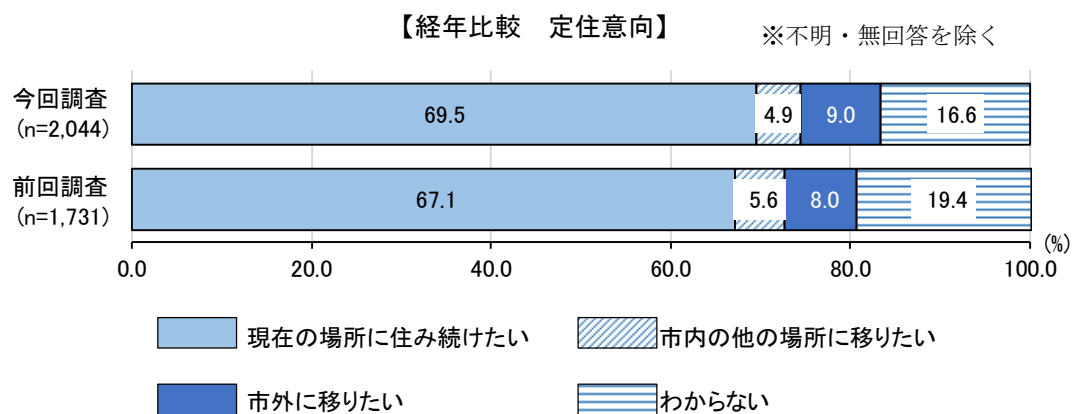
加古川市の取り組み等の認知度については、「見守りカメラ」が約70%と高く、「棋士のまち加古川」、「かこがわ防災アプリ」が約50%となっています。性別にみると、「子育てプラザ」、「かこがわウェルビーポイント制度」、「かこてらす」は男性に比べて女性のほうが10ポイント以上高くなっています。

2. 経年比較

アンケート結果の分析において、前回調査の結果との差異がみられた項目について、考察をまとめます。

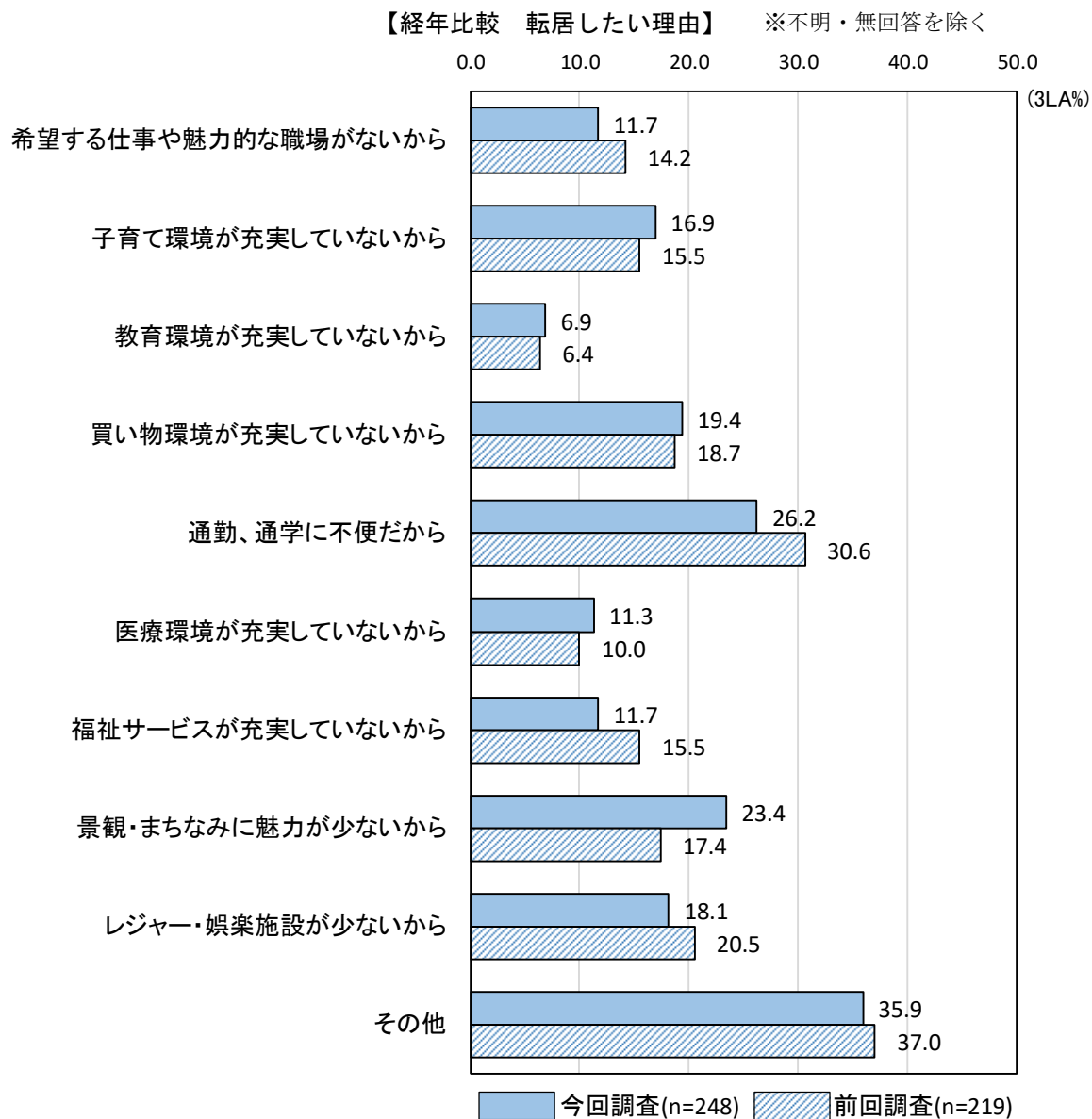
■ 定住意向について

前回調査と比較して、「現在の場所に住み続けたい」が2.4ポイント増加している。



■ 転居したい理由について

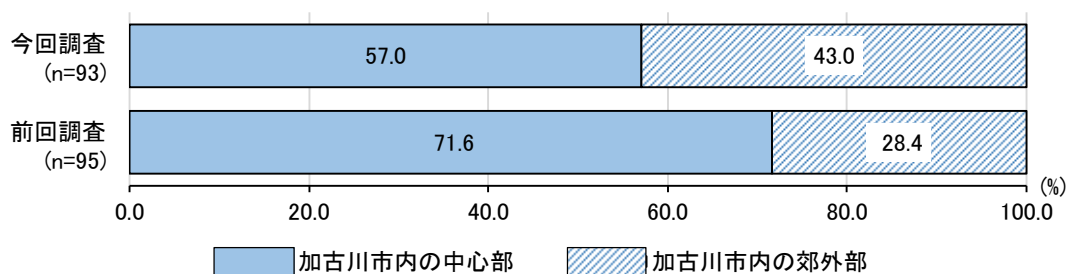
前回調査と比較して、「景観・まちなみに魅力が少ないから」が6.0ポイント増加している一方、「希望する仕事や魅力的な職場がないから」が2.5ポイント、「通勤、通学に不便だから」が4.4ポイント、「福祉サービスが充実していないから」が3.8ポイント、「レジャー・娯楽施設が少ないから」が2.4ポイント減少している。



■ 市内で希望する居住場所について

前回調査と比較して、「加古川市内の中心部」が14.6ポイント減少している。

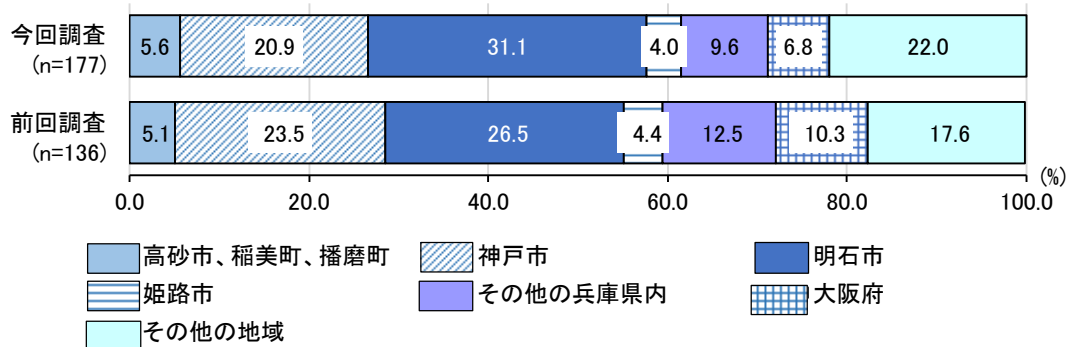
【経年比較 市内で希望する居住場所】 ※不明・無回答を除く



■ 市外で希望する居住場所について

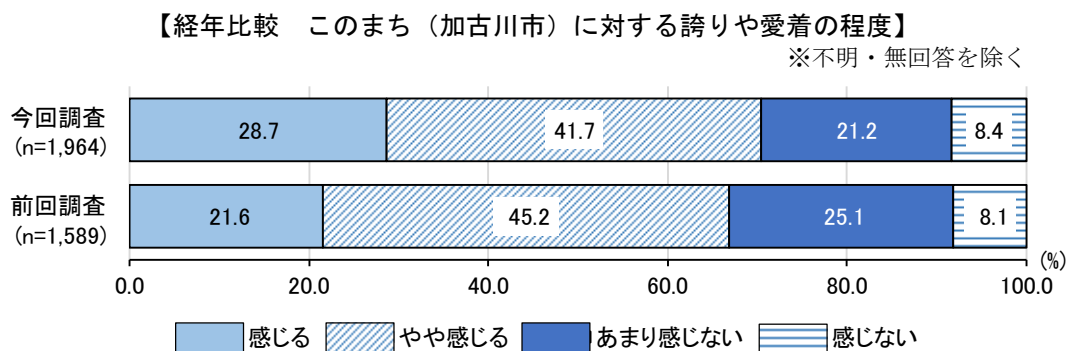
前回調査と比較して、「明石市」が4.6ポイント、「その他の地域」が4.4ポイント増加している一方で、「神戸市」が2.6ポイント、「その他の兵庫県内」が2.9ポイント、「大阪府」が3.5ポイント減少している。

【経年比較 市外で希望する居住場所】 ※不明・無回答を除く



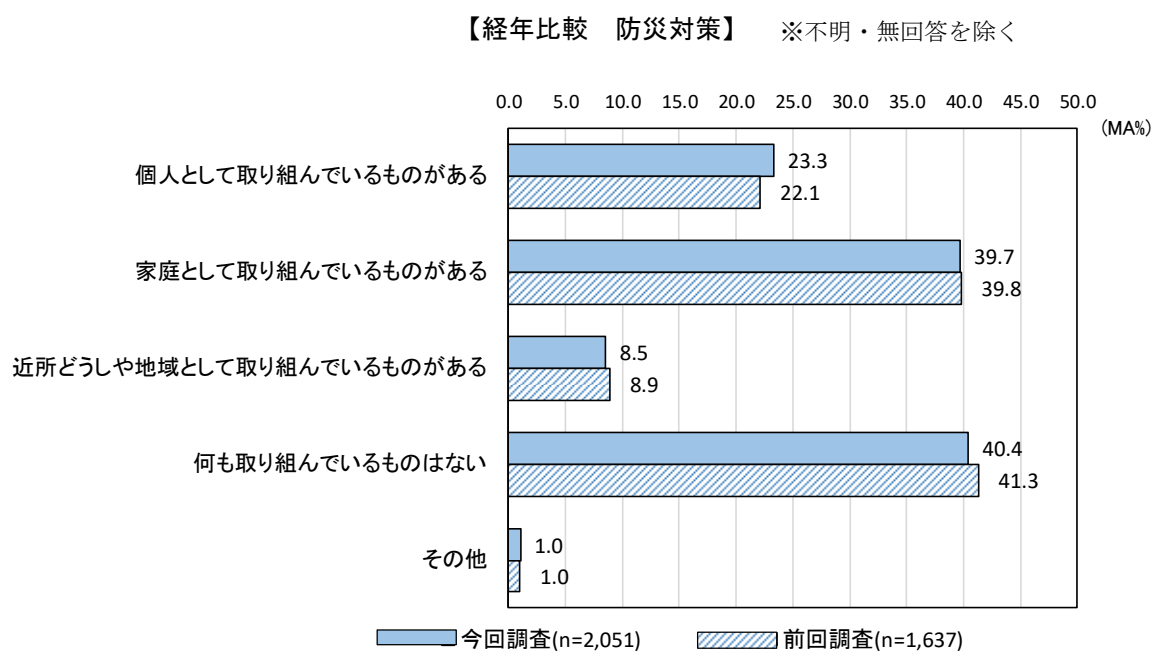
■ このまち（加古川市）に対する誇りや愛着の程度について

前回調査と比較して、「感じる」と「やや感じる」を合わせた『感じる』が3.6ポイント増加している。



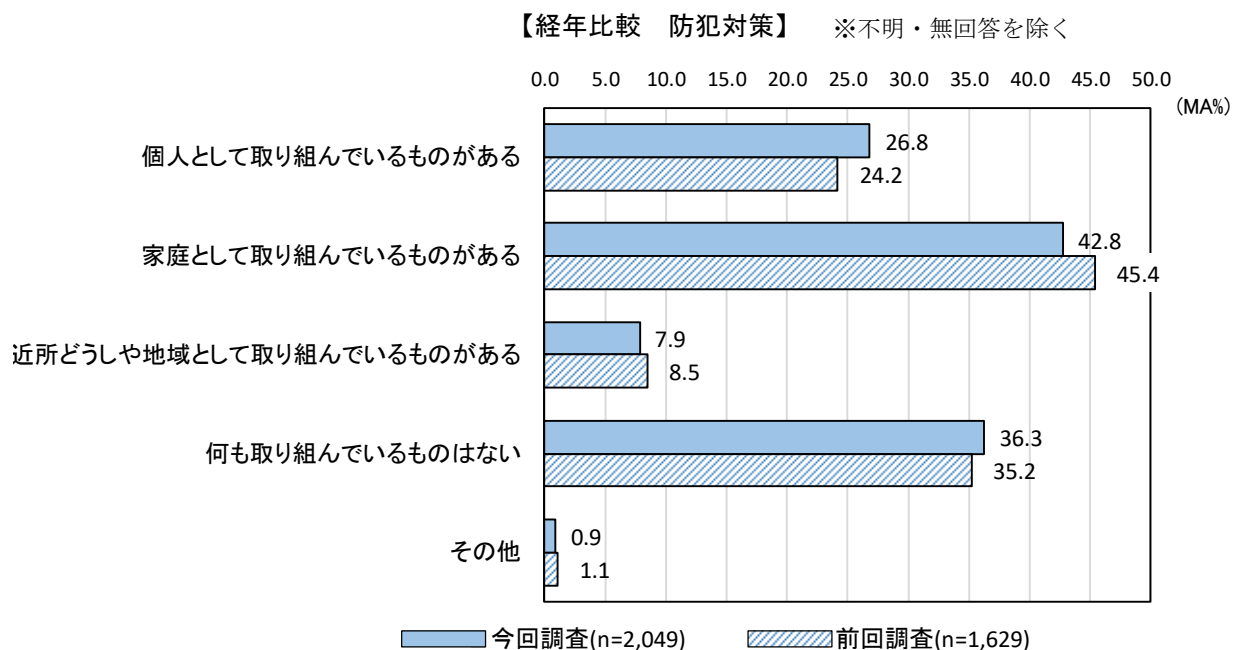
■ 防災対策について

前回調査と比較して、大きな差はみられない。



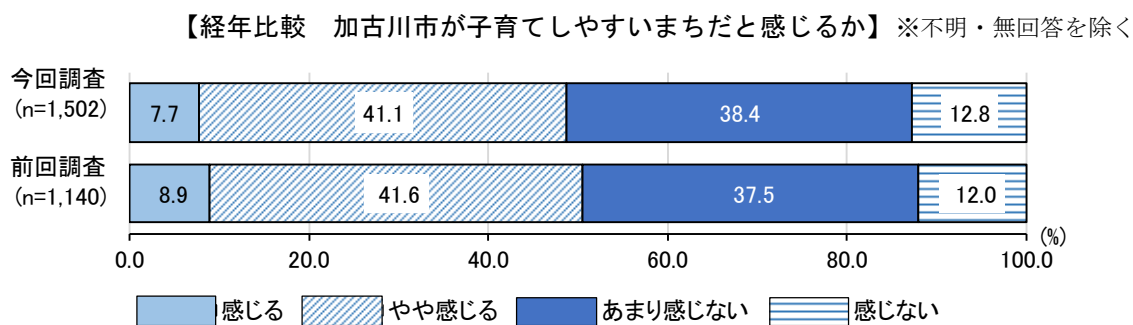
■ 防犯対策について

前回調査と比較して、「個人として取り組んでいるものがある」が2.6ポイント増加している一方で、「家庭として取り組んでいるものがある」が2.6ポイント減少している。



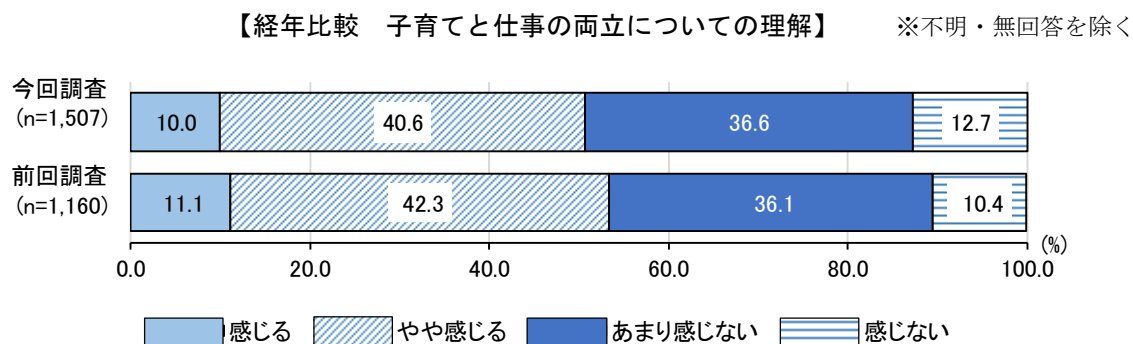
■ 加古川市が子育てしやすいまちだと感じるかについて

前回調査と比較して、大きな差はみられない。



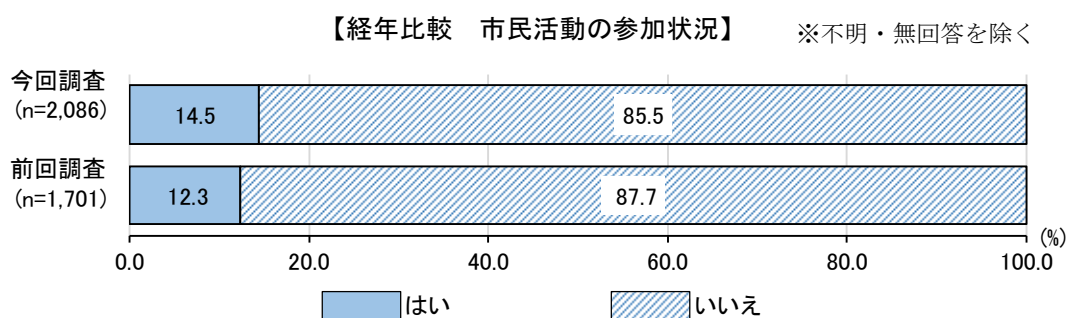
■ 子育てと仕事の両立についての理解について

前回調査と比較して、「感じる」と「やや感じる」を合わせた『感じる』が2.8ポイント減少している。



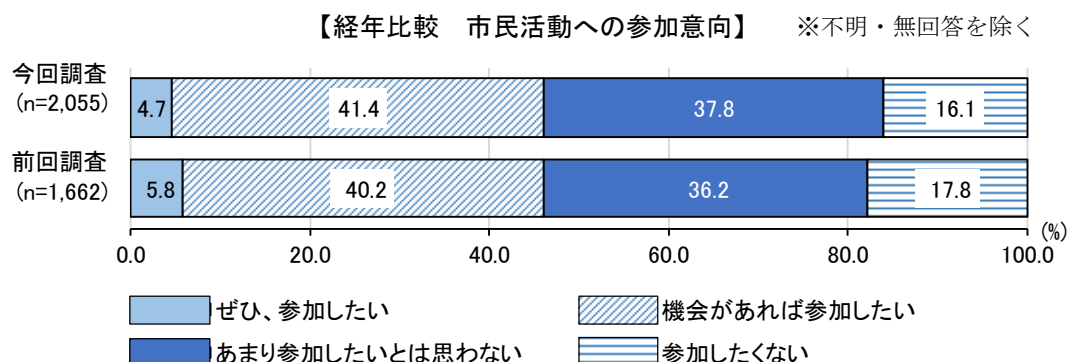
■ 市民活動の参加状況について

前回調査と比較して、「はい」(参加している)が2.2ポイント増加している。



■ 市民活動への参加意向について

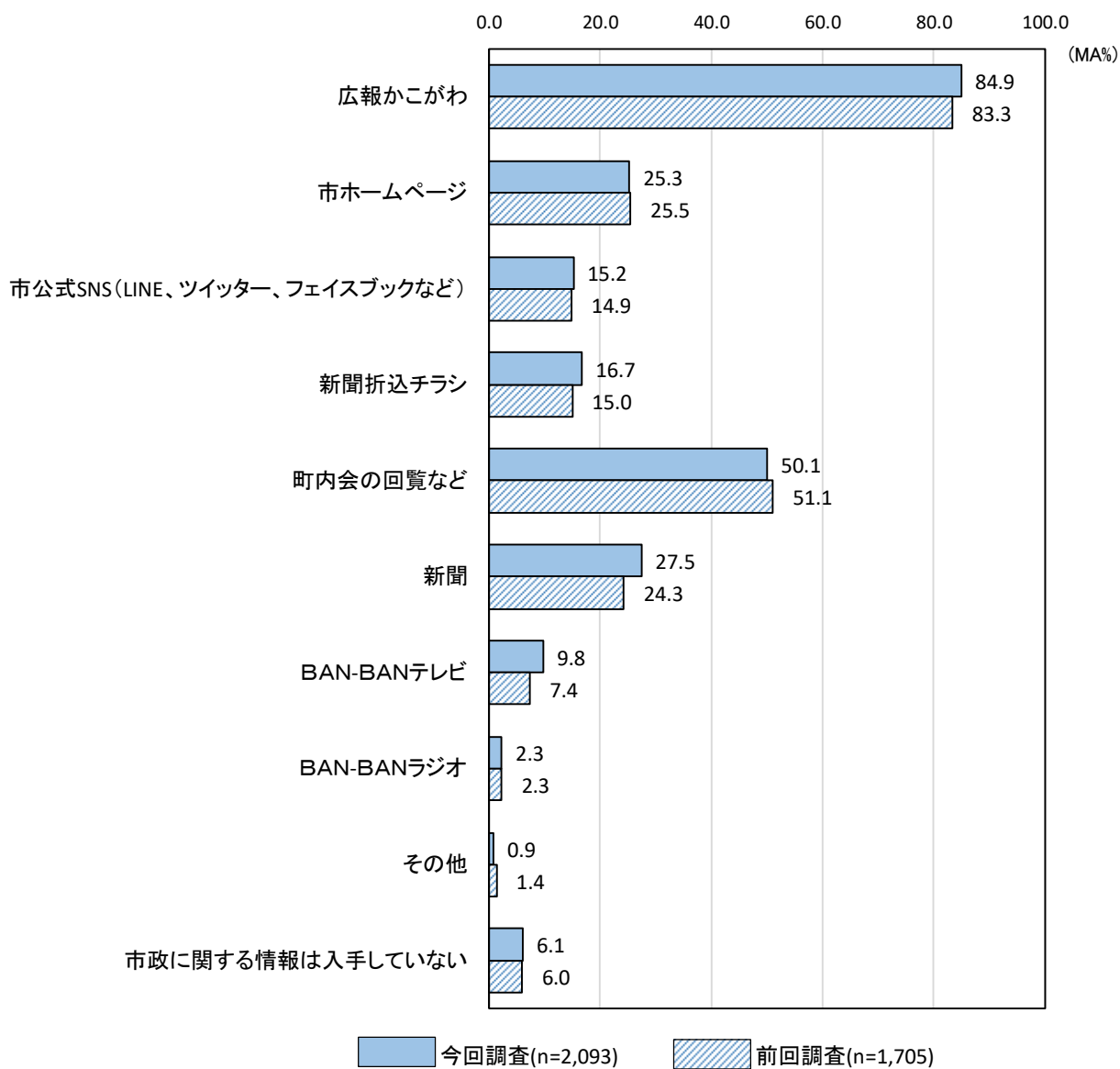
前回調査と比較して、大きな差はみられない。



■ 市政に関する情報の入手方法について

前回調査と比較して、「新聞」が3.2ポイント、「BAN-BANテレビ」が2.4ポイント増加している。

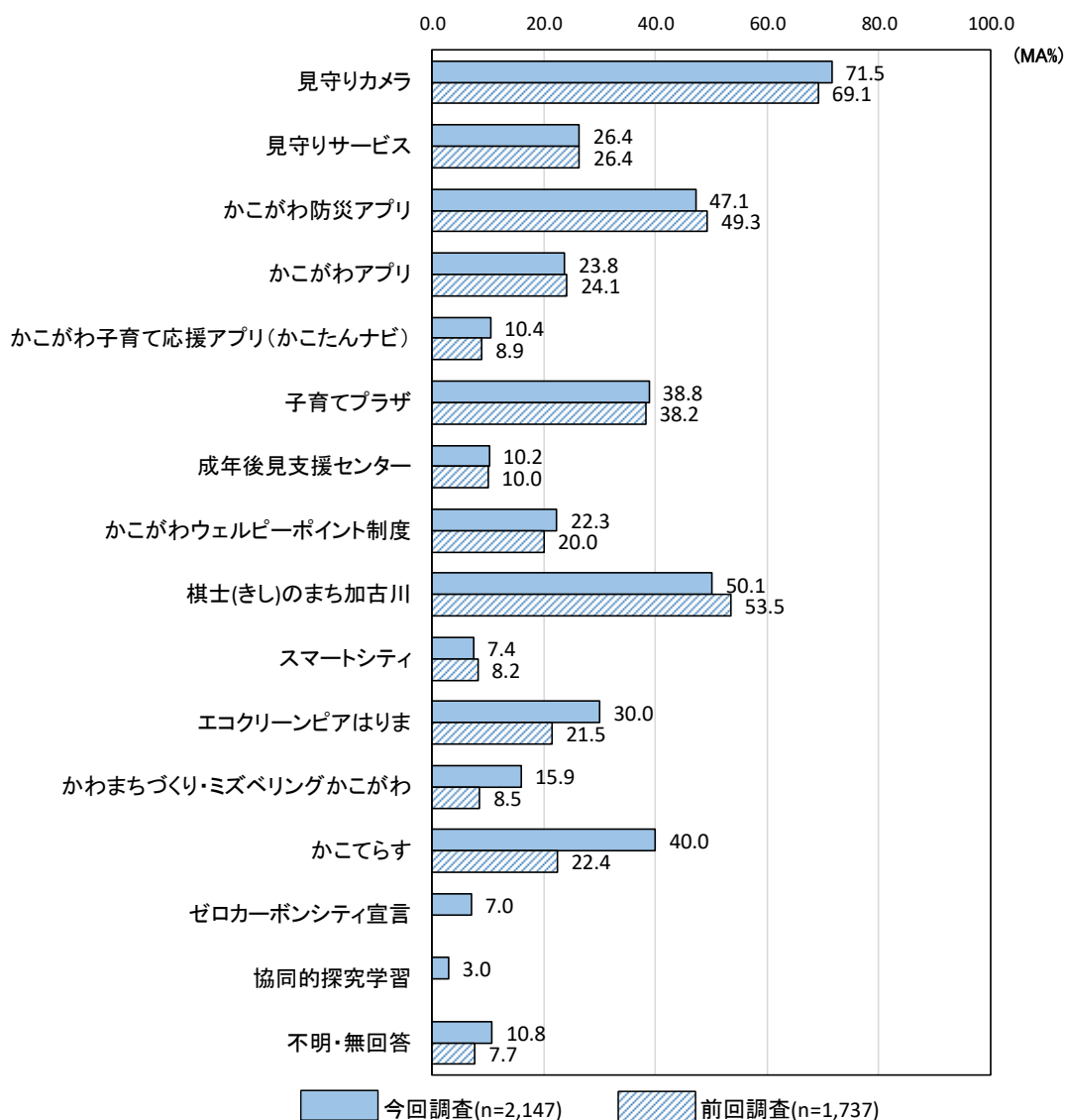
【経年比較 市政に関する情報の入手方法】※不明・無回答を除く



■ 加古川市の取組等の認知度について

前回調査と比較して、「見守りカメラ」が2.4ポイント、「かこがわウェルビーポイント制度」が2.3ポイント、「エコクリーンピアはりま」が8.5ポイント、「かわまちづくり・ミズベリングかこがわ」が7.4ポイント、「かこてらす」が17.6ポイント増加している一方、「かこがわ防災アプリ」が2.2ポイント、「棋士のまち加古川」が3.4ポイント減少している。

【経年比較 加古川市の取組等の認知度】



(「ゼロカーボンシティ宣言」、「協同的探究学習」は今回調査のみの項目)

令和4年度 市民意識調査 報告書
令和5年3月

加古川市 企画部 政策企画課
〒675-8501 加古川市加古川町北在家2000番地
電話 (079) 427-9113